

---

**鴨川市**  
**高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画**  
**策定のための調査結果報告書**

---

平成 26 年 3 月

**鴨川市**



## 目 次

第1章 調査実施の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査方法	3
3 報告書の見方について	5
4 調査結果の概要	5
第2章 一般高齢者調査	9
1 回答者の属性	11
2 高齢者の日常生活	15
3 高齢者のすまい	25
4 高齢者の健康の状況や意識	27
5 高齢者の社会参加	38
6 介護保険事業について	47
7 今後の高齢者施策について	50
第3章 若年層調査	61
1 回答者の属性	63
2 住まいについて	67
3 健康の状況や意識	70
4 社会参加について	82
5 介護保険について	88
6 今後の介護や福祉の制度のあり方	91
第4章 要支援・要介護認定者調査	101
1 回答者の属性	103
2 居宅サービスの利用状況	113
3 居宅サービスの満足度	118
4 施設サービスの満足度	129
5 今後の介護や福祉の制度のあり方	132
第5章 ケアマネジャー調査	137
1 回答者の属性	139
2 ケアマネジャーの業務	141

第6章 介護保険事業所調査	153
1 事業所の状況	155
2 事業所で実施している事業	158
第7章 前回調査との比較	167
1 一般高齢者調査	169
2 若年層	173
3 要支援・要介護認定者	177
第8章 自由意見	179
1 一般高齢者調査	181
2 若年層調査	188
3 要支援・要介護認定者調査	191
4 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査	195
5 介護保険事業所調査	196

調査票

# 第 1 章

## 調査実施の概要



## 1 調査の目的

介護保険制度は平成12年度に発足して14年を経過し、全国的にも普及が進み、制度的にも安定期に入ってきており、高齢者保健福祉対策の重要な位置を占めるに至っています。本市においても介護保険制度の今後の効果的な制度運営に努めるとともに、地域の高齢者の生活向上をめざした地域サービスの充実を進め、来年度に新たな「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定することとしています。

本調査は、そのために、高齢者及びその前の世代の市民の方の生活実態を把握するとともに、介護保険及び高齢者施策に対するニーズ等について調べるために実施いたしました。

## 2 調査方法

### (1) 調査時期と調査方法

本調査は、一般高齢者、40～64歳の第2号被保険者（若年層）、要支援・要介護認定者、ケアマネジャー（介護支援専門員）、介護保険サービスの提供事業者を対象に実施しました。調査期間は、平成26年1月6日～1月20日までです。調査票の配付・回収方法等は次のとおりです。

#### 調査方法

調査名	一般高齢者調査
調査対象者	65歳以上の市民（要支援・要介護認定者を除く）
母数	平成25年12月末現在の住民基本台帳及び外国人登録11,924件
調査件数	2,500件
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	郵送法

調査名	若年層調査
調査対象者	40～64歳までの市民（要支援・要介護認定者を除く）
母数	平成25年12月末現在の住民基本台帳及び外国人登録11,286件
調査件数	1,000件
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	郵送法

調査名	要支援・要介護認定者調査
調査対象者	市内の要支援・要介護認定者（在宅者及び施設入所者）
母数	平成25年12月末現在における認定者2,211件
調査件数	1,250件
抽出方法	無作為抽出法
調査方法	郵送法

調査名	ケアマネジャー調査
調査対象者	市内事業所のケアマネジャー（17事業所）
母数	40件
調査件数	40件
抽出方法	全数調査
調査方法	郵送法

調査名	介護保険事業者調査
調査対象者	鴨川市の認定者がサービスを受けている介護保険事業者
母数	60件
調査件数	60件
抽出方法	全数調査
調査方法	郵送法

## （2）配付・回収状況

各調査の配付・回収状況は、以下のとおりです。

調査票の配付・回収

調査名	配付数	回収数	有効回収数	有効回収率(%)
一般高齢者調査	2,500	1,614	1,606	64.2
若年層調査	1,000	503	498	49.8
認定者調査	1,250	688	642	51.4
ケアマネジャー調査	40	39	39	97.5
介護保険事業所調査	60	50	50	83.3

無効票の内訳は以下のとおりです。

無効票の内訳

調査名	転出	死亡	その他	白票	合計
一般高齢者調査	—	—	8	—	8
若年層調査	—	—	5	—	5
認定者調査	1	1	44	—	46

### 3 報告書の見方について

#### (1) 計算値の四捨五入

調査結果の数値については小数第2位を四捨五入しているため、単一回答式の設問において回答の内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

#### (2) 単一回答と複数回答

質問には、大きく分けて、選択肢群の中から1つのみを選び出して回答する「単一（択一）回答」式のもの、問題文に指定のある範囲で複数選んで回答する「複数回答」式のものがあり、本調査の各調査においても両方のものを含んでいます。なお、複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常、100%を超えます。

#### (3) グラフ中の文章

問の文章や選択肢の文章は長いものもあるため、グラフ作成時にはこれを省略しているものもあります。

### 4 調査結果の概要

#### (1) 高齢者等の家族と仕事

一般高齢者の世帯は同居が84.1%で、その約4割が高齢夫婦世帯など2人暮らしです。一人暮らしは一般高齢者で13.0%と一人暮らしや高齢夫婦世帯の占める割合が高くなっています。施設入所は認定者の12.6%です。

若年層で65歳以上の父母は30.1%、高齢者でも父母は4.9%います。また、認定者では主に介護をしている人は配偶者と息子・娘が中心となっており、年齢は60代が26.9%、70代が14.0%、80代も13.9%など、介護する人の年齢も高いことから、「老老介護」がさらに増える可能性があります。

高齢者の仕事は、半数が無職、農林水産業14.1%、主婦（主夫）が15.0%となっています。

(一般高齢者：問4、問5、問6、若年層：問5、問6、認定者：問4、問13)

## (2) ADL・社会参加

一般高齢者では、階段の昇り降りや50m歩くことや座っていることが出来ない人が、少数ですが目立っています。

社会参加では、ボランティア活動への参加が若年層、高齢者ともに他の活動より低くはなっていますが、前期高齢者では2割弱の参加者がみられます。また、新聞雑誌を読んでいる、友人との相談などで、若年層一人暮らしの社会参加が他の世帯より少ないことが特徴です。

地域活動への参加は、従来型の祭り・行事や自治会、町内会が中心です。ここでも、公民館活動、ボランティア活動などで若年層一人暮らしの参加が少なくなっています。

(一般高齢者：問7、問28、問29、若年層：問23、問24)

## (3) 住宅

住宅はほとんどが一戸建ての持家が中心ですが、若年層では鴨川圏域で1.6%が共同住宅で生活しています。

2階以上で住んでいる人は、後期高齢者で減少しており、階段の昇り降りができなくなってくるのが影響しているようです。

賃貸の人の家賃は、若年層では5万円～7万円未満が一番多くなっていますが、高齢者では3万円未満が中心となっています。

(一般高齢者：問14、若年層：問7)

## (4) 外出と買物

週1回以上外出しない人は高齢者の約1割、うち後期高齢者では15.8%となっており、後期高齢者の3割以上が外出機会が減ったと回答しています。また、普段の外出は買い物や散歩が多く、趣味で出かけることはわずかなようです。

一般高齢者では、自分で、あるいは家族、知人の車で外出という人が大多数ですが、徒歩で移動する人も3割強います。バスは13.4%、電車は7.4%にとどまっていますが、天津小湊圏域では路線バスが5人に1人と高くなっています。

買い物も自動車を使って郊外の大型量販店やスーパーへ出かける人が多くみられます。出かけられない人でも家族に買ってもらう人が多く、自動車を持たない、一人暮らしが困っているものとみられます。通信販売やテレビショッピングも6.8%ですが、近年増えてきているようです。

(一般高齢者：問8、問9、問12、問13)

## (5) 介護保険事業

介護保険事業は第5期で大きく改正されましたが、夜間の訪問介護、訪問看護や小規模施設、複合型のサービスなどは、採算上の問題もあり、本市も含め全国的に普及があまり進んでいません。そのため、本調査でも市民の新しいサービスの認知・利用度は低くなっています。一方で、介護福祉施設、介護保健施設、療養型医療施設等の施設への希望は依然として高くなっています。

ケアマネジャー調査では4割がサービス不足を訴えており、特にショートステイに回答が集中しており、認定者の不満も多くみられます。

また、認定者の日常生活の不安についてみると、要支援と要介護1～3では5割ですが、重度の要介護4・5では4割に低下しており、介護保険事業や高齢者の保健福祉施策の成果があらわれているとみることができます。

(一般高齢者：問34、問35、若年層：問24、問25、認定者：問15、問25、問26、ケアマネジャー：問12、問13、事業所：問5、問6)

## (6) 介護保険料

介護保険料は、全国平均レベルをめざすべきだという回答が、高齢者、若年層ともに最も多く、認定者では「高くなっても質・量を充実してほしい」が最も多くなっており、全体として充実を求める意見が大勢です。抑制して欲しいという人は、自由回答では高齢者の国民年金世帯や若年層の一部に回答があり、若年層のほうが高齢者より多くなっています。

(一般高齢者：問36、若年層：問27、認定者：問33)

## (7) 高齢者施策

高齢者施策で希望が高いのは介護サービス、緊急時の医療福祉サービス、移送サービスなどとなっています。前回調査と比べ気軽な日常生活の援助、就労やボランティアができるしくみに対する希望が増加しています。

今後の主要施策としては、一人暮らしや高齢夫婦世帯への地域への見守りと24時間体制の在宅医療の充実が4割を超え、最も多い希望がみられます。

既存の老人保健福祉事業では総合検診や予防接種、介護予防デイサービスや生活支援ホームヘルプサービスがよく知られています。

(一般高齢者：問37、問38、問40、若年層：問28、問29、問31、認定者：問35)

## (8) 介護予防

介護予防事業では、筋力トレーニングと認知症予防対策、口腔ケアなどに対する希望が多くみられます。それぞれ前期高齢者のほうが後期高齢者より希望が多く、筋力向上トレーニング、認知症予防教室では4割に達しています。年齢が高くなる

に従って希望が減っているのが特徴です。

また、前回調査との比較では、筋力向上トレーニングと口腔ケアに関する希望が増加しています。

(一般高齢者：問 39、若年層：問 30、認定者：問 32)

## **(9) 事業所・ケアマネジャー**

介護保険事業も 15 年弱を経過したことから、事業所、ケアマネジャーともに、適切な運営がなされています。市からの情報提供や地域社会との協力など、市や市民、地域との連携が求められています。課題としては、事務の効率化や軽減、人材の確保などがあげられています。

(ケアマネジャー：問 21、事業所：問 9 など)

## 第2章

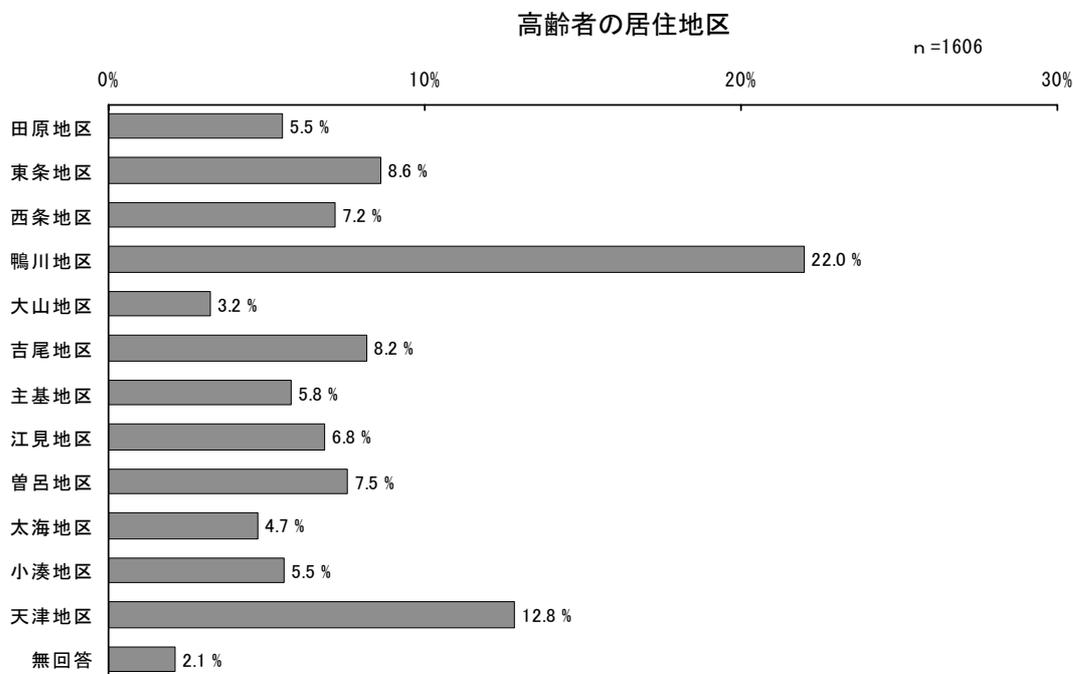
### 一般高齡者調査



## 1 回答者の属性

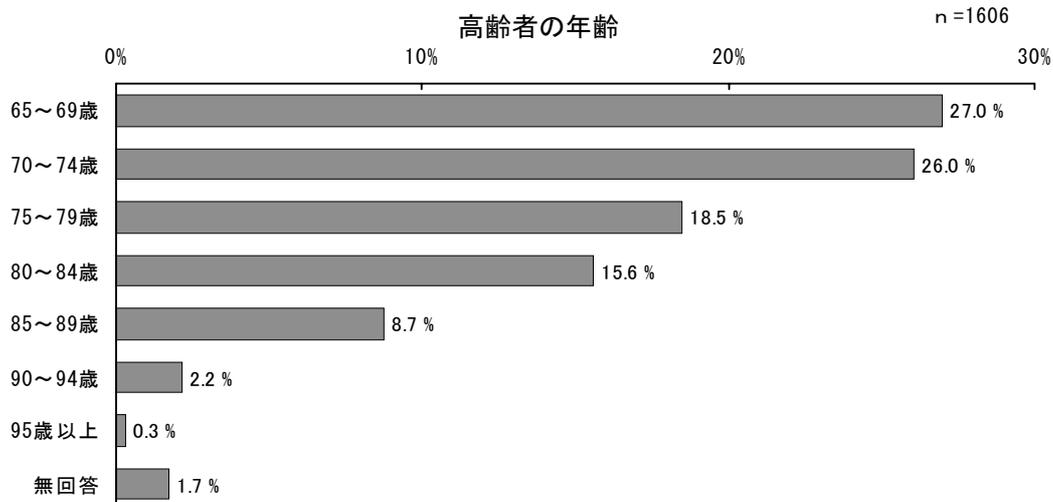
問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

本調査での回答者の居住地区は、以下のとおりとなっています。



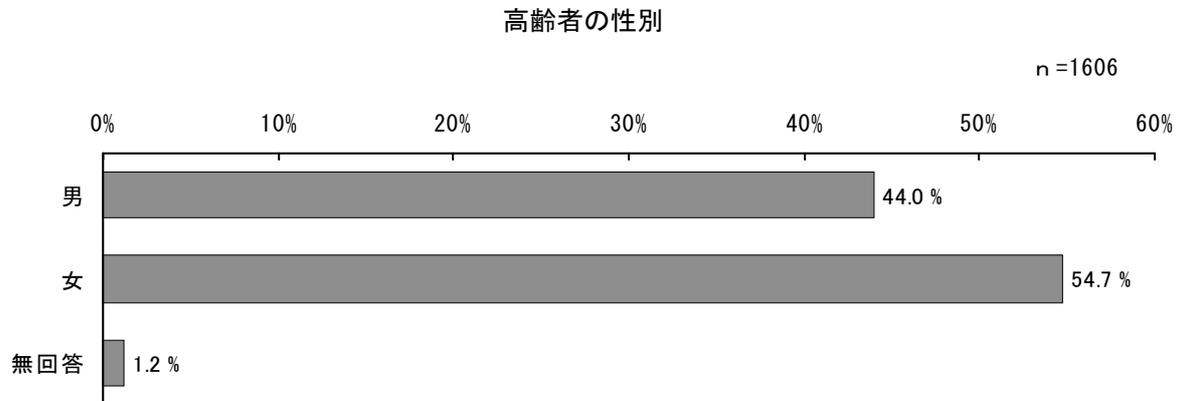
問2 平成26年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

回答者の年齢は次のグラフのとおりとなっています。「前期高齢者(65から74歳)」が53.0%、「後期高齢者(75歳以上)」が45.3%となっており、前者のほうがやや多くなっています。



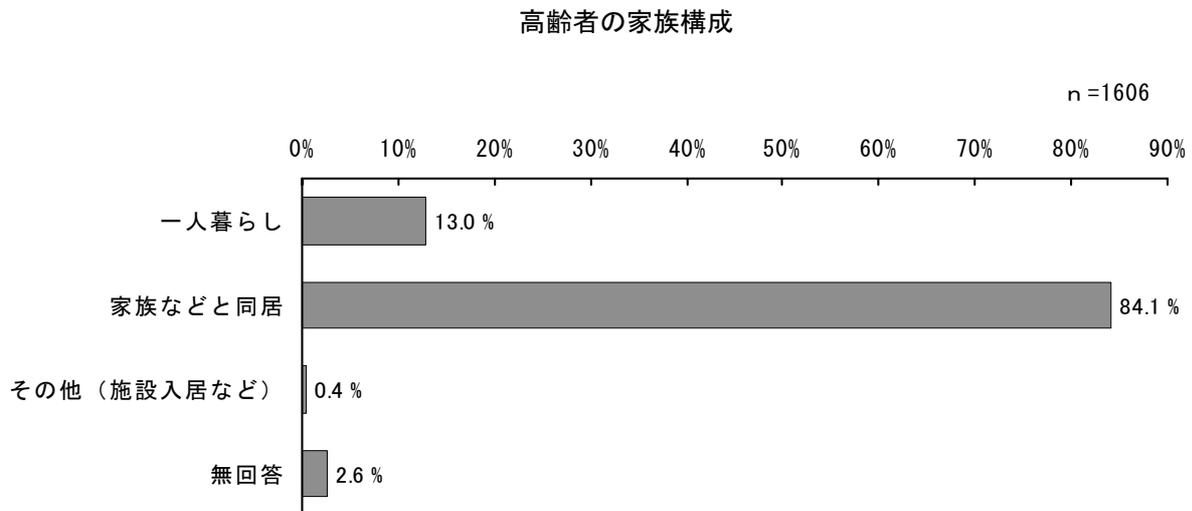
問3 性別をお答えください。(1つに○)

回答者の性別は、「男」が44.0%、「女」が54.7%で女性のほうがやや多くなっています。



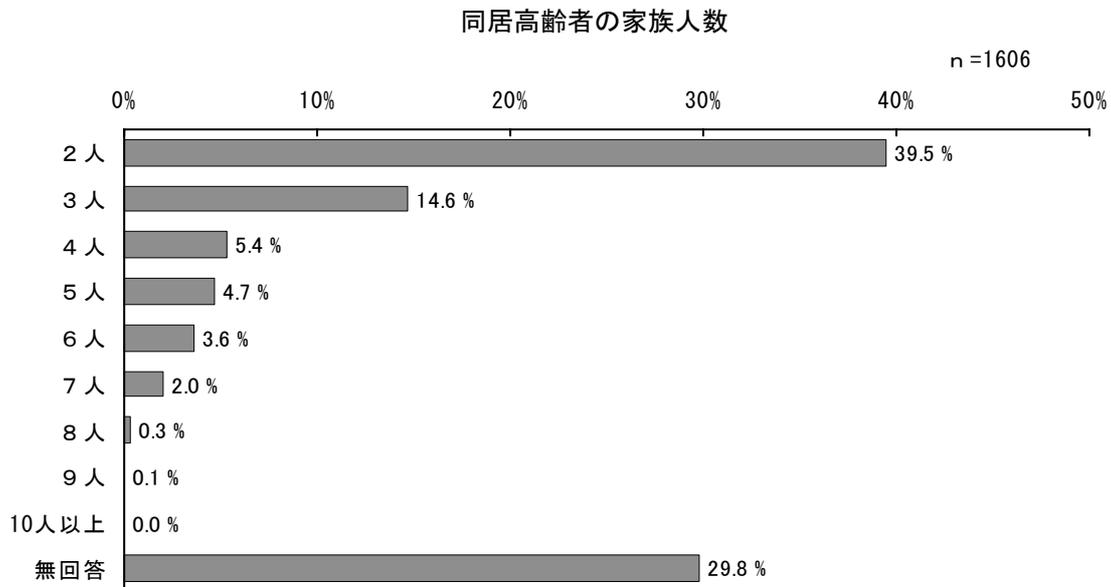
問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

家族構成は、「家族など同居」が84.1%と大多数となっていますが、「一人暮らし」も13.0%を占めています。

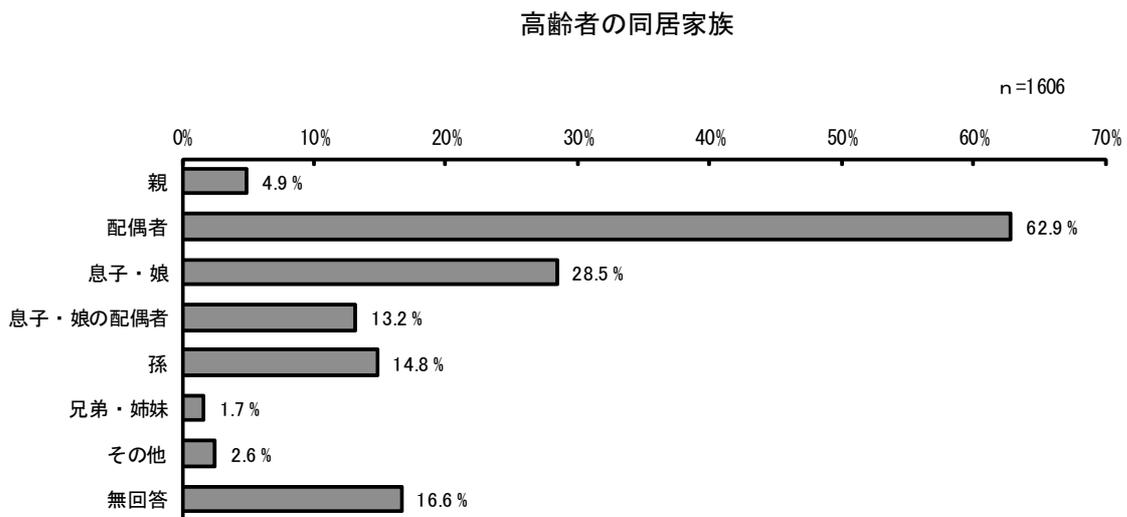


問5 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。(ご家族などと同居されている方のみ) また、同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

家族と同居の人の家族人数の平均は2.9人となっています。最も多いのは、「2人」で33.7%と同居している人の半数となっています。5人以上の家庭はあわせると10.7%となっています。



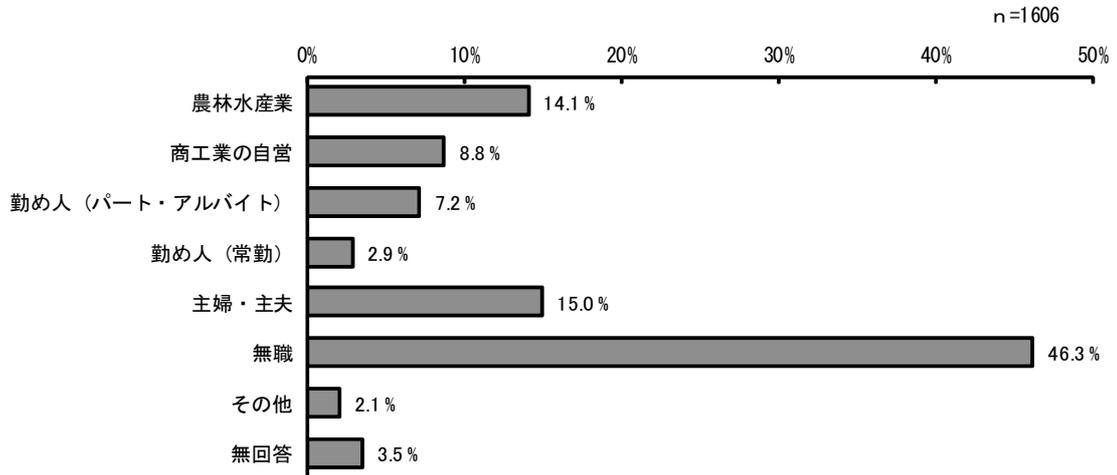
同居の家族は、「配偶者」が62.9%と最も多く、「息子・娘」が28.5%と3割となっており、「孫」がいる世帯は14.8%と1割となっています。また、高齢者世帯でも4.9%に「親」がいます。



問6 あなたの主な就業形態をお答えください。(1つに○)

高齢者の半数、46.3%が「無職」となっています。次いで「主婦」の15.0%と「農林水産業」の14.1%が多くなっています。

高齢者の就業形態

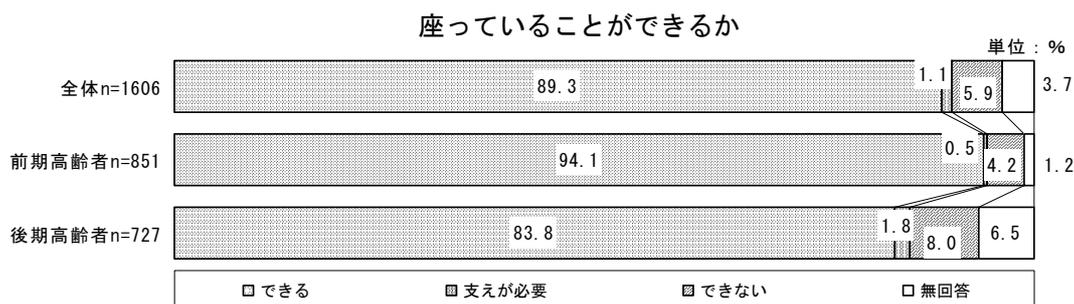


## 2 高齢者の日常生活

問7 日常生活の状況について、①から⑬までの各問にお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

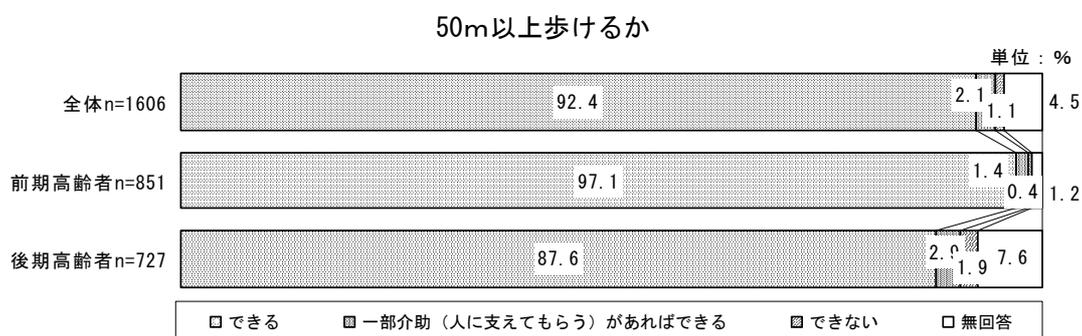
### ①座っていることができますか

座っていることが「できる」人は89.3%となっています。「できない」人は5.9%で、内訳は、前期高齢者では4.2%、後期高齢者では8.0%です。



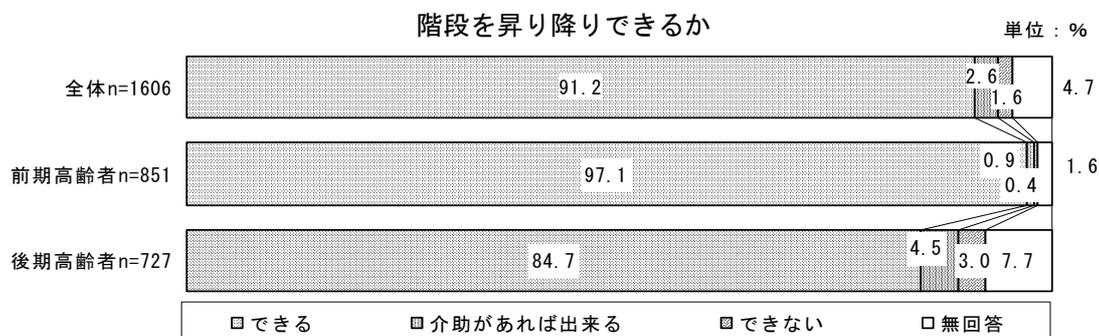
### ②50m以上歩けますか

50m以上歩けるかでは、「できる」人は92.4%と大多数です。「できない」人は1.1%で、前期高齢者では0.4%、後期高齢者では1.9%となっています。



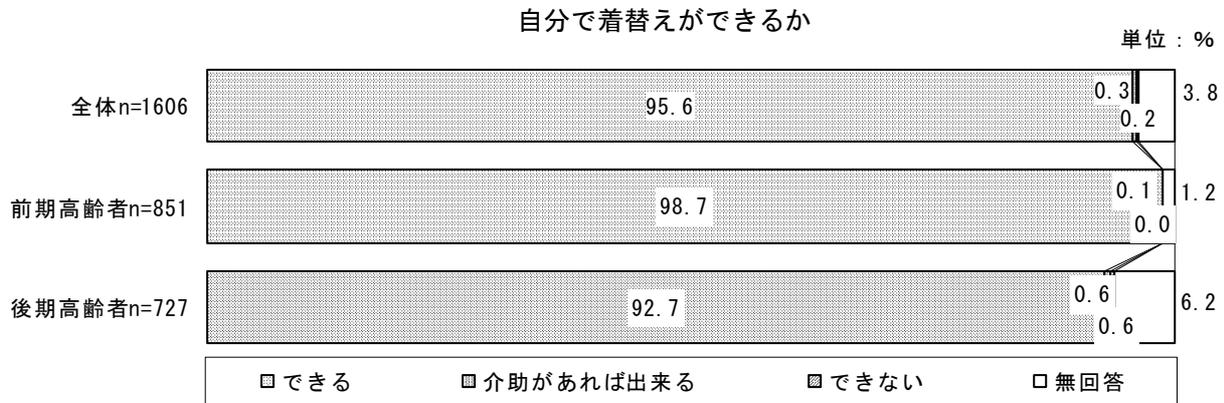
### ③階段を昇り降りできますか

階段の昇り降りが「できる」人は91.2%です。「できない」人は1.6%であり、前期高齢者では0.4%、後期高齢者では3.0%となっています。



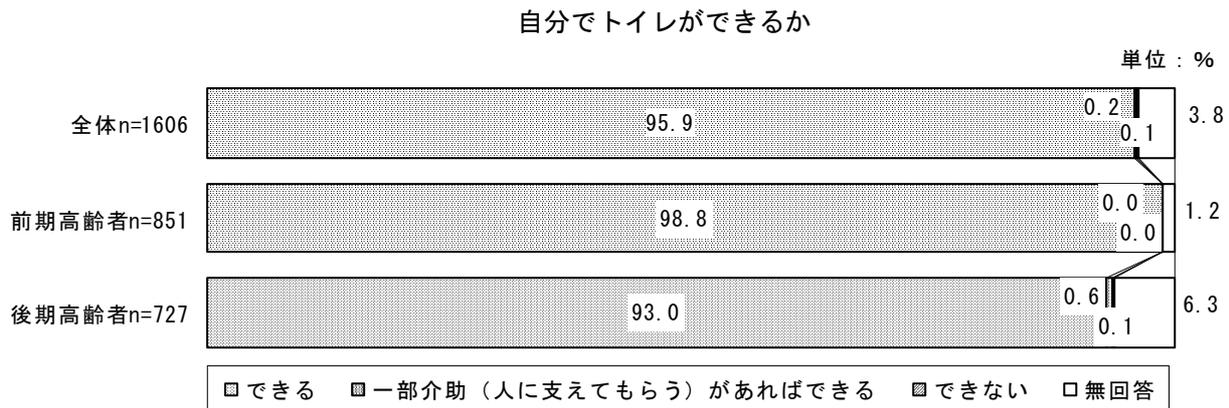
#### ④自分で着替えができますか

自分で着替えが「できる」人は 95.6%です。「できない」人は 0.2%であり、全員が後期高齢者となっています。



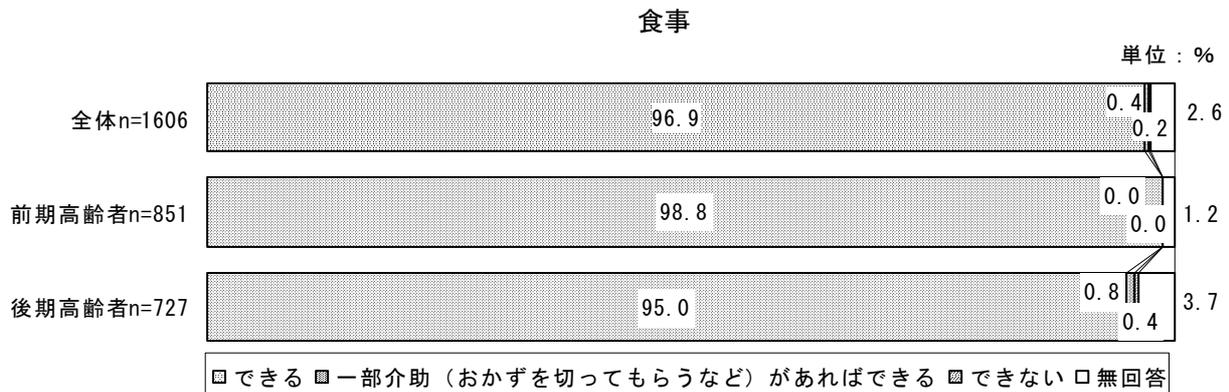
#### ⑤自分でトイレができますか

自分でトイレが「できる」人は 95.9%と大多数です。「できない」人は 0.1%で、全員が後期高齢者です。



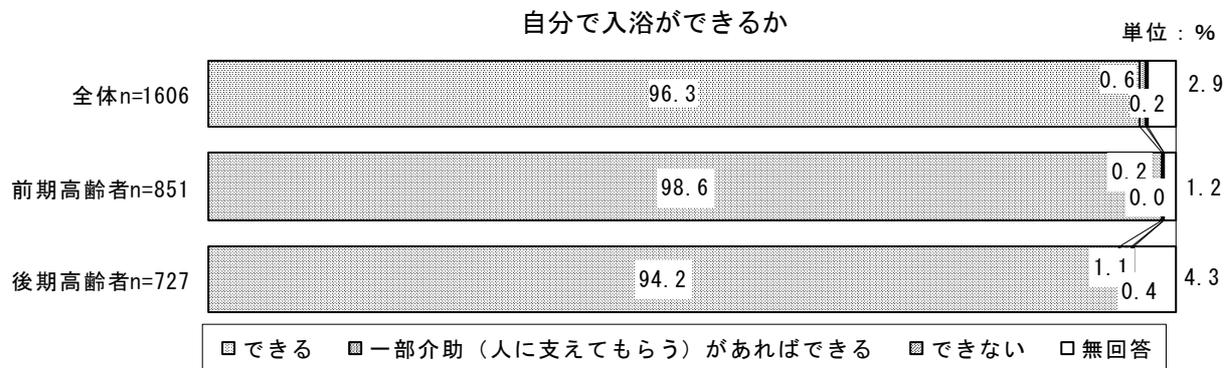
#### ⑥食事は自分で食べられますか

食事が「できる」人は 96.9%で大多数を占めています。「一部介助があればできる」人が 0.4%、「できない」人は 0.2%で、今回調査では全員が後期高齢者となっています。



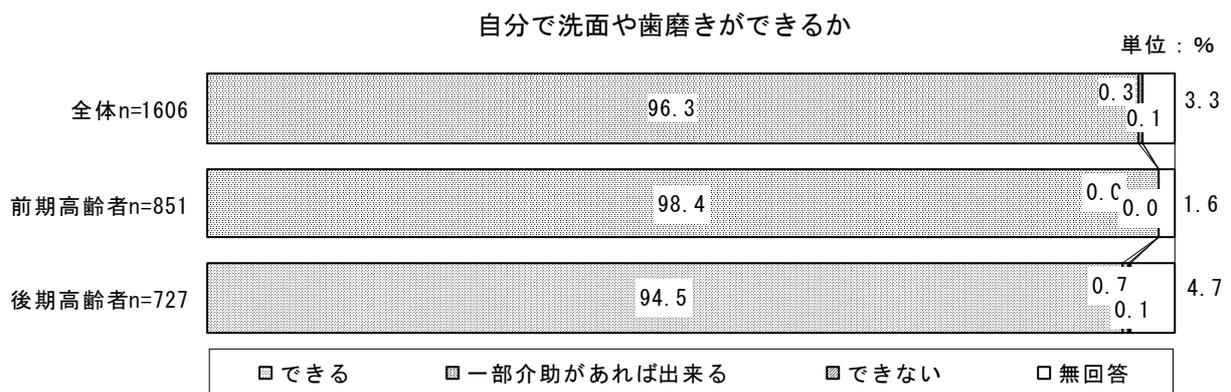
⑦自分で入浴ができますか

自分で入浴が「できる」人は96.3%と大多数です。「できない」人は0.2%と少数です。「できない」人は、0.2%で、今回調査では全員が後期高齢者となっています。



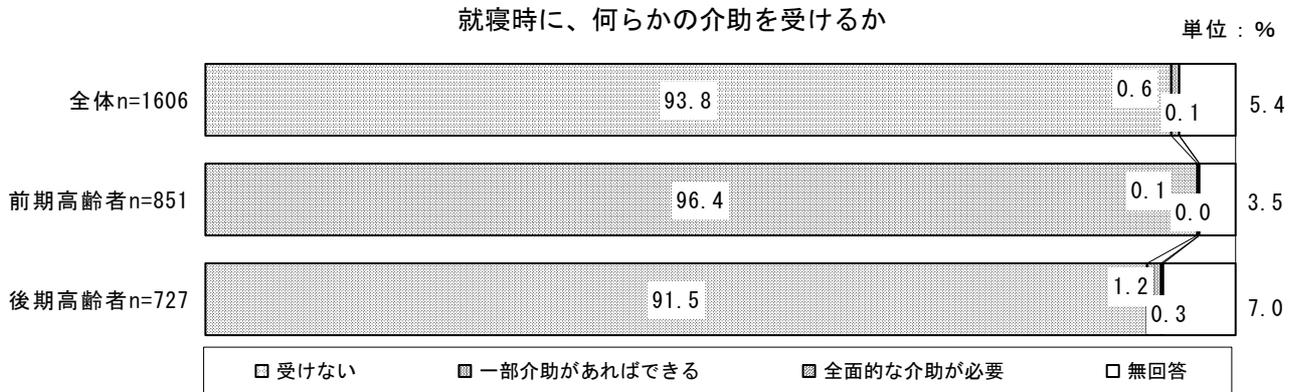
⑧自分で洗面や歯磨きができますか

自分で洗面や歯磨きが「できる」人は96.3%となっています。「できない」人は0.1%です。



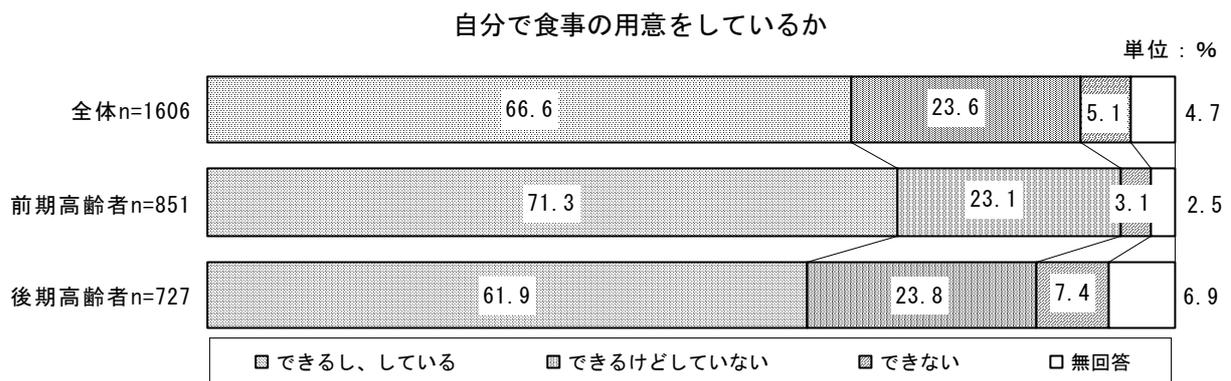
⑨就寝時に、何らかの介助を受けますか

寝床に入るとき、介助を「受けない」人は 93.8%と大多数となっています。「全面的な介助が必要」な人は 0.1%とごく少数で、食事と同様、全員が後期高齢者です。



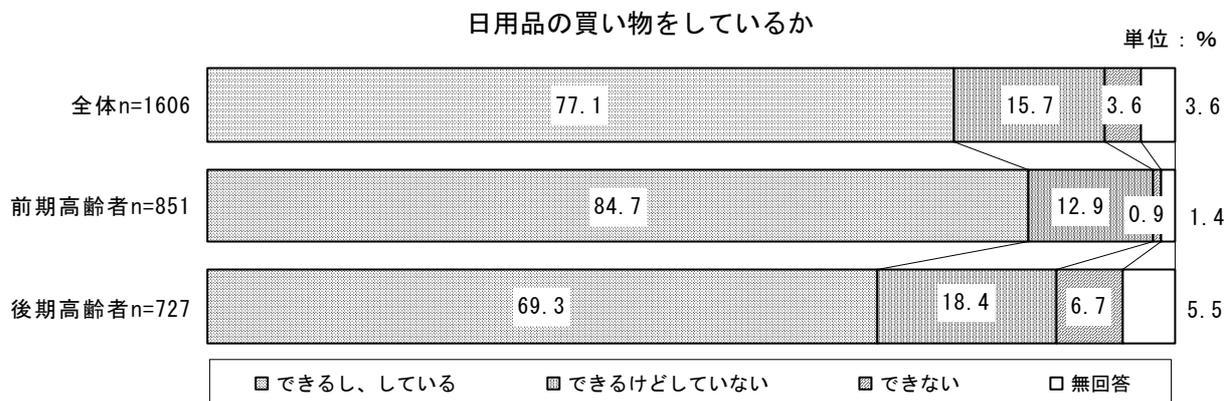
⑩自分で食事の用意をしていますか

食事の用意は、「できるし、している」人は 66.6%と全体の 3 分 2 にとどまっています。これに対し「できない」と回答した人は 5.1%、内訳は前期高齢者では 3.1%、後期高齢者では 7.4%となっています。



⑪日用品の買い物をしていますか

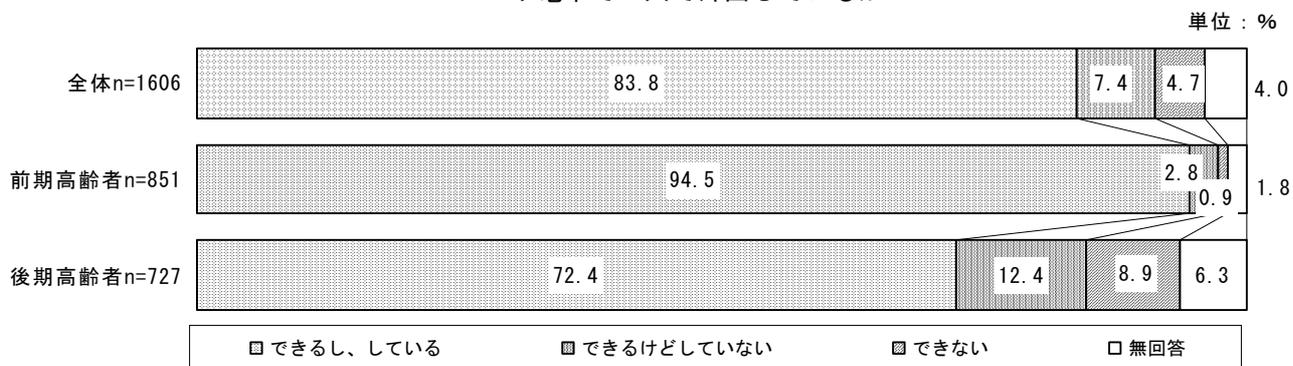
買物が「できるし、している」という人が 77.1%と 8 割となっていますが、「できない」人が 3.6%みられます。内訳は前期高齢者では 0.9%ですが、後期高齢者では 6.7%となっています。



⑫バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）

一人で外出「できるし、している」という人が 83.8%と大多数ですが、「できるけどしていない」人が 7.4%、「できない」人が 4.7%みられます。「できるけどしていない」人は前期高齢者では 2.8%ですが、後期高齢者では 12.4%に達しています。

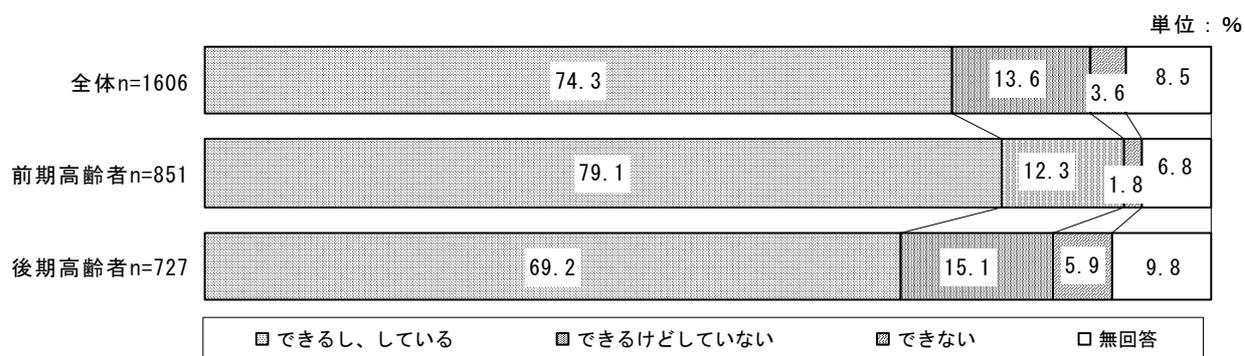
バスや電車で一人で外出しているか



⑬預貯金の出し入れをしていますか

預貯金の出し入れが「できるし、している」人は 74.3%と全体の4分の3を占め、「できない」人は 3.6%で、内訳は、前期高齢者では 1.8%、後期高齢者では 5.9%です。

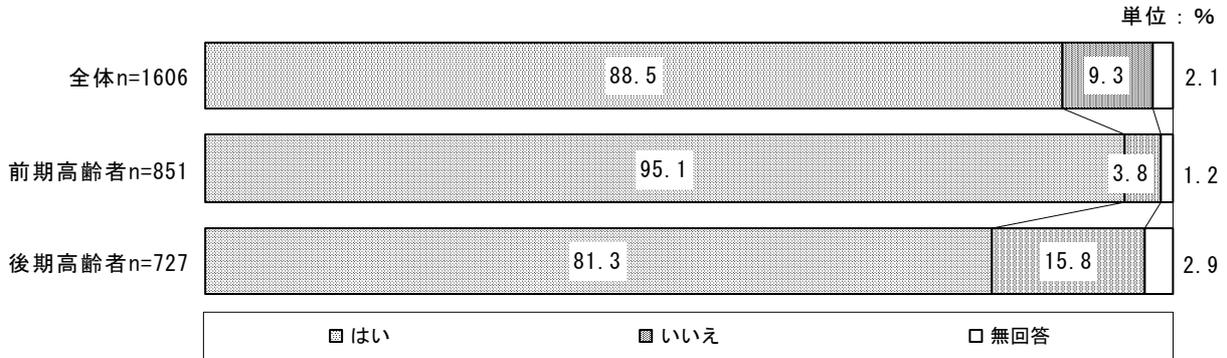
預貯金の出し入れをしているか



問8 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

週に1回以上は外出している人(「はい」)は88.5%、「いいえ」という人は9.3%です。前期高齢者では3.8%ですが、後期高齢者では15.8%と2割弱まで増加しています。

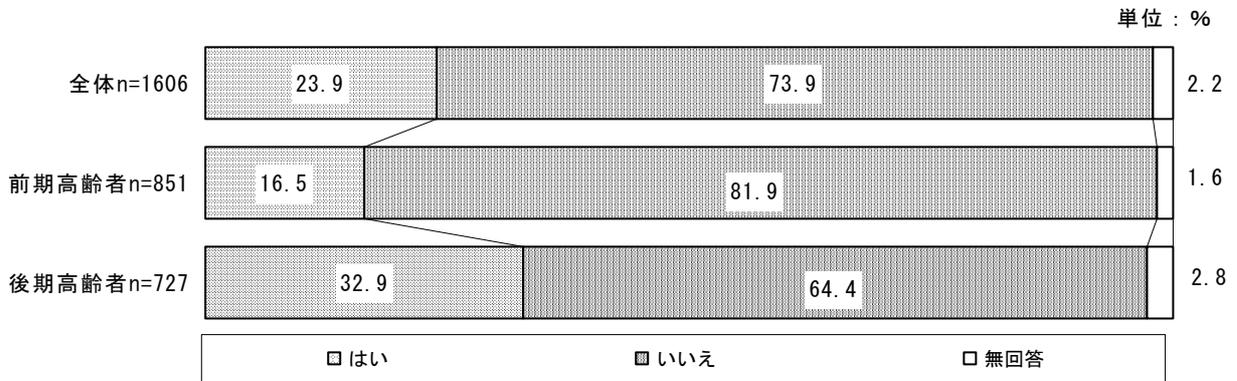
週1回の外出



問9 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

昨年と比べて外出の回数が減っている(「はい」)という人は23.9%となっています。これは、前期高齢者では16.5%ですが、後期高齢者では32.9%と3割まで増加しています。

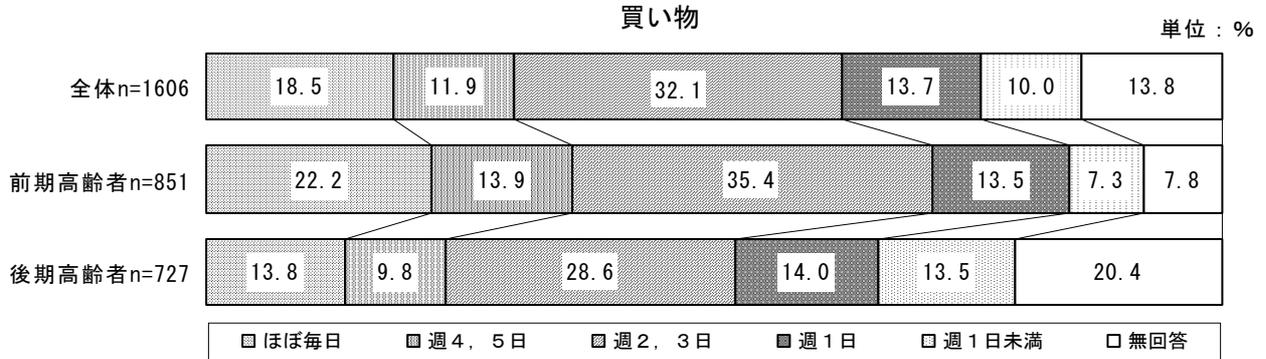
昨年と比べて外出の回数が減っているか



問 10 外出の頻度はどのくらいですか（○はそれぞれ1つずつ）

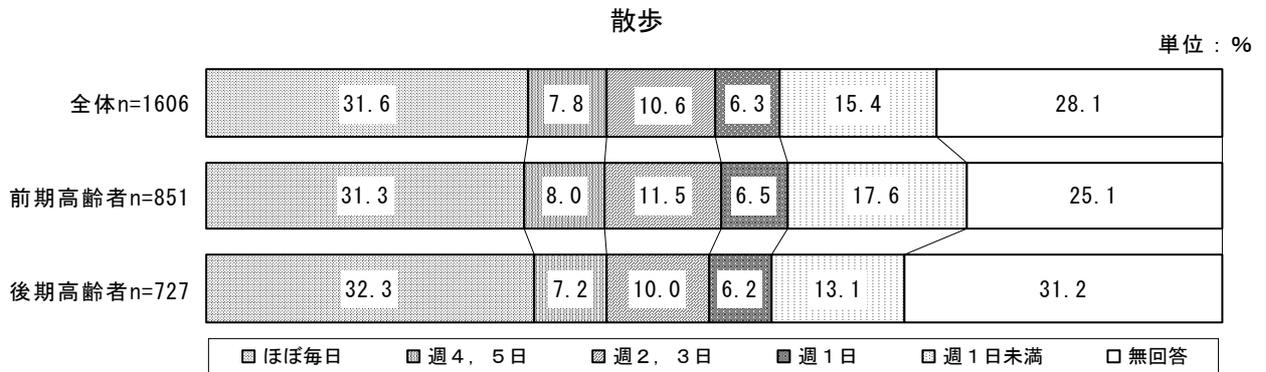
①買物

買物は、「週2、3日」が最も多く32.1%となっており、「毎日」が18.5%、「週4、5日」が11.9%と、全体の半数以上が週2、3日以上外出しています。



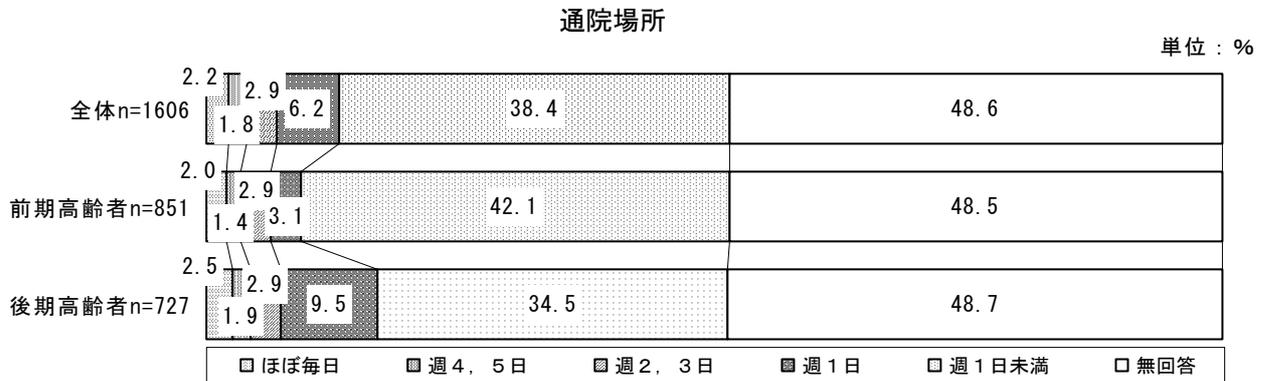
②散歩

散歩は「毎日」という人が31.6%を占め最も多くなっており、前期高齢者と後期高齢者の差もみられません。但し、「週1日未満」も15.4%みられ、無回答者も多いことから外出する人とならない人とで大きく差があることが伺えます。



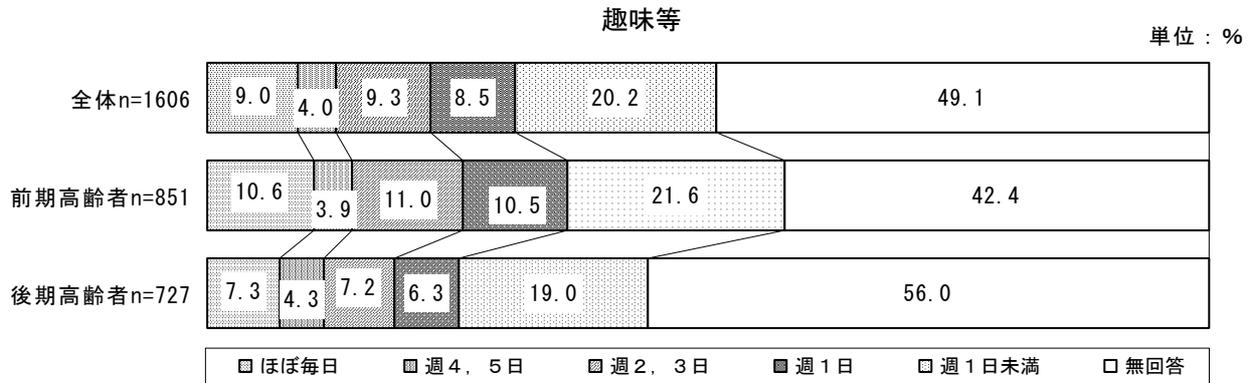
③通院通所

通院や通所については「週1日未満」が38.4%と最も多くなっています。



#### ④趣味等

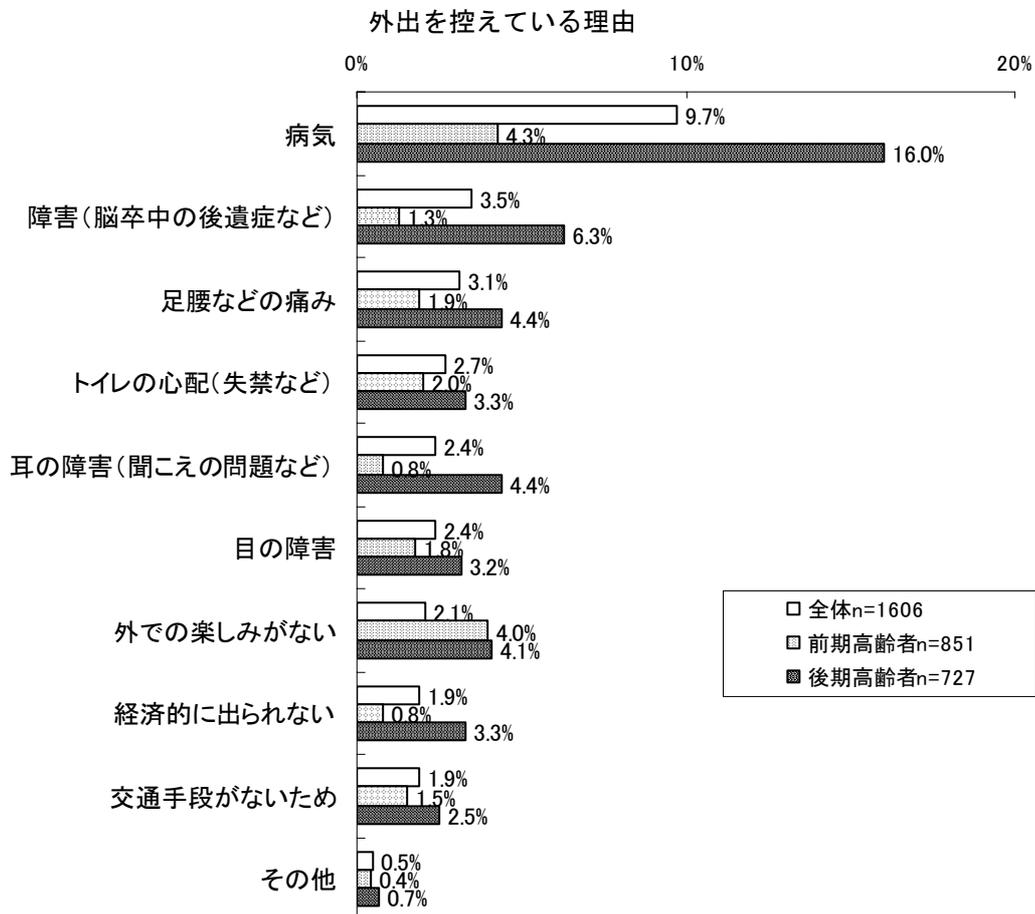
趣味等についても「週1日未満」が20.2%と最も多くなっています。「毎日」という人が9.0%みられます。



#### 問11 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

外出を控えている理由は「病気」が最も多く、9.7%と1割を占めています。これは、前期高齢者では14.3%、後期高齢者では16.0%に達しています。

以下の理由は5%前後となっています。前期高齢者では「トイレの心配」や「外での楽しみがない」などの理由が多く、後期高齢者では「障害(脳卒中の後遺症など)」、「足腰の痛み」、「耳の障害」などの理由がみられます。



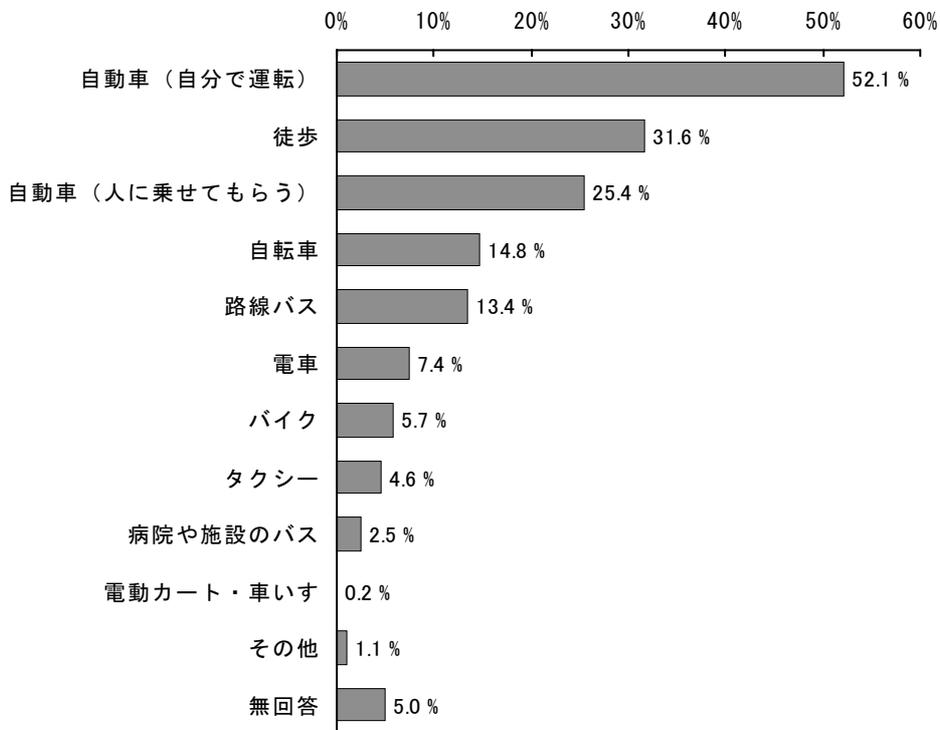
問 12 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

全体として自動車を利用する人が多く、「自分で運転」する人が 52.1%、「人に乗せてもらう」人が 25.4%となっています。これに対し「徒歩」が 31.6%、「自転車」が 14.8%であり、「路線バス」が 13.4%、「電車」が 7.4%と公共交通機関を使う人も 1 割前後みられます。また、「病院や施設のバス」も 2.5%みられます。

圏別にみると「自分で運転」する人は、長狭圏域で最も多く 63.4%となっており、天津小湊圏域で 47.1%と最も少なくなっています。また、「徒歩」は鴨川圏域 (35.2%) や天津小湊圏域 (34.6%) で多くみられます。「自転車」は鴨川圏域で 20.9%と多い一方で、長狭圏域で 4.7%と少なくなっています。「路線バス」は天津小湊圏域で 19.7%と多くなっています。

外出の手段

n=1606



圏域別の外出の手段

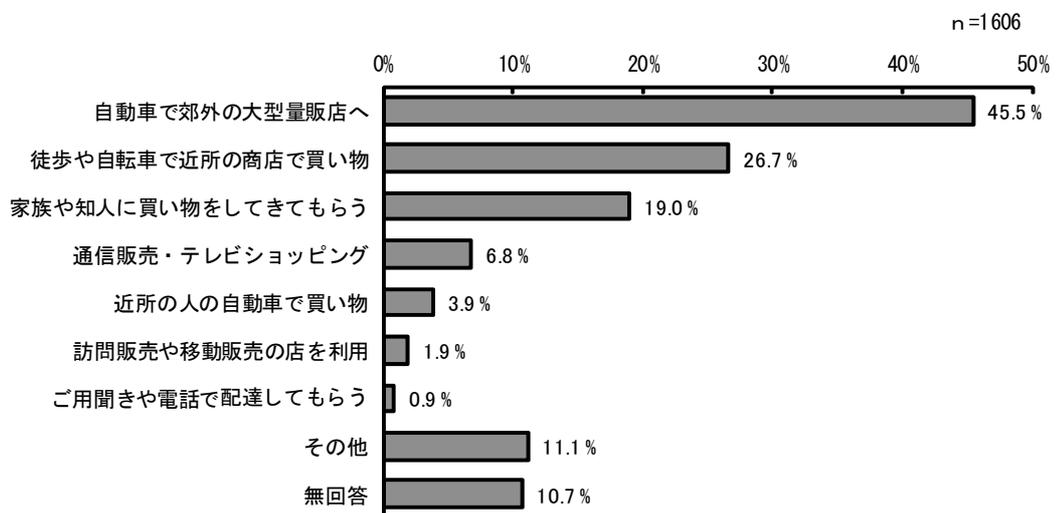
地域名	自動車 (自分)	自動車 (他の人)	徒歩	自転車	路線バス	病院や施設 のバス
鴨川圏域	50.9	24.2	35.2	20.2	12.5	1.7
長狭圏域	63.4	23.6	27.5	4.7	8.3	1.1
江見圏域	51.5	28.3	24.8	7.8	14.3	3.6
天津小湊圏域	47.1	25.4	34.6	17.3	19.7	4.4

問 13 毎日の買い物をどのようにしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

買い物は「自動車で郊外の大型量販店へ」という人が最も多く、45.5%となっています。「近所の人の自動車で買い物」という人も 3.9%みられ、その他の回答でも家族の車や近くのスーパーへ自動車で、と回答した人も多く、自動車が買い物の中心となっていることがわかります。これに対し「徒歩や自転車で近所の商店で買い物」という人は 26.7%となっています。

また、男性など自分では毎日の買い物をしない人もおり、「家族や知人に買い物をしてくれよう」人も 19.0%を占めています。また、「通信販売・テレビショッピング」も 6.8%みられます。一方で「訪問販売や移動販売の店を利用」、「ご用聞きや電話で配達してくれよう」は少数です。

毎日の買い物



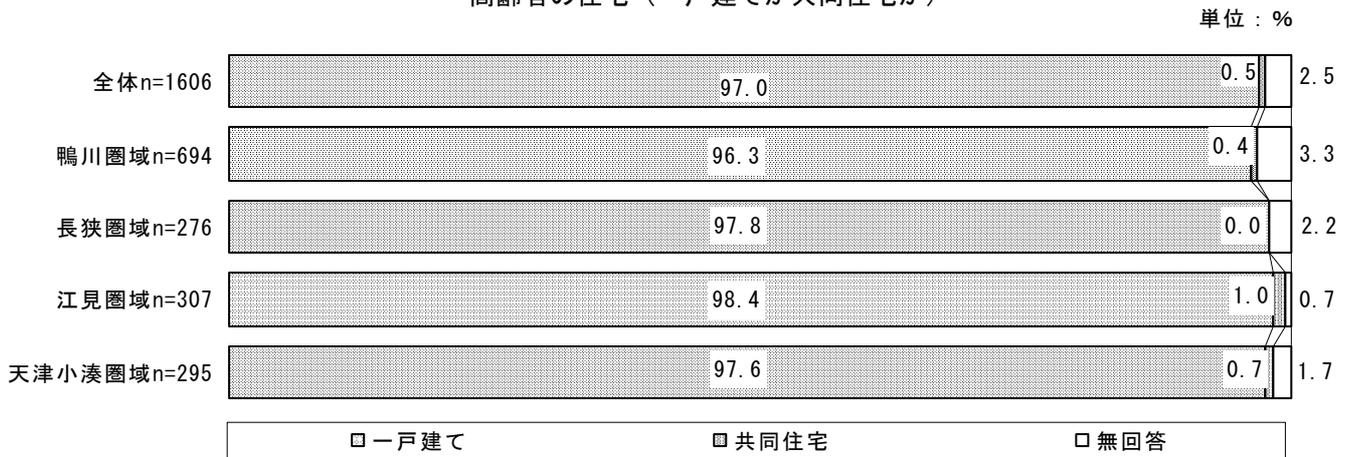
### 3 高齢者のすまい

問 14 住まいの状況についておたずねします。①から④までの各問についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

#### ①お住まいは一戸建て、または共同住宅のどちらですか

「一戸建て」が97.0%と大多数となっています。「共同住宅」は全体で0.5%となっており、鴨川圏域(0.4%)、江見圏域(1.0%)でやや多く、天津小湊圏域(0.7%)では少数です。

高齢者の住宅（一戸建てか共同住宅か）

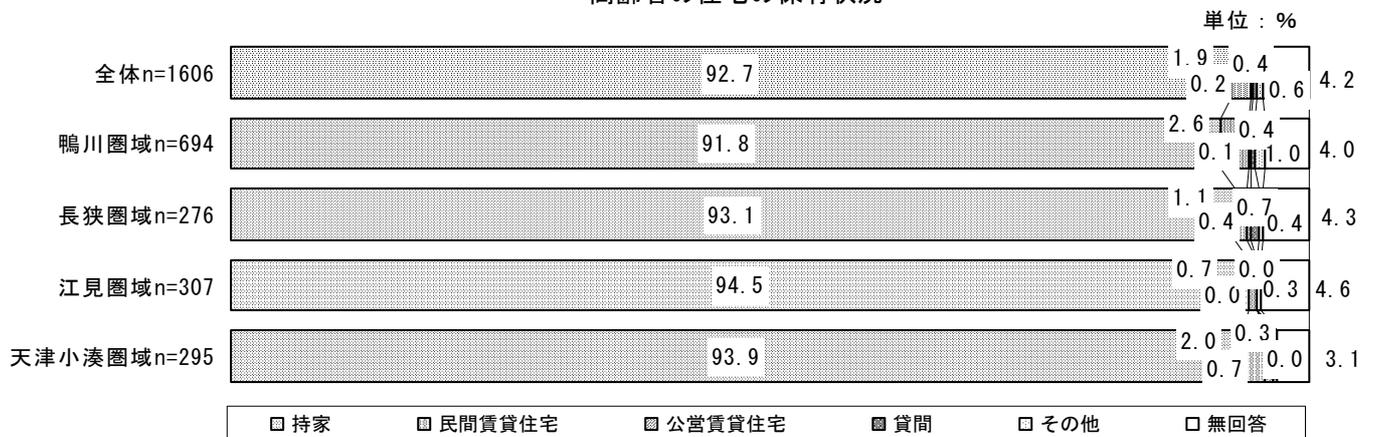


#### ②お住まいは、次のどれにあたりますか

住まいの保有状態では、92.7%と9割が「持家」となっています。「民間賃貸住宅」が1.9%、「公営賃貸住宅」が0.2%などとなっており、「貸間」を加えた賃貸の合計は2.5%です。

圏域別では、「持家」が多いのは江見圏域で94.5%、鴨川圏域が最も少なく91.8%となっています。また、「民間賃貸住宅」は鴨川圏域で2.6%、「公営賃貸住宅」は長狭圏域で0.4%です。

高齢者の住宅の保有状況

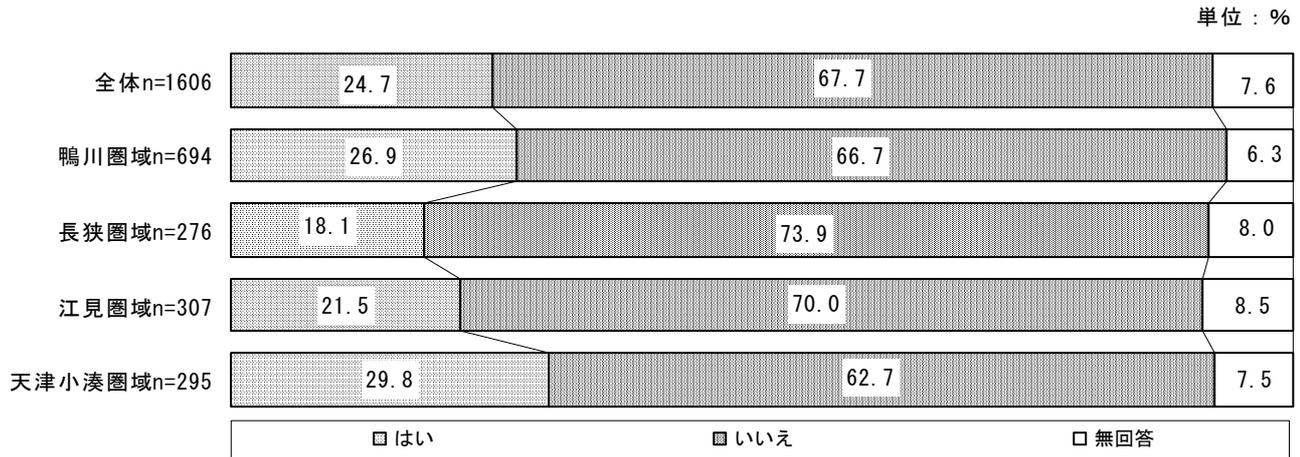


③お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか

お住まいは2階以上にあるかという問で「はい」と回答した人が24.7%と2割、「いいえ」（1階に住んでいる）人が67.7%となっています。

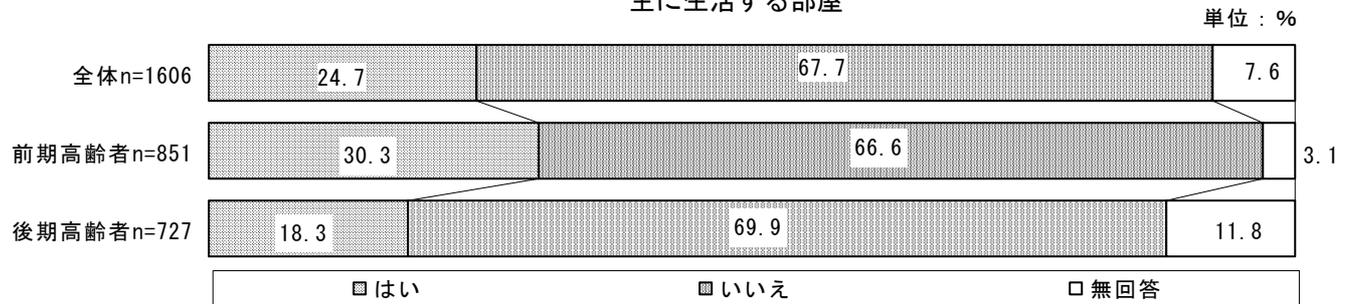
2階以上に住んでいる人は天津小湊圏域で29.8%と多く、鴨川圏域と江見圏域が2割程度で、長狭圏域では18.1%と少なくなっています。

高齢者の主に生活する部屋



また、2階以上に住んでいる人（「はい」）は前期高齢者では30.3%いますが、後期高齢者では18.3%へと低下しています。

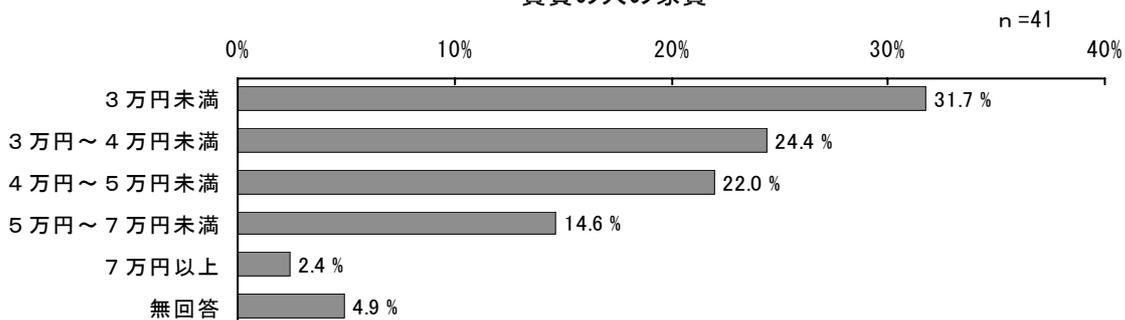
主に生活する部屋



④②で2～4と回答された方（賃貸の方）にお伺いします。家賃はいくらくらいですか

賃貸の人（41人）の家賃は、「3万円未満」が最も多く31.7%、「3万円～4万円未満」が24.4%、「4万円～5万円未満」が22.0%となっています。また、「5万円以上」をあわせて17.0%となっています。

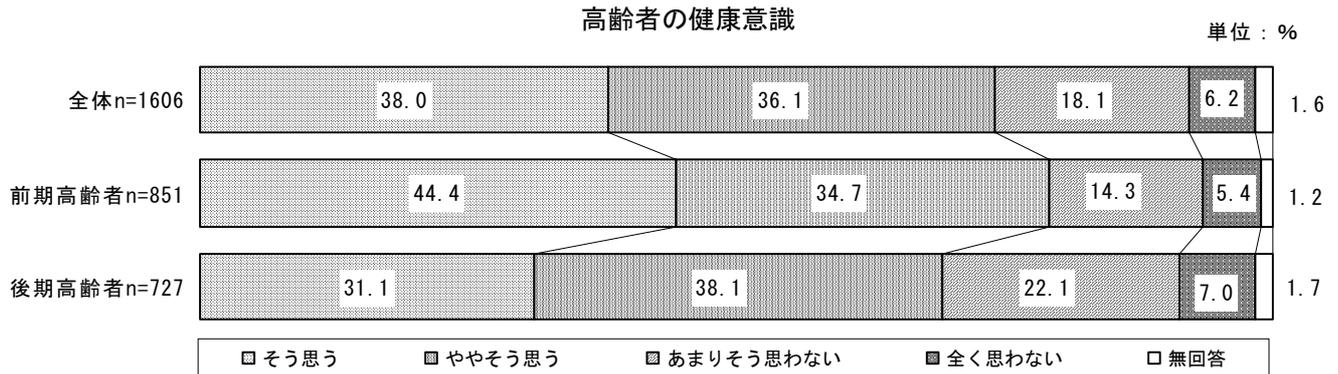
賃貸の人の家賃



## 4 高齢者の健康の状況や意識

問 15 あなたは現在、「健康」だと思いますか。(1つに○)

健康だと「そう思う」人が38.0%、「ややそう思う」人が36.1%をあわせると74.1%と7割となっています。「そう思う」人の割合は前期高齢者で44.4%と4割を占めていますが、後期高齢者では31.1%と3割に低下しています。

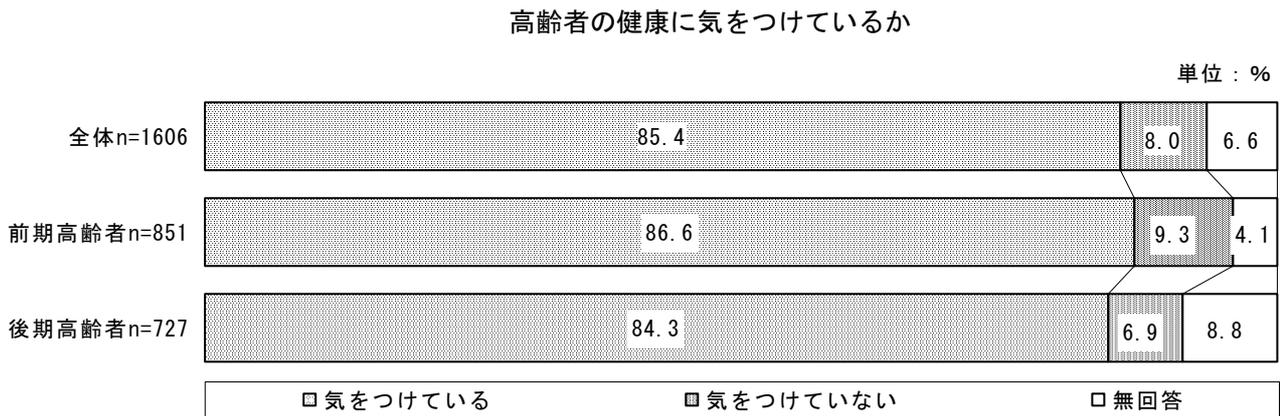


問 16 普段健康の維持・増進に気をつけていますか。(1つに○)

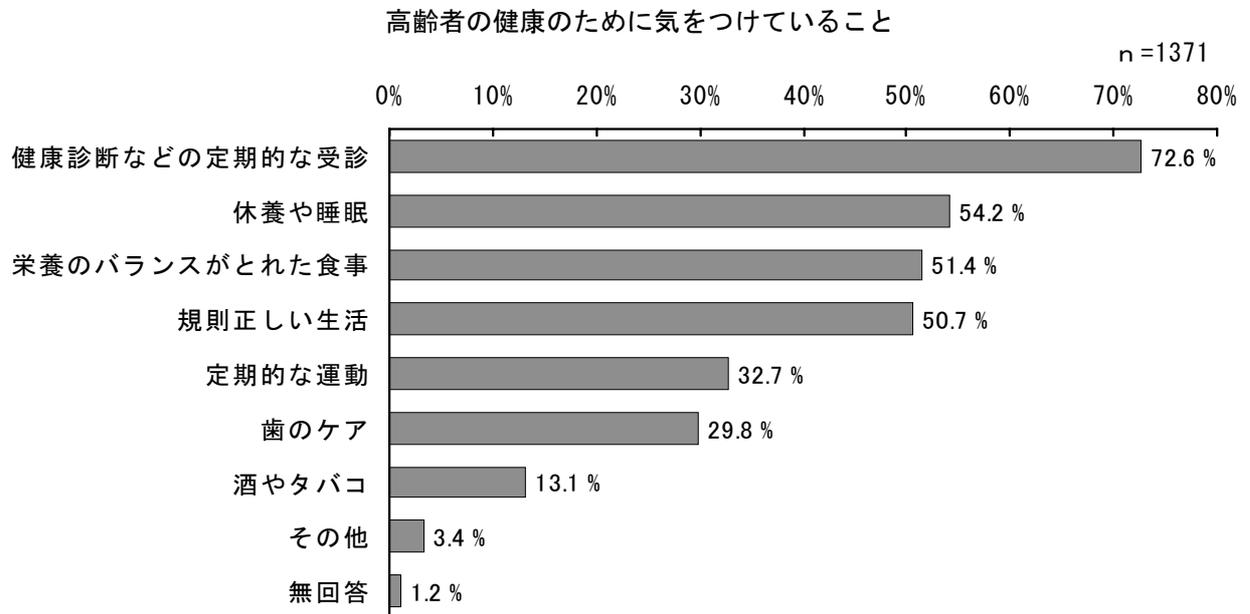
問 16-1 問 16 で「1 気をつけている」と答えた方にお聞きします。

何に気をつけていますか。(あてはまる番号すべてに○)

普段健康の維持・増進に「気をつけている」人は85.4%と大多数となっています。また、前期高齢者と後期高齢者で差はみられません。



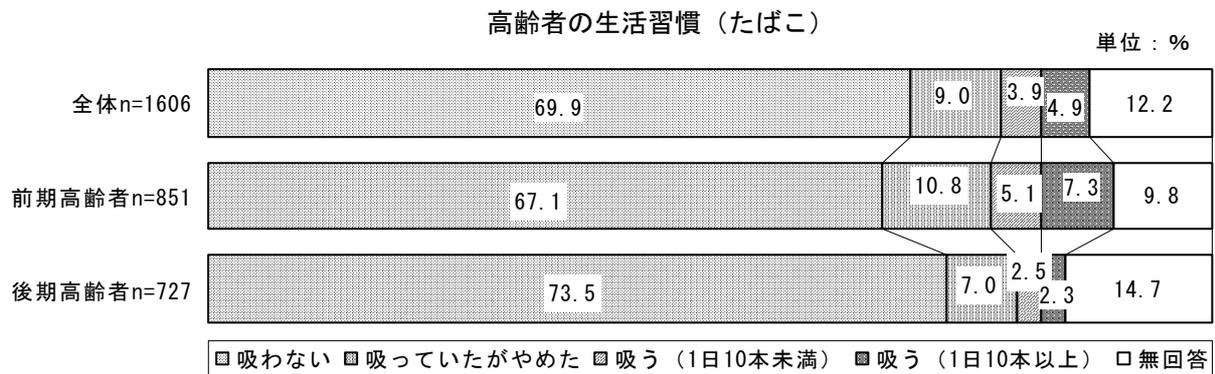
「気をつけている」1,371人が気をつけていることでは、「健康診断などの定期的な受診」が72.6%と最も多く、「休養や睡眠」が54.2%、「栄養のバランスのとれた食事」が51.4%、「規則正しい生活」が50.7%などの順となっており、これら上位4位までが半数を超える高い回答がみられます。



問17 あなたの生活習慣についておたずねします。(①～⑥のそれぞれについて、1つに○)

### ①たばこ

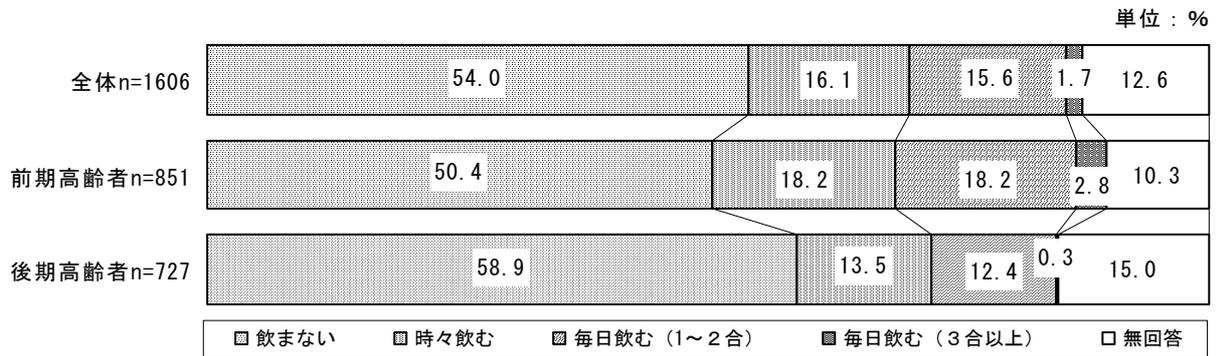
たばこは「吸わない」が69.9%、「吸っていたが止めた」が9.0%をあわせると78.9%と8割の人が吸っていないと回答しています。これに対し、「1日10本以上吸っている」人は前期高齢者で5.1%ですが、後期高齢者では2.5%に低下しています。



### ②酒・アルコール

お酒・アルコールは「飲まない」が54.0%と5割を占めています。前期高齢者では50.4%、後期高齢者が58.9%と年齢が高くなるに従って飲まない人が増えています。

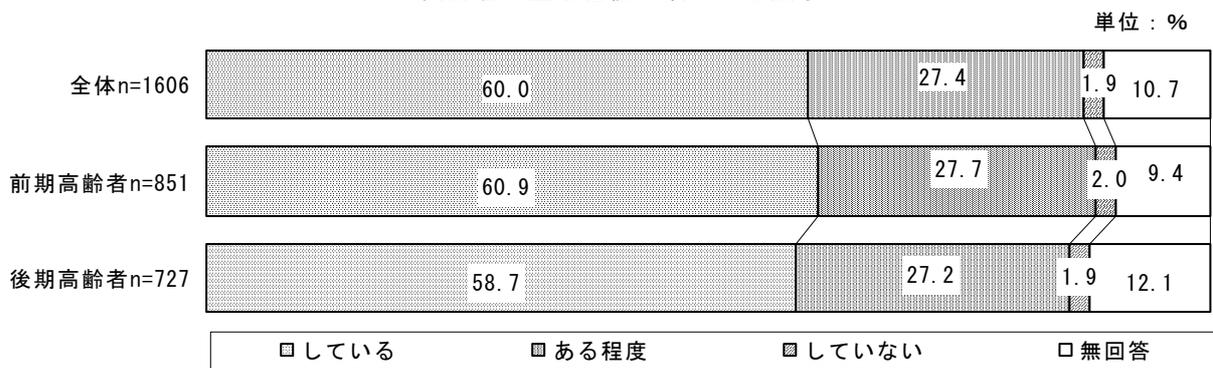
### 高齢者の生活習慣（お酒・アルコール）



### ③規則的な食事

規則的な食事を「している」人は60.0%と全体の3分の2となっています。喫煙・飲酒に比べると前期高齢者と後期高齢者の差はみられません。

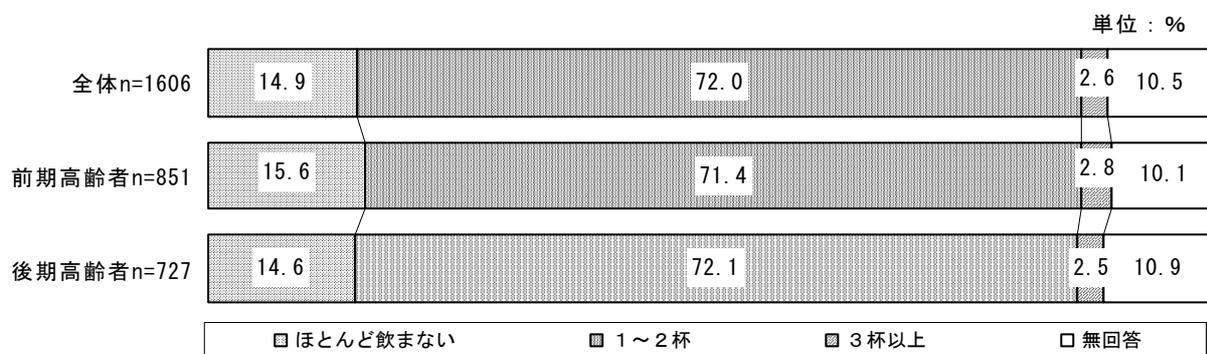
#### 高齢者の生活習慣（規則的な食事）



### ④一日の味噌汁

1日の味噌汁は「1~2杯」が最も多く72.0%、「3杯以上」が2.6%をあわせると74.6%と7割となっています。「ほとんど飲まない」人は全体で14.9%、前期高齢者が15.6%、後期高齢者が14.6%で前期高齢者がやや多くなっています。

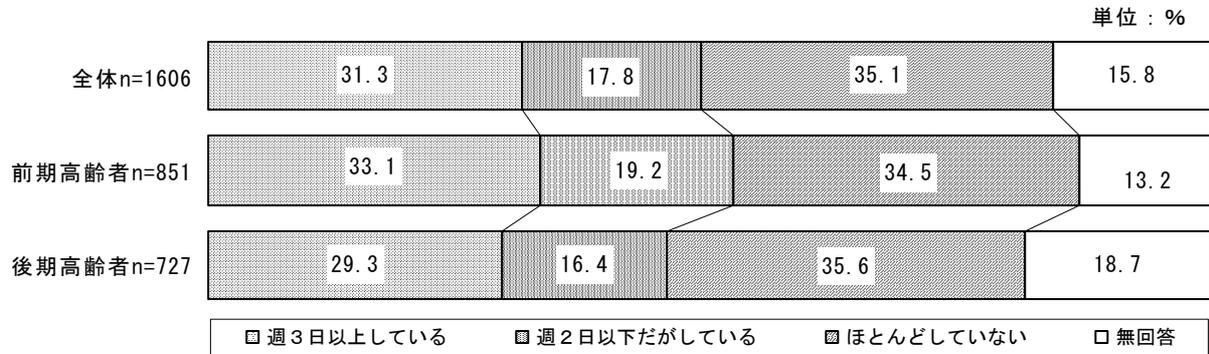
#### 高齢者の生活習慣（1日の味噌汁）



### ⑤定期的な運動

「週3日以上」運動している人は31.3%と3割を占めています。「ほとんどしていない」人は35.1%で、前期高齢者と後期高齢者の差はみられません。

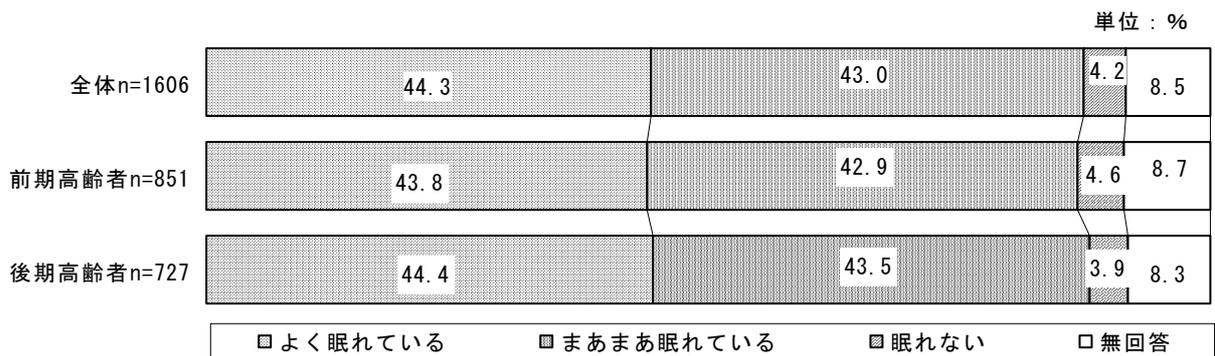
高齢者の生活習慣（定期的な運動）



### ⑥睡眠

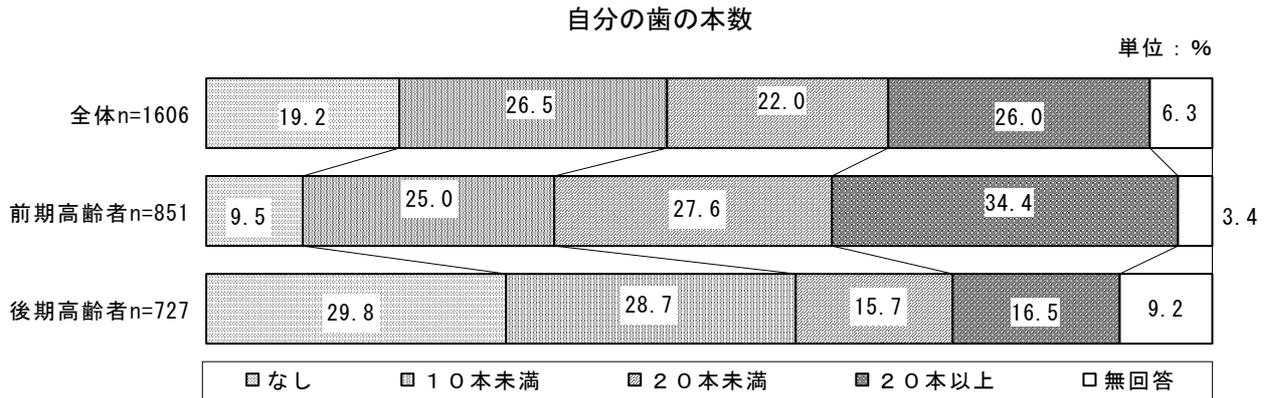
「よく眠れている」人は44.3%、「まあまあ眠れている」人は43.0%となっており、あわせると87.3%となっています。これに対し「眠れない」人は4.2%です。

高齢者の生活習慣（睡眠）



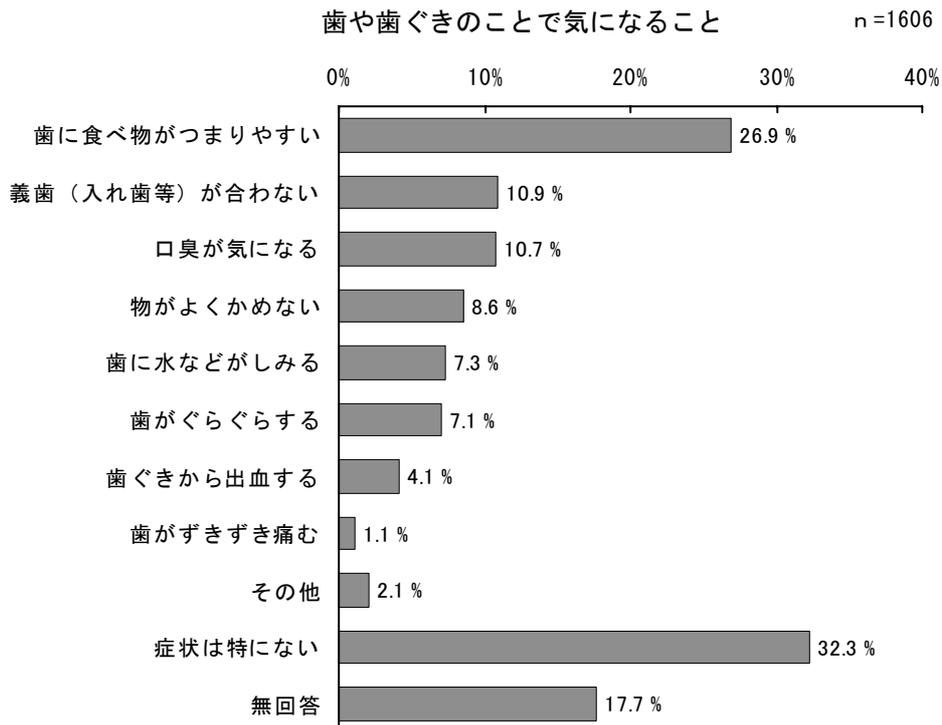
問 18 現在、自分の歯が何本ありますか。〈さし歯は含む。入れ歯は除く〉（1つに○）

自分の歯が「20本以上ある」人は、26.0%となっていますが、前期高齢者で34.4%、後期高齢者では16.5%と半数に減少しています。一方で自分の歯が「なし」という人は19.2%と20本以上ある人と大きな差はありませんが、前期高齢者で9.5%に対し、後期高齢者では29.8%と全体の3分の1となっています。



問 19 歯や歯ぐきに関することで気になる症状はありますか。（あてはまるものすべてに○）

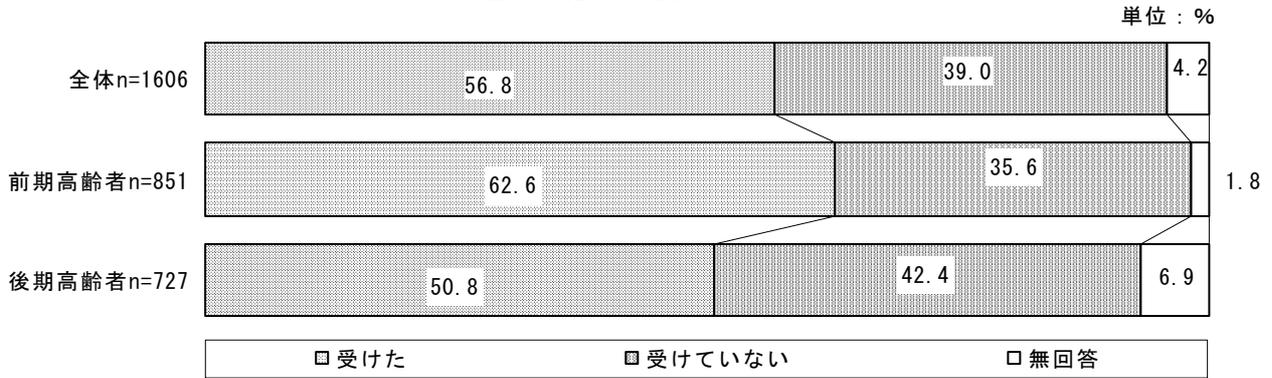
歯や歯ぐきに関することで気になることは、「歯に食べ物がつまりやすい」が26.9%で最も多く、「義歯（入れ歯等）があわない」が10.9%、「口臭が気になる」が10.7%、「物がよくかめない」が8.6%などとなっています。



問 20 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに○)

歯科医院での健診や治療は、「受けた」という人が半数の56.8%となっています。前期高齢者では62.6%、後期高齢者では50.9%と前期高齢者のほうが多くなっています。

歯科医院での健診や治療

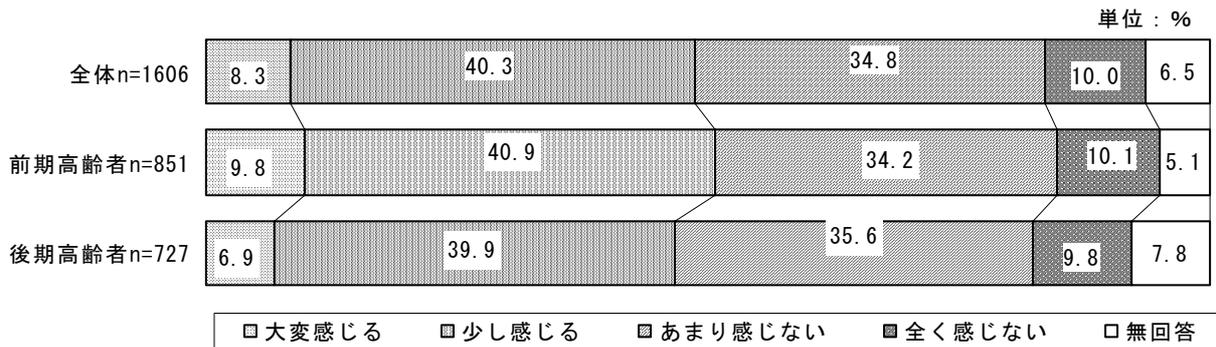


問 21 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)

問 21-1 問 21 で「1 大変感じる」「2 少し感じる」と答えた方にお聞きします。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

普段の生活でストレスを「大変感じる」人が8.3%、「少し感じる」人が40.3%であわせると48.6%とほぼ半数の人が感じていると回答しています。

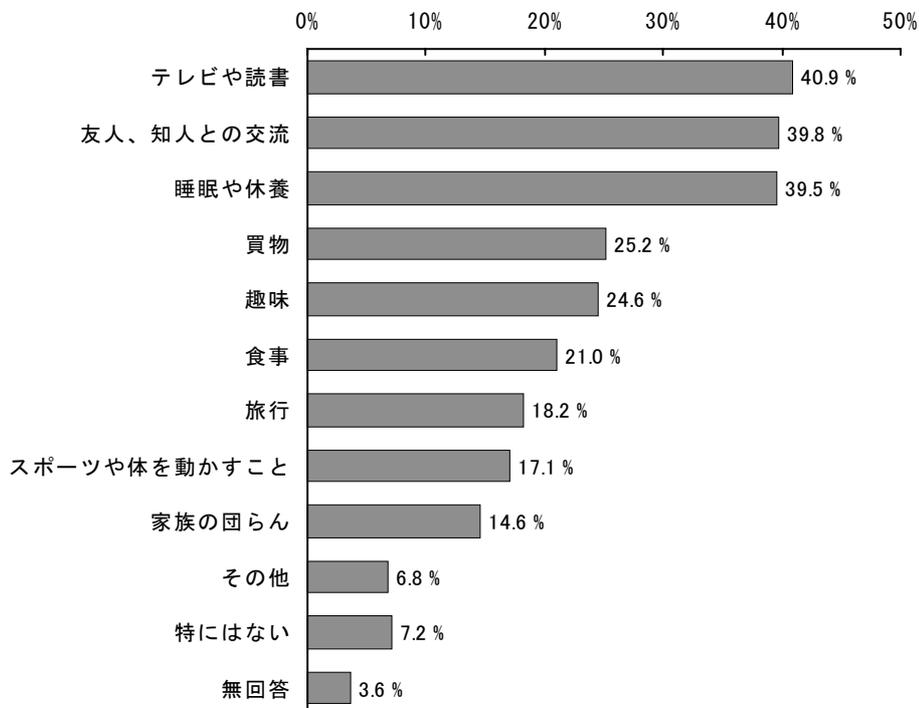
普段の生活でのストレス



普段の生活でストレスを感じている人 790 人の解消方法は「テレビや読書」が 40.9%と最も多く、「友人、知人との交流」が 39.8%、「睡眠や休養」が 39.5%で続いています。

ストレス解消のための方法

n=782



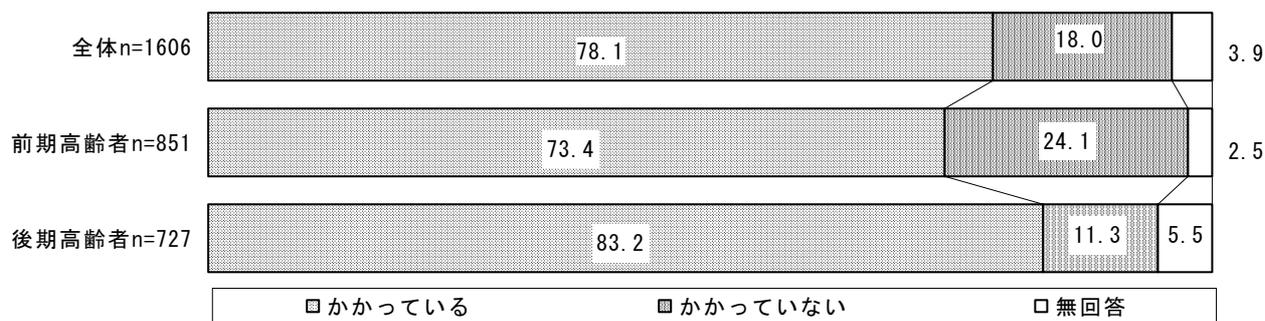
問 22 現在、病気やけがで医療機関にかかっていますか。〈往診、訪問診療を含む〉  
(1つに○)

問 22-1 問 22 で「1 かかっている」と答えた方にお聞きします。(現在、治療中の病気にすべて○をつけてください)

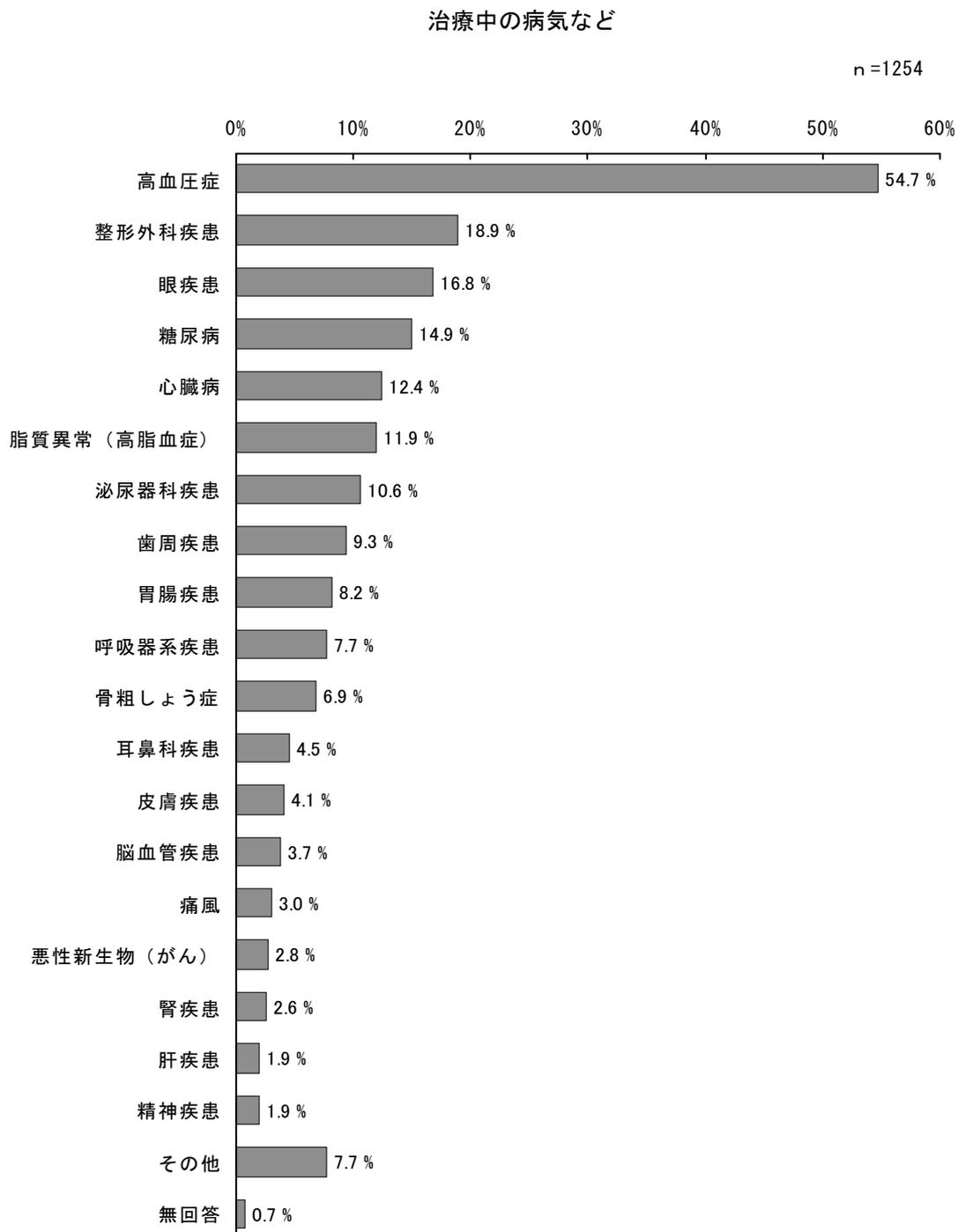
現在、病気やけがで医療機関に「かかっている」人は 78.1%と全体の 4分の3を占めています。年齢でみると、「かかっている」人は前期高齢者の 73.4%に対し、後期高齢者では 83.2%となっており、加齢により 10 ポイント増加しています。

医療機関にかかっているか

単位：%

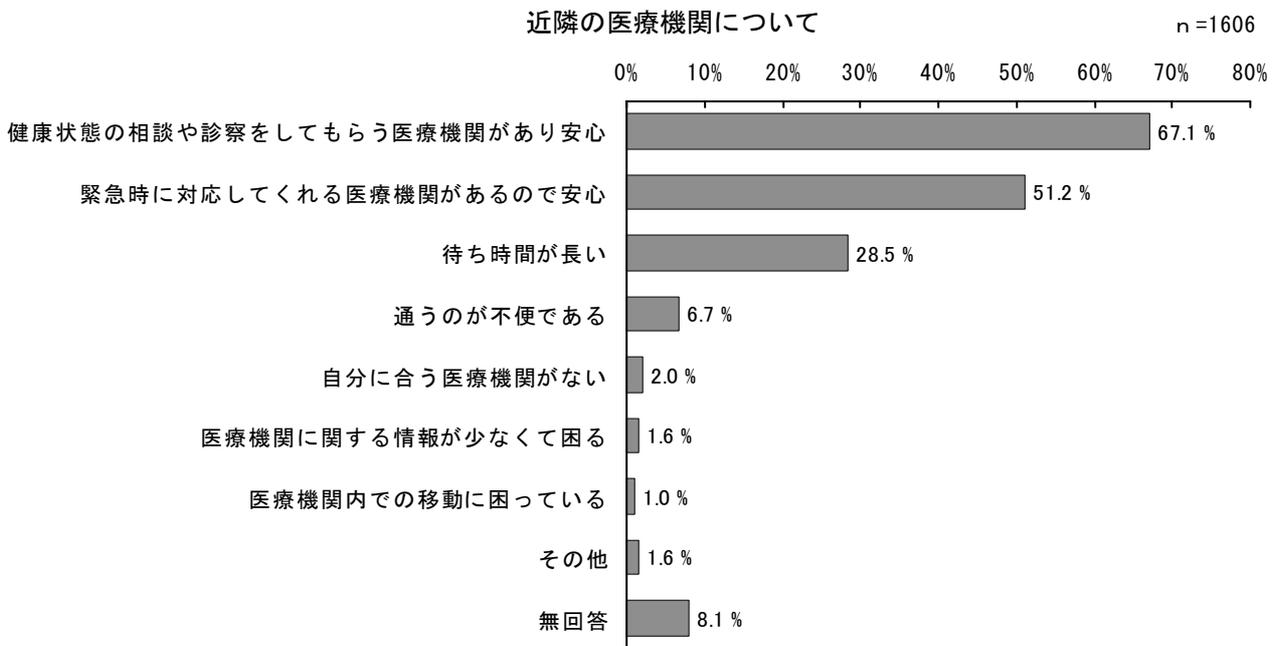


現在、病気やけがで医療機関にかかっている人 1,254 人の治療内容は「高血圧症」が 54.7% と全体の半数を占め、最も多くなっています。「整形外科疾患」が 18.9%、「眼疾患」が 16.8%、で 2 割、次いで「糖尿病」(14.9%)、「心臓病」(12.4%)、「脂質異常 (高脂血症)」(11.9%) などが続いています。



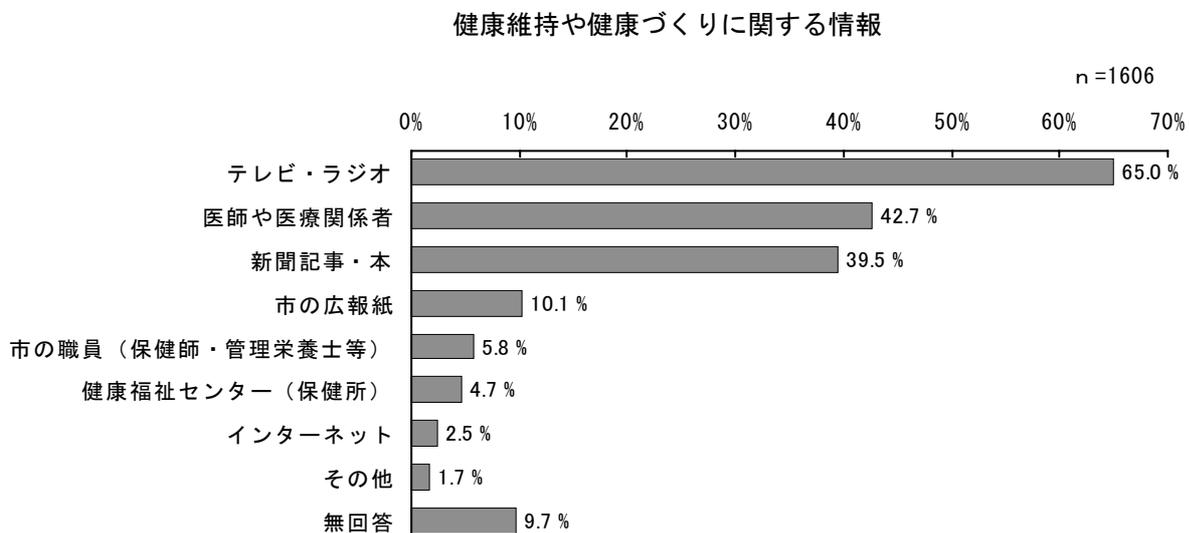
問 23 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

「健康状態の相談や診察ができる医療機関があり安心」という回答が最も多く、67.1%と7割となっています。第2位は「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が52.2%となっています。一方で「待ち時間が長い」が28.5%みられます。



問 24 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

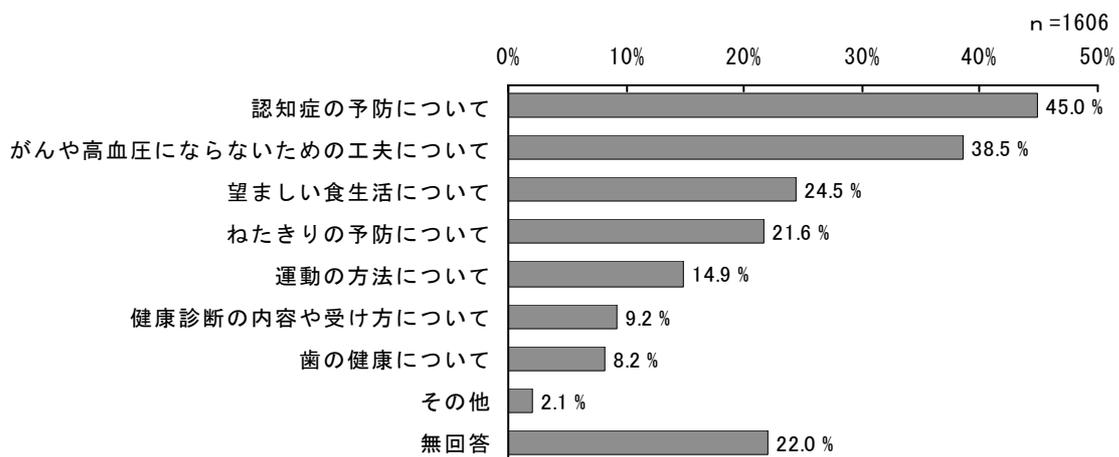
健康に関する情報は「テレビ・ラジオ」からという人が最も多く65.0%、次いで「医師や医療関係者」が42.7%、「新聞記事・本」が39.5%となっています。



問 25 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

健康について主に知りたいことでは「認知症（痴呆）の予防について」が 45.0%、「がんや高血圧にならないための工夫について」が 38.5%で最も多くなっています。また、「望ましい食生活について」が 24.5%、「ねたきりの予防について」が 21.6%です。

健康について主に知りたいこと

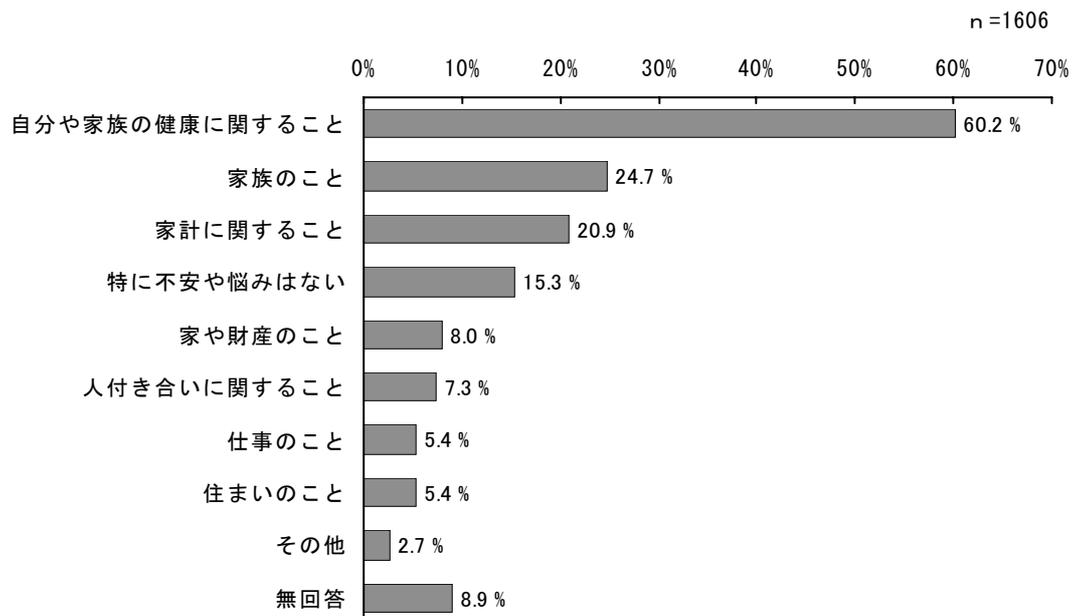


問 26 老後の生活でどのようなことが不安ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

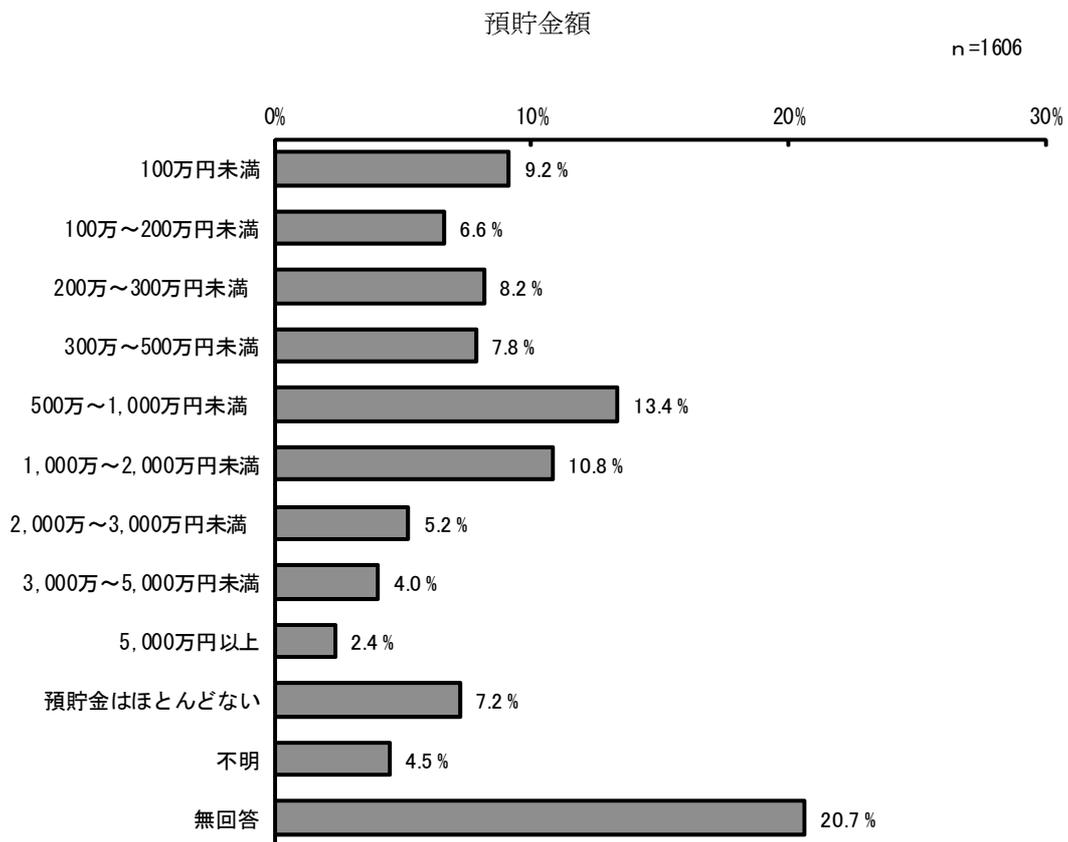
「自分や家族の健康に関すること」が 60.2%で最も多く、6割となっています。「家族のこと」が 24.7%、「家計に関すること」が 20.9%となっています。

老後の生活で不安なこと



問 27 生活の蓄えとしていくらかの預貯金額（銀行・郵便局などの口座の預貯金や手元で管理されている現金などを合わせた額）がありますか。（1つに○）

預貯金額では「500～1,000万未満」が13.4%、「1,000～2,000万未満」が10.8%、「預貯金はほとんどない」は7.2%となっています。



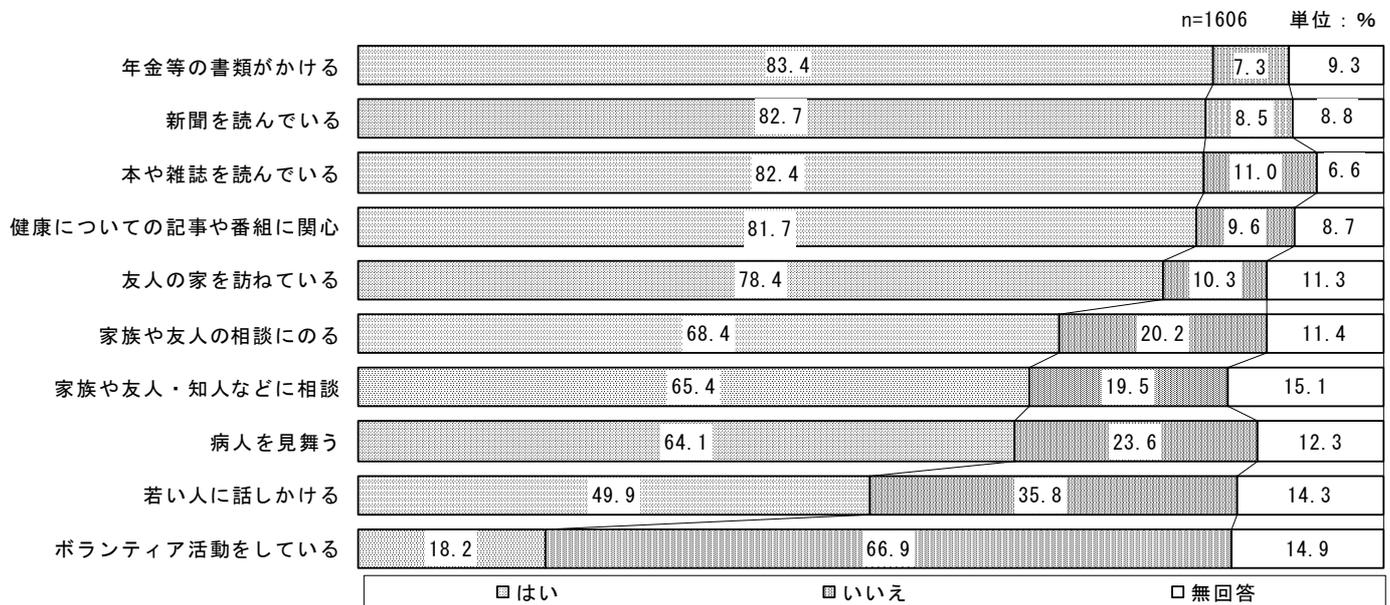
## 5 高齢者の社会参加

問 28 社会参加について、おたずねします。①から⑩までの各問についてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

最も多いのは「年金などの書類がかかる」が83.4%、次いで「新聞を読んでいる」が82.7%、「本や雑誌を読んでいる」が82.4%、「健康についての記事や番組に関心」が81.7%となっており、これらが8割を超える高い回答がみられます。

逆に低いのは「ボランティア活動をしている」が18.2%と他の選択肢より大幅に低くなっており、「若い人に話しかける」が49.9%、「病人を見舞う」が64.1%、「家族や友人・知人などに相談」が65.4%、「家族や友人の相談にのる」が68.4%となっています。

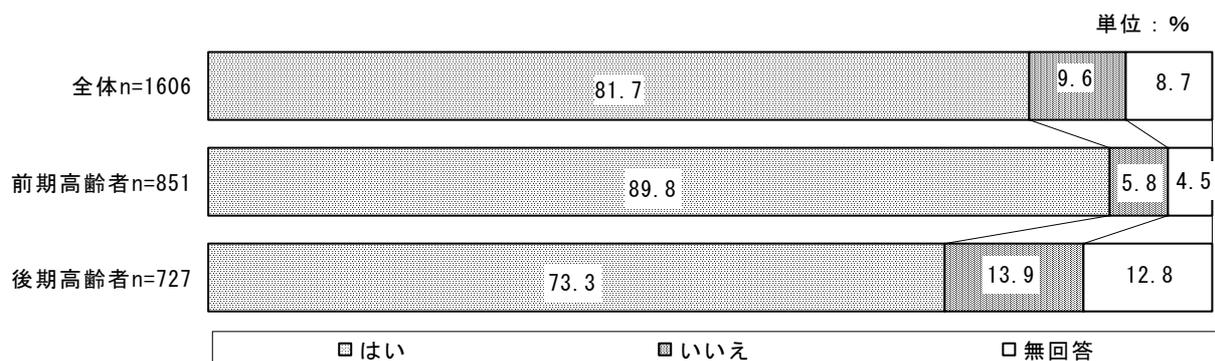
高齢者の社会参加



### ①年金などの書類が書けますか

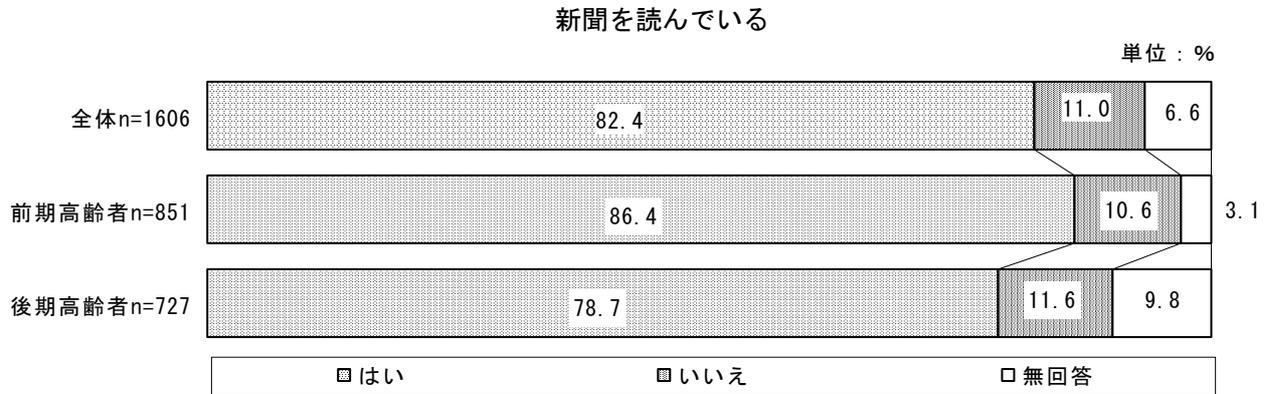
「はい」が81.7%となっており、前期高齢者で89.8%、後期高齢者では73.3%となっています。

年金などの書類が書ける



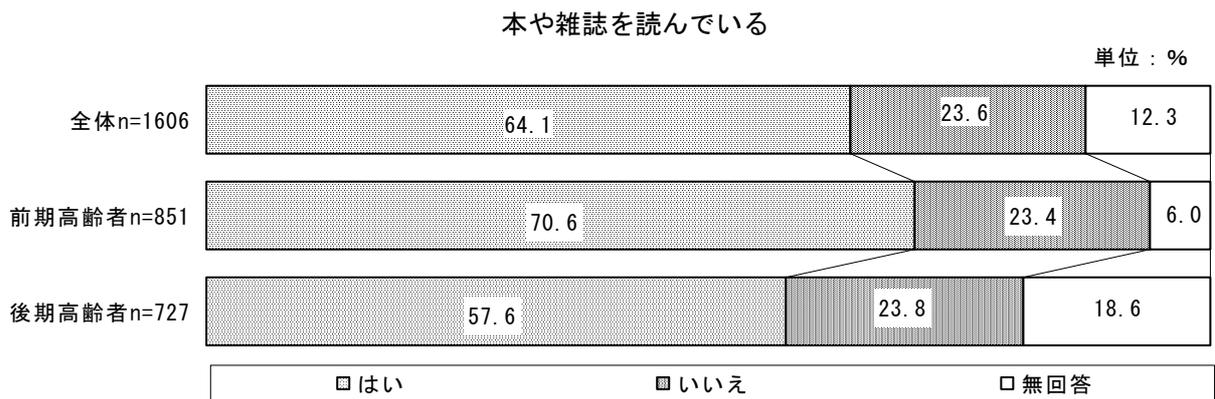
②新聞を読んでいますか

「はい」が82.4%となっており、前期高齢者で86.4%、後期高齢者で78.7%となっています。



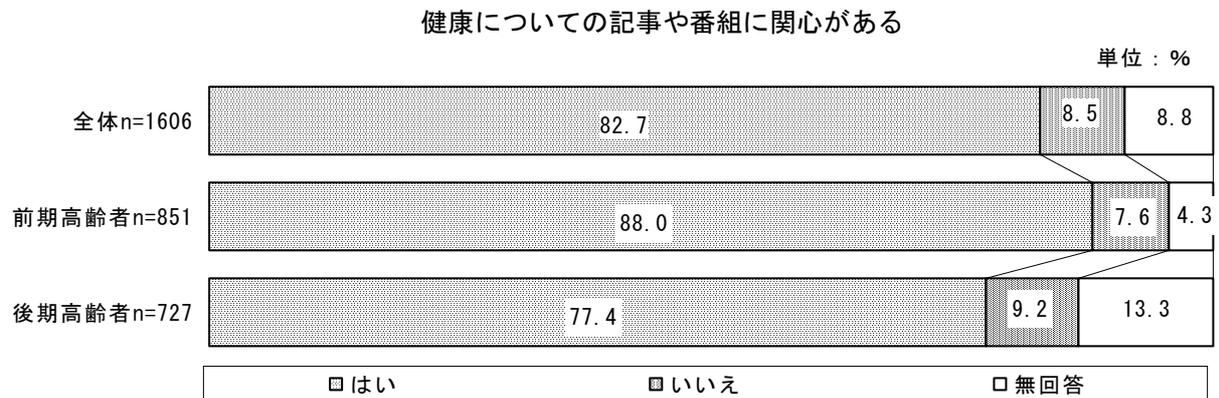
③本や雑誌を読んでいますか

「はい」が64.1%となっており、前期高齢者で70.6%、後期高齢者で57.6%と差が大きくなっています。



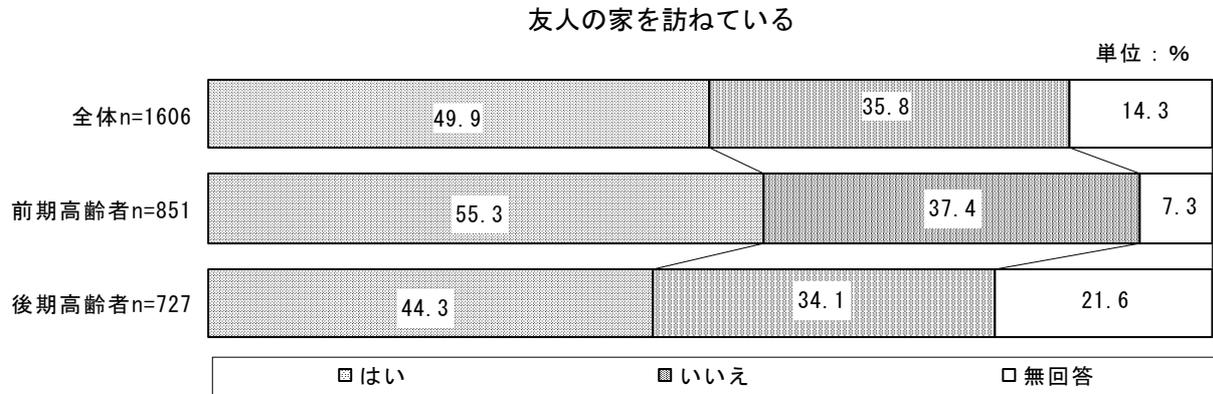
④健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」が82.7%となっており、前期高齢者で88.0%、後期高齢者で77.4%となっています。



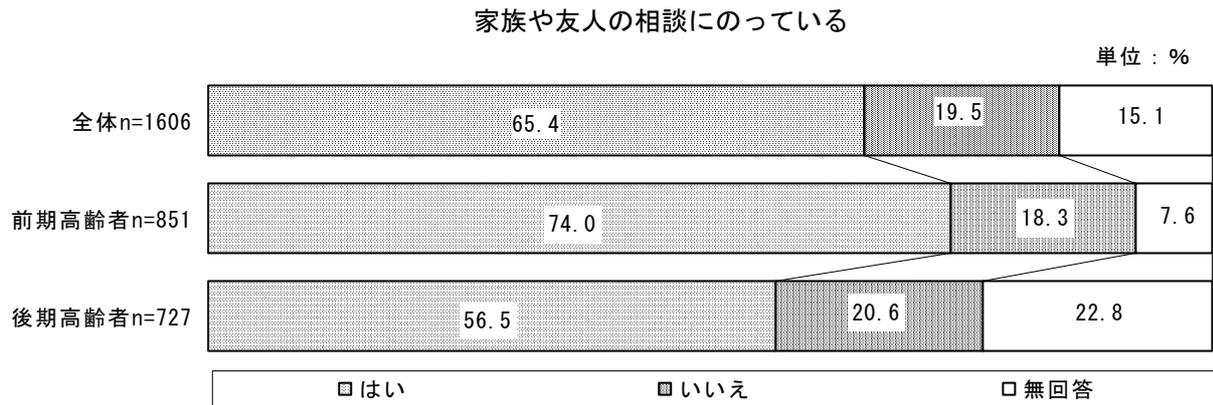
⑤友人の家を訪ねていますか

「はい」が49.9%となっており、前期高齢者で55.3%、後期高齢者で44.3%となっています。



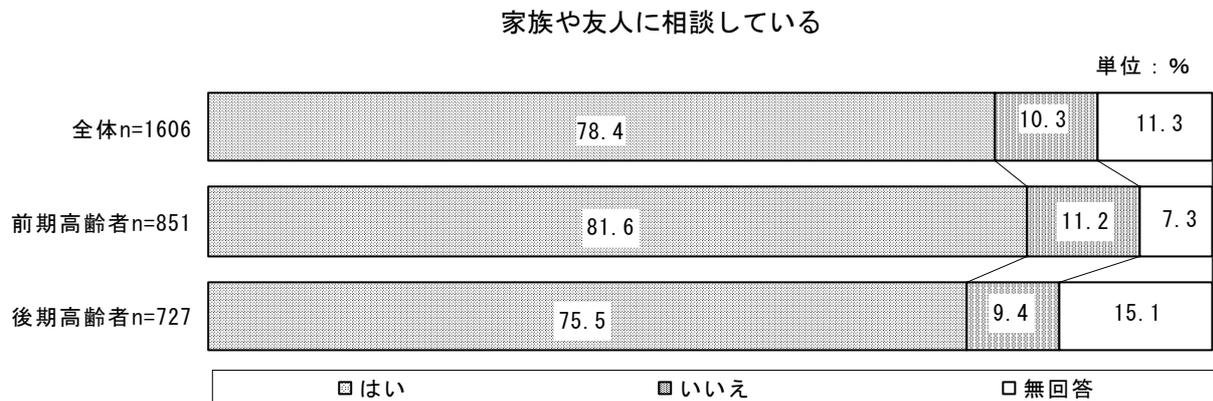
⑥家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が65.4%となっており、前期高齢者で74.0%と7割を占めていますが、後期高齢者で56.5%と大きく減少しています。



⑦何かあったときに、家族や友人・知人に相談をしていますか

「はい」が78.4%となっており、前期高齢者で81.6%ですが、後期高齢者では75.5%です。

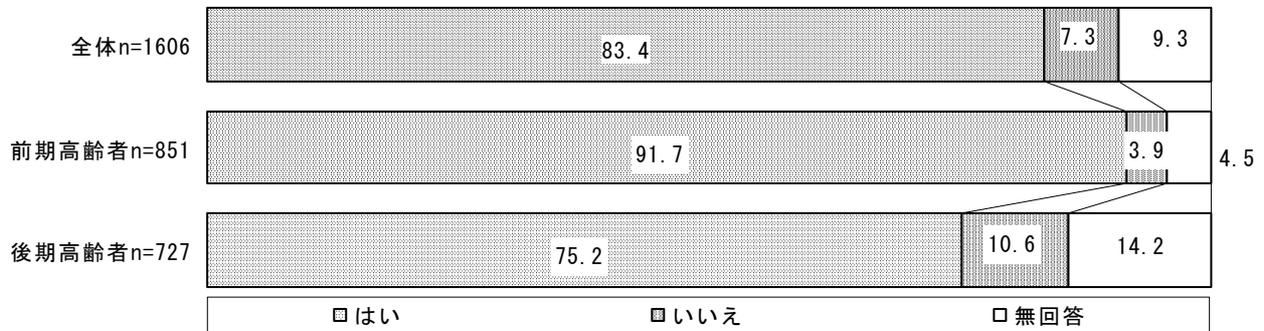


⑧病人を見舞うことができますか

「はい」が83.4%となっており、前期高齢者で91.7%ですが、後期高齢者では75.2%で16ポイントの大きな差がみられます。

病人を見舞うことができる

単位：%

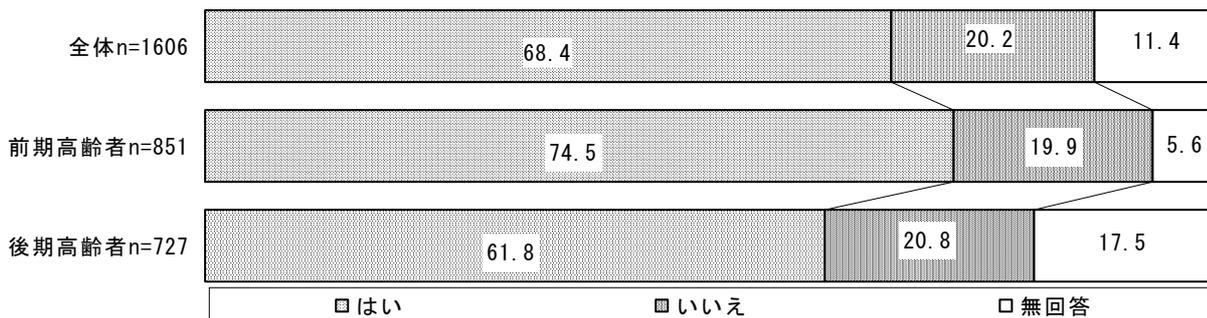


⑨若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」が68.4%となっており、前期高齢者で74.5%ですが、後期高齢者では61.8%と6割まで低下しています。

若い人に話しかける

単位：%

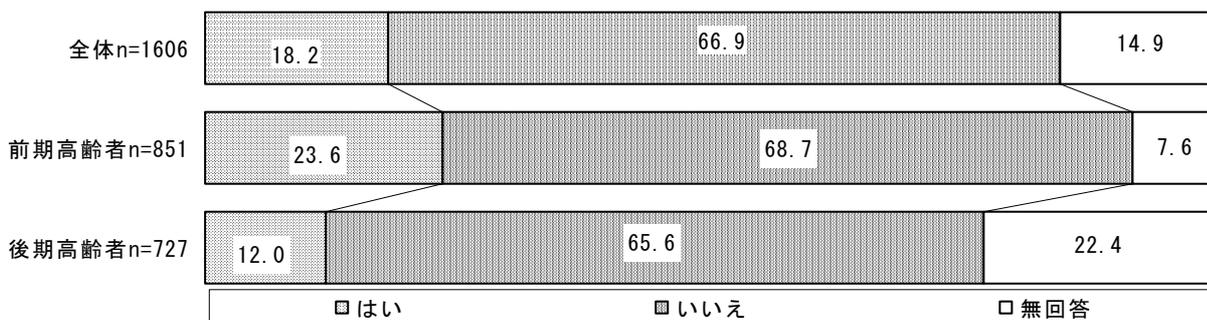


⑩ボランティア活動をしていますか

「はい」が18.2%となっており、前期高齢者で23.6%、後期高齢者では12.0%にとどまっています。

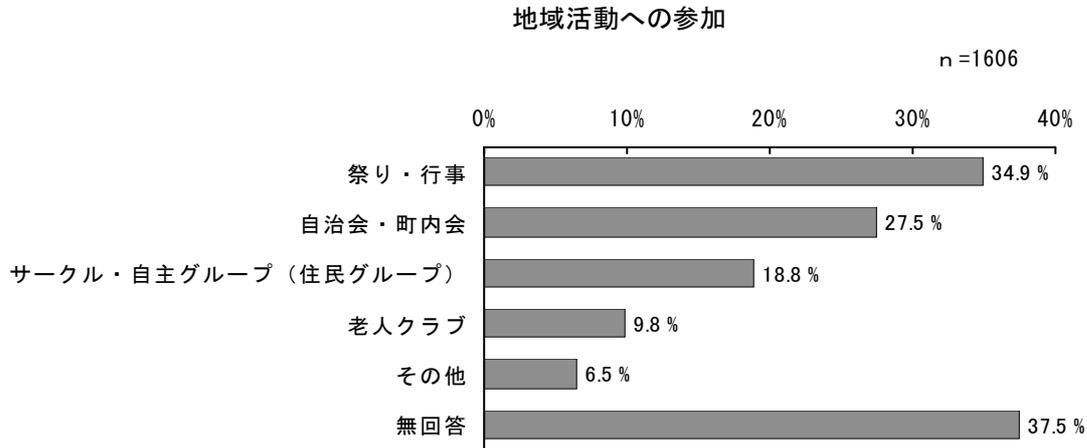
ボランティア活動をしている

単位：%



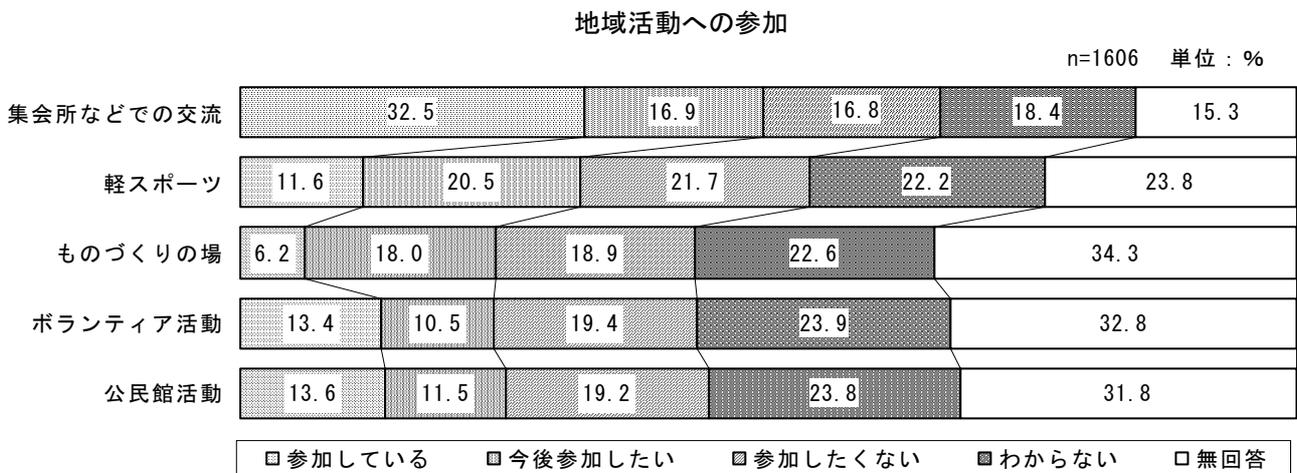
問 29 どのような地域活動に参加していますか。(あてはまる番号すべてに○)

参加している地域活動では「祭り・行事」が34.9%と3割となって最も多くなっています。「自治会・町内会」が27.5%、「サークル・自主グループ(住民グループ)」が18.8%であり、「老人クラブ」は9.8%です。



問 30 以下のような地域活動に参加していますか。(それぞれ「参加している」「今後参加したい」「参加したくない」「わからない」から1つ選んで番号に○をつけてください)

現在、参加している活動では、「集会所などでの交流」が最も多く32.5%となっています。今後参加したい16.9%を加えると半数に近い人の参加希望がみられます。今後参加したいという希望が多いのは、軽スポーツやものづくりの場などで両者とも参加している人は2割となっています。これとは逆に公民館活動は参加者に比べ、今後参加したい人は11.5%と少数です。

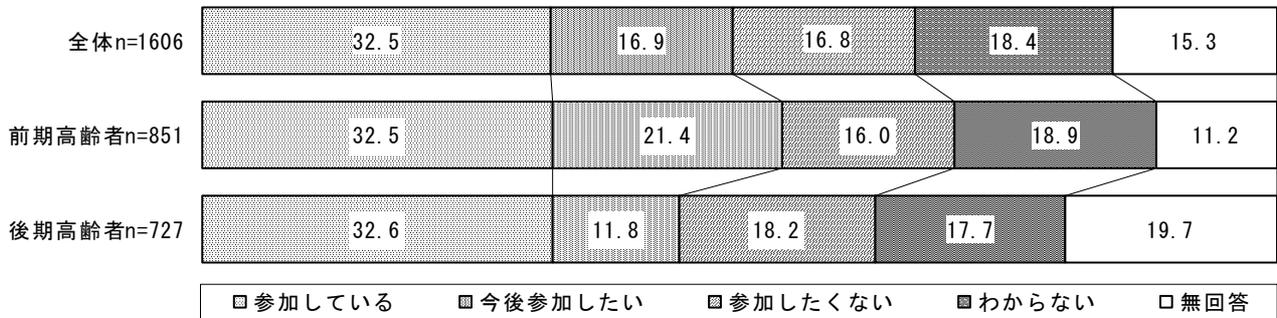


### ①集会所などでの交流

参加している人は前期高齢者と後期高齢者との間で差はみられませんが、今後参加したい人は、前期高齢者の21.4%に対し後期高齢者では11.8%と少なくなっています。

集会所などでの交流

単位：%

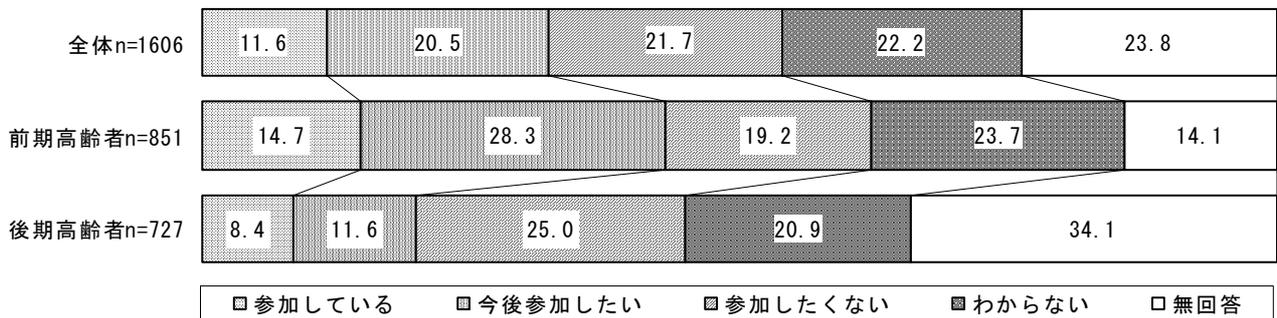


### ②軽スポーツ

参加している人は前期高齢者の14.7%に対し、後期高齢者では8.4%にとどまっています。加えて、今後参加したい人も前期高齢者の28.3%に対し、後期高齢者は11.6%と半数以下に低下しています。

軽スポーツ

単位：%

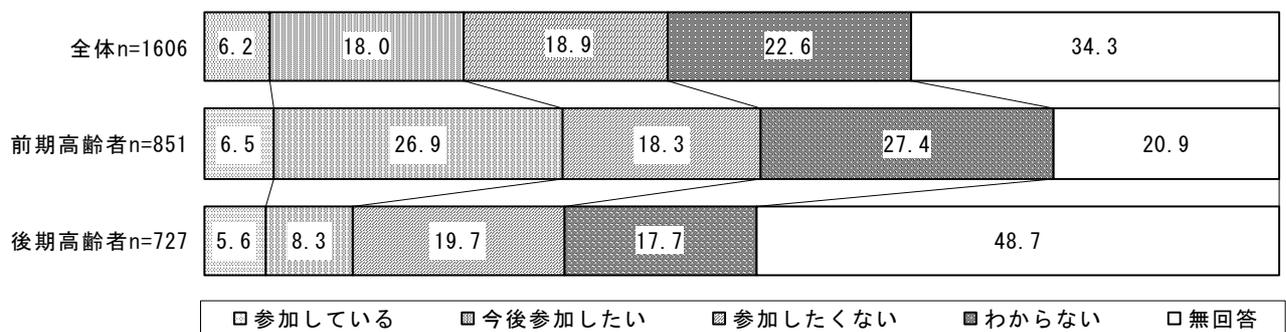


### ③ものづくりの場

参加している人は前期高齢者が6.5%、後期高齢者が5.6%ですが、今後参加したい人では、前期高齢者が26.9%であるのに対し、後期高齢者では8.3%となっています。

ものづくりの場

単位：%

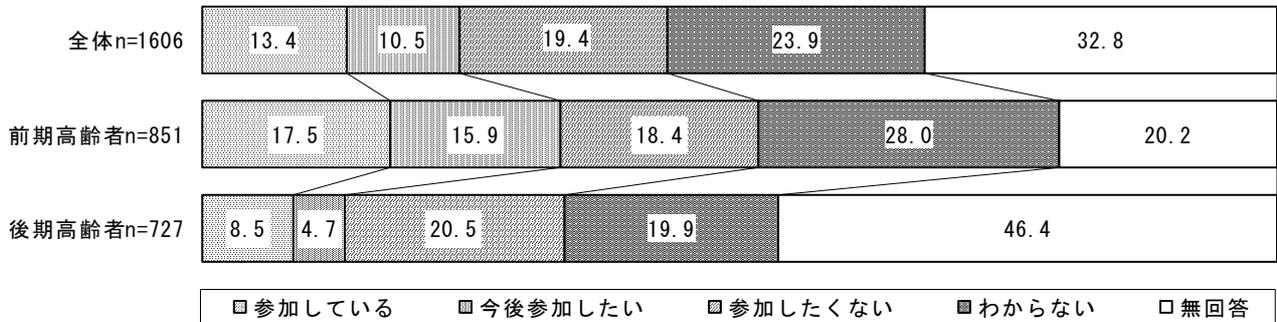


#### ④ボランティア活動

参加している人は前期高齢者で 17.5%、後期高齢者で 8.5%となっており、軽スポーツ同様に前期高齢者が多くなっています。また、今後参加したい人でも、前期高齢者の 15.9%に対し、後期高齢者では 4.7%と少数です。

ボランティア活動

単位：%

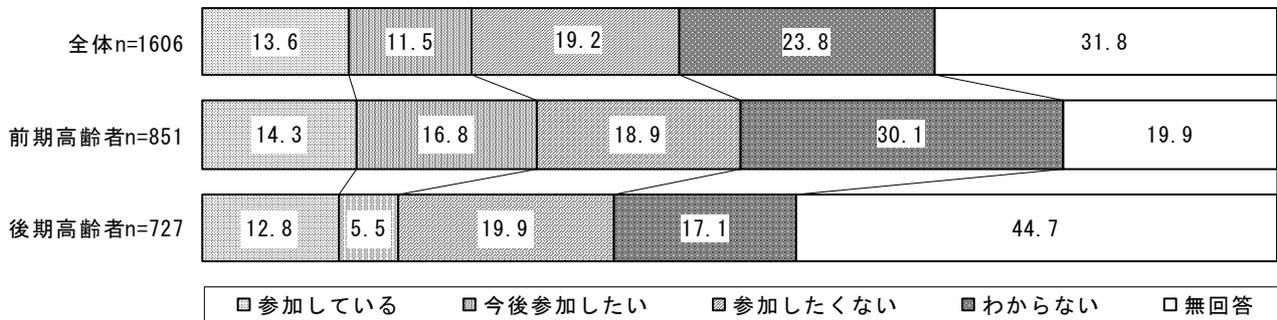


#### ⑤公民館活動

参加している人は前期高齢者で 16.8%、後期高齢者で 12.8%となっており、大きな差はみられません。今後参加したい人では、前期高齢者の 16.8%に対し、後期高齢者では 5.5%と少数となっています。

公民館活動

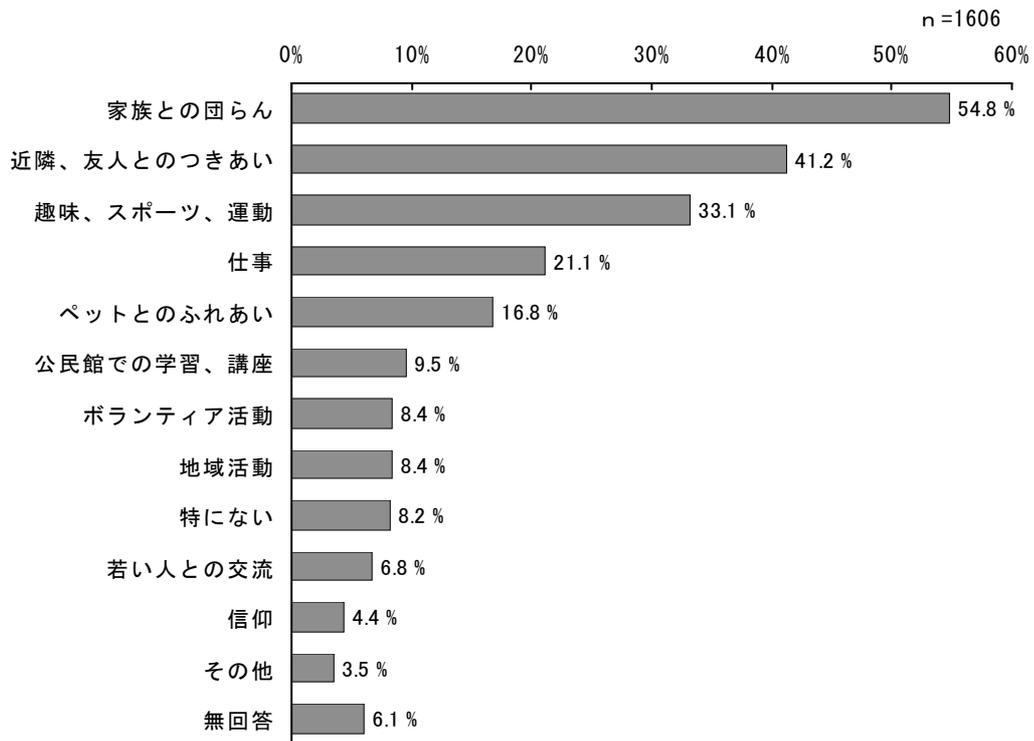
単位：%



問 31 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「家族との団らん」が 54.8%、「近隣、友人とのつきあい」が 41.2%となっており、この2つの選択肢が最も多くなっています。第3位は「趣味、スポーツ、運動」で 33.1%、「仕事」が 21.1%、「ペットとのふれあい」も 16.8%となっています。

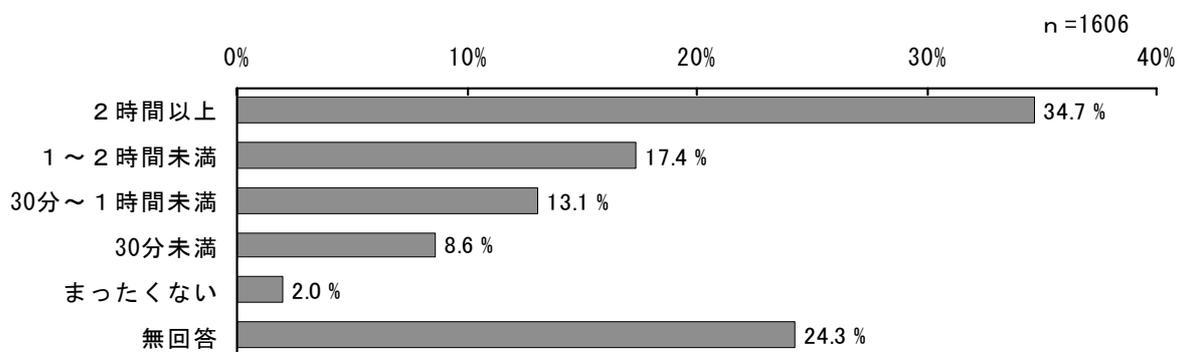
現在の心の支えや楽しみ



問 32 平日の家族等との団らんの時間がどれくらいありますか。(1つに○)

「2時間以上」が 34.7%、「1～2時間未満」が 17.4%となつてとなっています。

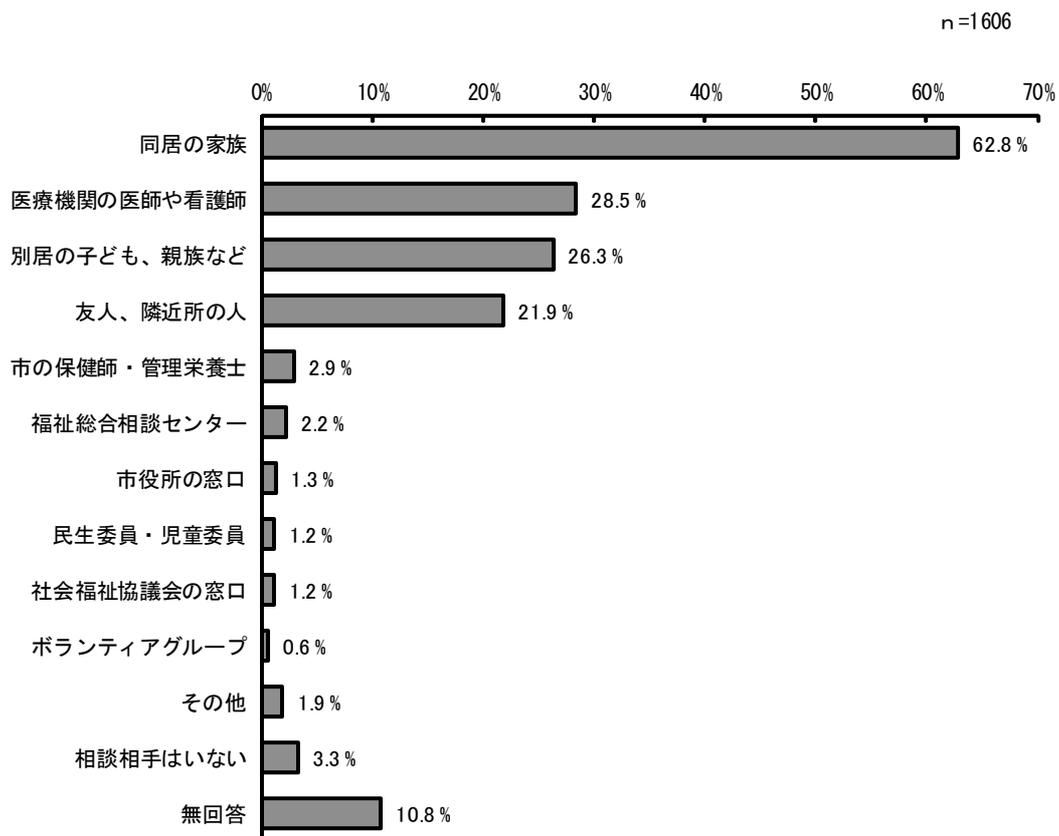
平日の団らんの時間



問 33 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みを誰（どこ）に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）

「同居の家族」が62.8%と6割を占め最も多くなっています。次のグループは「医療機関の医師や看護師」が28.5%、「別居の子ども、親族など」が26.3%、「友人、隣近所の人」が21.9%で20%台となっています。「社会福祉協議会の窓口」や「福祉総合相談センター」などは少数です。また、「相談相手はいない」は3.3%とわずかです。

健康や福祉についての不安の相談

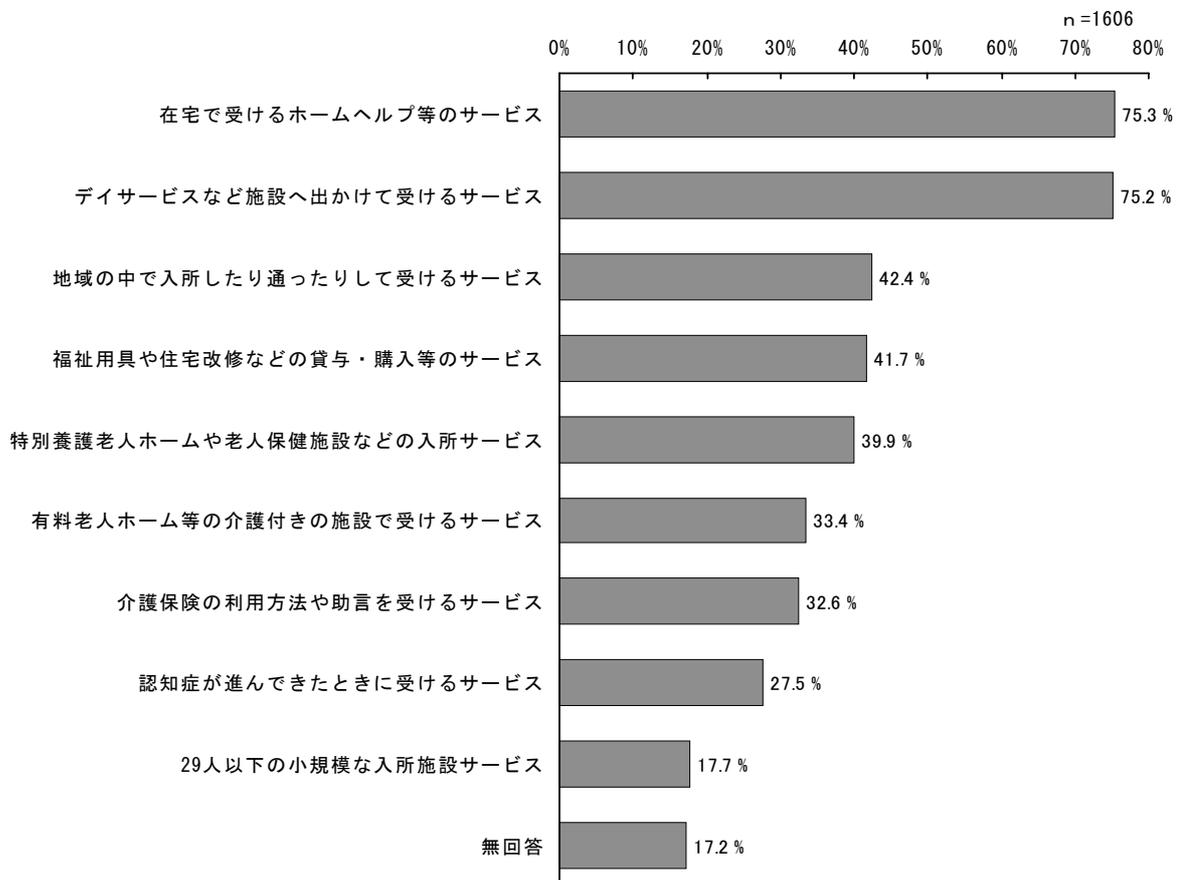


## 6 介護保険事業について

問 34 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていますか。  
(知っているものの番号すべてに○をつけてください)

「在宅で受けるホームヘルプ等のサービス」(75.3%)と「デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス」(75.2%)で7割を超え、実際の利用の多いサービスが最も多くなっています。下位は「認知症が進んできたときに受けるサービス」(27.5%)や「29人以下の小規模な入所施設サービス」(17.7%)など地域密着型サービスとなっており、サービス供給や利用の少ないものがあげられています。

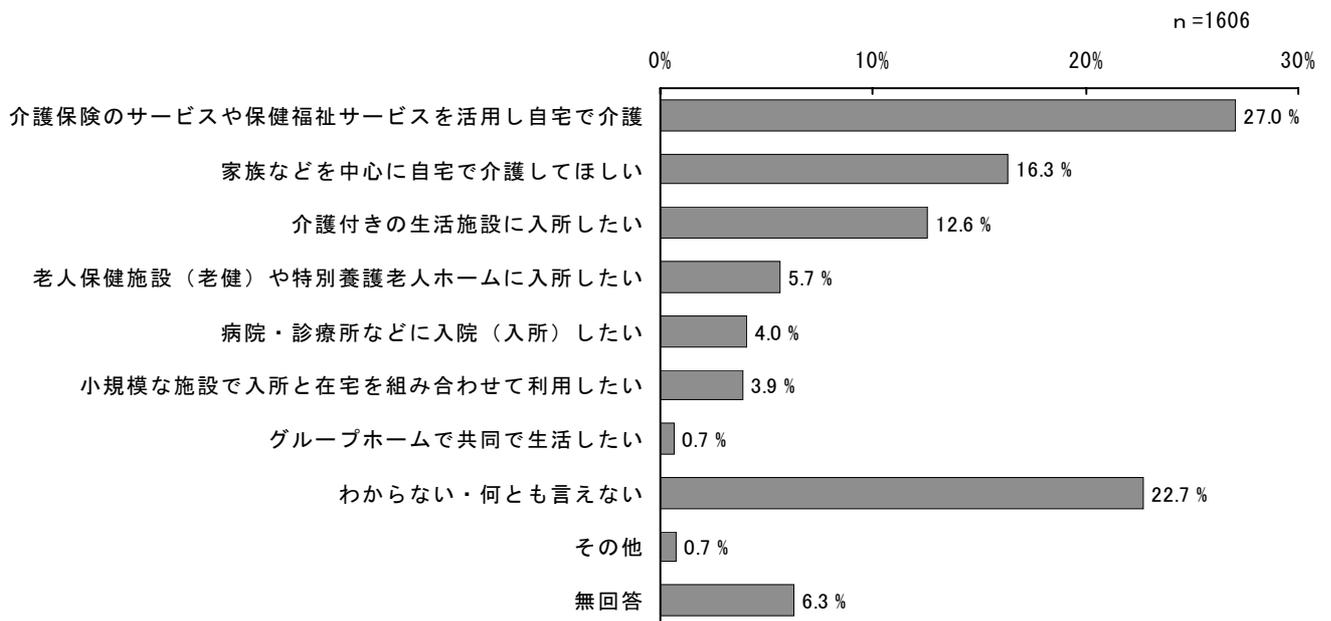
知っている介護保険サービス



問 35 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

「介護保険や保健福祉サービスを活用し自宅で介護」が最も多く 27.0%、「家族などを中心に自宅で介護してほしい」が第2位で 16.3%となっており、居宅を希望する人が半数となっています。施設等では「介護付きの生活施設」が最も多く 12.6%、「老人保健施設や特別養護老人ホーム」が 5.7%、「病院・診療所など」が 4.0%となっており、新しい「小規模施設」は知名度も低いためか少数です。

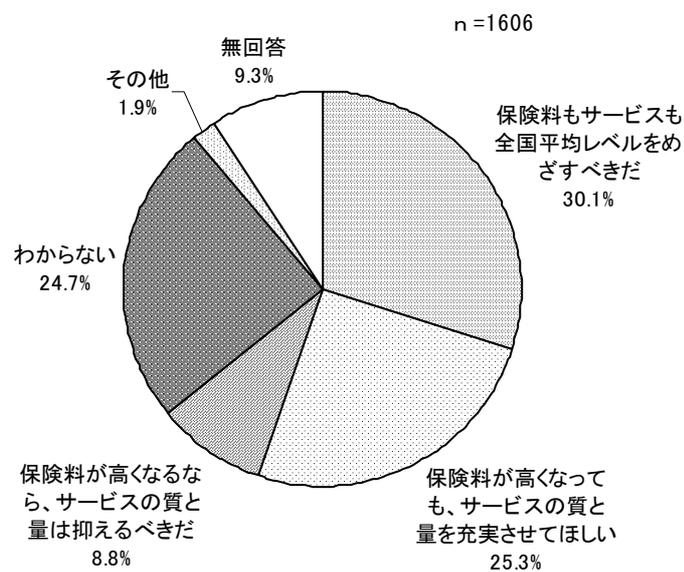
自分の介護が必要となった場合



問 36 今後、平成 27 年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

介護保険料については、「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が 30.1% となっており、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実してほしい」が 25.3% となっています。全体としては拡充を求める意見が中心です。これに対し「保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ」という意見は 8.8% です。

高齢者の介護保険料の改定



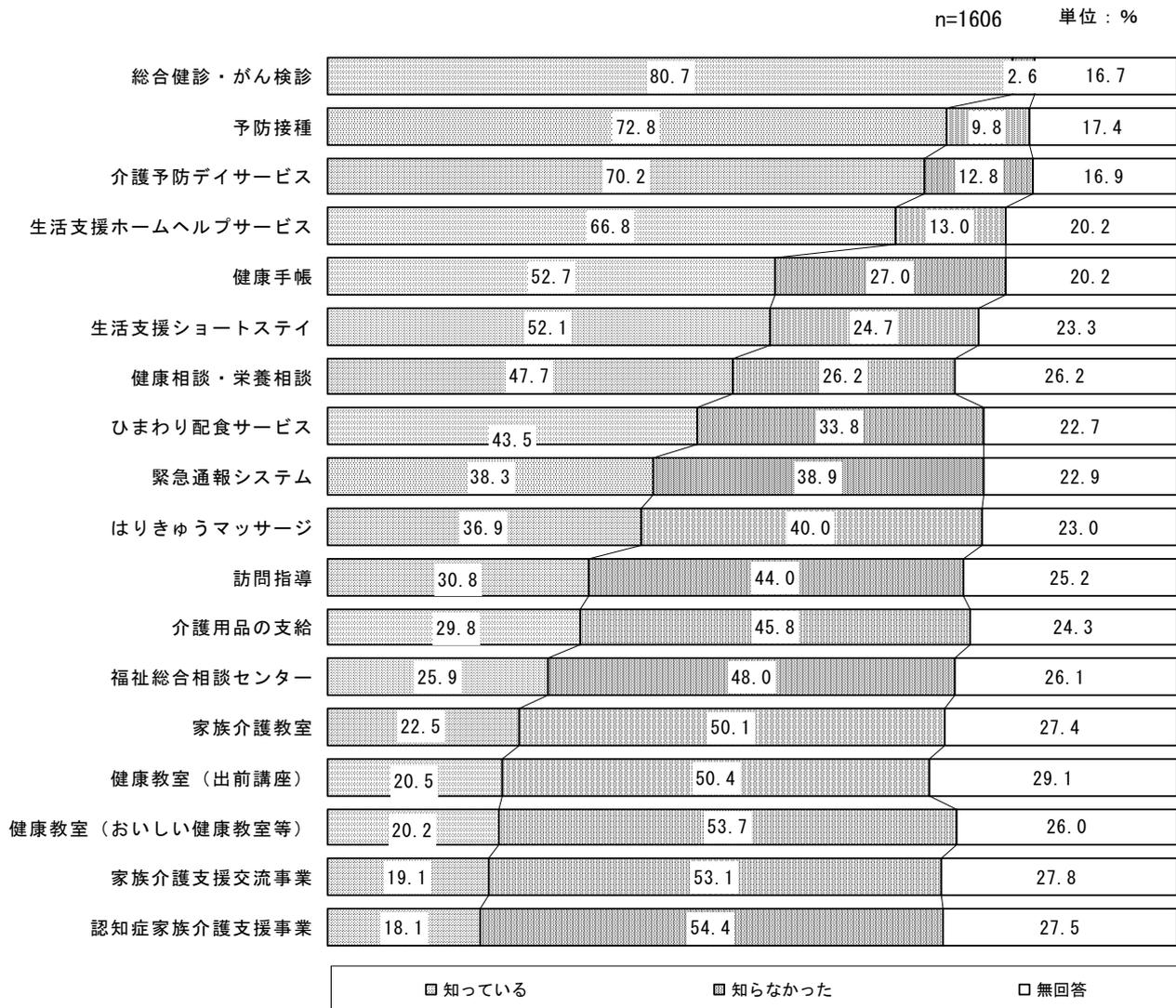
## 7 今後の高齢者施策について

問 37 次に上げる保健福祉サービスについて、ご存知かどうか、また利用の状況や意向をお聞きします。（「知っていますか」の 1. 2、「利用状況・意向」の 1. 2. 3. 4の該当する番号に1つずつ○をつけてください）

グラフは、知っていると回答した人が多いサービスから順に並べています。最も多いのは「総合健診・がん検診」で80.7%、次いで「予防接種」が72.8%、「介護予防デイサービス」などが70.2%で続いています。

また、「ひまわり配食サービス」は43.5%、「緊急通報システム」は38.3%、「訪問指導」は30.8%などとなっています。下位は「家族介護支援交流事業」（19.1%）「認知症家族介護支援事業」（18.1%）などとなっています。

知っている保健福祉サービス

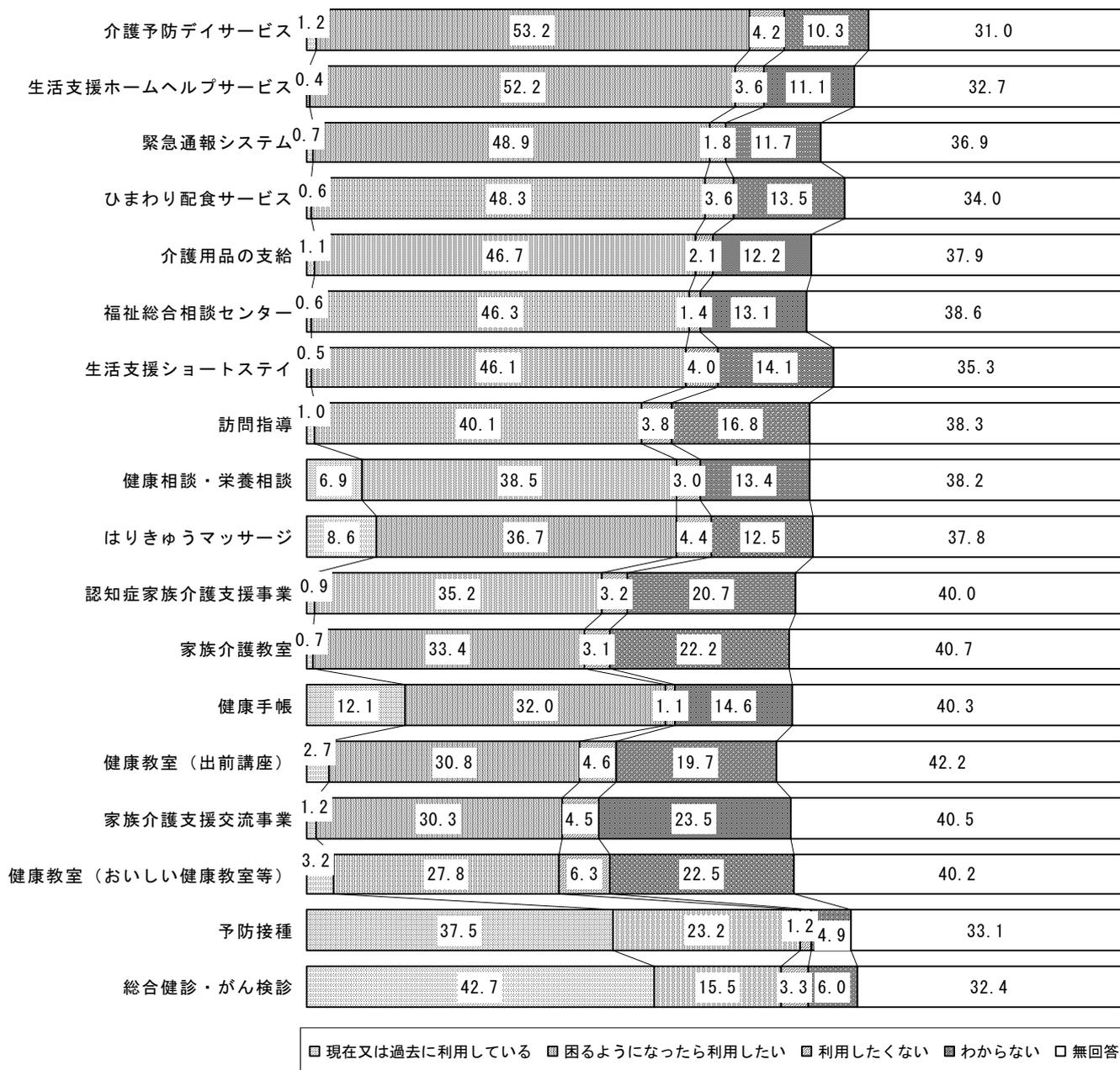


グラフは、困ることがあったら利用したいと回答した人が多いサービスから順に並べています。上位は、知っているサービスで3位、4位であった「介護予防デイサービス」(53.2%)と「生活支援ホームヘルプサービス」(52.2%)があげられています。「緊急通報システム」「福祉総合相談センター」「介護用品の支給」「ひまわり配食サービス」「生活支援ショートステイ」「訪問指導」などが40%台で続き高い回答となっています。

一方、利用したくないという人は各サービスとも10%を超えるものはなく、サービスに対する理解は高いとみられます。

### 今後利用したい保健福祉サービス

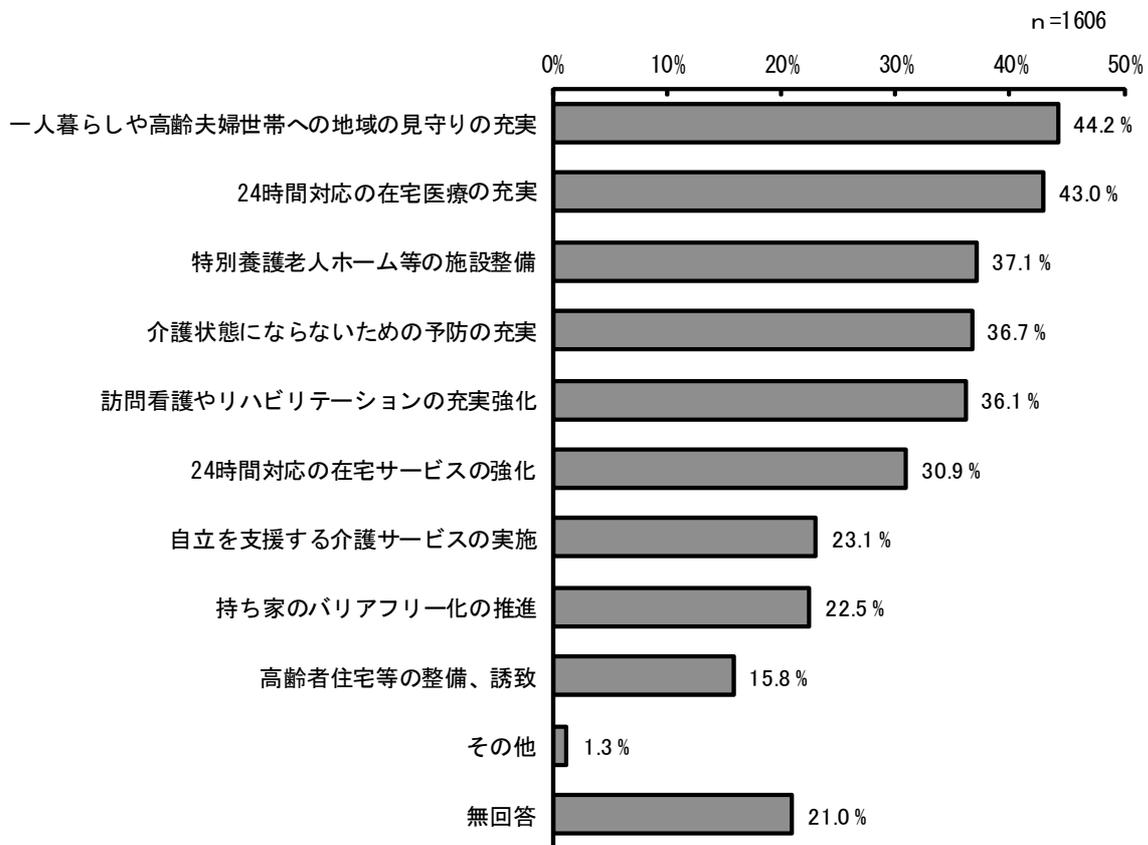
n=1606 単位：%



問 38 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心とする予定です。鴨川市として、次にあげる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。（あてはまる番号すべてに○）

第6期における主要な施策としてあげられたものでは「一人暮らしや高齢夫婦世帯等への地域の見守りの充実」が44.2%、「24時間対応の在宅医療の充実」が43.0%でこの2つの項目が4割を超えています。次が「特別養護老人ホーム等の施設整備」(37.1%)、「介護状態にならないための予防の充実」(36.7%)、「訪問看護やリハビリテーションの充実強化」(36.1%)、「24時間対応の在宅サービスの強化」(30.9%)が30%台となっています。

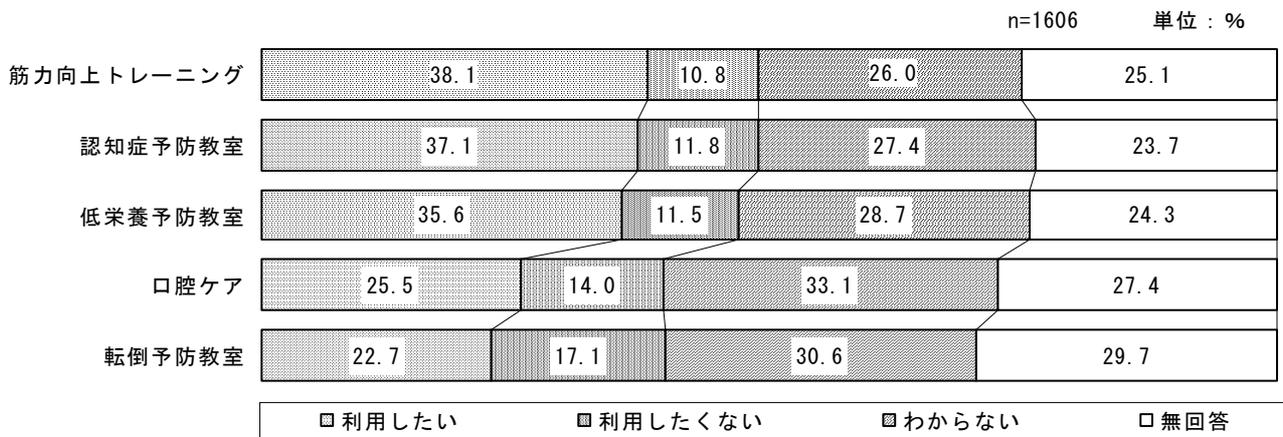
高齢者の今後の日常生活圏域におけるケアシステム



問 39 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスについて、利用したいと思いませんか。（それぞれ「利用したい」「利用したくない」「わからない」から選んで1つに○をつけてください）

介護予防について、最も「利用したい」という希望が高かったのは筋力向上トレーニングが 38.1%、認知症予防教室が 37.1%、低栄養予防教室が 35.6%などとなっています。各サービスとも「利用したくない」は 20%以下で「利用したい」という回答のほうが多い結果となっています。

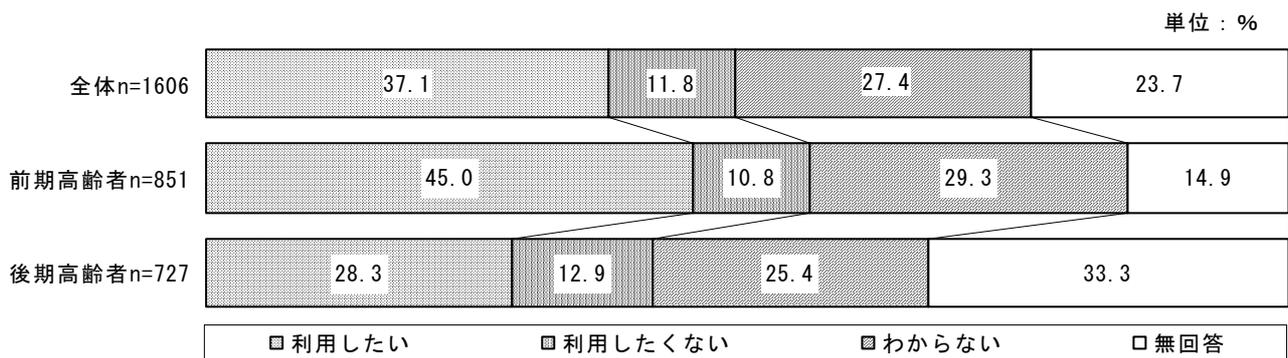
介護予防のためのサービス



①筋力向上トレーニング

「利用したい」人は前期高齢者で 45.0%、後期高齢者は 28.3%となっており、17 ポイントの差がみられます。

筋力向上トレーニング

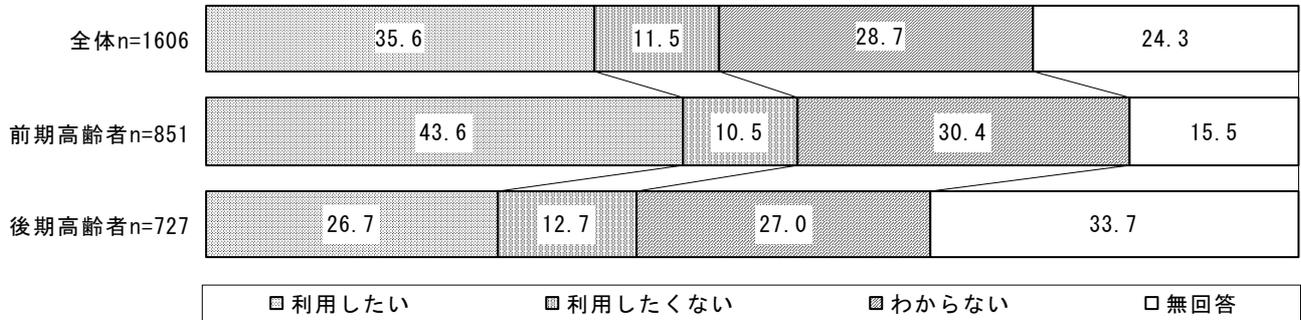


## ②認知症予防教室

「利用したい」人は前期高齢者で43.6%、後期高齢者は26.7%となっており、17ポイントの差がみられます。

認知症予防教室

単位：%

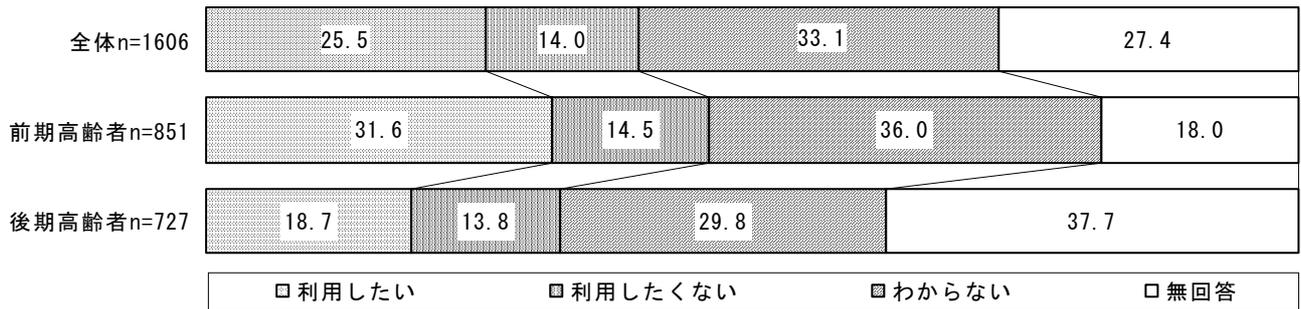


## ③低栄養予防教室

「利用したい」人は前期高齢者で31.6%、後期高齢者は18.7%となっています。

低栄養予防教室

単位：%

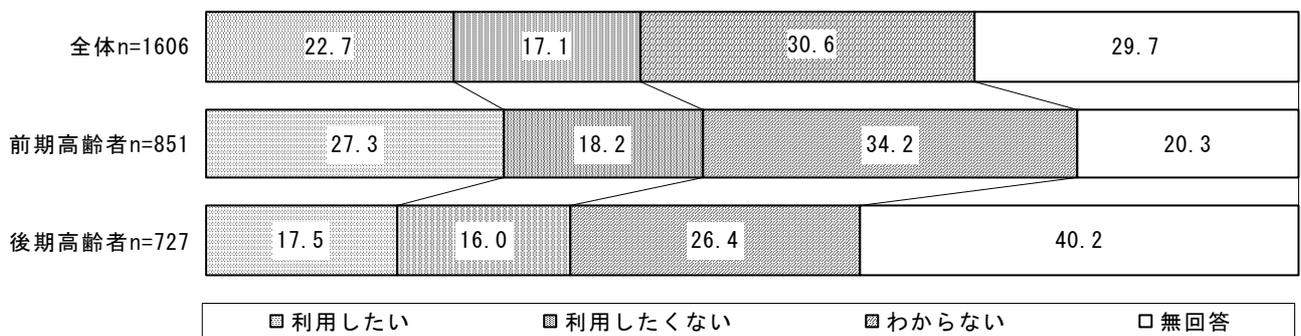


## ④口腔ケア

「利用したい」人は前期高齢者で27.3%、後期高齢者は17.5%となっており、10ポイントの差がみられます。

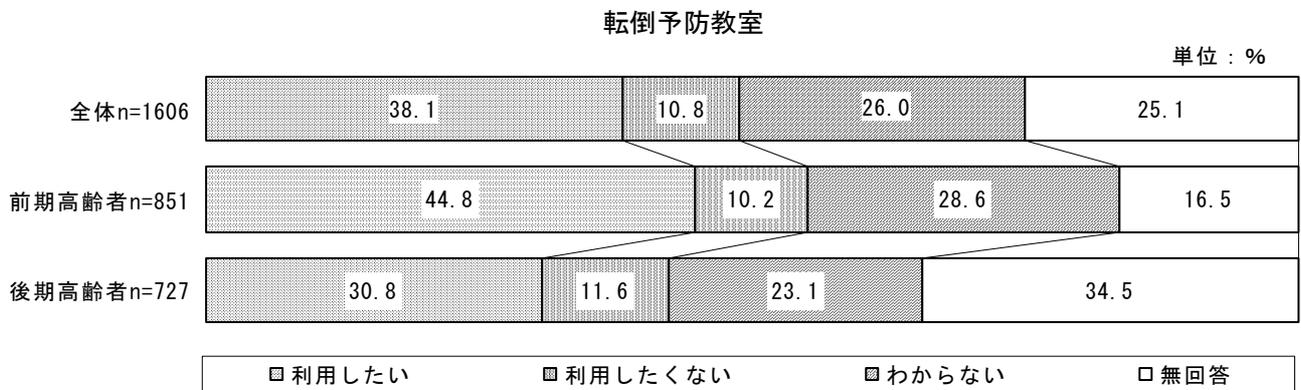
口腔ケア

単位：%



### ⑤転倒予防教室

「利用したい」人は前期高齢者で44.8%、後期高齢者は30.8%となっており、前期高齢者のほうが多くなっています。

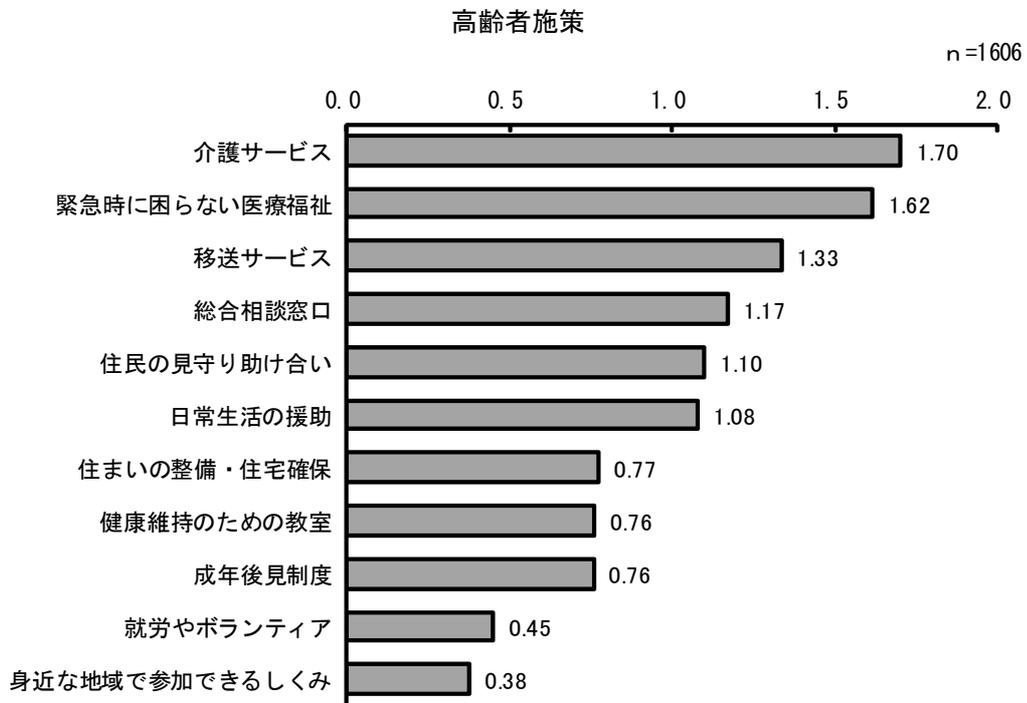


問 40 以下の高齢者施策は、どの程度重要と考えますか。(それぞれ「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」「重要でない」から1つを選んでください。)

「とても重要」を+2点、「ある程度重要」を+1点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点とした時の平均とみると、すべての施策でプラスとなり、重要と考えられています。

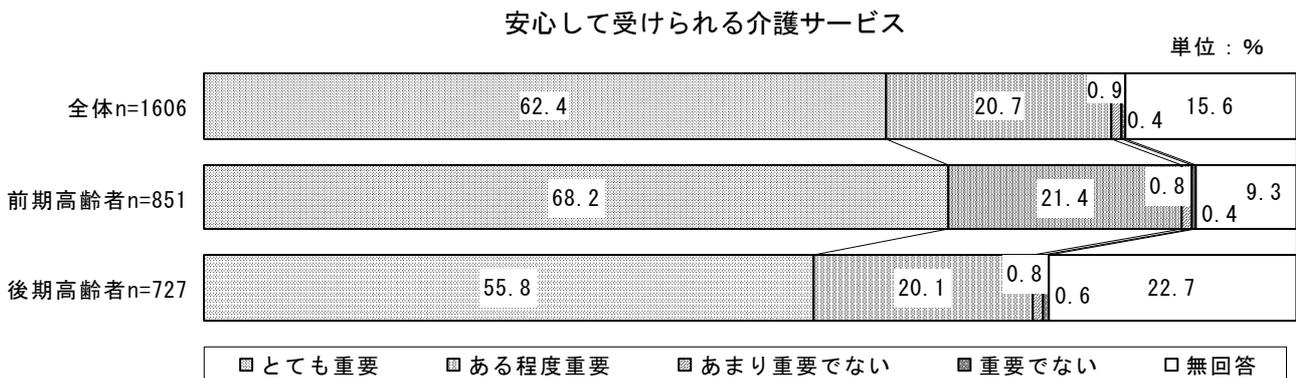
最も重要と考えられているのは「介護サービス」(1.70)と「緊急時に困らない医療福祉」(1.62)であり、「移送サービス」(1.33)や「総合相談窓口」(1.17)が続いています。

下位は「身近な地域で参加できるしくみ」(0.38)や「就労やボランティア」(0.45)があげられています。



### ①「心して受けられる介護サービス

「とても重要」は前期高齢者で68.2%、後期高齢者で55.8%となっており、前期高齢者のほうが、より希望が多くなっています。

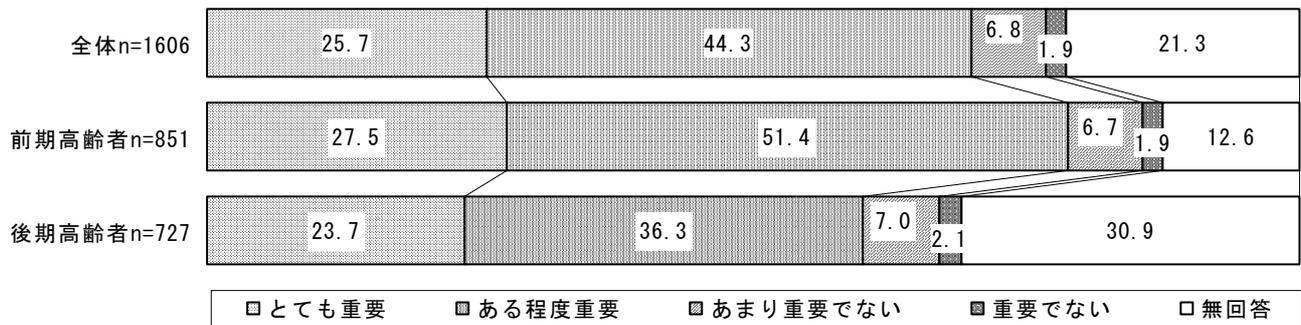


### ②気軽に受けられる掃除、洗濯、買物、調理等の日常生活の援助（家事援助など）

前期高齢者と後期高齢者とでは「とても重要」の回答は大きな差がみられませんが、「ある程度重要」では前期高齢者の 51.4%に対し、後期高齢者では 36.3%と 15 ポイントほどの差がみられます。

気楽に受けられる掃除、洗濯、買物、調理等の日常生活の援助

単位：%

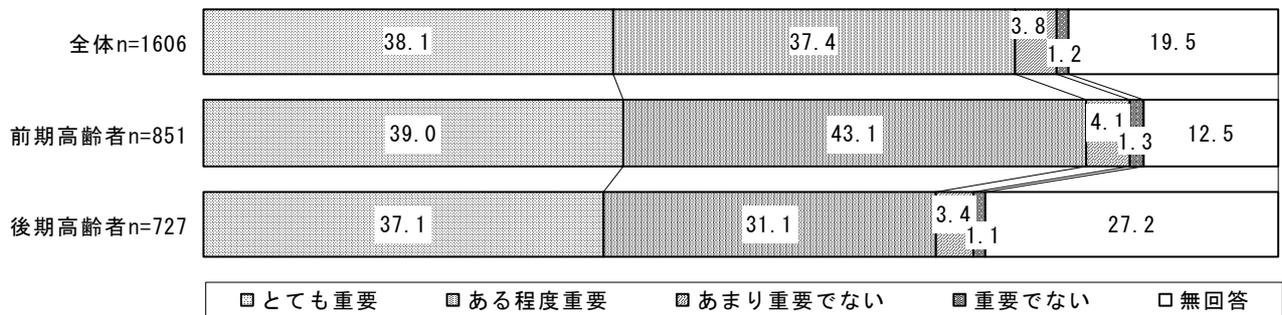


### ③通院介助等の移送サービス

前の家事援助と同様に、「とても重要」では差がみられませんが、「ある程度重要」では前期高齢者の 43.1%に比べ、後期高齢者では 31.1%と差がみられます。

通院介助等の移送サービス

単位：%

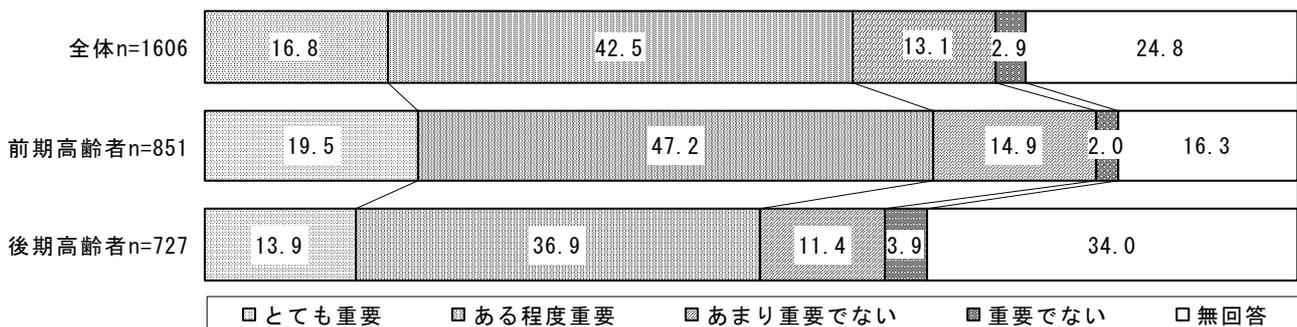


### ④健康維持のための教室

「とても重要」では前期高齢者が 19.5%、後期高齢者が 13.9%となっており、「ある程度重要」では後期高齢者が 36.9%となっています。

健康維持のための教室

単位：%

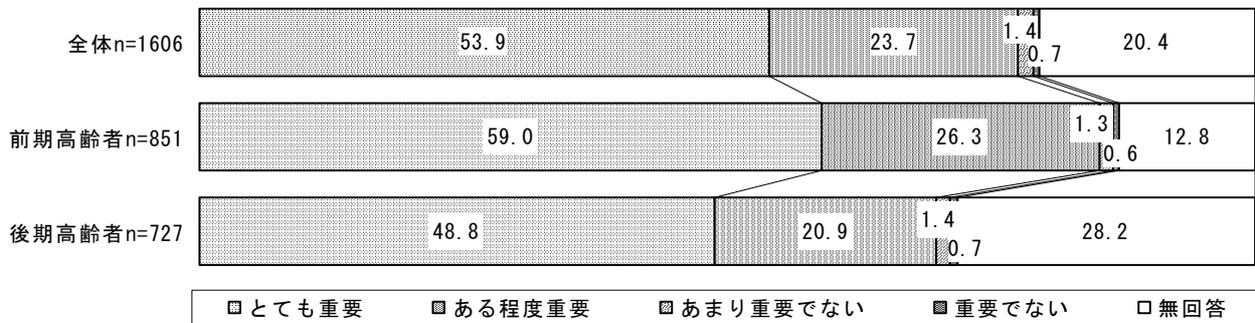


### ⑤緊急時などにも困らない医療・福祉サービス

「とても重要」では前期高齢者が 59.0%、後期高齢者が 48.8%となっており、10 ポイントほどの差がみられます。

緊急時などにも困らない医療・福祉サービス

単位：%

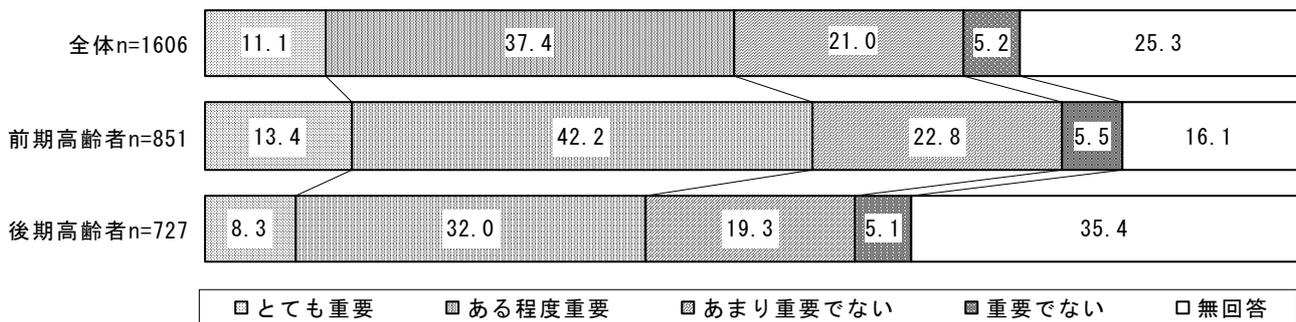


### ⑥身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ

「ある程度重要」という回答が「とても重要」より多く、前期高齢者で 42.2%、後期高齢者で 32.0%となっており、10 ポイントほどの差がみられます。

身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ

単位：%

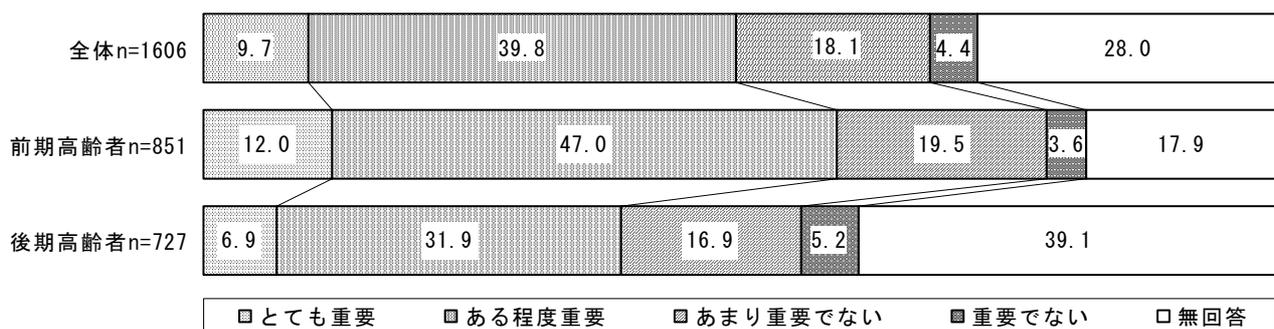


### ⑦経験を生かして就労やボランティアができるしくみ

前問と同様、「ある程度重要」の比率が高くなっています。前期高齢者で 47.0%、後期高齢者で 31.9%となっており、年齢により大きな差がみられます。

経験を生かして就労やボランティアができるしくみ

単位：%

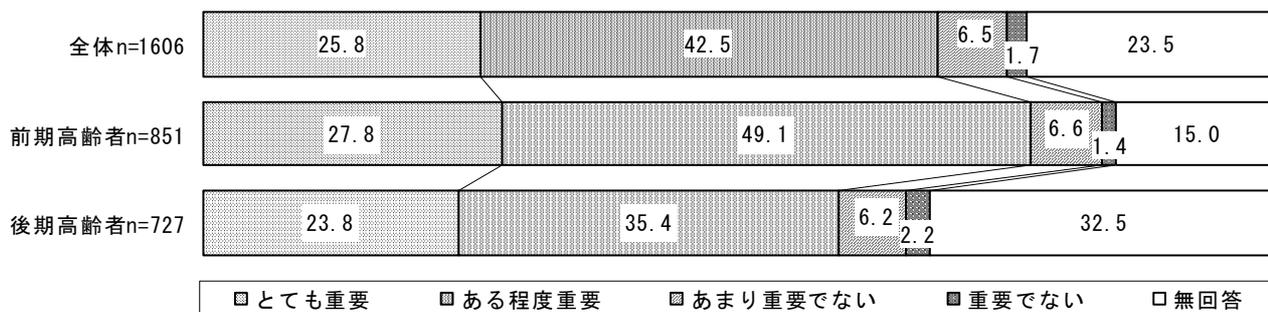


### ⑧高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動

「とても重要」では前期高齢者が 27.8%、後期高齢者が 23.8%となっており、大きな差はみられませんが、「ある程度重要」では前期高齢者の 49.1%に対し、後期高齢者では 35.4%と差がみられます。

高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動

単位：%

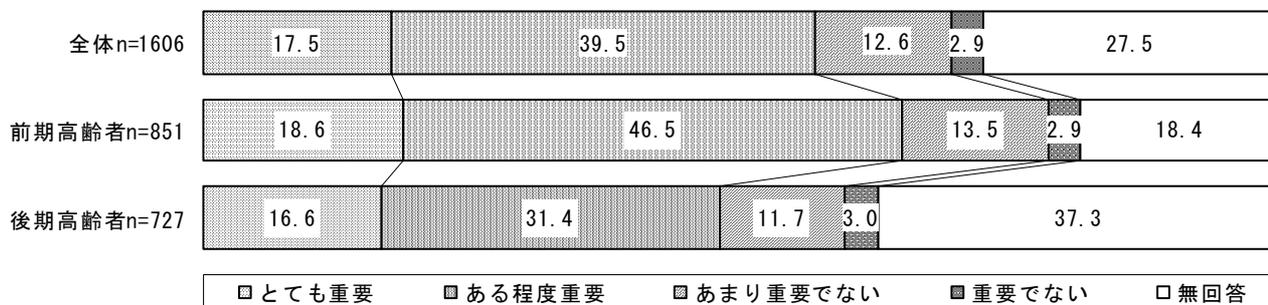


### ⑨住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援

「とても重要」では前期高齢者が 18.6%、後期高齢者が 16.6%となっています。「ある程度重要」では前期高齢者の 46.5%に対し、後期高齢者は 31.4%となっており、全体として前期高齢者の希望のほうが多くみられます。

住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援

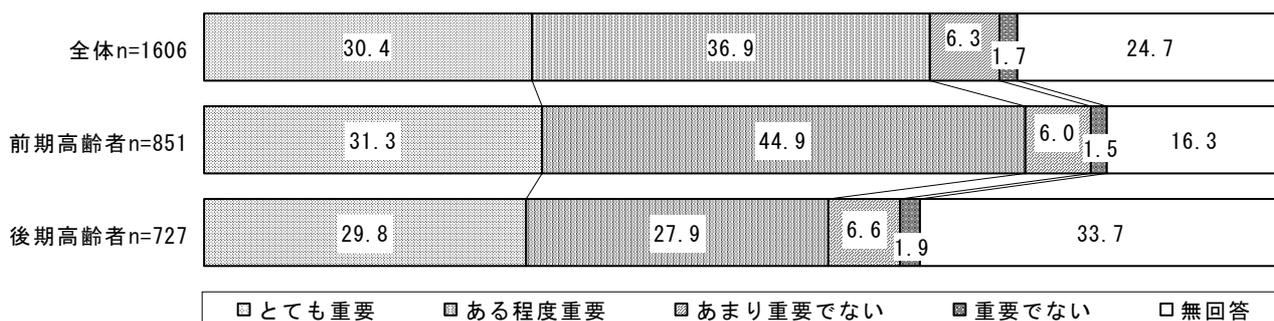
単位：%



### ⑩身近な総合相談窓口

「とても重要」では前期高齢者が 31.3%、後期高齢者が 29.8%となっています。「ある程度重要」では前期高齢者の 44.9%に対し、後期高齢者では 27.9%と差がみられます。

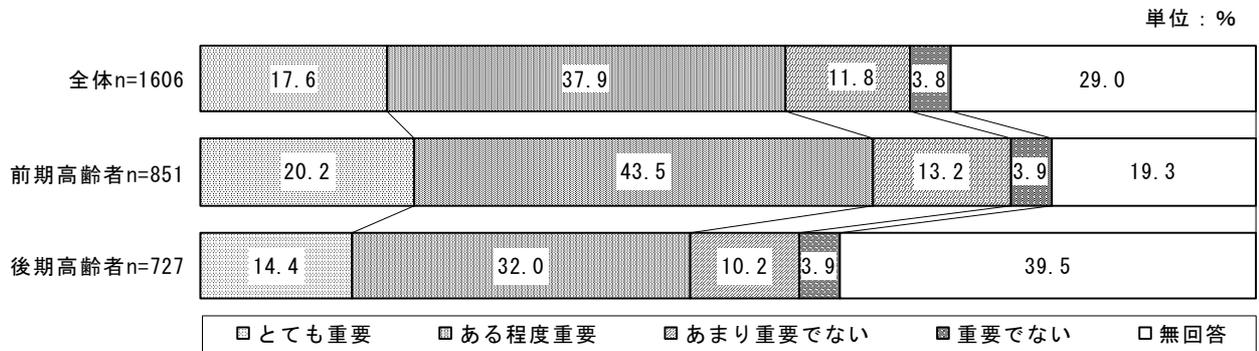
単位：%



⑪成年後見制度の利用支援

「とても重要」では前期高齢者で20.2%の希望があるのに対し、後期高齢者では14.4%となっており、6ポイントの差がみられます。また「ある程度重要」でも前期高齢者が多くなっています。

成年後見制度の利用支援



## 第 3 章

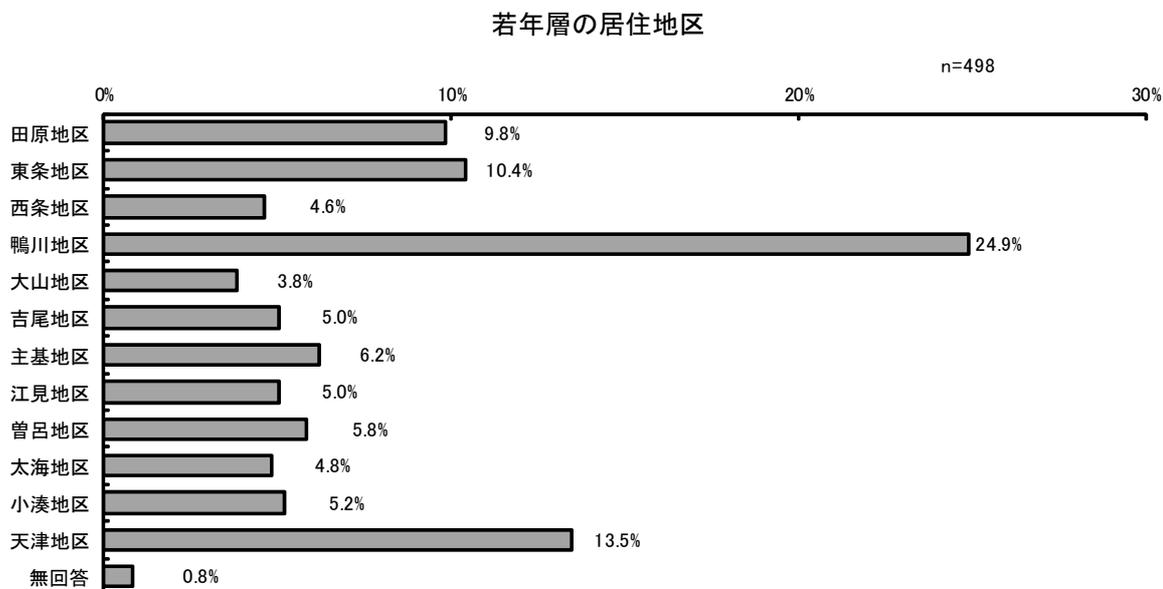
### 若年層調査



## 1 回答者の属性

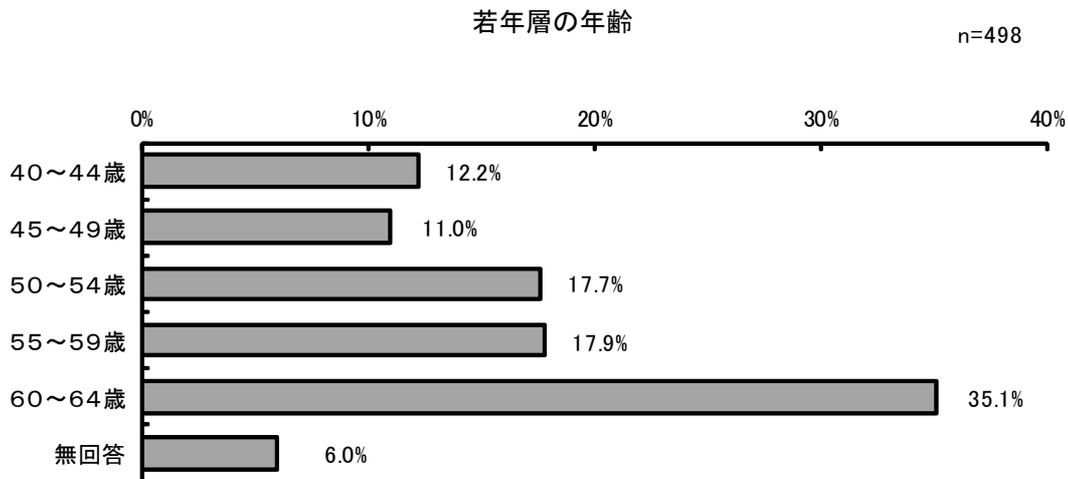
問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

本調査での回答者の居住地区は、以下のとおりとなっています。



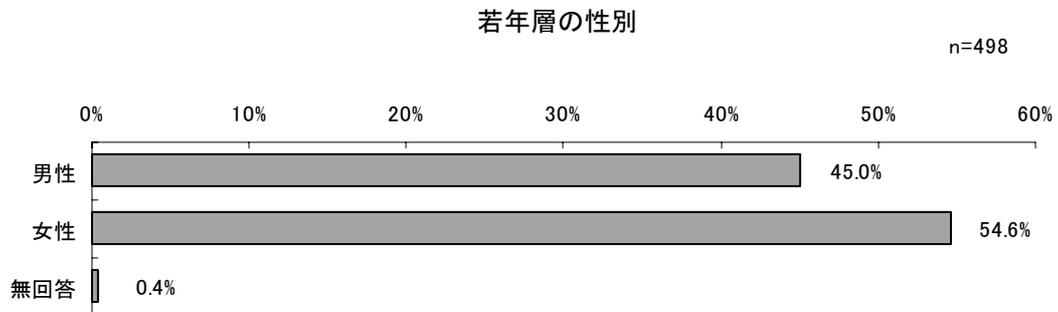
問2 平成26年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

回答者の年齢は以下のグラフのとおりとなっています。「60～64歳」がいわゆる団塊の世代となっており35.1%と最も多くなっています。少ないのは「45～49歳」で11.0%となっています。



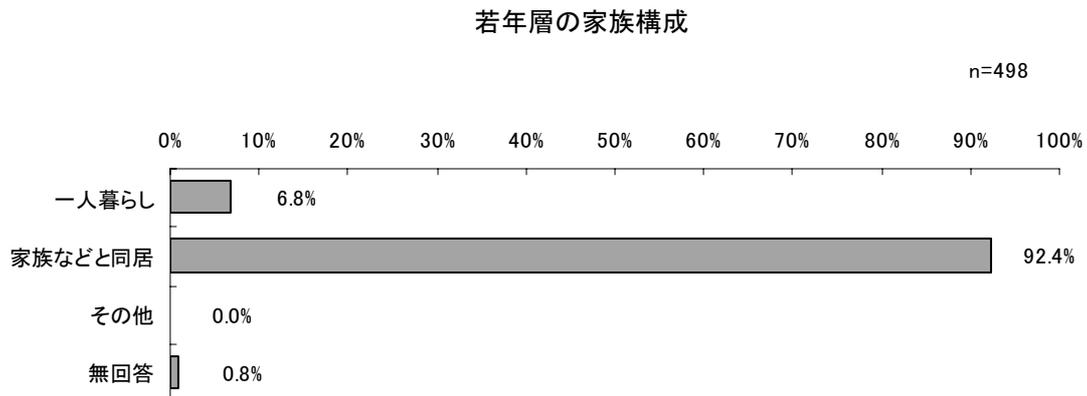
問3 性別をお答えください。(1つに○)

回答者の性別は、「男」が45.0%、「女」が54.6%で、女性のほうがやや多くなっています。



問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

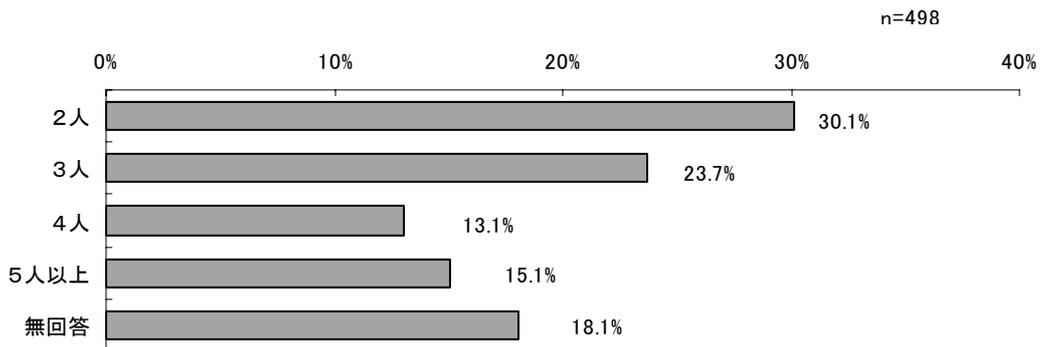
家族構成は、「家族など同居」が92.4%と大多数となっています。「一人暮らし」は6.8%です。



問5 (ご家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

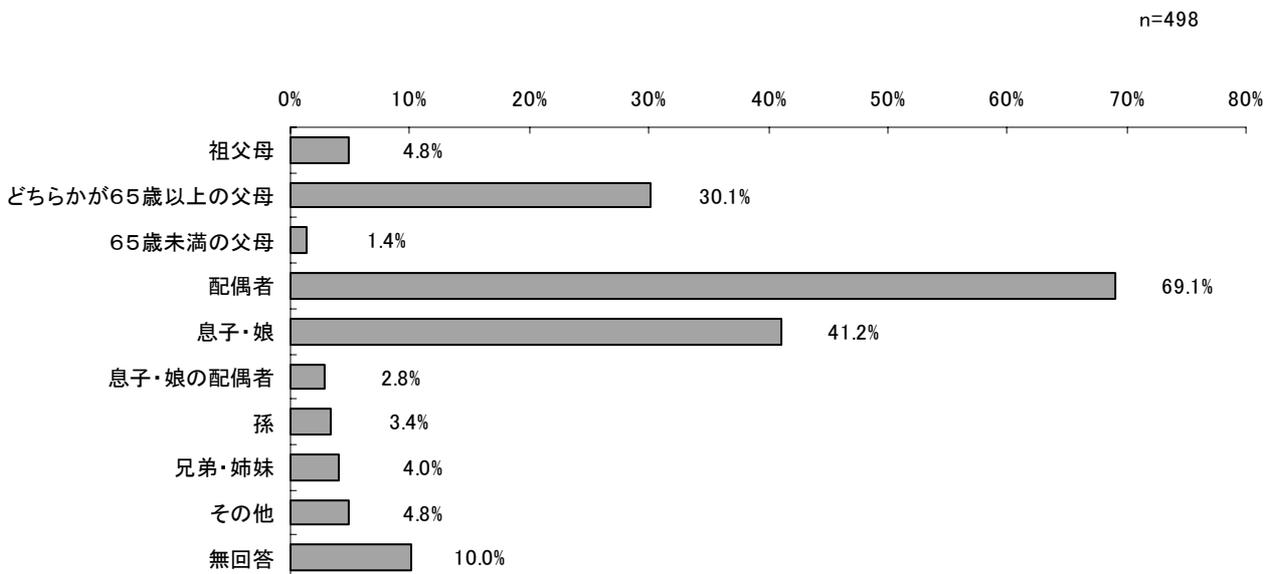
家族と同居の人の家族人数の平均は3.1人となっており、高齢者世帯より0.2人多くなっています。最も多いのは、「2人」で30.1%となっており、「3人」が23.7%です。5人以上の家庭は15.1%となっています。

若年層世帯の同居家族人数



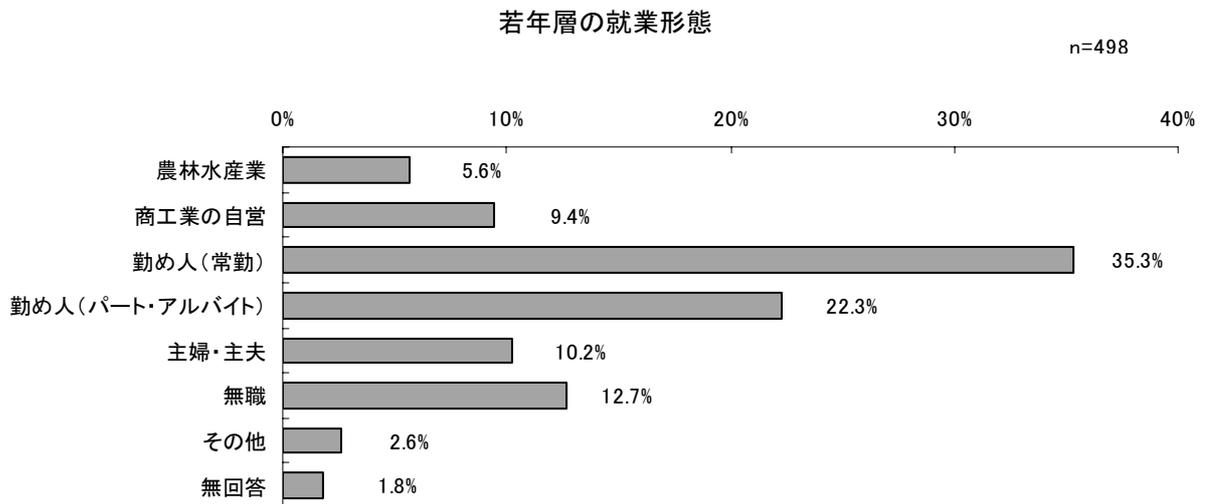
同居の家族は、「配偶者」が69.1%と最も多く、「息子・娘」が41.2%となっています。「祖父母」が4.8%、「どちらかが65歳以上の父母」が30.1%で高齢者のいる世帯をあわせて34.9%で3割台半ばとなっています。

若年層世帯の同居家族



問6 あなたの主な就業形態をお答えください。(1つに○)

調査対象者が働き盛りであるため、「勤め人(常勤)」が最も多く35.3%、「勤め人(パート・アルバイト)」が22.3%で続いています。「主婦・主夫」は10.2%、「無職」が12.7%となっています。「商工業の自営」は9.4%、「農林水産業」は5.6%です。



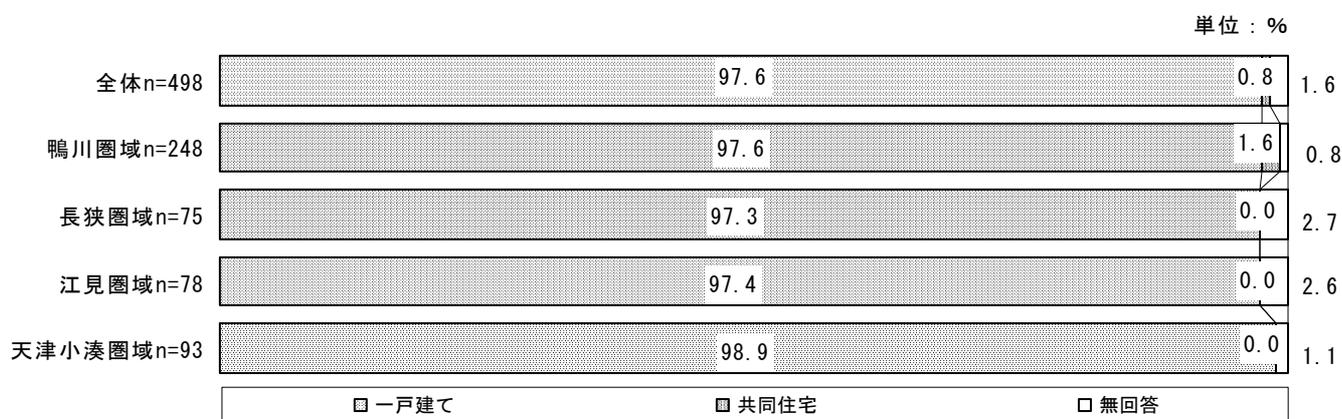
## 2 住まいについて

問7 住まいの状況についておたずねします。①から⑦までの各問についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

### ①お住まいは一戸建て、または共同住宅のどちらですか

「一戸建て」が97.6%と大多数となっています。「共同住宅」は0.8%で、高齢者の0.5%よりもやや多くなっています。

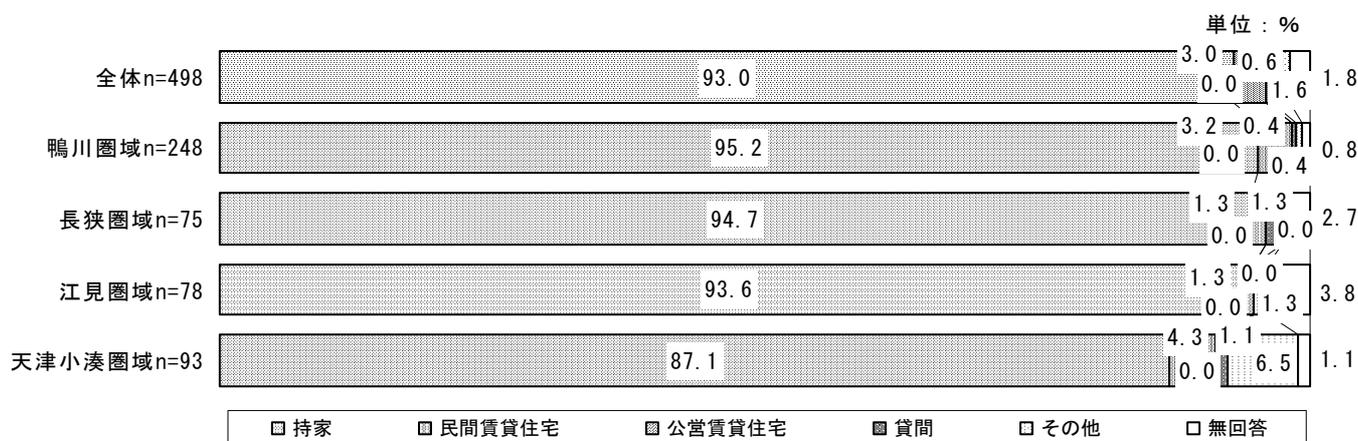
若年層の住宅（一戸建てか共同住宅か）



### ②お住まいは、次のどれにあたりますか

「持家」が93.0%と大多数ですが、「民間賃貸住宅」が3.0%、「公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅）」は0.0%、「貸間」が0.6%などとなっています。天津小湊圏域で「民間賃貸住宅」が4.3%と多くなっています。

若年層の住宅の保有状況

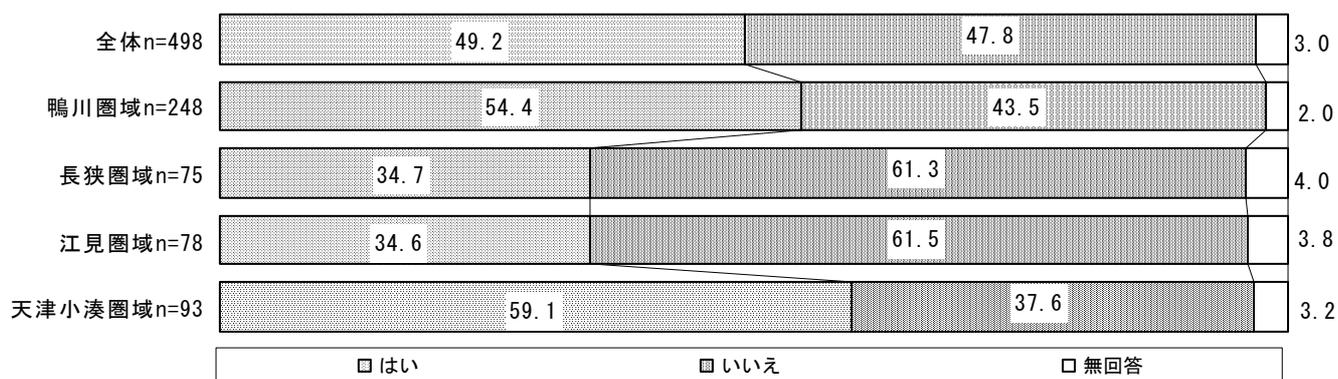


③お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか

「はい」が49.2%、「いいえ」が47.8%となっており、「はい」のほうがやや多くなっています。

若年層の主に生活する部屋

単位：%

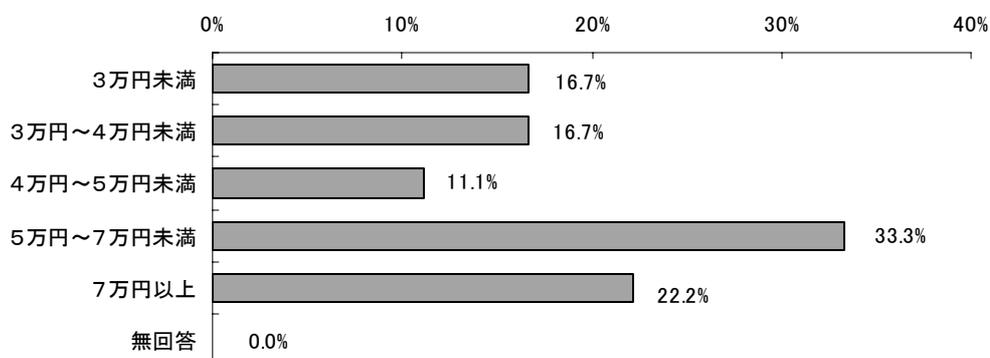


④②で2～4と回答された方（賃貸の方）におうかがいします。家賃はいくらくらいですか

「5万円～7万円未満」が33.3%と最も多くなっています。「3万円未満」「3万円～4万円」が16.7%で続いています。また、「7万円以上」が22.2%です。

賃貸の家賃

n=18



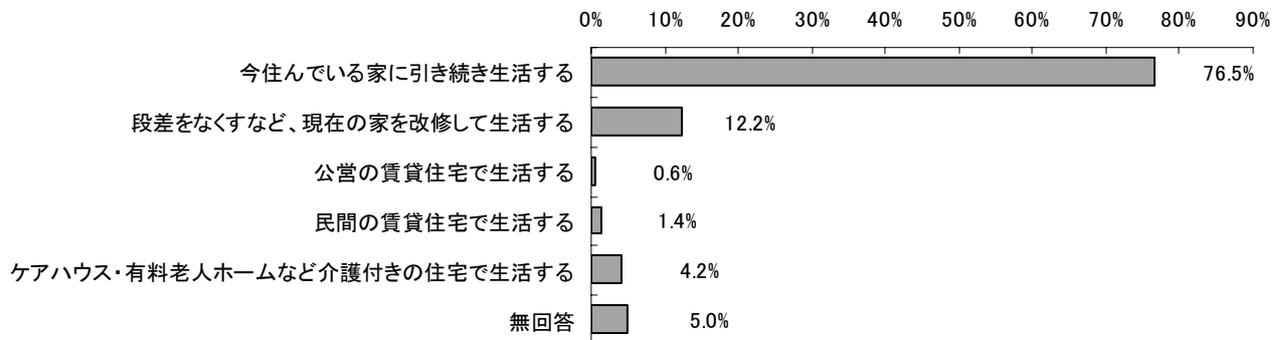
⑤老後の生活を送る上で住まいをどのようにしたいと思いますか

「今住んでいる家に引き続き生活する」が最も多く76.5%、また、「段差をなくすなど、現在の家を改修して生活する」が12.2%で、あわせると今の家で暮らしたいという人は88.7%と大多数となっています。「ケアハウス・有料老人ホームなど介護付きの住宅で生活する」は4.2%、

賃貸を希望する人は「公営の賃貸住宅で生活する」は現状の0.0%に対し0.6%、「民間の賃貸住宅で生活する」は現状の3.0%に対し1.4%となっています。

### 老後の住宅

n=498

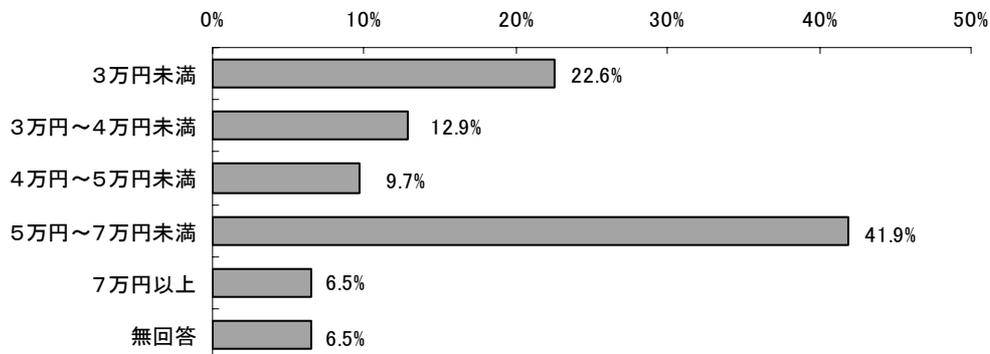


⑥⑤で3～5と回答された方におうかがいします。家賃はいくらくらい支払えると思いますか

「5万円～7万円未満」が現状の33.3%に対し8.6%と増えており、最も多くなっています。「3万円未満」が22.6%、「3万円～4万円未満」が12.9%、「4万円～5万円未満」が9.7%です。

### 老後の家賃

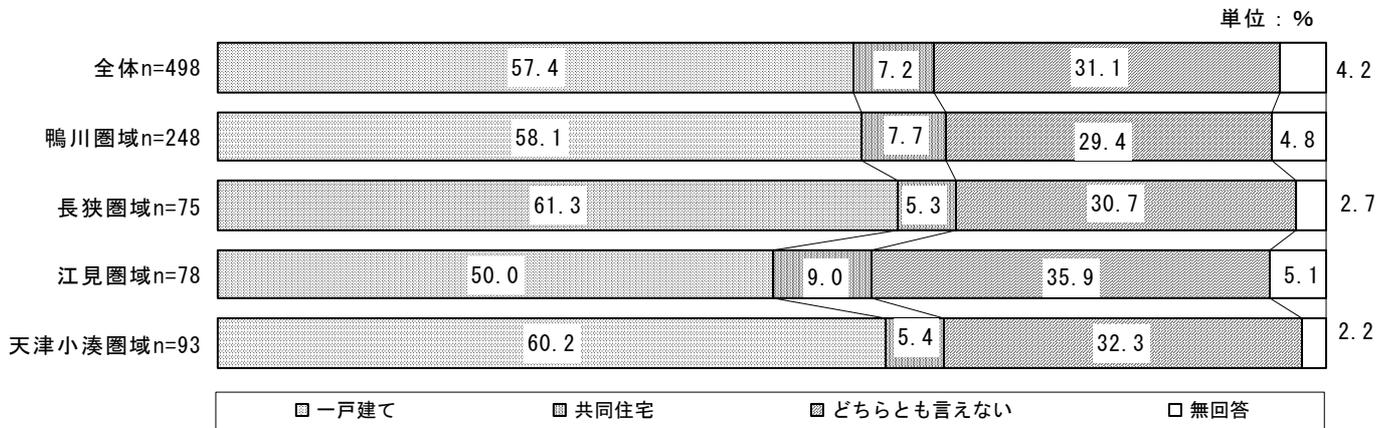
n=31



⑦あなたは、老後を過ごすためには一戸建てと共同住宅ではどちらのほうが生活しやすいと思いますか

「一戸建て」は57.4%で、実際に住んでいる人の97.6%に比べると40ポイントほど低下しています。一方で「共同住宅」は現在住んでいる0.8%に対し7.2%となっており、「どちらともいえない」が31.1%となっています。「一戸建て」を希望する人は長狭圏域(61.3%)で多く、「共同住宅」は江見圏域(9.0%)で多くなっています。

### 老後の住宅の形態



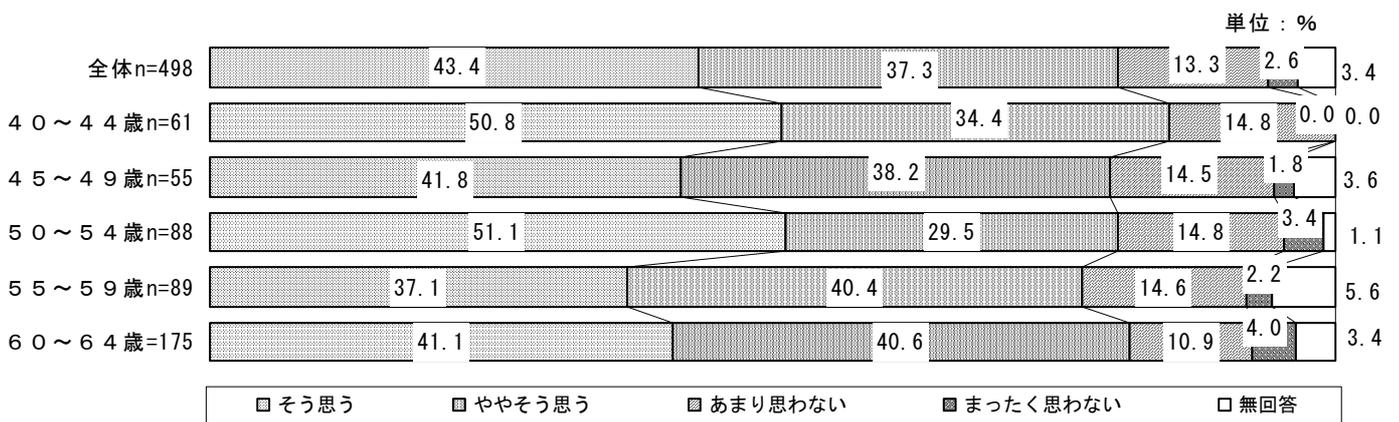
## 3 健康の状況や意識等

問8 あなたは現在、「健康」だと思いますか。(1つに○)

「そう思う」人は43.4%、「ややそう思う」が37.3%をあわせると80.7%と8割を占めています。これに対し、「あまり思わない」は13.3%、「まったく思わない」は2.6%です。

年齢層で見ると、「そう思う」人は40～44歳が50.8%であるのに対し、60～64歳で41.1%まで低下しています。また、「まったく思わない」は40～44歳で0.0%と最も低く、55～59歳で2.2%、60～64歳で4.0%などとなっています。

### 健康意識

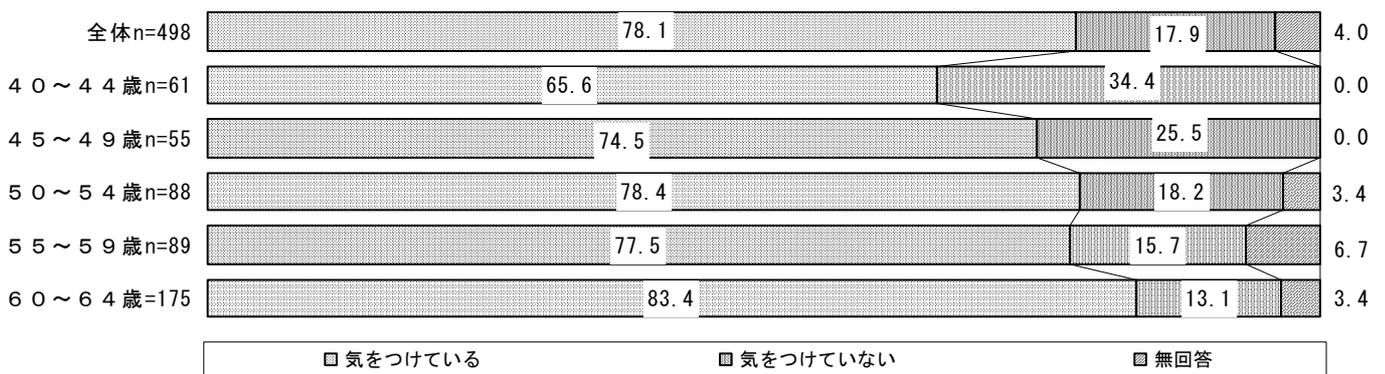


問9 普段、健康の維持・増進に気をつけていますか。(1つに○)  
 問9-1 問9で「1 気をつけている」と答えた方におききします。  
 何に気をつけていますか。(あてはまる番号すべてに○)

「気をつけている」が78.1%、「気をつけていない」が17.9%となっています。40～44歳で65.6%であるのに対し、60～64歳では83.4%となっており、加齢により「気をつけている」人が増えています。

健康の維持・増進に気をつけているか

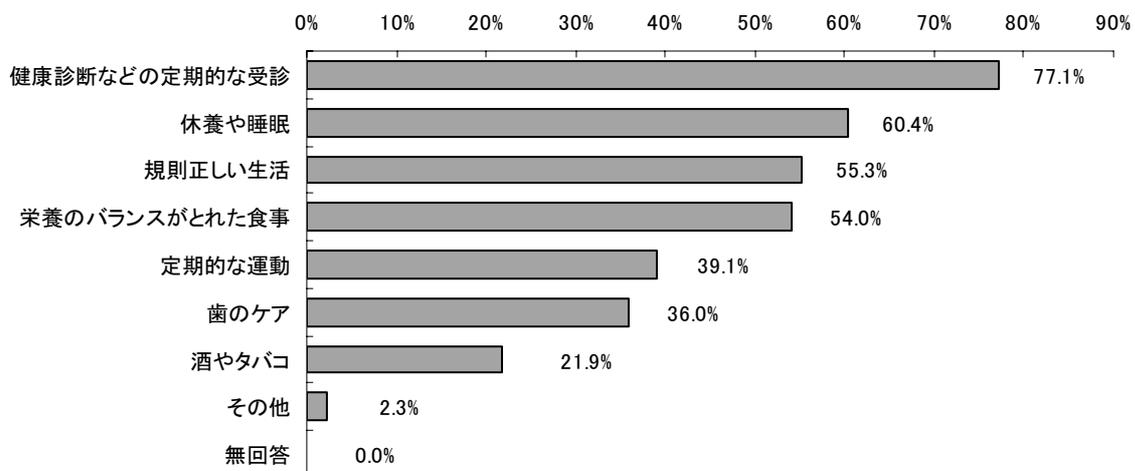
単位：%



「気をつけている」人389人が何に気をつけているかをみると「健康診断などの定期的な受診」が77.1%と最も多く、4分の3強となっています。また、「休養や睡眠」が60.4%、「規則正しい生活」が55.3%、「栄養のバランスがとれた食事」が54.0%と続いています。「定期的な運動」は39.1%と4割弱となっています。

健康の維持・増進で気をつけていること

n=389

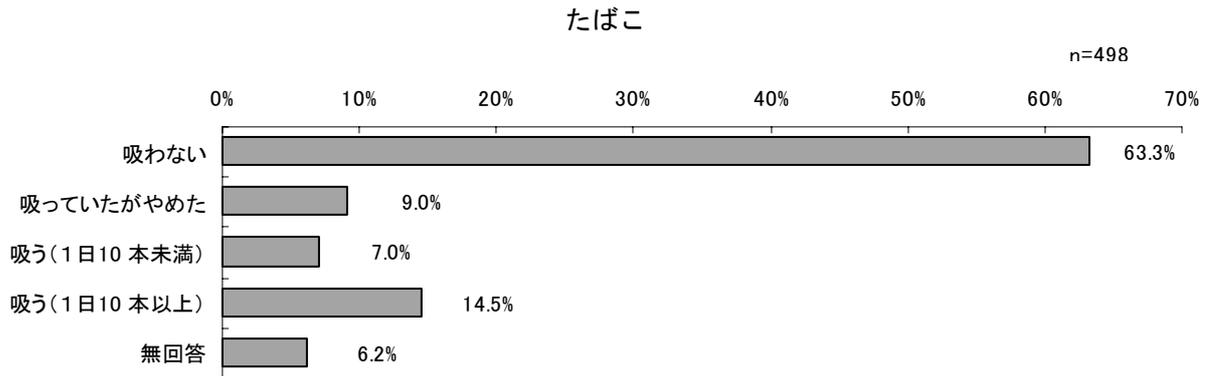


問 10 あなたの生活習慣についておたずねします。

(①～⑥のそれぞれについて、1つに○)

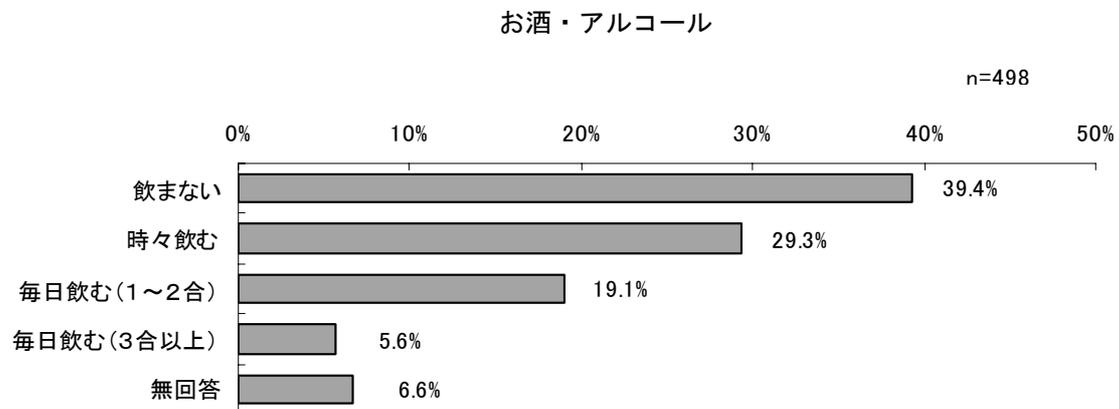
①たばこ

「吸わない」が63.3%、「吸っていたがやめた」が9.0%をあわせると72.3%と4分の3が吸わないでいます。これに対し「吸う（1日10本未満）」は7.0%、「吸う（1日10本以上）」は14.5%です。



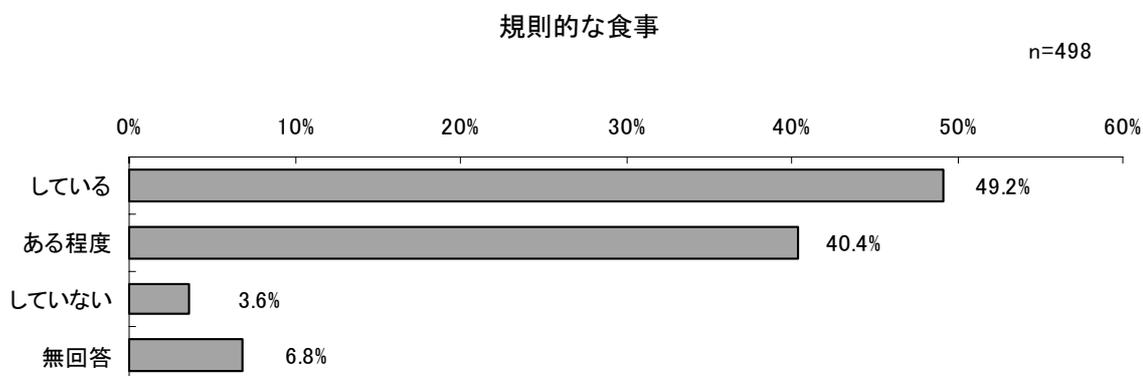
②お酒・アルコール

「飲まない」が39.4%、「時々飲む」が29.3%、「毎日飲む（1～2合）」が19.1%、「毎日飲む（3合以上）」は5.6%となっています。



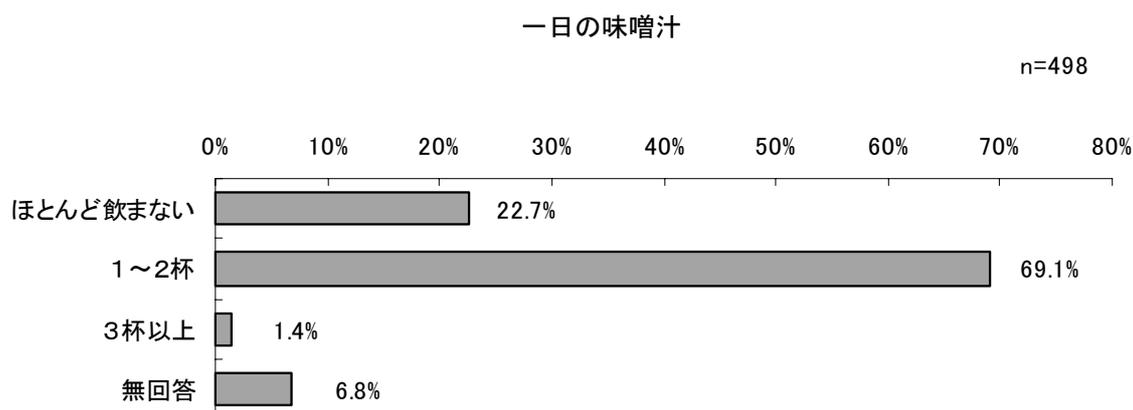
### ③規則的な食事

「している」が49.2%と半数を占めており、「ある程度」の40.4%とあわせて89.6%となっています。「していない」は3.6%です。



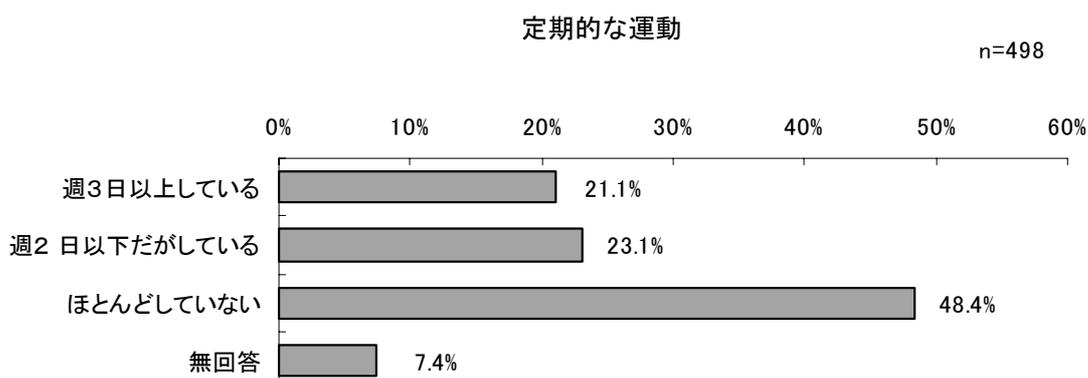
### ④一日の味噌汁

「3杯以上」は1.4%と少数ですが、「1～2杯」が69.1%となっています。これに対し「ほとんど飲まない」は22.7%と5人に1人の割合となっています。



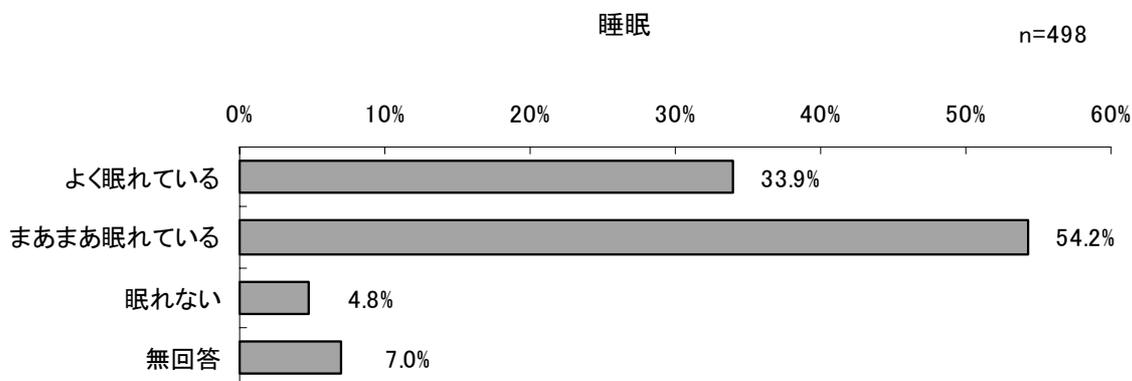
### ⑤定期的な運動

「週3日以上している」人は21.1%、「週2日以下だがしている」が23.1%で、運動している人はあわせて44.2%で4割台半ばとなっています。これに対し「ほとんどしていない」は48.4%で半数となっています。



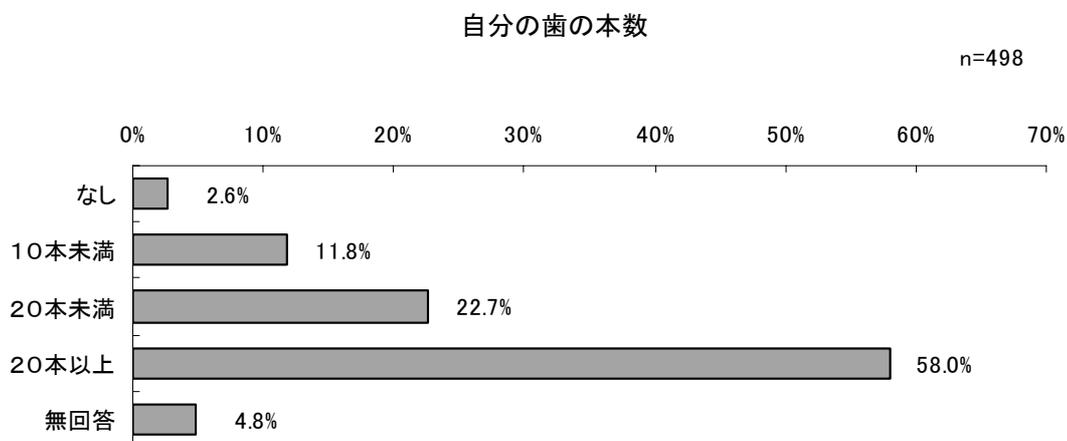
## ⑥睡眠

「よく眠れている」が33.9%、「まあまあ眠れている」が54.2%となっており、あわせると88.1%と8割を占めています。「眠れない」は4.8%です。



問11 現在、自分の歯は何本ありますか。〈さし歯は含む。入れ歯は除く。〉  
(1つに○)

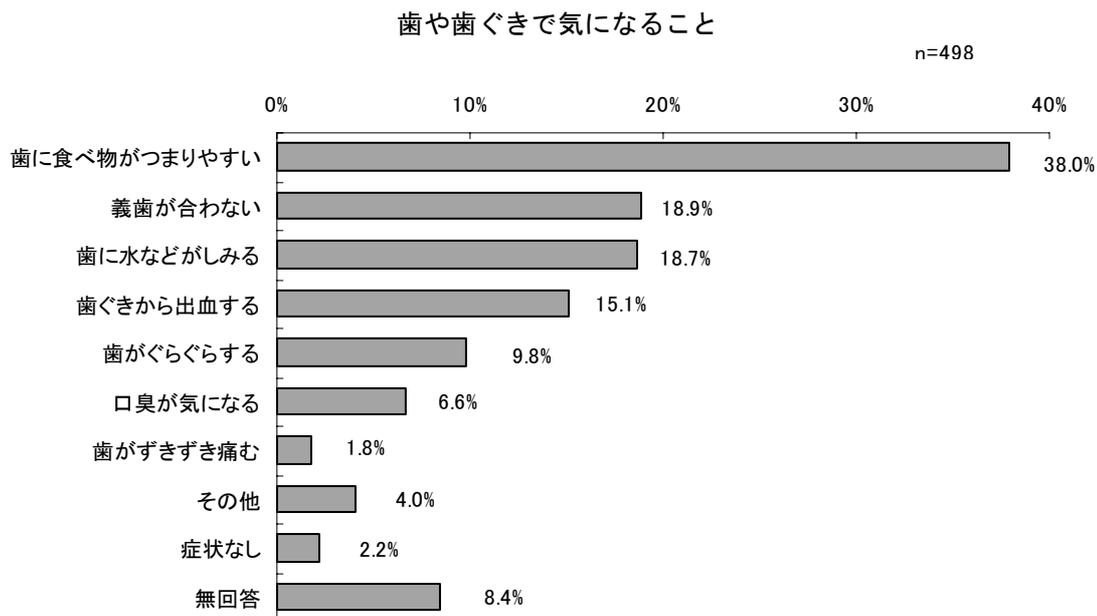
「20本以上」の人が58.0%となっています。「20本未満」が22.7%、「10本未満」が11.8%、「なし」は2.6%です。



問 12 歯や歯ぐきに関することで気になる症状はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

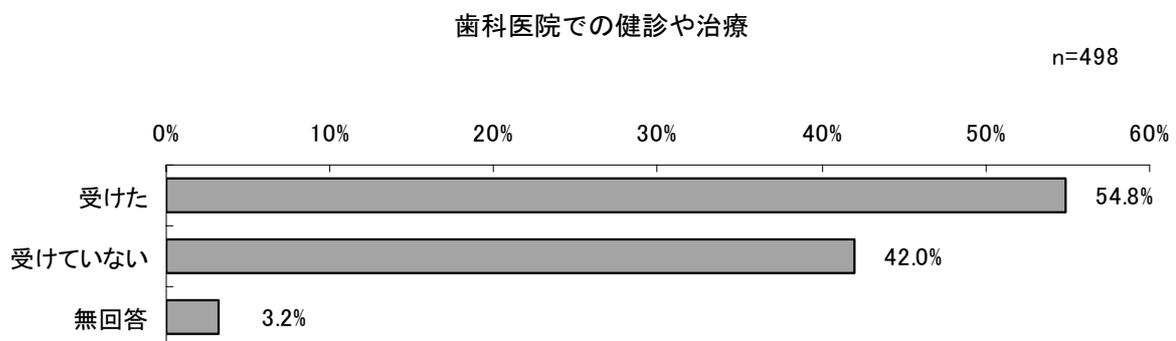
「歯に食べ物がつまりやすい」が 38.0%で最も多く、「義歯（入れ歯等）が合わない」が 18.9%、「歯に水などがしみる」が 18.7%、「歯ぐきから出血する」が 15.1%などとなっています。

「症状なし」は 2.2%と非常に少なくなっています。



問 13 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに○)

「受けた」人が 54.8%、「受けていない」が 42.0%となっており、受けた人のほうが多くなっています。

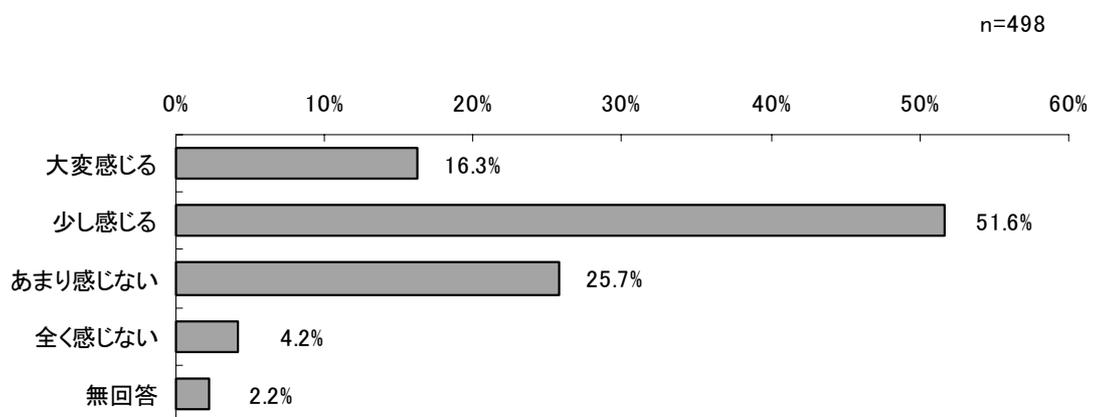


問 14 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)

問 14-1 問 14で「1 大変感じる」「2 少し感じる」と答えた方におききします。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「大変感じる」が 16.3%、「少し感じる」が 51.6%で感じている人はあわせて 67.9%と7割近くとなっています。これに対し「あまり感じない」は 25.7%、「全く感じない」は 4.2%です。

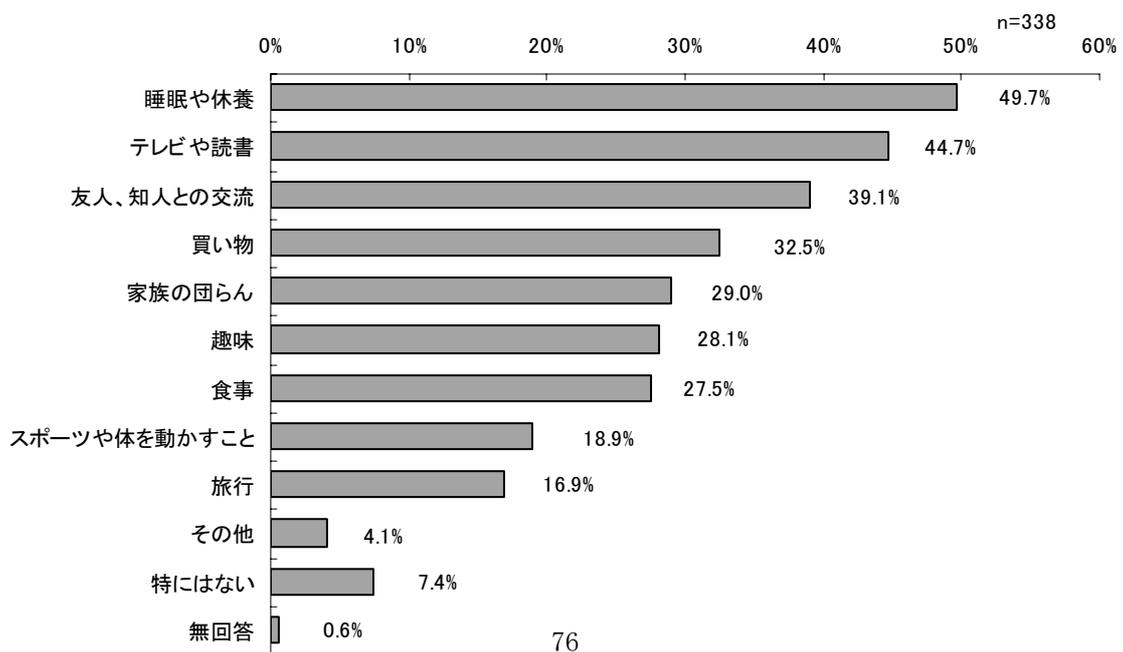
普段の生活でストレスを感じているか



「大変感じる」あるいは「少し感じる」人、あわせて 338 人のストレス解消法は、「睡眠や休養」が 49.7%、「テレビや読書」が 44.7%で上位となっています。また、「友人、知人との交流」が 39.1%、「買い物」が 32.5%で続いています。

一方で、「スポーツや体を動かすこと」は 18.9%と少数です。

ストレスの解消方法



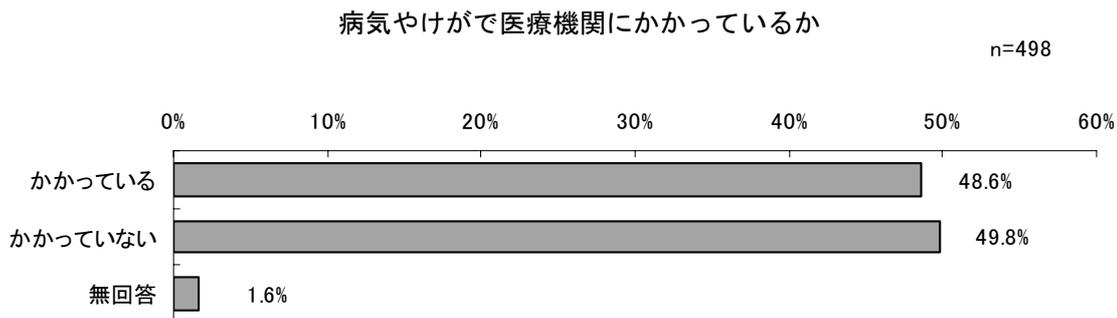
問 15 現在、病気やけがで医療機関にかかっていますか。

〈往診、訪問診療を含む。〉(1つに○)

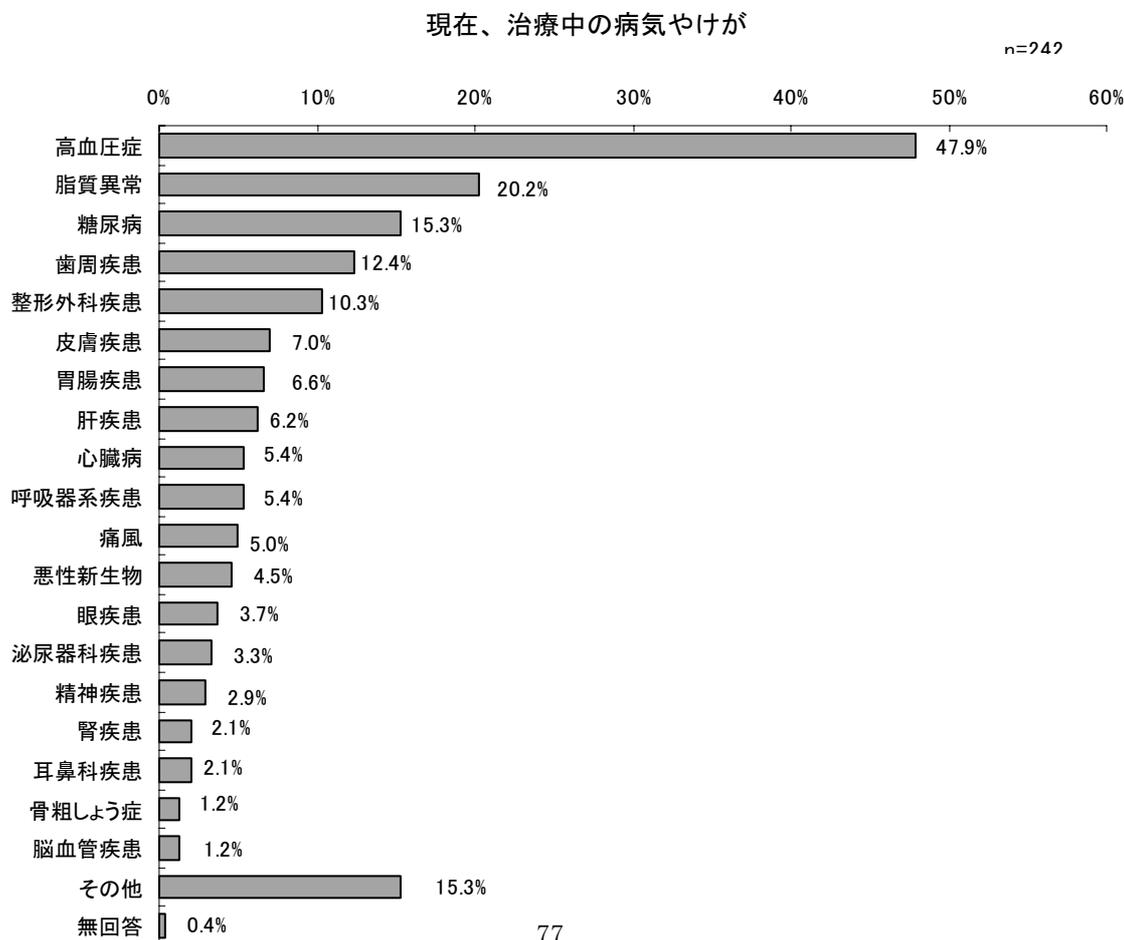
問 15-1 問 15 で「1 かかっている」と答えた方におききします。

現在、治療中の病気すべてに○をつけてください。

「かかっている」が 48.6%、「かかっていない」が 49.8%でほぼ同数となっています。



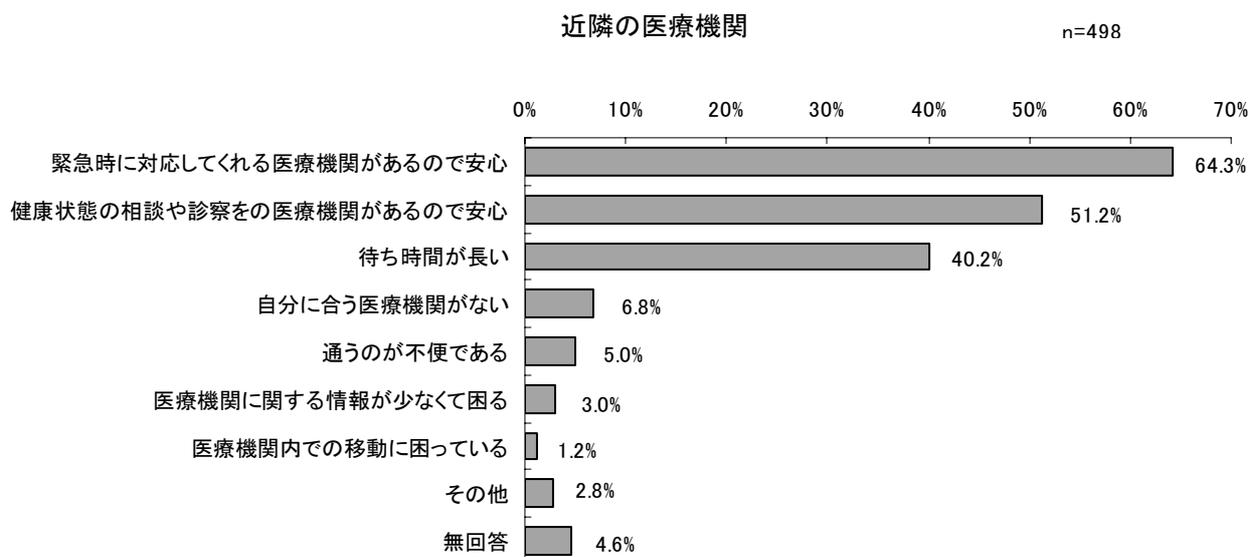
「かかっている」人 242 人のうち「高血圧症」が特に多く 47.9%と半数近くを占めています。第 2 位は「脂質異常 (高脂血症)」で 20.2%、以下「糖尿病」が 15.3%、「歯周疾患」が 12.4%、「整形外科疾患」が 10.3%などと続いています。上位には生活習慣病があげられています。



**問 16 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。**  
**(あてはまる番号すべてに○)**

「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が 64.3%、「健康状態の相談や診察の医療機関があるので安心」が 51.2%となっており、良い評価が上位となっています。

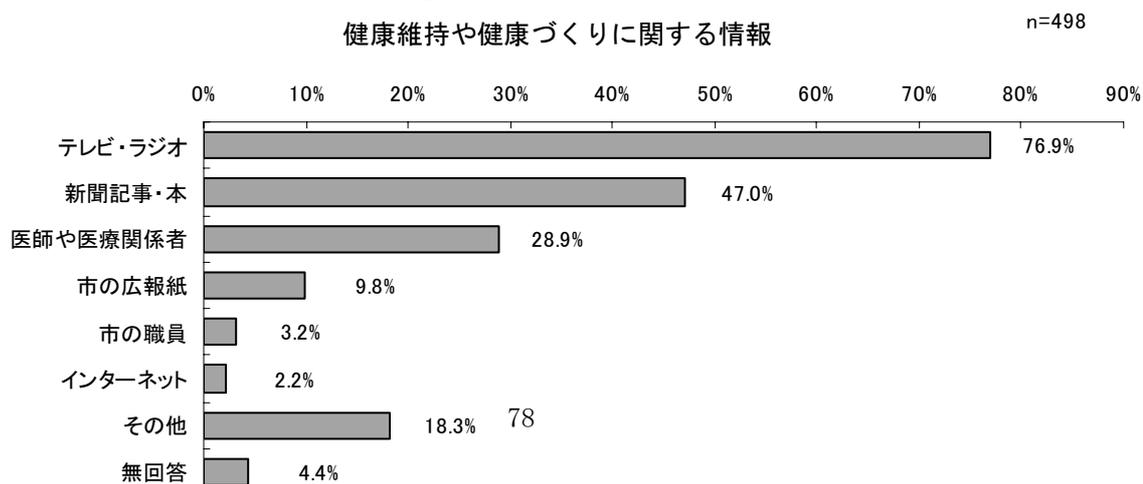
「待ち時間が長い」が第3位で 40.2%となっており、高齢者調査の 28.5%より高くなっています。



**問 17 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。**  
**(あてはまる番号すべてに○)**

「テレビ・ラジオ」が 76.9%、「新聞記事・本」が 47.0%でマスメディアを利用する回答が上位となっています。また、「インターネット」が 2.2%、「市の広報紙」が 9.8%みられます。

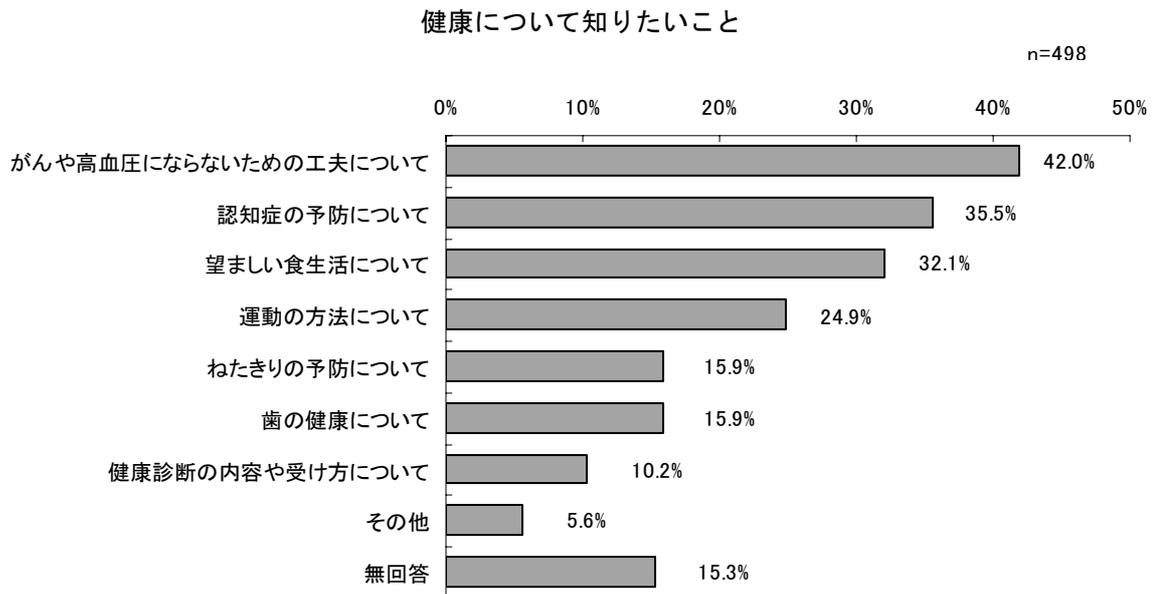
「医師や医療関係者」は 28.9%で全体の 3分の1弱となっており、高齢者調査の 42.7%と比べて少なくなっています。



問 18 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

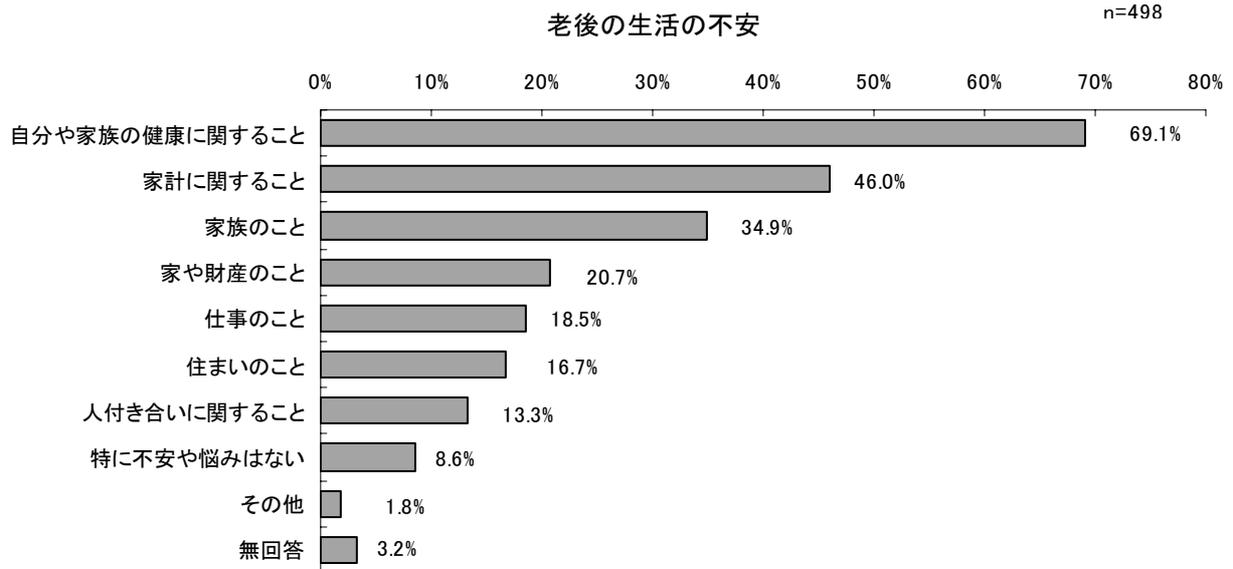
「がんや高血圧にならないための工夫について」が第1位で42.0%、次いで「認知症の予防について」が35.5%となっています。これは高齢者調査と順番が逆になっていますが、同様に上位にあげられている結果となりました。

以下、「望ましい食生活について」が32.1%、「運動の方法について」が24.9%などとなっています。



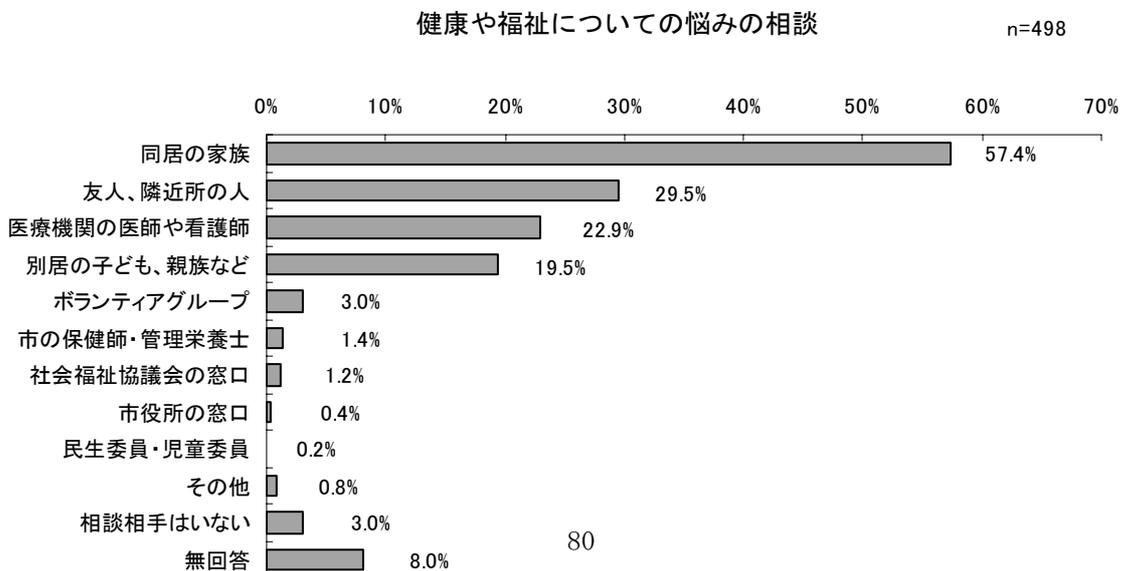
**問 19 老後の生活でどのようなことが不安ですか。**  
**(あてはまる番号すべてに○)**

「自分や家族の健康に関すること」が 69.1%、「家計に関すること」が 46.0%、「家族のこと」が 34.9%など家族や生活のことが上位となっています。「仕事のこと」は 18.5%で、「特に不安や悩みはない」は 8.6%です。



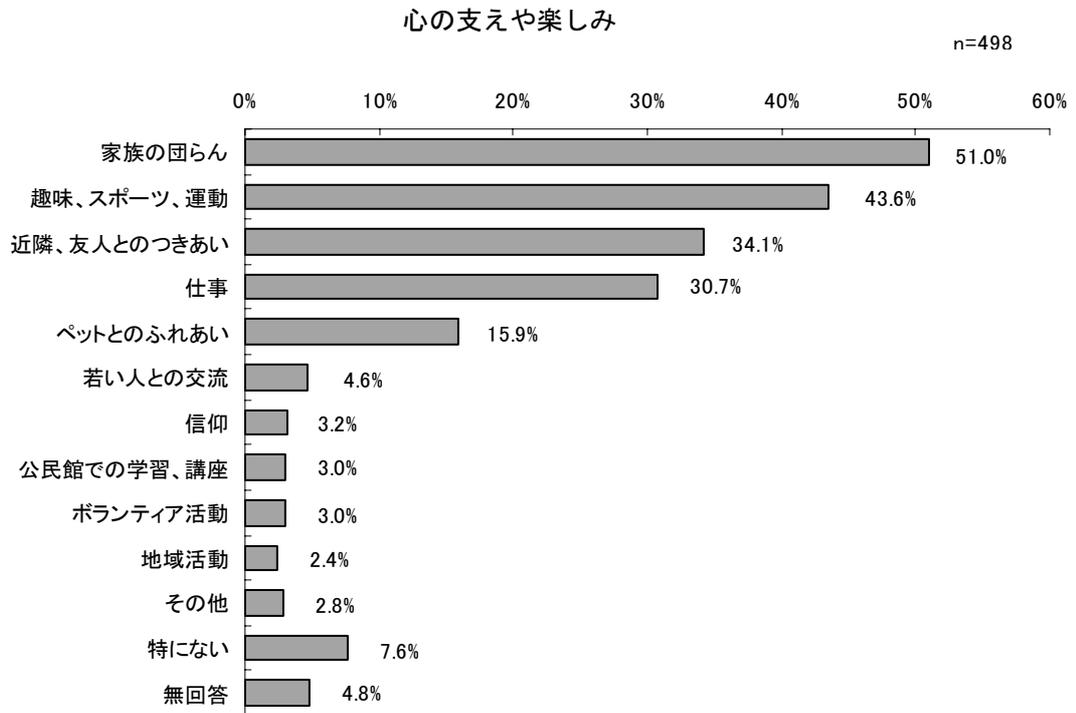
**問 20 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みを誰（どこ）に相談していますか。**  
**(あてはまる番号すべてに○)**

「同居の家族」が 57.4%と 6 割に近い回答となっています。「友人、隣近所の人」が 29.5%、「医療機関の医師や看護師」が 22.9%、「別居の子ども、親族など」が 19.5%となっており、他は少数です。また、「相談相手はいない」は 3.0%です。



問 21 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

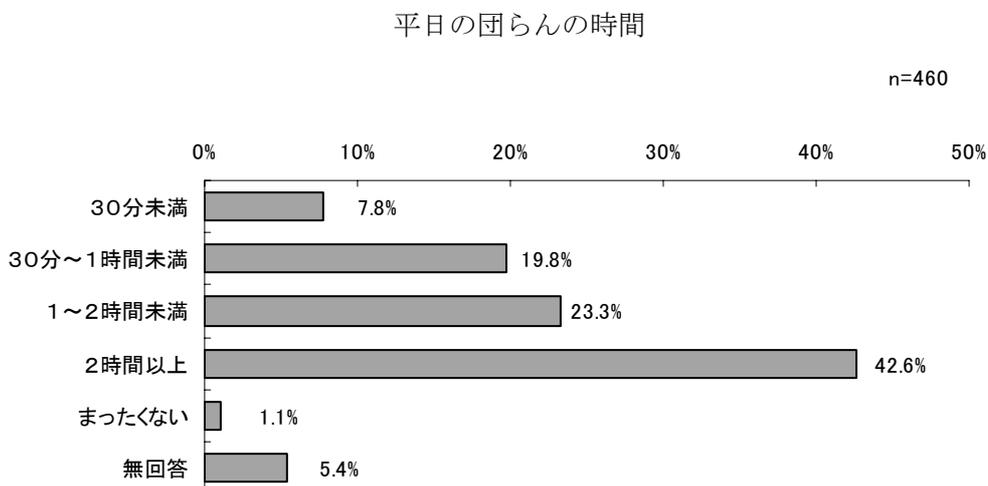
「家族の団らん」が 51.0%、「趣味、スポーツ、運動」が 43.6%の順となっています。高齢者の第 1 位「近隣、友人とのつきあい」が第 3 位となっており 34.1%、「仕事」が 30.7%などとなっています。また、「特にない」は 7.6%です。



問 22 (ご家族等と同居しておられる方のみお答えください。)

平日の家族等との団らんの時間がどれぐらいありますか。(1つに○)

「2時間以上」が最も多く 42.6%と 4 割になっています。「1～2時間未満」が 23.3%で、あわせると 65.9%と 6 割強が 1 時間以上団らんの時間をもっています。これに対し「まったくない」は 1.1%と少数です。



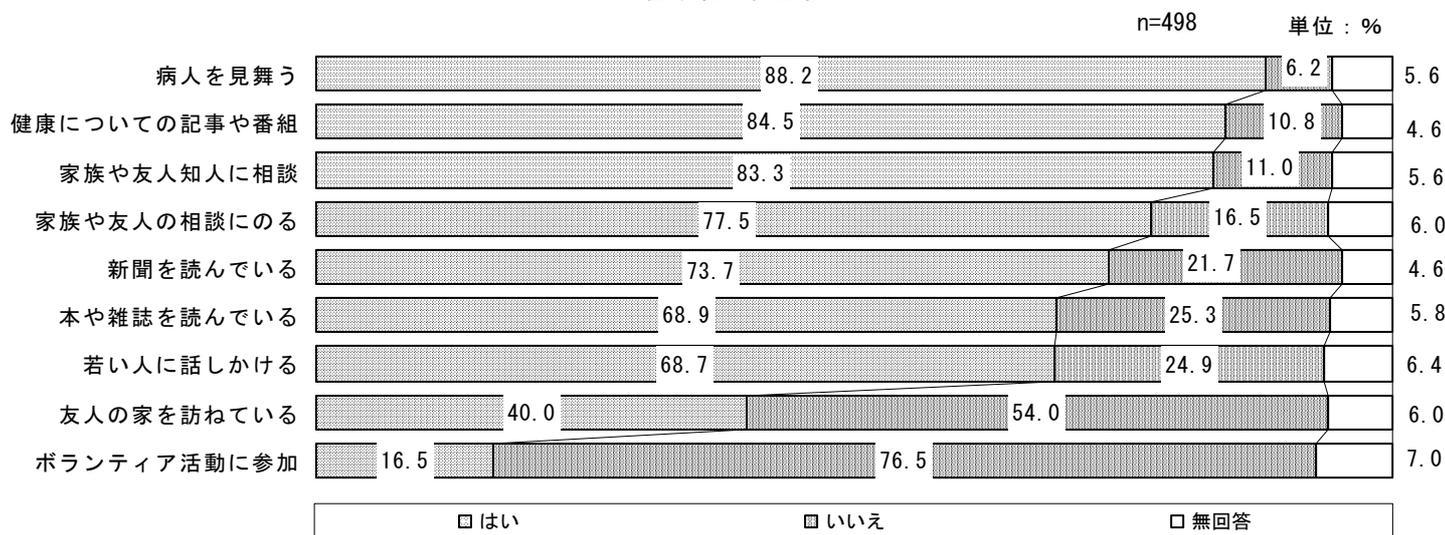
## 4 社会参加について

問 23 社会参加について、おたずねします。①から⑨までの各問について  
お答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

「はい」という回答が最も多いのは「病人を見舞う」の 88.2%です。加えて「健康についての記事や番組に関心がある」(84.5%)、「家族や友人・知人に相談」(83.3%)、「家族や友人の相談にのる」(77.5%) で 80%前後の高い回答がみられ、「新聞を読んでいる」(73.7%)、「若い人に話しかける」(68.7%) でも 70%前後となっています。

これに対し「友人の家を訪ねている」は 40.0%、「ボランティア活動に参加している」は 16.5%と低くなっています。

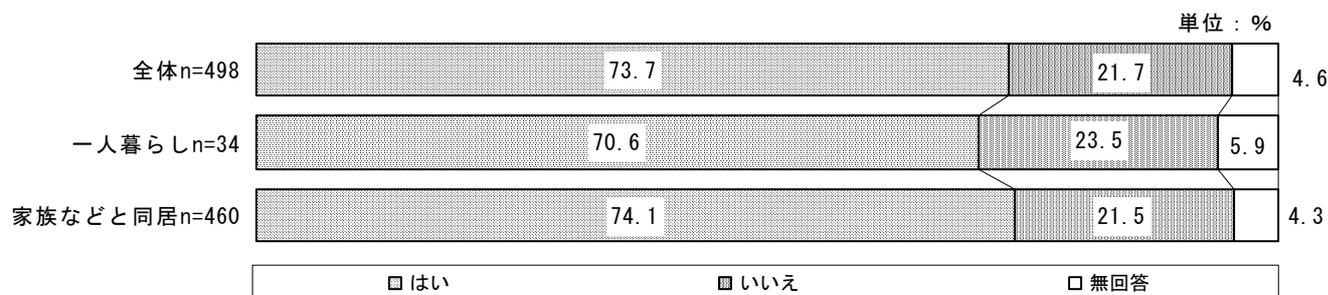
### 若年層の社会参加



### ① 新聞を読んでいますか

「はい」という人は家族などと同居では 74.1%ですが、一人暮らしでは 70.6%と 4ポイントの差がみられます。

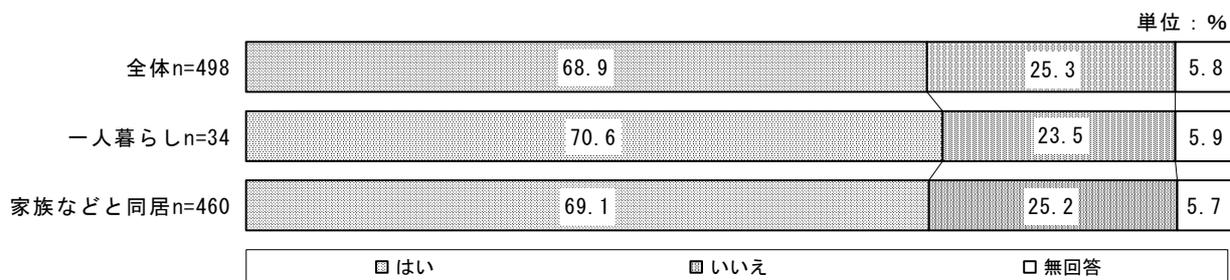
### 新聞を読んでいるか



## ②本や雑誌を読んでいますか

「はい」という人は家族など同居では 69.1%ですが、一人暮らしでは 70.6%となっており、ほとんど差はみられません。

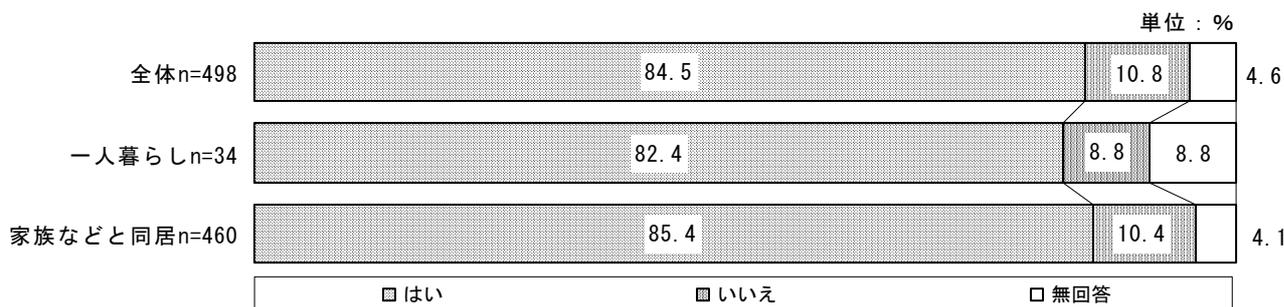
本や雑誌を読んでいるか



## ③健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」という人は家族など同居では 85.4%ですが、一人暮らしでは 82.4%となっており、3ポイント差となっています。

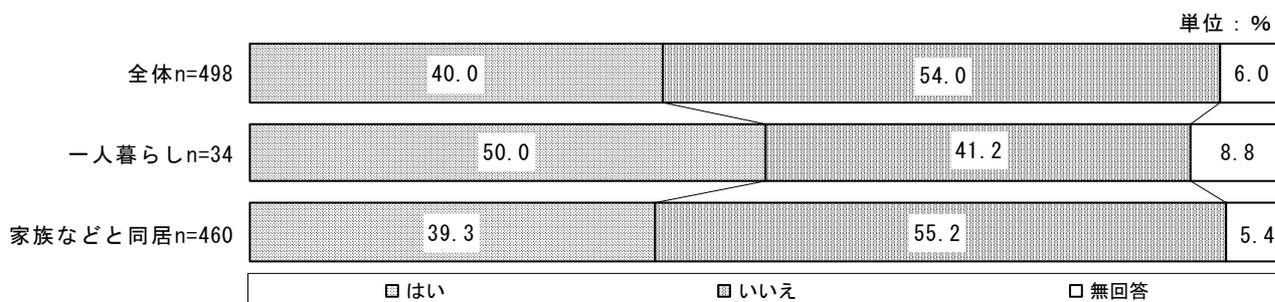
健康についての記事や番組に関心があるか



## ④友人の家を訪ねていますか

「はい」という人は家族など同居では 39.3%ですが、一人暮らしでは 50.0%となっており、10ポイントもの差がみられます。

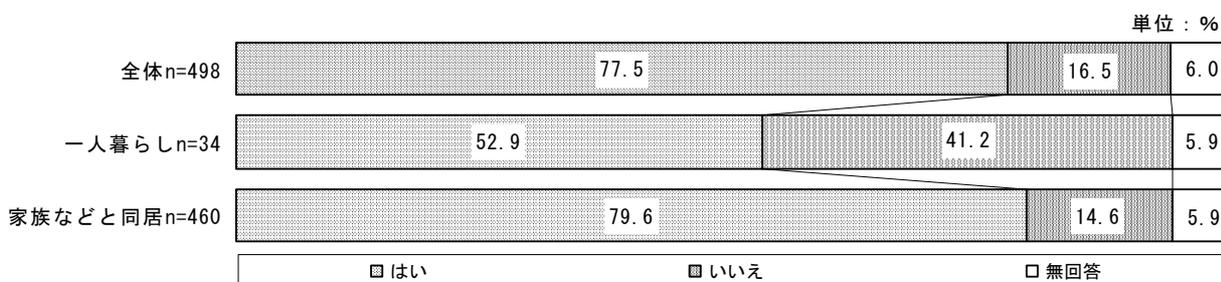
友人の家を訪ねているか



⑤家族や友人の相談にのっていますか

「はい」という人は家族などと同居では 79.6%ですが、一人暮らしでは 52.9%となっており、30 ポイントに近い大きな差がみられます。

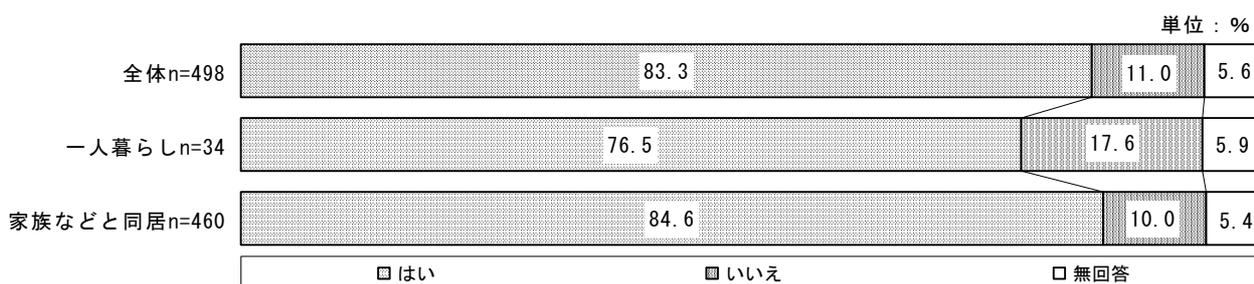
家族や友人の相談にのっているか



⑥何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか

「はい」という人は家族などと同居で 84.6%、一人暮らしで 76.5%と高い回答となっています。

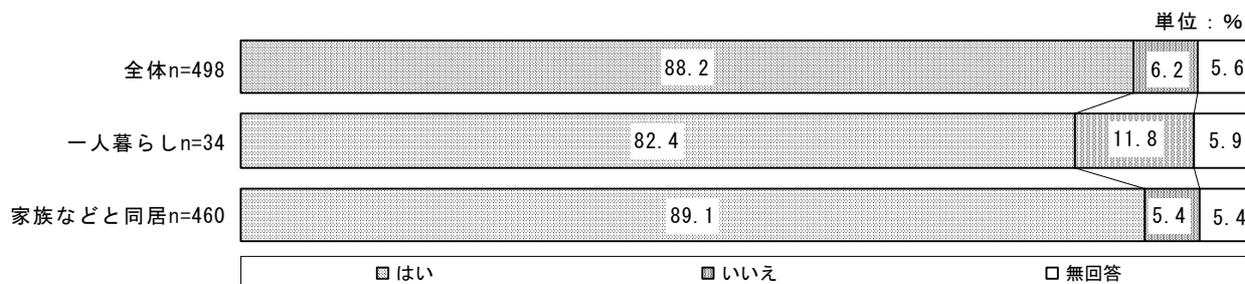
家族や友人・知人に相談しているか



⑦病人を見舞うことができますか

「はい」という人は家族などと同居では 89.1%と大多数ですが、一人暮らしでは 82.4%となっており、差がみられます。

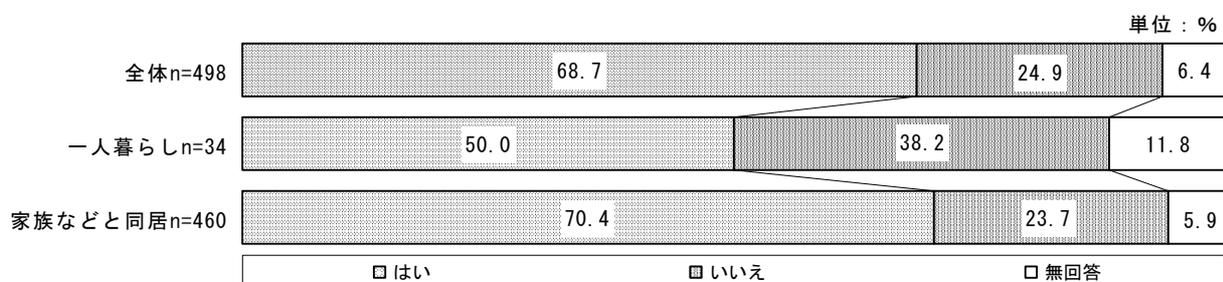
病人を見舞うことができるか



⑧若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」という人は家族などと同居では 70.4%ですが、一人暮らしでは 50.0%となっており、大きな差がみられます。

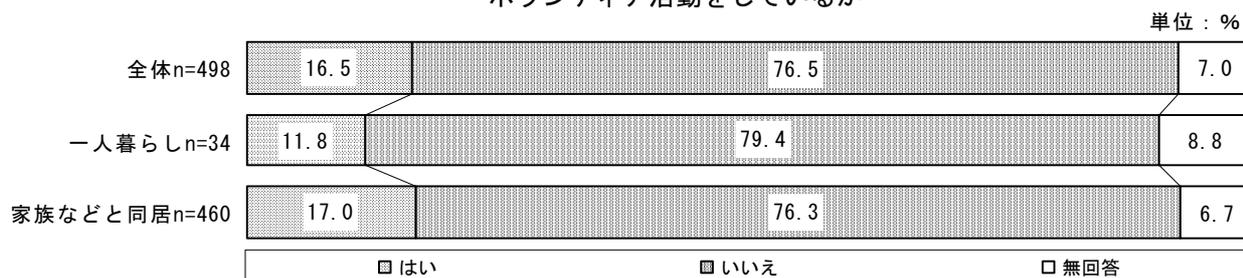
若い人に自分から話しかけることがあるか



⑨ボランティア活動をしていますか

「はい」という人は家族などと同居の 17.0%に対し、一人暮らしでは 11.8%となっており、差がみられます。

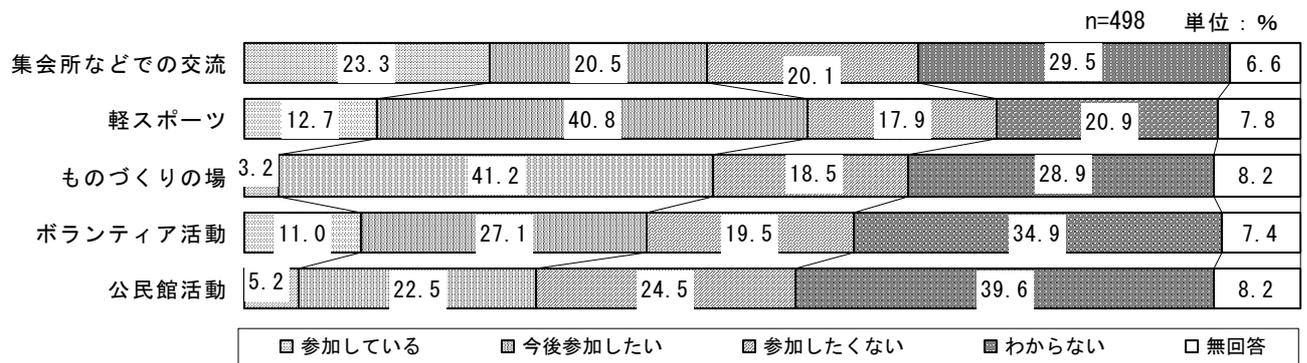
ボランティア活動をしているか



問 24 以下のような地域活動に参加していますか。それぞれ「参加している」「今後参加したい」「参加したくない」「わからない」から1つ選んで番号に○をつけてください。

「参加している」人は「集会所などでの交流」が23.3%と最も多く、「軽スポーツ」「ボランティア活動」もそれぞれ12.7%、11.0%みられます。また、「今後参加したい」人は「ものづくりの場」の41.2%、「軽スポーツ」の40.8%などが多くみられます。

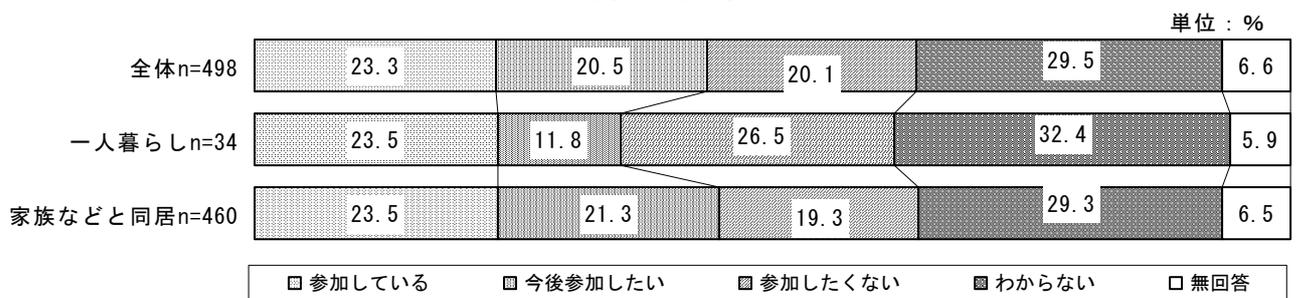
地域活動への参加



① 集会所などでの交流

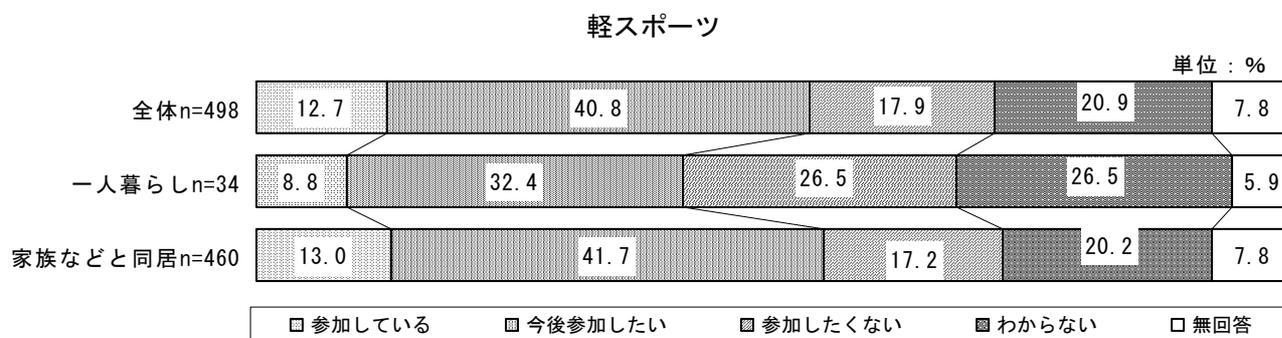
「一人暮らし」では「今後参加したい」が23.5%、「家族などと同居」でも23.5%と同率となっています。

集会所などで交流



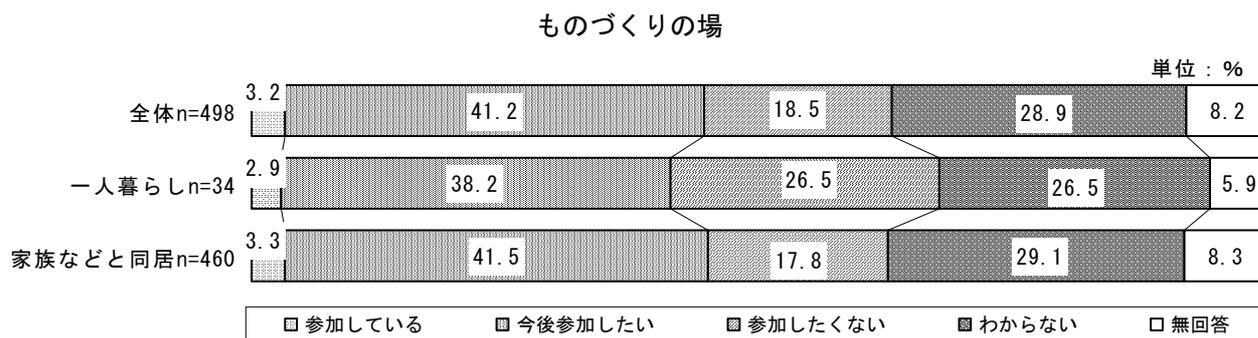
## ②軽スポーツ

「今後参加したい」という人は、「一人暮らし」と「家族など同居」とでは家族など同居が約9ポイント多いですが、「参加したくない」では一人暮らしの26.5%に対し家族など同居では17.2%となっており、一人暮らしのほうが多くなっています。



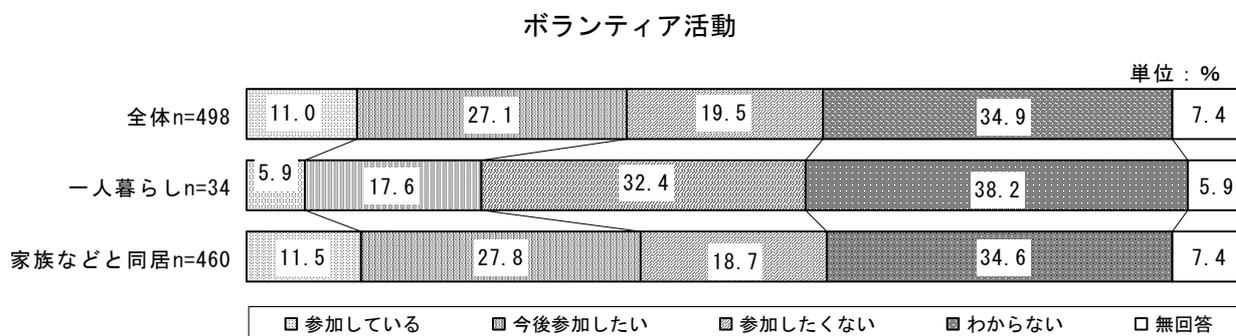
## ③ものづくりの場

「参加したい」は、「一人暮らし」と「家族など同居」で差はみられませんが、「参加したくない」では26.5%と一人暮らしのほうが多くみられます。



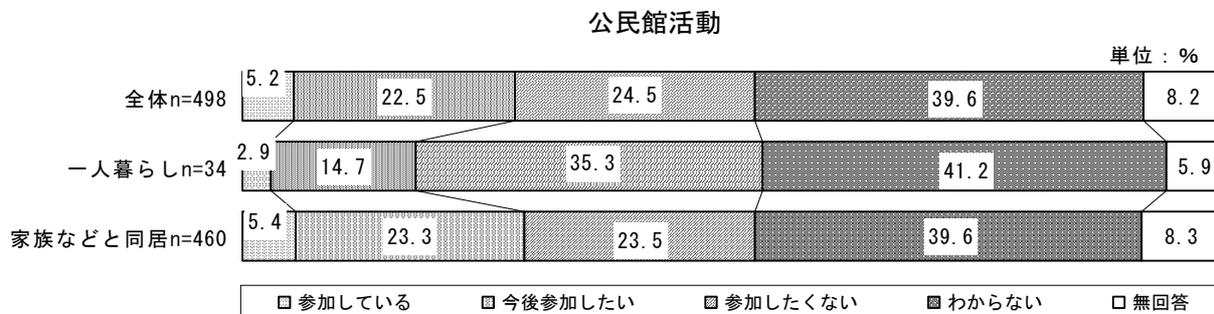
## ④ボランティア活動

「参加している」は、「一人暮らし」の5.9%に対し、「家族など同居」で11.5%と同居のほうが多く、「今後参加したい」でも同居のほうが約10ポイント多くみられます。



## ⑤公民館活動

「今後参加したい」人は、「一人暮らし」の14.7%に対し、「家族などと同居」で23.3%と同居のほうが多くなっています。

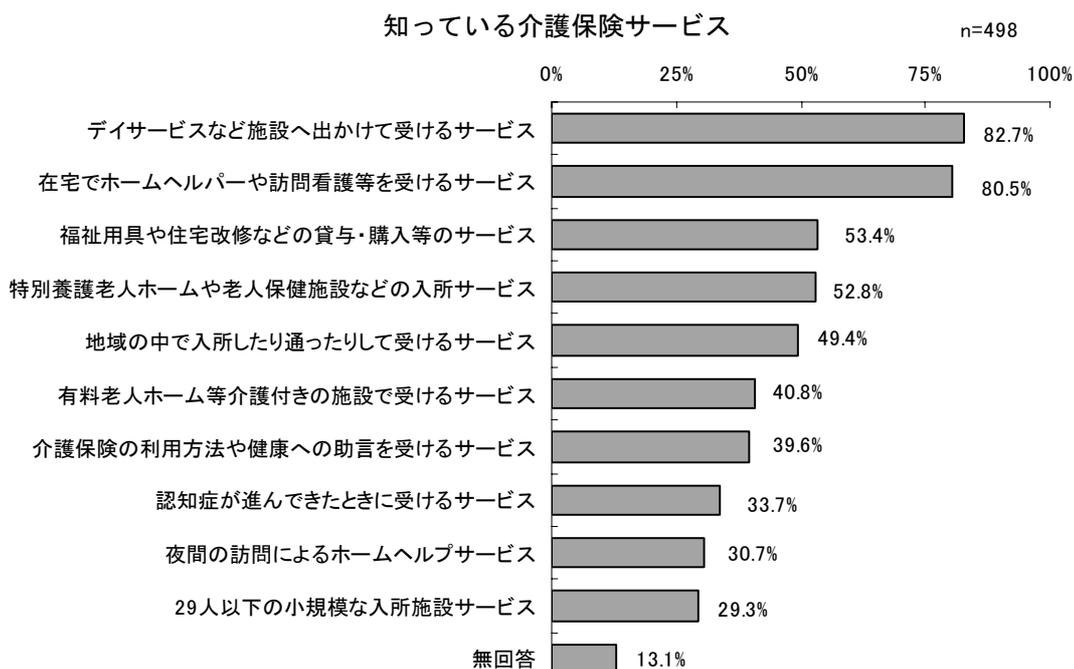


## 5 介護保険について

問 25 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていましたか。  
 (知っていたものすべての番号に○をつけてください。)

「デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス」が82.7%、「在宅でホームヘルパーや訪問看護、リハビリなどを受けるサービス」が80.5%で8割を超えています。「福祉用具や住宅改修などの貸与・購入等のサービス」が53.4%、「特別養護老人ホーム（特養）や老人保健施設（老健）などの入所サービス」が52.8%などとなっています。

これに対し「夜間の訪問によるホームヘルプサービス」や「29人以下の小規模な入所施設サービス」など「地域密着型」のサービスが下位となっており、グループホームなど「認知症が進んできたときに受けるサービス」も33.7%にとどまっています。

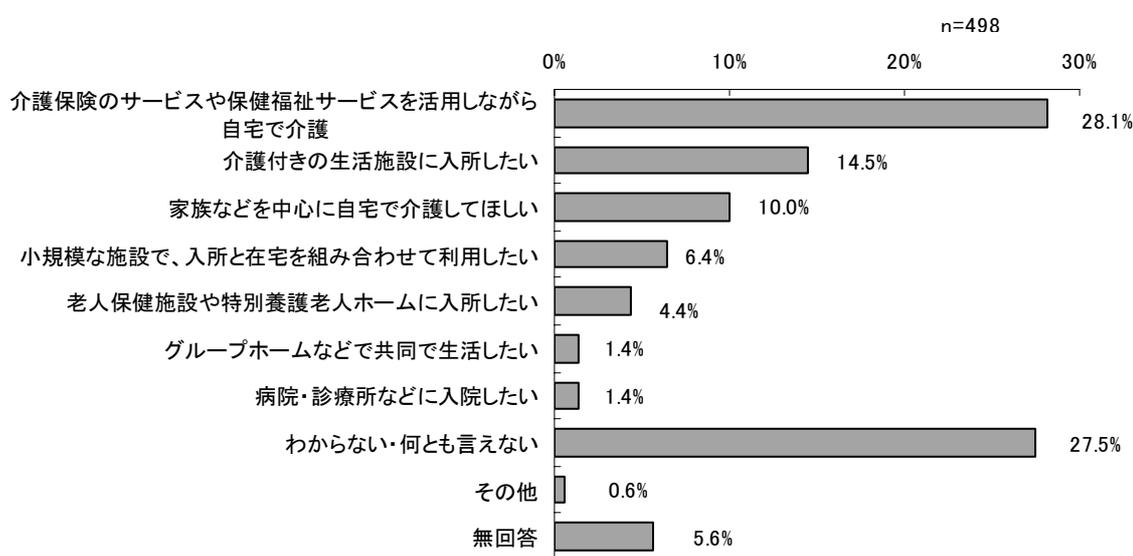


問 26 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が28.1%と最も多くなっています。「家族などを中心に自宅で介護してほしい」も10.0%となっており、上位は自宅を希望する人が多くなっています。

施設では、「介護付きの生活施設に入所したい」が最も多く14.5%となり、「老人保健施設や特別養護老人ホームに入所したい」の4.4%を約10%上回っています。

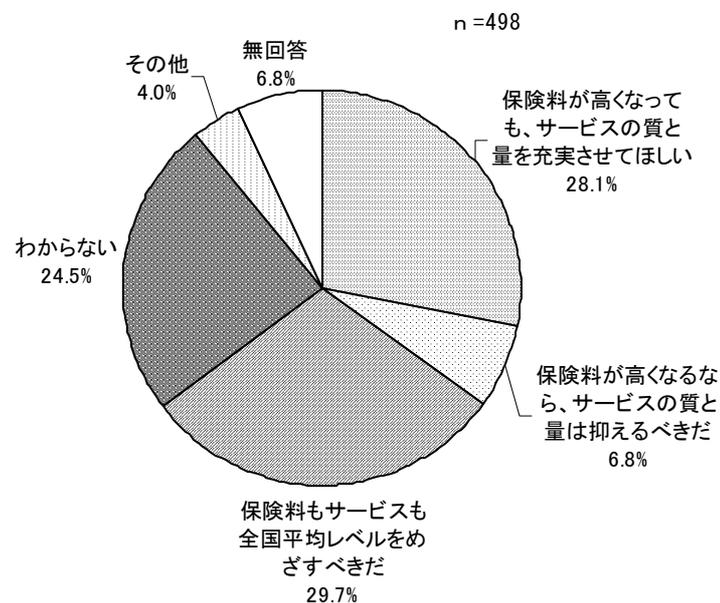
自分に介護が必要となったとき



問 27 今後、平成 27 年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が 29.7%、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」が 28.1%であり、あわせると 6 割弱 (57.8%) となっています。「保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ」は 6.8%にとどまっています。

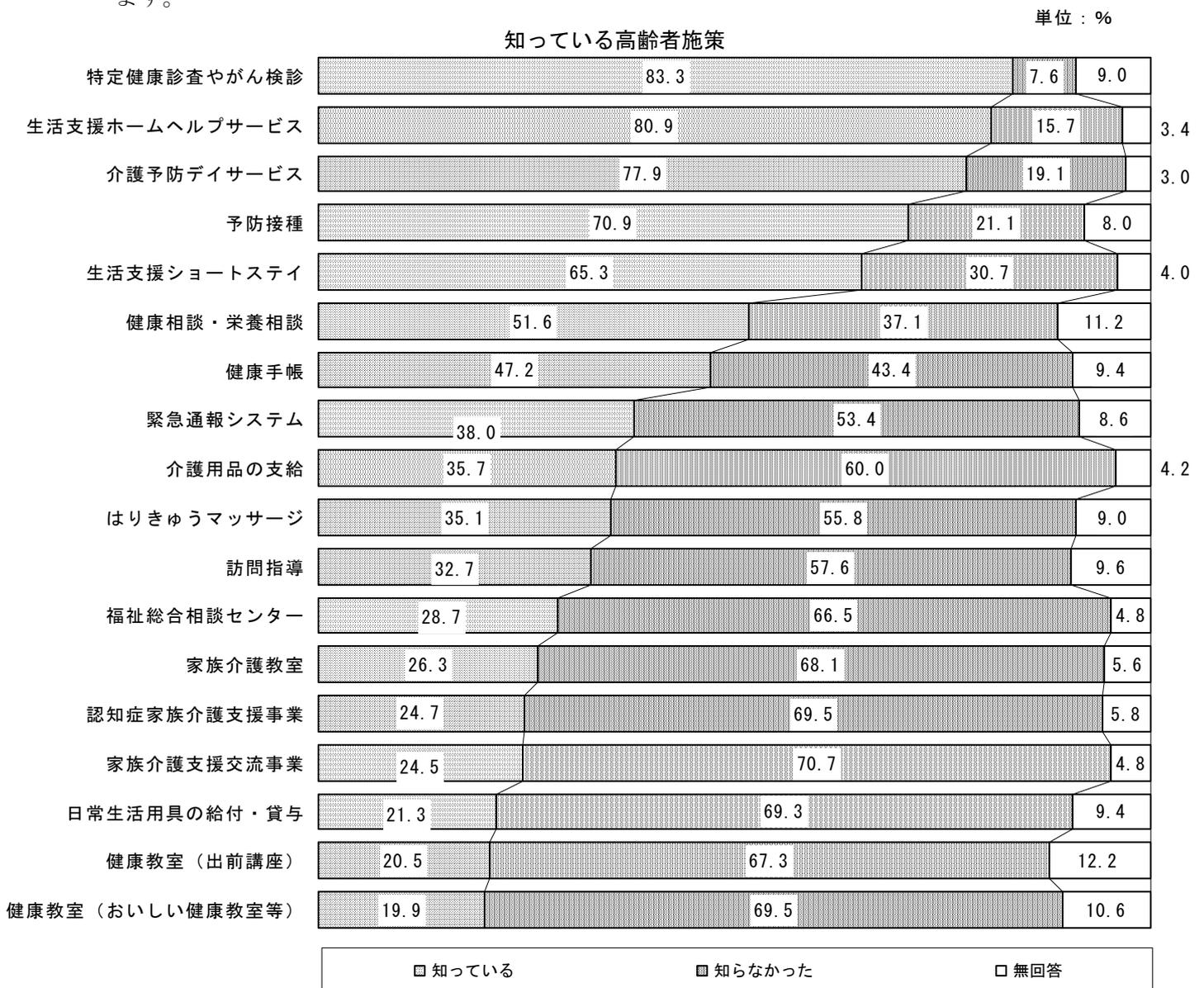
若年層の介護保険料の改定



## 6 今後の高齢者施策について

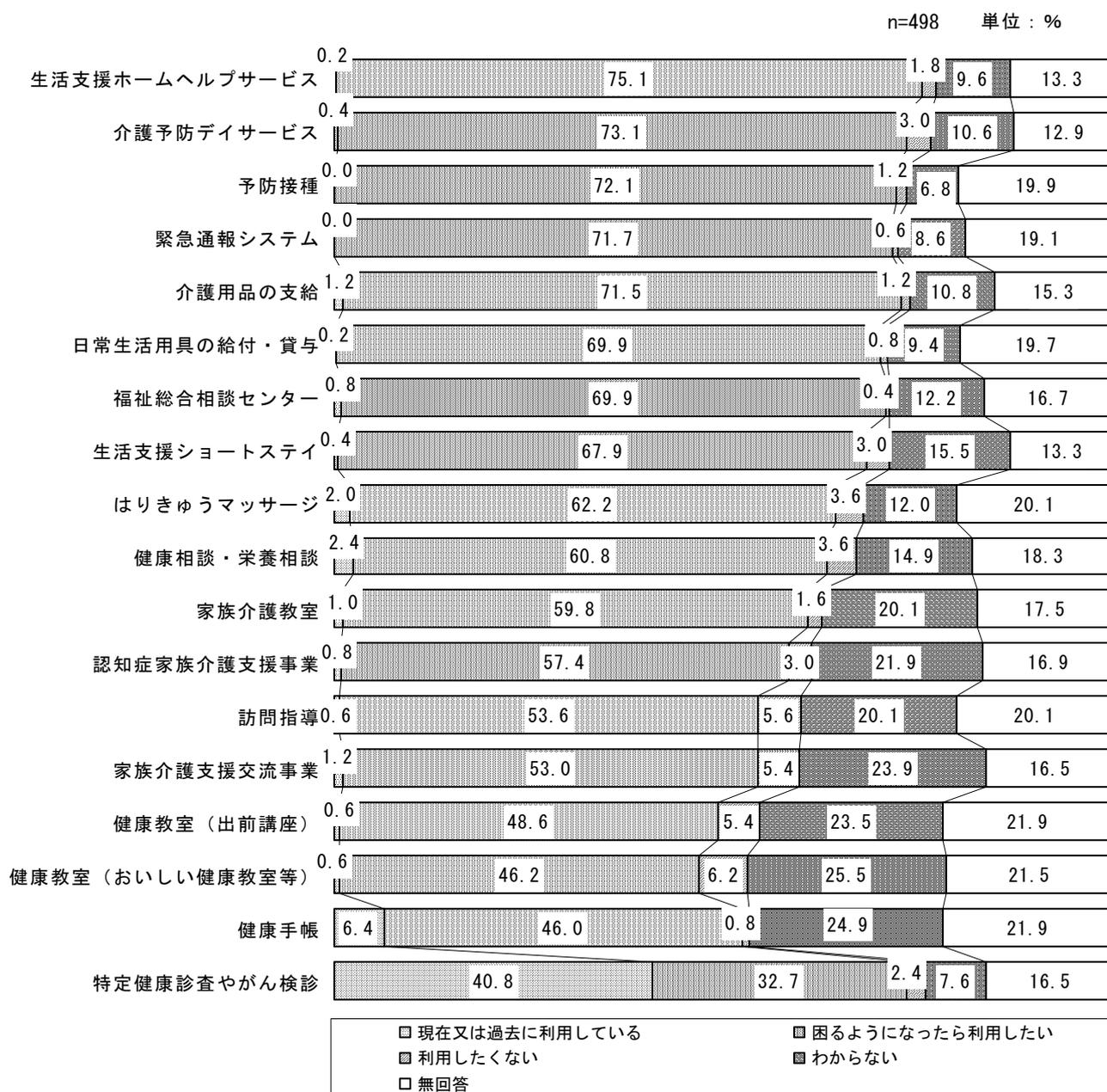
問 28 次に挙げる保健福祉サービスについて、ご存知かどうか、また利用の状況や意向をおききします。各問、「知っていましたか」の1または2、「利用状況・意向」の1～4の該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

「特定健康診査やがん検診」は83.3%と大多数が「知っていた」と回答しています。「生活支援ホームヘルプサービス」が80.9%、「介護予防デイサービス」が77.9%となっています。18事業のうち7事業で「知っていた」が「知らなかった」を上回っています。



「困るようになったら利用したい」と考えられている高齢者施策は「生活支援ホームヘルプサービス」(75.1%)、「介護予防デイサービス」(73.1%)、「予防接種」(72.1%)、「緊急通報システムの設置」(71.7%)等が7割の回答があり、多くなっています。18事業のうち14事業で過半数となる高い回答があるなど、全体として高い利用希望がみられます。

### 利用したい高齢者施策

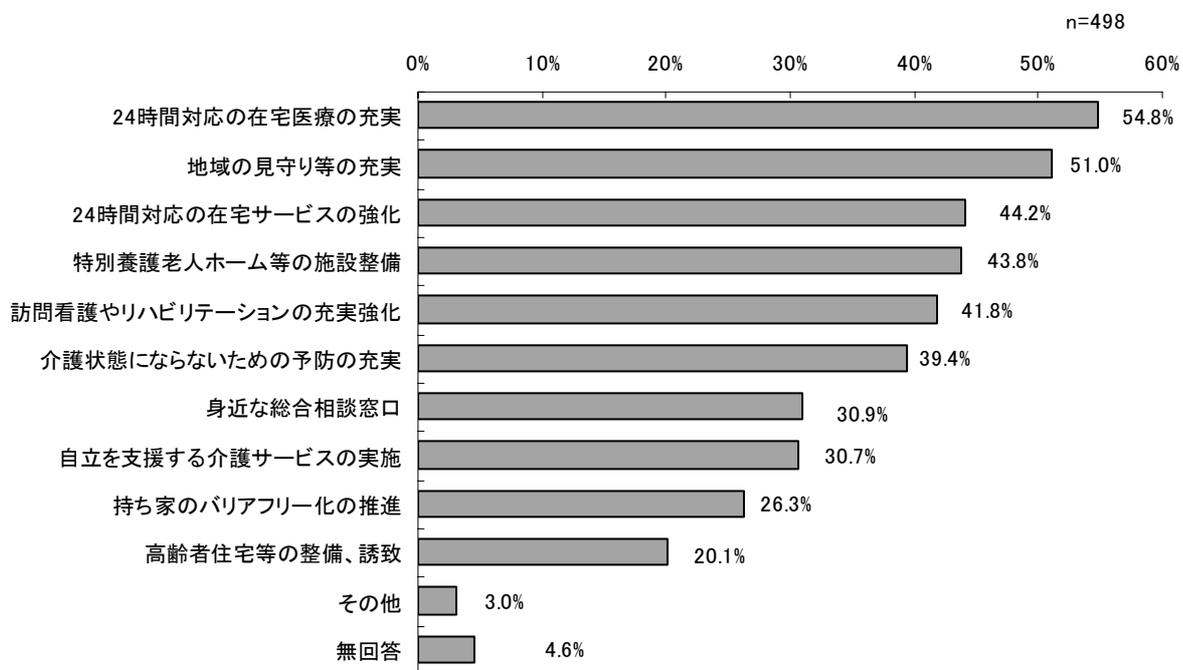


問 29 国においては、日常の生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。（あてはまる番号すべてに○）

「24時間対応の在宅医療の充実」という回答が54.8%に達して最も多く、次いで「一人暮らしや高齢夫婦世帯などへの地域の見守り等の充実」（51.0%）が、同様に過半数で多くなっています。

これに対し、「持ち家のバリアフリー化の推進」（26.3%）や「高齢者住宅等の整備、誘致」（20.1%）は2割台の回答率で、下位となっています。

若年層が優先してほしい今後の日常生活圏域におけるケアシステム



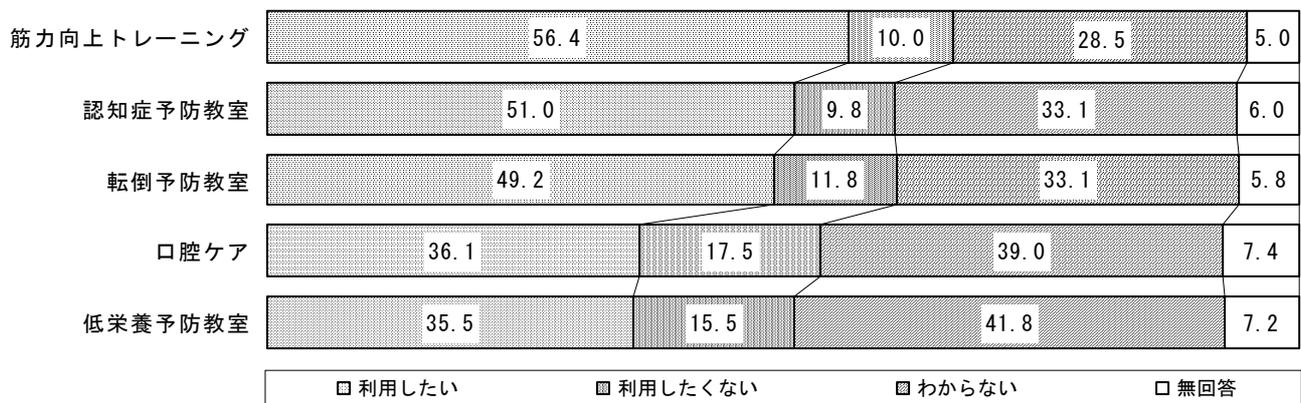
問 30 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスについて、利用したいと思えますか。（それぞれ「利用したい」「利用したくない」「わからない」から選んで1つに○をつけてください。）

すべての間で「利用したい」が「利用したくない」を上回っています。この中で「利用したい」という人が最も多いのは「筋力向上トレーニング」で56.4%、また、「認知症予防教室」が51.0%、「転倒予防教室」が49.2%で続いています。

介護予防対策

n=498

単位：%



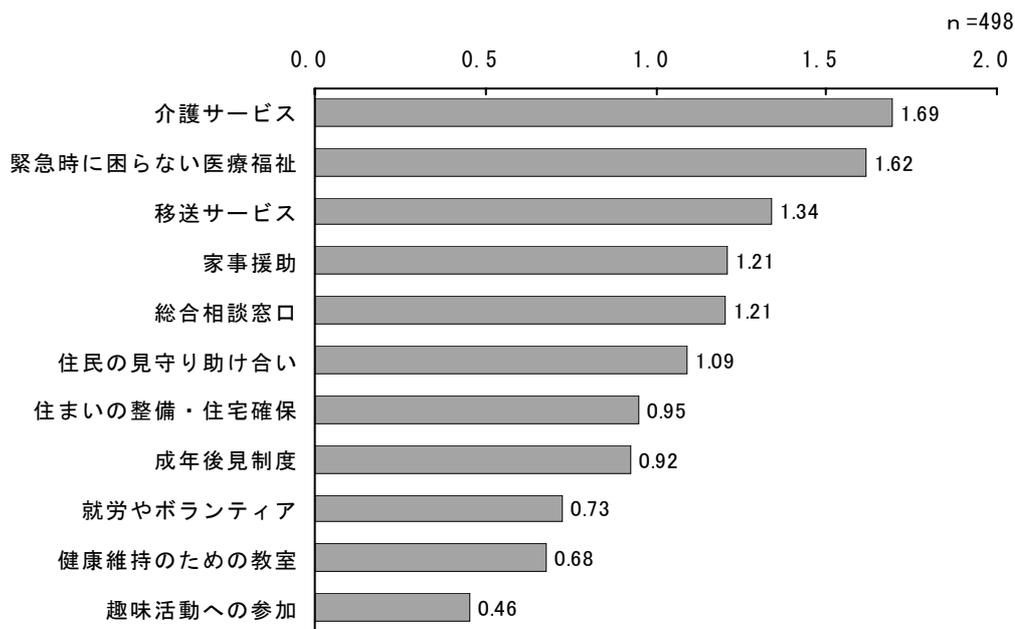
問 31 以下の高齢者施策は、どの程度重要と考えますか。(それぞれ「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」「重要でない」から1つを選んでください。)

「とても重要」を+2点、「ある程度重要」を+1点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点とした時の平均をみると、すべての施策でプラスとなり、重要と考えられています。

最も重要と考えられているのは「介護サービス」(1.69)であり、「緊急時に困らない医療福祉」(1.62)、「移送サービス」(1.34)や「家事援助等」(1.21)などが続いています。

下位には「趣味活動への参加」(0.51)や「就労やボランティア」(0.68)、「健康維持のための教室」(0.73)などが挙げられています。

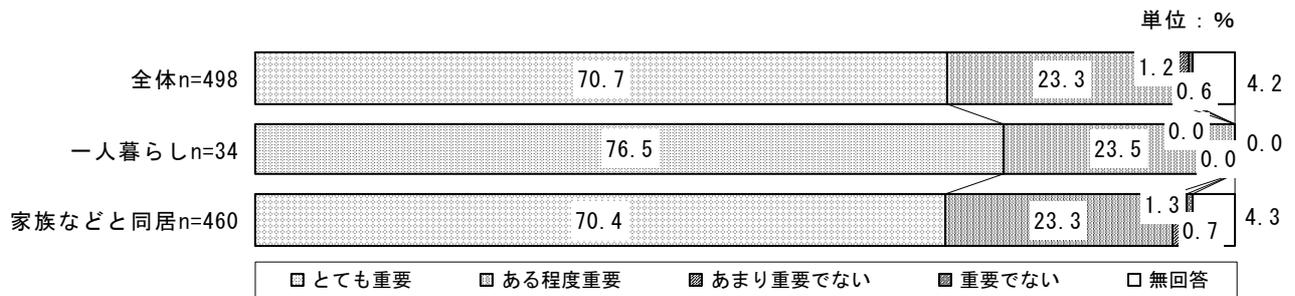
重要と思われる高齢者施策



### ① 安心して受けられる介護サービス

一人暮らしでは「とても重要」が76.5%でしたが、家族などと同居では70.4%となっており、一人暮らしのほうが高い希望がみられます。

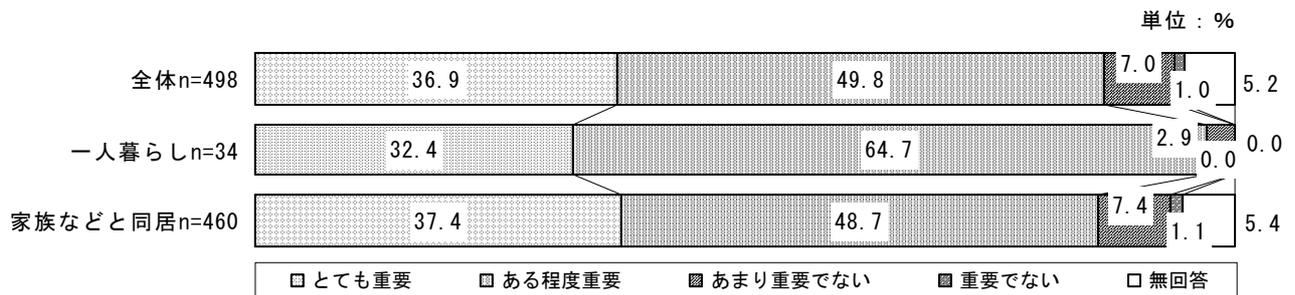
介護サービス



### ② 気軽に受けられる掃除、洗濯、買物、調理等の日常生活の援助（家事援助など）

一人暮らしでは「とても重要」が32.4%となっていますが、家族などと同居では37.4%となっており、同居世帯のほうが高い希望がみられます。

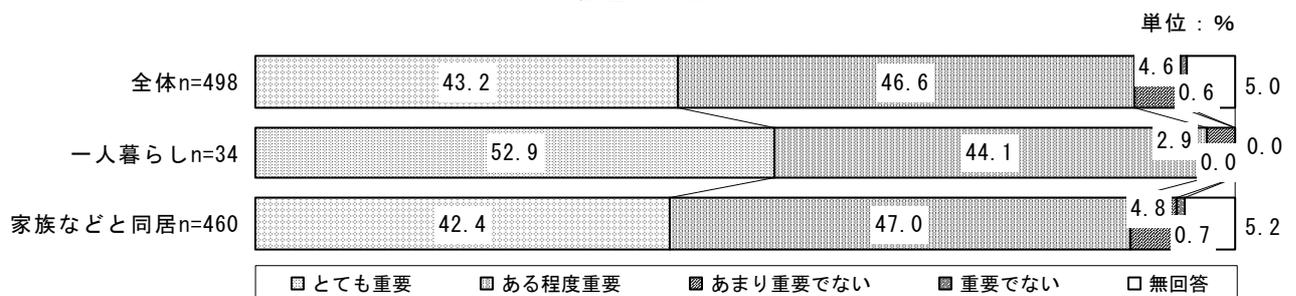
気軽に受けられる掃除、洗濯、買物、調理等の日常生活の援助



### ③ 通院介助等の移送サービス

一人暮らしでは「とても重要」が52.9%でしたが、家族などと同居では42.4%となっており、一人暮らしのほうが高い希望がみられます。

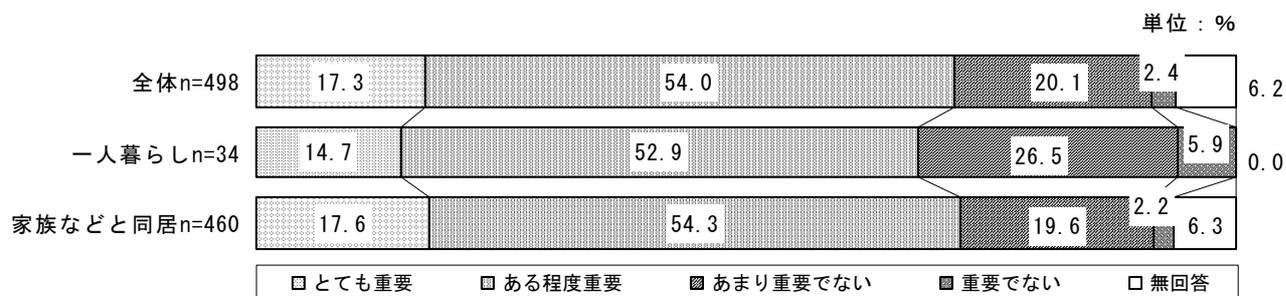
移送サービス



#### ④健康維持のための教室

「とても重要」、「ある程度重要」ともに一人暮らしと同居世帯で大きな差はみられませんが、同居世帯のほうがやや多くなっています。

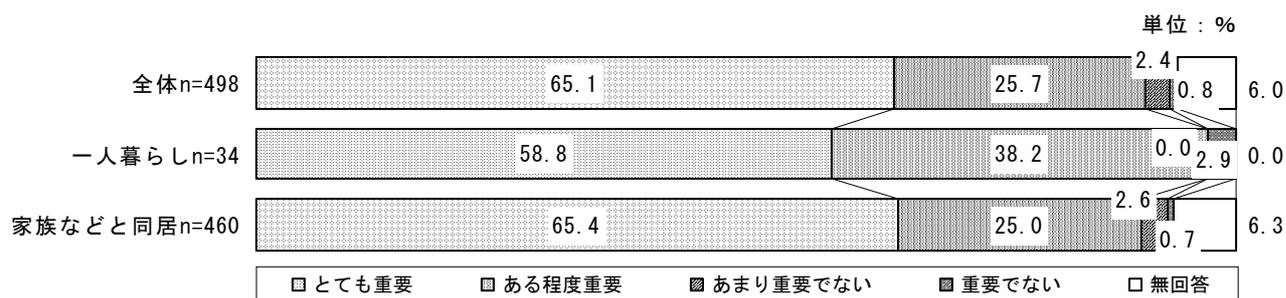
健康維持のための教室



#### ⑤緊急時などにも困らない医療・福祉サービス

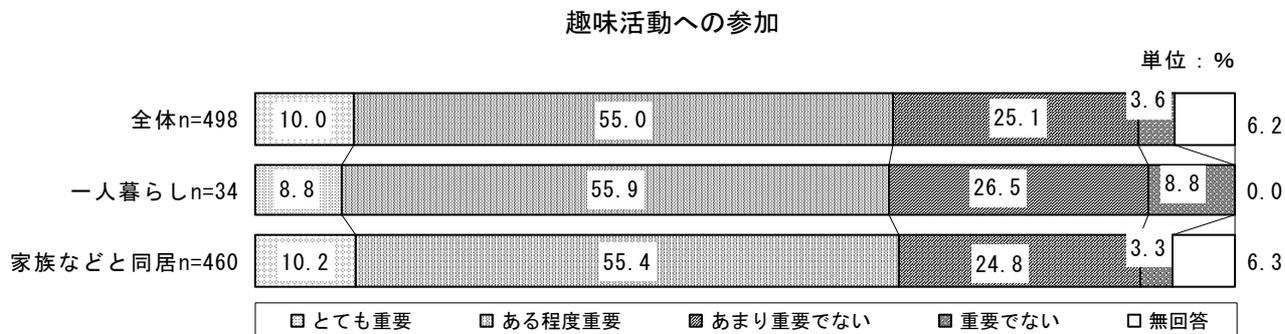
「とても重要」では一人暮らしが 58.8%、家族など同居では 65.4% になっており、同居家族のほうが高い希望がみられます。

緊急時の医療・福祉サービス



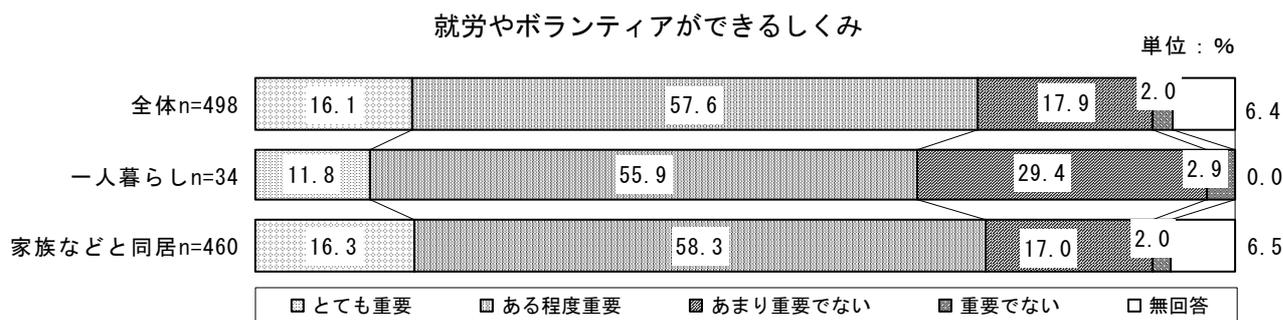
### ⑥身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ

「とても重要」、「ある程度重要」ともに一人暮らしと同居世帯で大きな差はみられません。



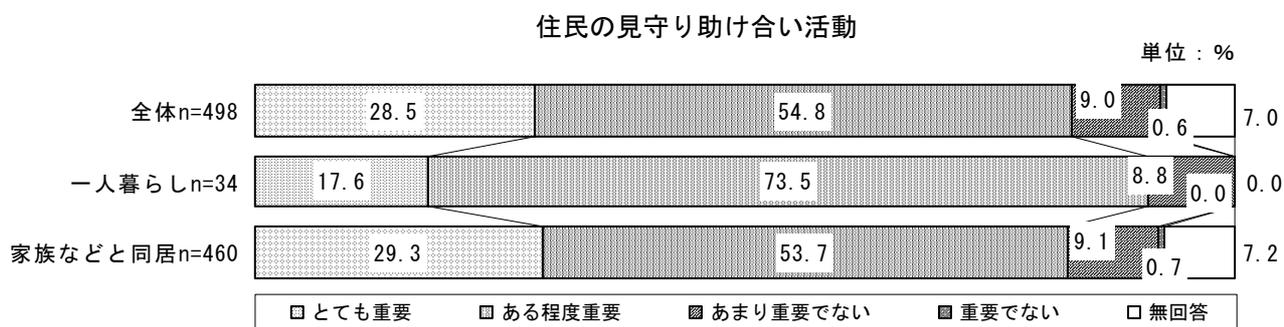
### ⑦経験を生かして就労やボランティアができるしくみ

「とても重要」では一人暮らしは 11.8%ですが、家族など同居では 16.3%となっており、同居世帯のほうがやや高くなっています。



### ⑧高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動

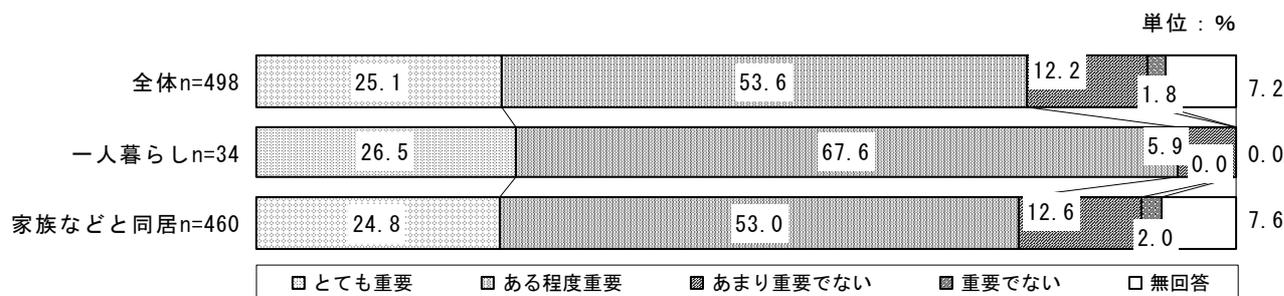
「とても重要」では一人暮らしが 17.6%、家族など同居世帯では 29.3%となっており 10ポイント以上の大きな差がみられます。



### ⑨住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援

「とても重要」では一人暮らしが26.5%、家族などと同居では24.8%となっており、やや一人暮らしのほうが多くなっています。「ある程度重要」では一人暮らしが67.6%、家族などと同居が53.0%であり、一人暮らしのほうが多くなっています。

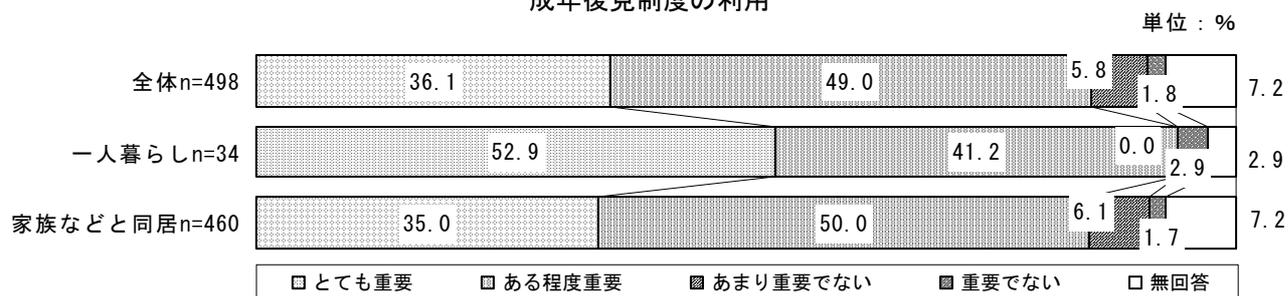
住みやすい住宅の整備推進や住宅確保



### ⑩身近な総合相談の窓口

「とても重要」では一人暮らしが52.9%、家族などと同居では35.0%となっており、一人暮らしのほうが多くなっていますが、「ある程度重要」では家族などと同居が大きく上回っています。

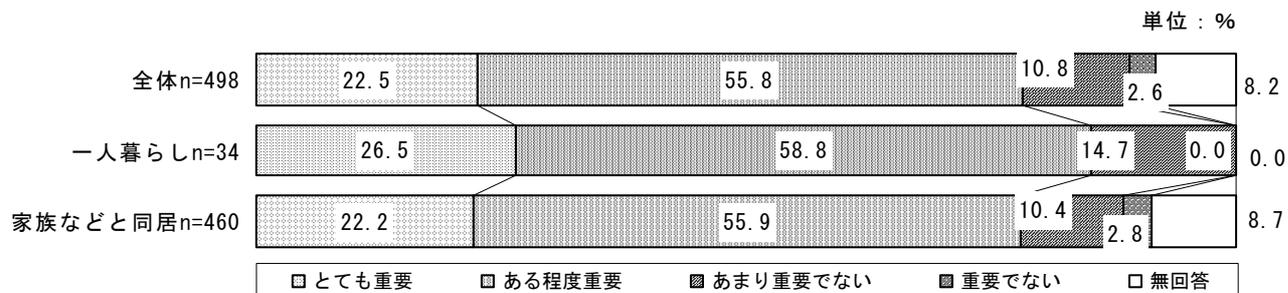
成年後見制度の利用



### ⑪成年後見制度の利用支援

「とても重要」では一人暮らしが26.5%、家族などと同居では22.2%となっており、やや一人暮らしのほうが多くなっています。「ある程度重要」も一人暮らしが上回っています。

成年後見制度の利用





## 第4章

### 要支援・要介護認定者調査

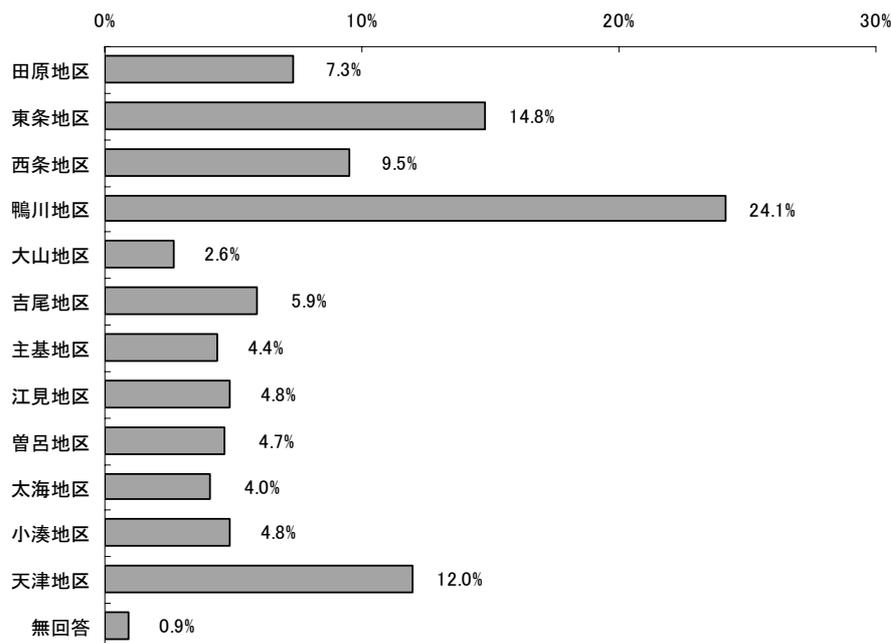


## 1 回答者の属性

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

本調査での回答者の居住地区は、以下のとおりとなっています。

要支援・要介護認定者の居住地区 n=642

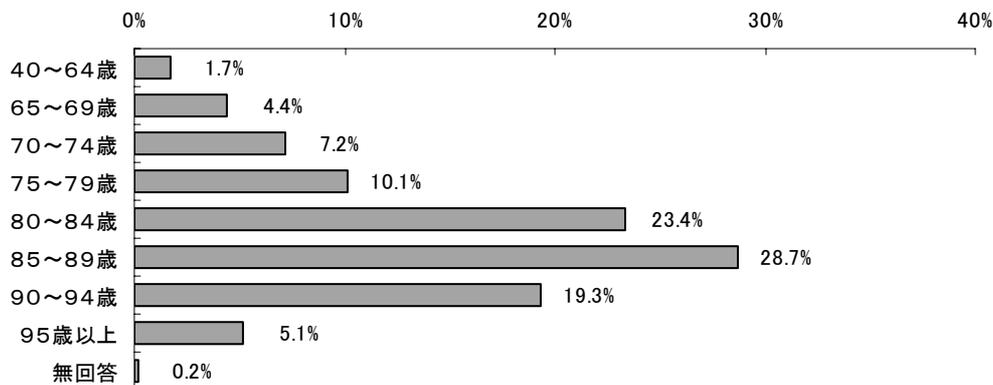


問2 平成26年1月1日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

回答者の年齢は次のグラフのとおりとなっています。「前期高齢者(65歳から74歳)」が11.6%、「後期高齢者(75歳以上)」が86.6%、「第2号被保険者(40歳から64歳)」が1.7%となっており、大多数が後期高齢者となっています。

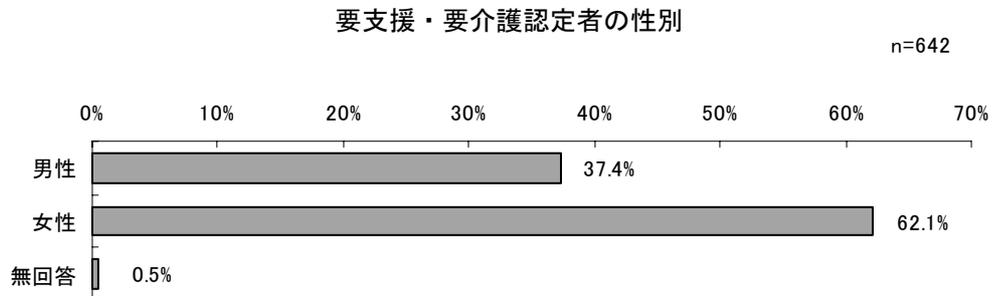
要支援・要介護認定者の年齢

n=642



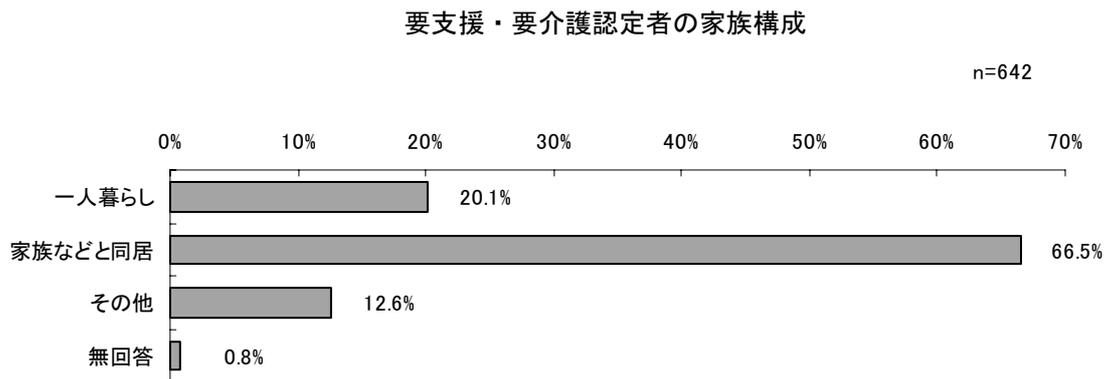
問3 性別をお答えください。(1つに○)

回答者の性別は、「男」が37.4%、「女」が62.1%で女性のほうが多くなっています。



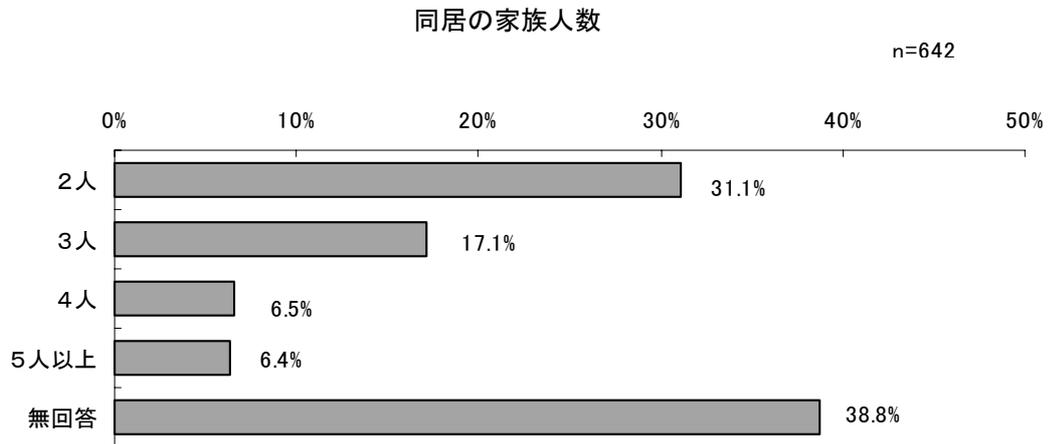
問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

家族構成は、「家族など同居」が66.5%と大多数となっていますが、「一人暮らし」も20.1%を占めています。施設入所など「その他」は12.6%となっています。

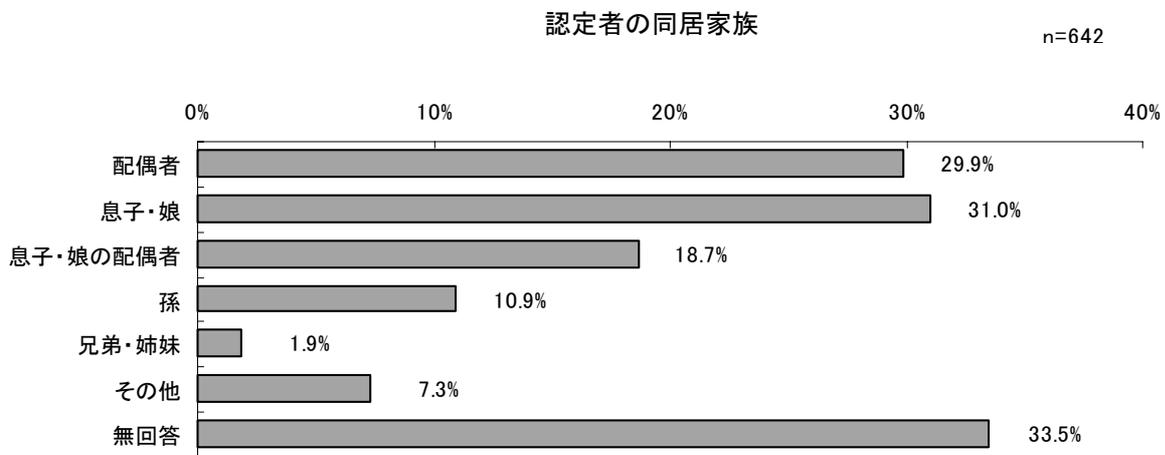


問5 (ご家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

家族と同居の人の家族人数の平均は 1.7 人となっています。最も多いのは、「2人」で 31.1%と3分の1となっています。5人以上の家庭は 6.4%となっています。



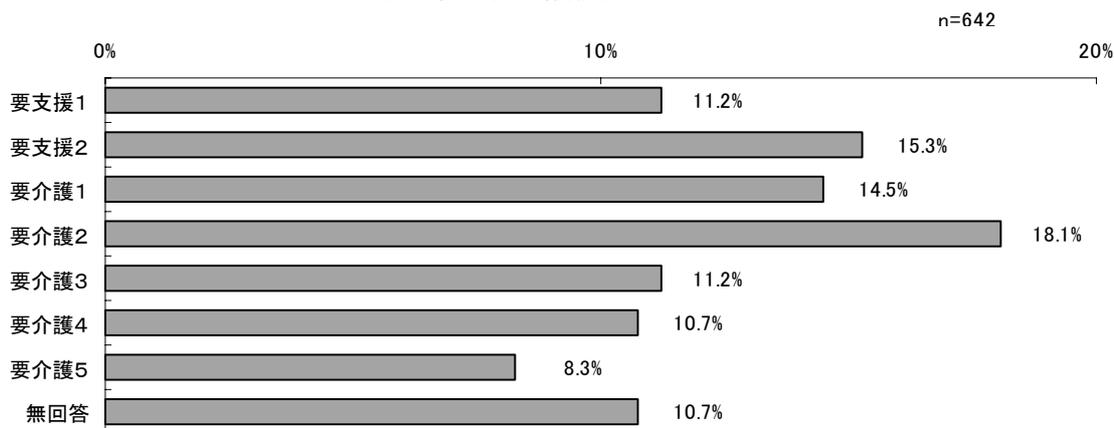
同居家族は、「配偶者」が 29.9%、「息子・娘」が 31.0%などとなっています。



問6 平成26年1月1日現在の要介護度は、次のどれですか。（1つに○）

要支援・要介護認定の状況は、要支援が26.5%と4人に1人（要支援1：11.2%、要支援2：15.3%）、中度が43.8%（要介護1：14.5%、要介護2：18.1%、要介護3：11.2%）、重度が19.0%（要介護4：10.7%、要介護5：8.3%）と、5人に1人の割合となっています。

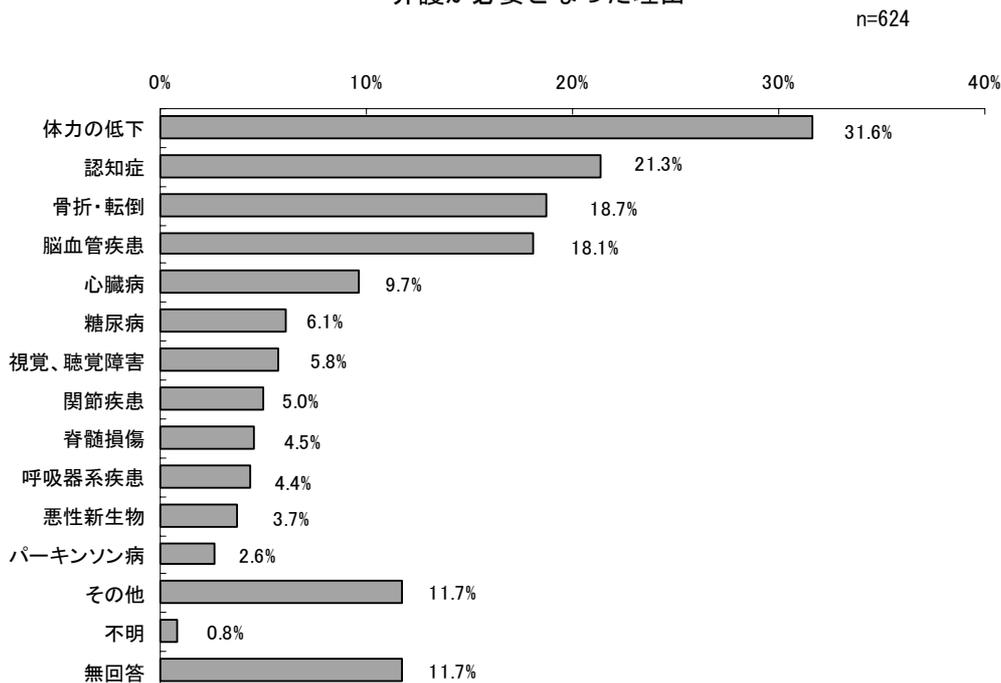
要支援・要介護度認定



問7 介護が必要になった原因は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「体力の低下」が31.6%と最も多く、「認知症」が21.3%、「骨折・転倒」が18.7%、「脳血管疾患」が18.1%などが、介護が必要となった主な理由となっています。

介護が必要となった理由



要支援及び要介護中度まででは「体力の低下」が最も多くなっています。要介護重度では「認知症」が40.0%と最も多くなっています。

要支援・要介護度別の介護が必要となった理由

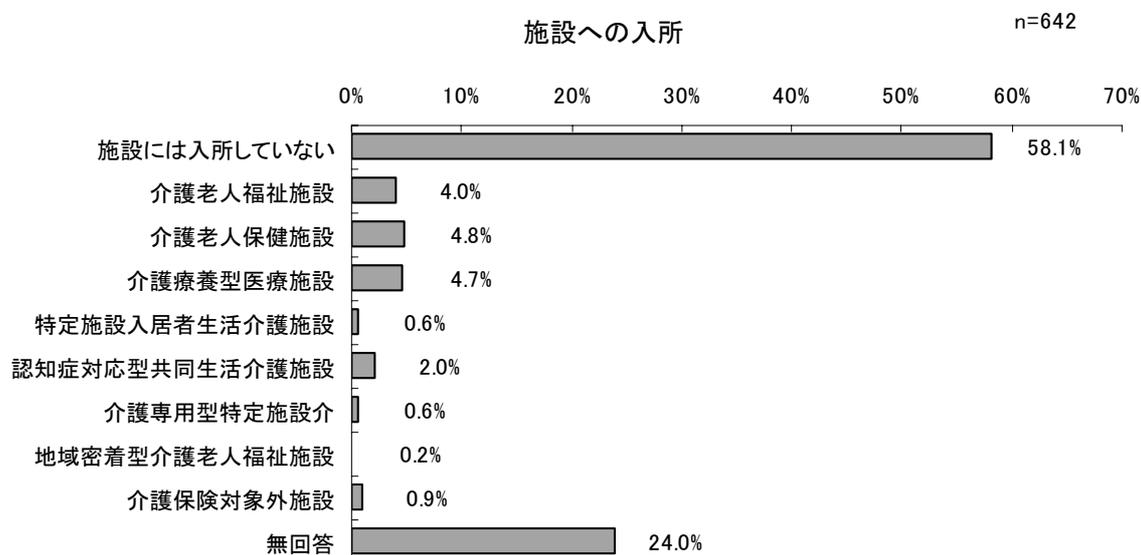
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
要支援	体力の低下 38.5	骨折・転倒 19.5	脳血管疾患 12.4	心臓病 10.1	脊髄損傷 7.7
要介護中度 (1～3)	体力の低下 36.2	認知症 28.1	骨折・転倒 23.7	脳血管疾患 16.5	心臓病 12.2
要介護重度 (4～5)	認知症 40.0	脳血管疾患 36.7	体力の低下 26.7	糖尿病・心臓病 7.5	

問8 現在、どの施設に入所していますか。(1つに○)

「介護療養型医療施設（病院・診療所）」が4.7%、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が4.0%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が4.8%であり、あわせて13.5%となっています。

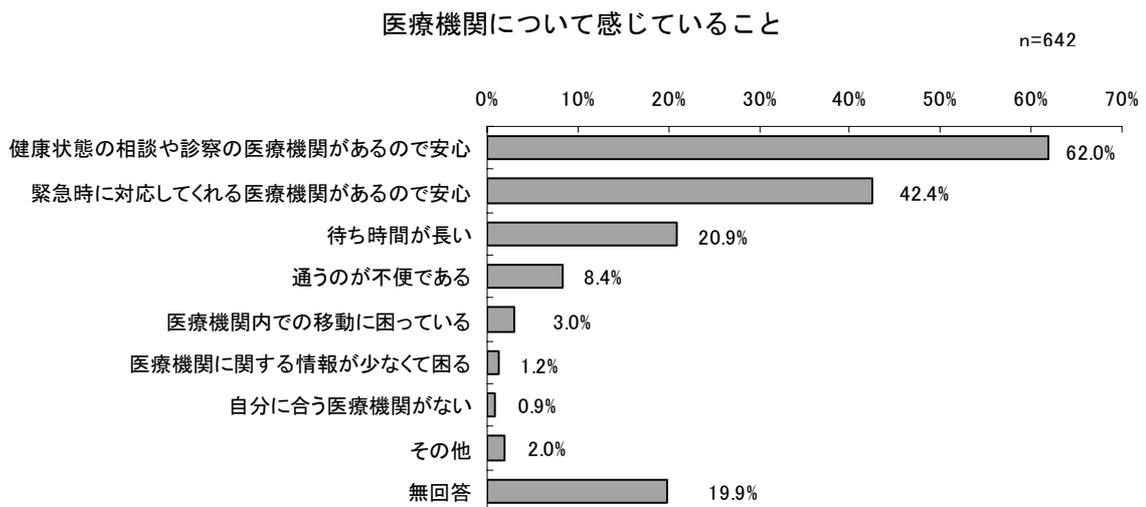
また、「認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）」は2.0%、「特定施設入居者生活介護施設（ケアハウス・有料老人ホーム）」は0.6%などとなっています。

これに対し「施設には入所していない」は58.1%です。



**問9 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。**  
(あてはまる番号すべてに○)

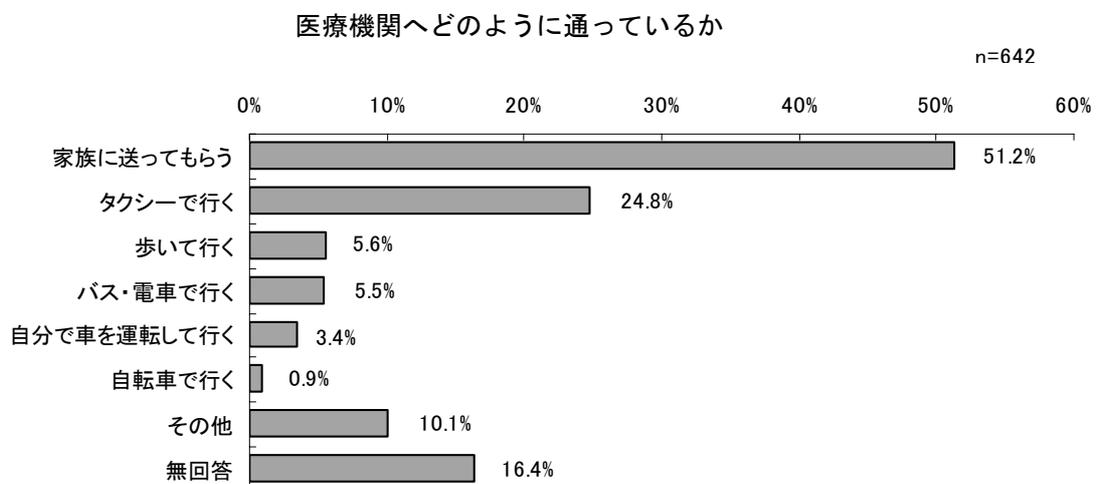
「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が62.0%と最も多くなっており、一般高齢者の67.1%とほぼ同じ結果となっています。第2位は「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が42.4%（一般高齢者51.2%）、「待ち時間が長い」が20.9%（一般高齢者28.5%）です。



**問10 あなたは医療機関に、どのような交通手段で通っていますか。**  
(あてはまる番号すべてに○)

「家族に送ってもらう」が51.2%と半数を超えており、「タクシーで行く（\*介護タクシーを含む）」が24.8%となっています。

「バス・電車で行く」は5.5%、「歩いて行く」も5.6%と少数です。

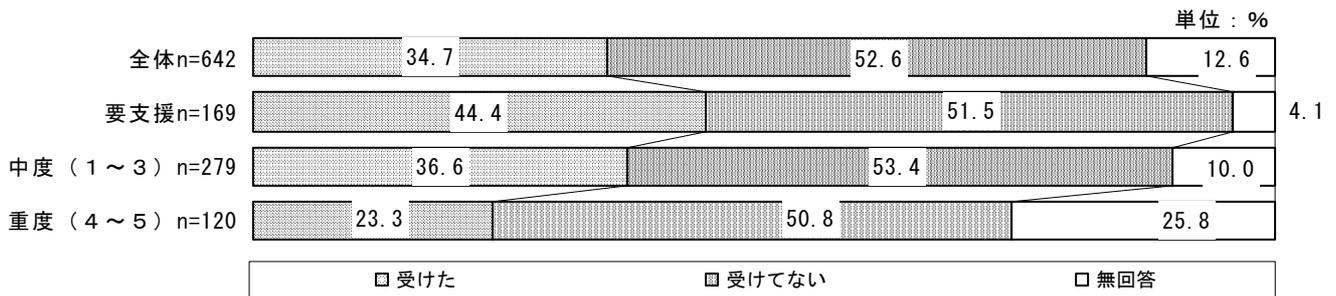


問 11 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに○)

「受けた」人が34.7%となっており、一般高齢者の56.8%に比べ20ポイント以上低くなっています。「受けていない」が52.6%となっています。

また、「受けた」人について要介護認定別でみると、軽度の要支援で44.4%、要介護1～3では36.6%、要介護4～5では23.3%と、重度になるに従い低下しています。

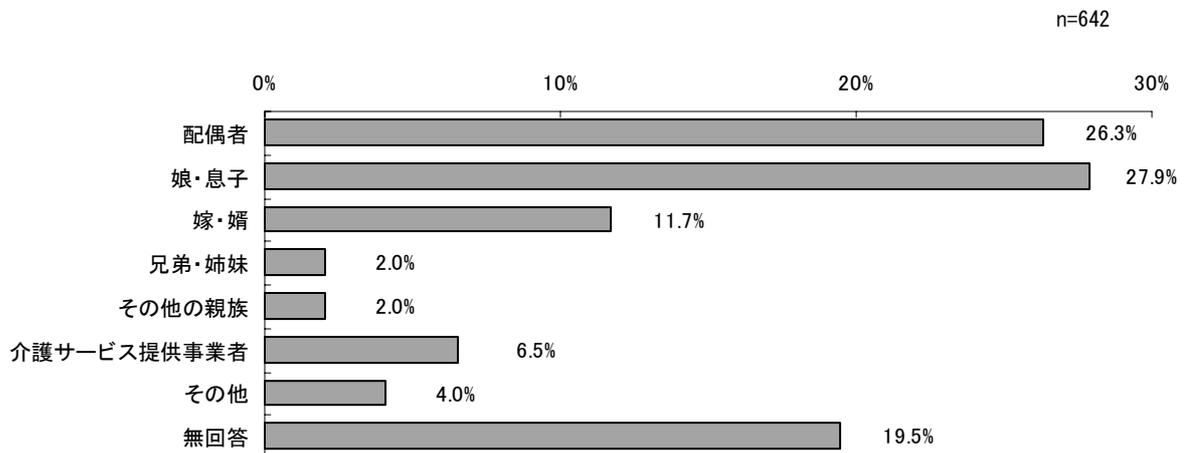
歯科医院での健診や治療



問 12 ご家庭で主に介護をされている方はどなたですか。(1つに○)

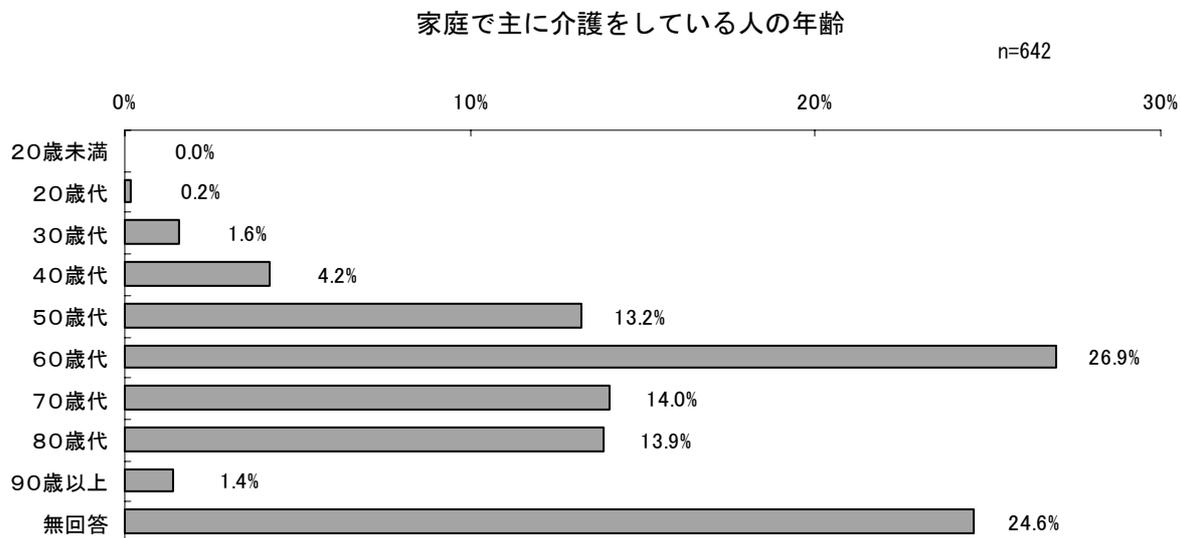
「娘・息子」が27.9%、「配偶者」が26.3%でこの両者が中心となっています。また、「嫁・婿」が11.7%です。また、「介護サービス提供事業者」は6.5%となっています。

家庭で主に介護をしている人の続柄



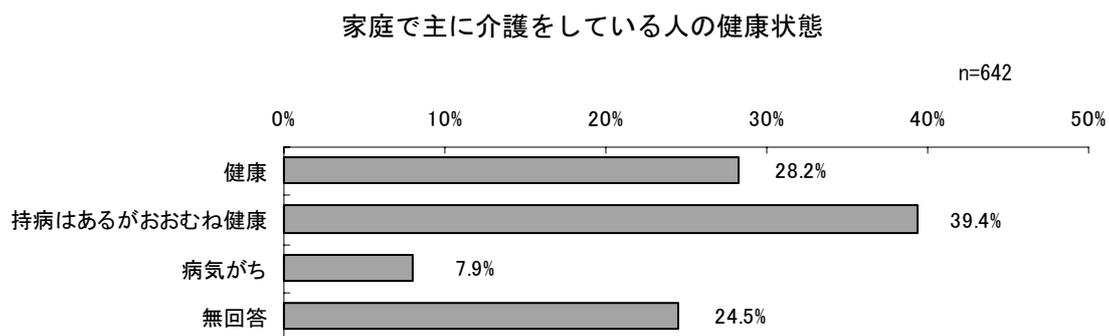
**問 13 ご家庭で主に介護をされている方の年代は、次のどれですか。(1つに○)**

「60歳代」が26.9%と最も多く、「70歳代」が14.0%が続いています。また、「80歳代」が13.9%など、いわゆる“老老介護”の実態がうかがえます。



**問 14 ご家庭で主に介護をされている方の健康状態はいかがですか。(1つに○)**

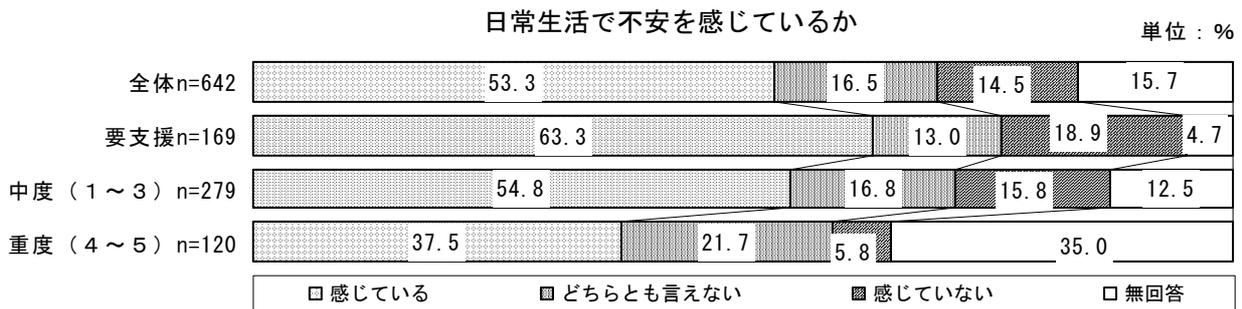
「持病はあるがおおむね健康」が39.4%、「健康」が28.2%となっており、あわせると67.6%と7割弱を占めています。これに対し「病気がち」は7.9%です。



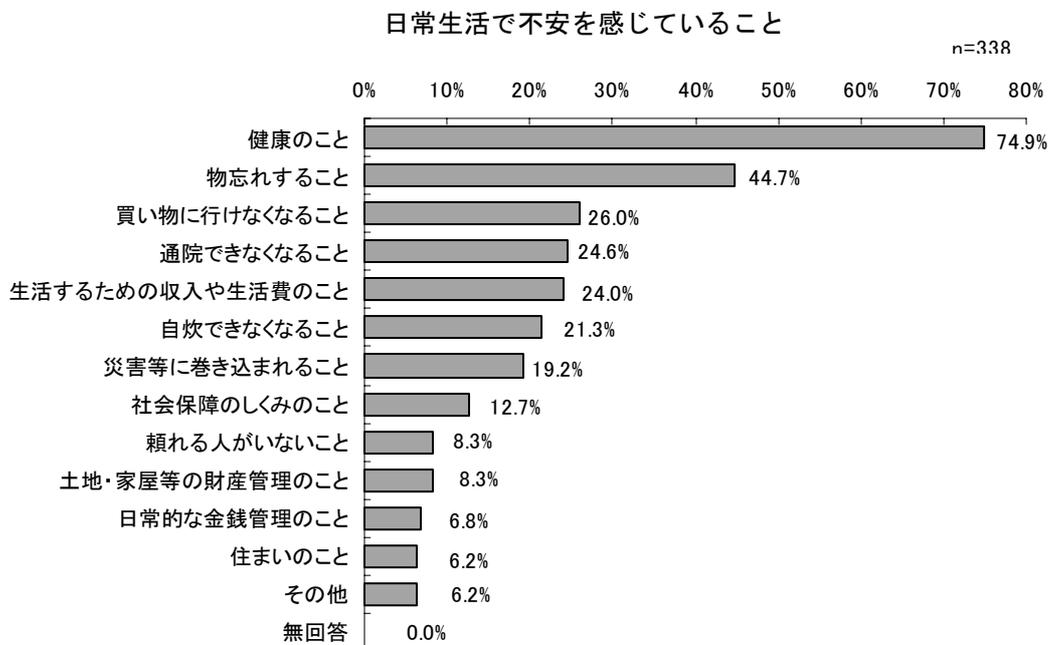
問 15 あなたは、日常生活全般を通して何か不安を感じていますか。(1つに○)  
 問 15-1 問 15で「1 感じている」と答えた方におききします。  
 どのようなことに不安を感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

「感じている」が53.3%で過半数を占めています。「どちらとも言えない」は16.5%、「感じていない」は14.5%です。

要支援では「感じている」が63.3%、中度層（要介護1～3）では54.8%となっていますが、重度層の要介護4～5では37.5%に低下しています。

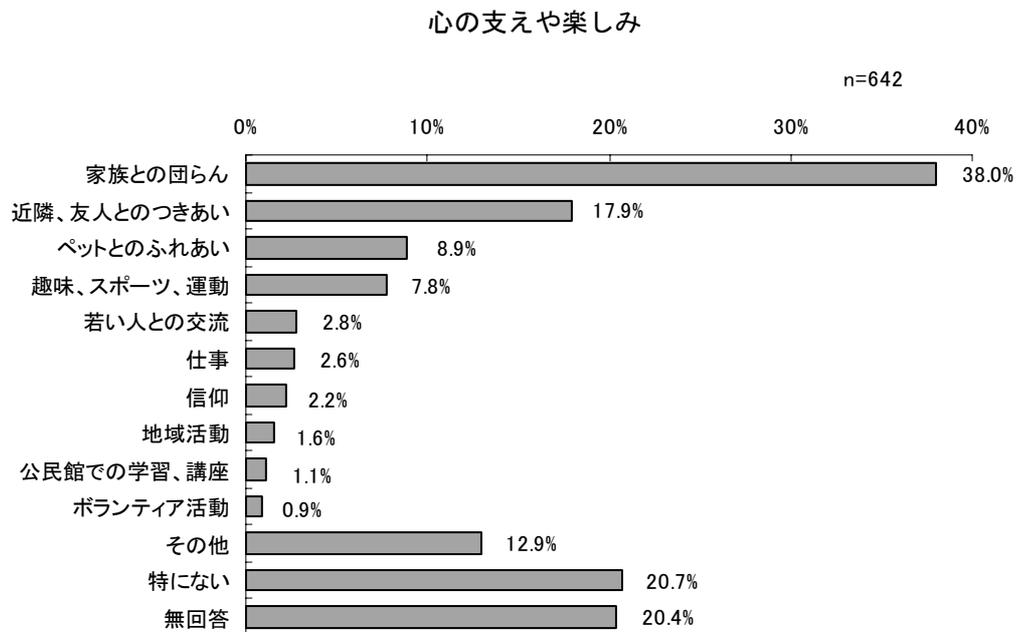


「感じている」人338人の中では、「健康のこと」が74.9%で最も関心が高くなっています。「物忘れすること」が44.7%です。また、「買い物に行けなくなること」が26.0%、「通院できなくなること」が24.6%、「生活するための収入や生活費のこと」が24.0%、「自炊できなくなること」が21.3%でそれぞれ20%台となっています。



問 16 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「家族との団らん」が 38.0%、「近隣、友人とのつきあい」が 17.9%で上位となっています。また、「ペットとのふれあい」が 8.9%、「趣味、スポーツ、運動」が 7.8%です。一方で「特にない」も 20.7%と多くみられます。



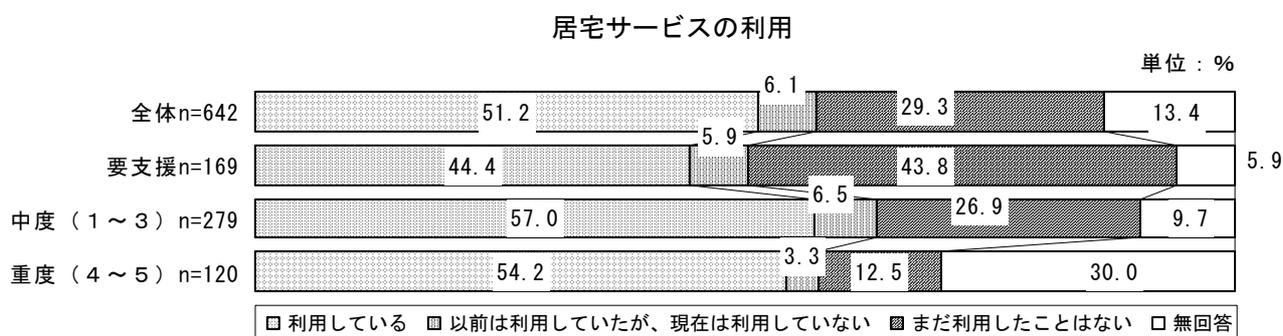
## 2 居宅サービスの利用状況

問 17 現在、居宅サービスを利用していますか。(1つに○)

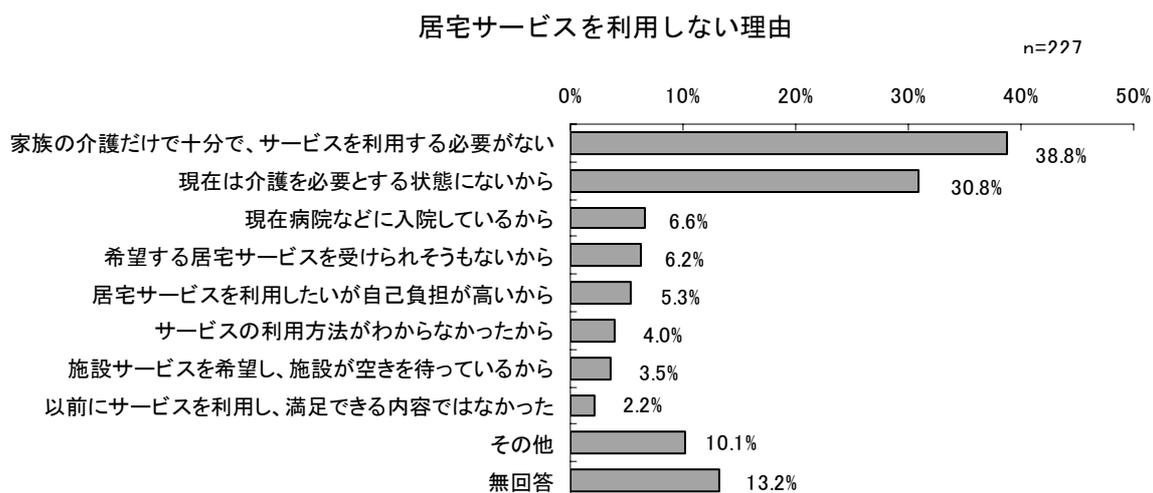
問 17-1 問 17で「2」または「3」と答えた方におききます。居宅サービスを現在利用していない主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

特養等の施設に入っていない人で居宅サービスを「利用している」人は、51.2%と半数強となっています。また「まだ利用したことはない」人は29.3%となっています。

要介護度別に「利用している」人をみると、要支援が44.4%、要介護1～3が57.0%、要介護4～5では54.2%で、半数前後の割合となっています。



「以前は利用していたが、現在は利用していない」あるいは「まだ利用したことはない」と回答した人の理由は、「家族の介護だけで十分であり、サービスを利用する必要がないから」が38.8%、「現在は介護を必要とする状態にないから」が30.8%となっています。他の選択肢はそれぞれ1割未満です。

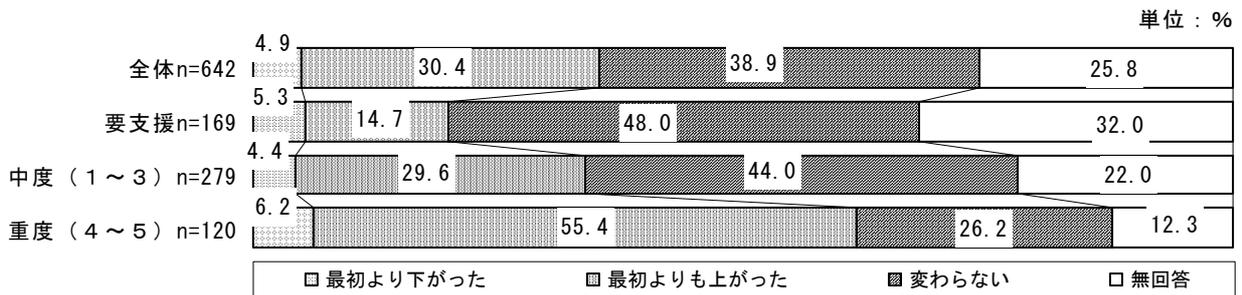


問 18 「最初に居宅サービスを受けるようになったとき」と「現在」を比べて、サービス利用の際に負担する金額は変わりましたか。(1つに○)

「最初よりも下がった」は4.9%と少数となっており、「最初よりも上がった」が30.4%と3割です。「変わらない」が最も多く38.9%です。

要介護度別では、要介護4～5の重度層で「最初よりも下がった」が6.2%と、他の認定者より高いのが特徴です。

居宅サービスの負担額の変化

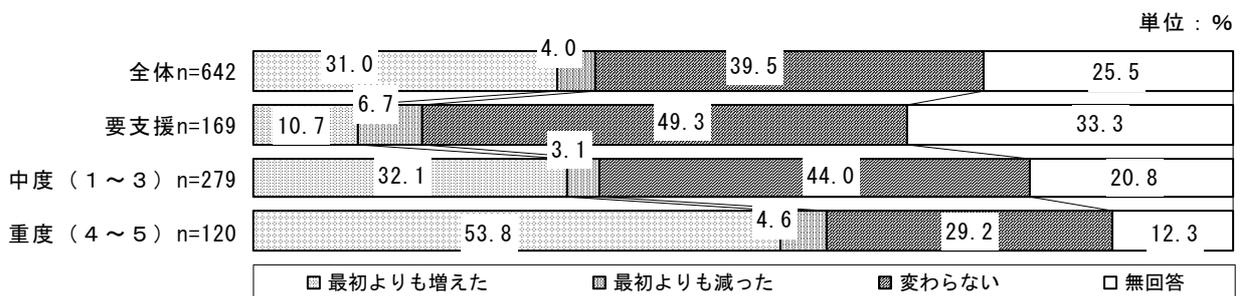


問 19 「最初に居宅サービスを受けるようになったとき」と「現在」を比べて、利用するサービスの種類や量は変わりましたか。(1つに○)

サービスの種類や量が「最初よりも増えた」が31.0%となっており、「最初よりも減った」は4.0%と少数です。「変わらない」が39.5%と最も多くみられます。

要介護度別では、「最初よりも増えた」は要介護4～5で53.8%と他に比べ、特に多くみられます。

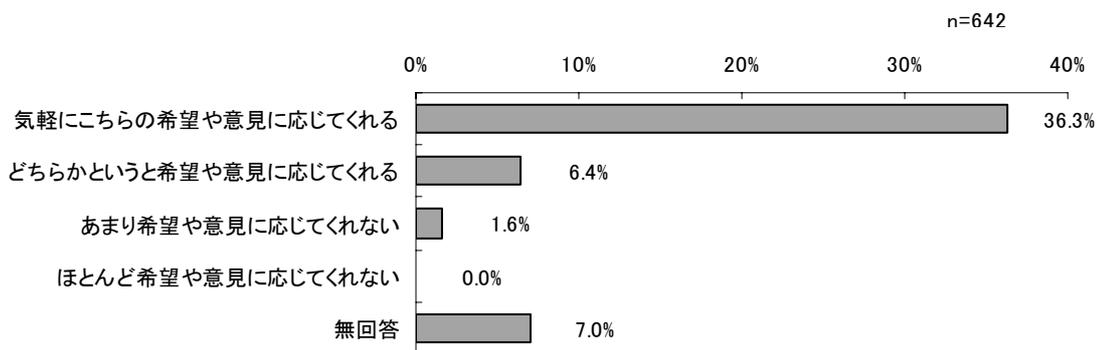
居宅サービスの種類や量の変化



**問 20 ケアマネジャー（ケアプラン作成事業者）に対して希望や意見を伝えることができますか。（1つに○）**

「気軽にこちらの希望や意見に応じてくれる」が 36.3%で、「どちらかという希望や意見に応じてくれる」が 6.4%となっています。これに対し「あまり希望や意見に応じてくれない」（1.6%）は少数です。

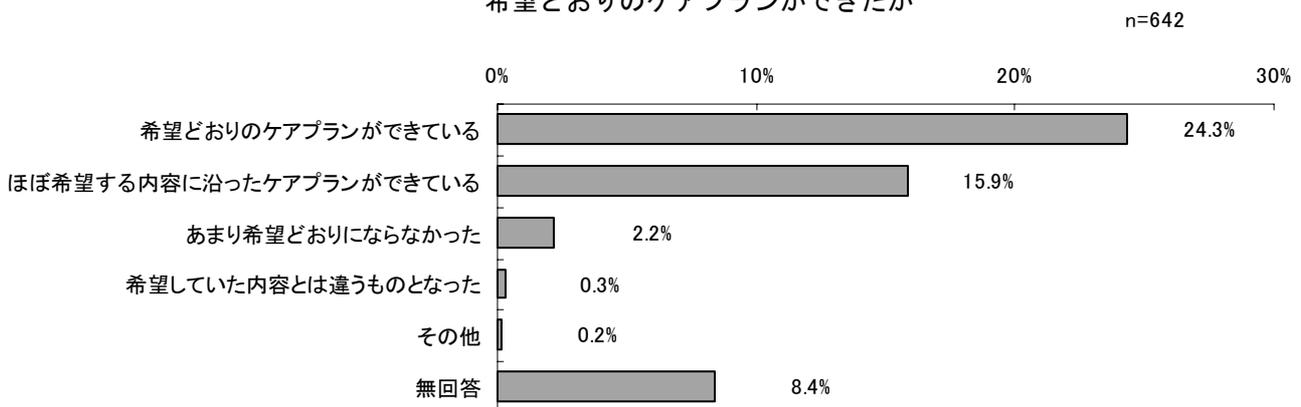
ケアプランへの希望や意見



**問 21 希望どおりのケアプランができていますか。（1つに○）**

「希望どおりのケアプランができています」が 24.3%、「ほぼ希望する内容に沿ったケアプランができています」が 15.9%となっており、おおむね希望どおりとなっているようです。これに対し、「あまり希望どおりにならなかった」（2.2%）や「希望していた内容とは違うものとなった」（0.3%）は少数です。

希望どおりのケアプランができたか

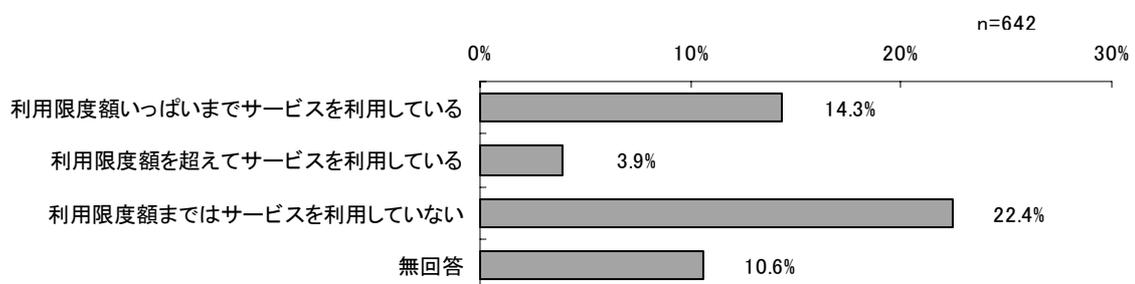


問 22 サービスの利用にあたって「利用限度額」が決められていますが、現在、どの程度利用されていますか。(1つに○)

問 22-1 問 22 で「3 利用限度額まではサービスを利用していない」と答えた方におききます。利用限度額までサービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

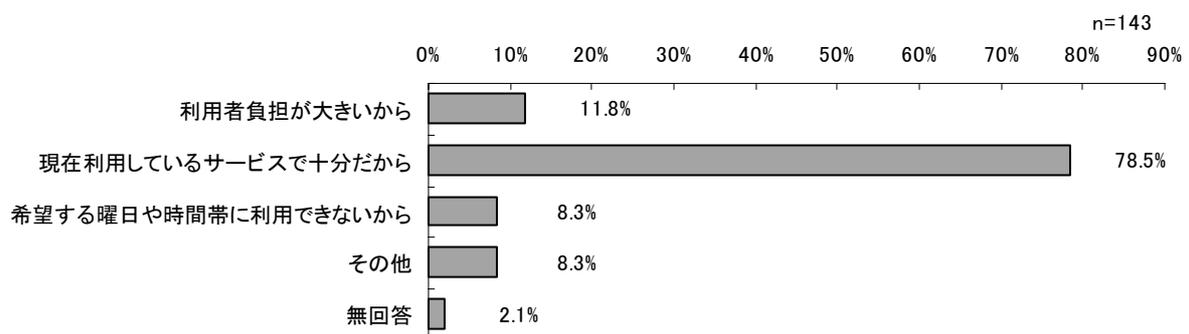
「利用限度額いっぱいまでサービスを利用している」人は 14.3%、また、「利用限度額を超えて(自己負担により)サービスを利用している」が 3.9%となっています。「利用限度額まではサービスを利用していない」は 22.4%であり、限度額まで利用していない人のほうがやや多くなっています。

サービスの利用限度額



「利用限度額まではサービスを利用していない」143 人の理由をみると、「現在利用しているサービスで十分だから」が 78.5%と 8 割近くとなっています。また、「利用者負担が大きいから」は 11.8%、「希望する曜日や時間帯に利用できないから」は 8.3%です。

利用限度額まで利用していない理由

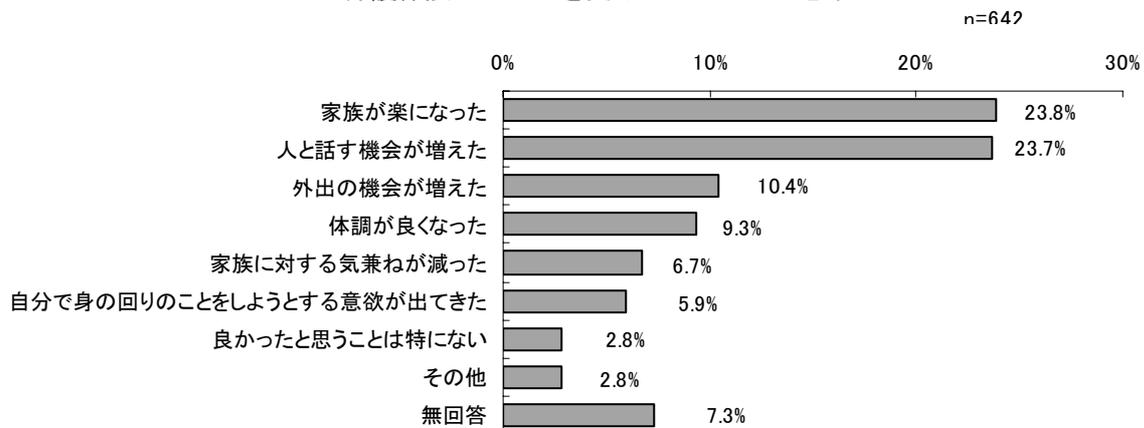


問 23 介護サービスを受けて良かったと思うことは何ですか。(3つまでに○)

「家族が楽になった」が 23.8%、「人と話す機会が増えた」が 23.7%となっており、この2項目が上位となっています。また、第3位は、「外出の機会が増えた」で 10.4%となっています。「体調が良くなった」が 9.3%、「家族に対する気兼ねが減った」は 6.7%、「自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた」が 5.9%です。

これらに対し「良かったと思うことは特にない」は 2.8%と少数です。

介護保険サービスを受けてよかったと思うこと

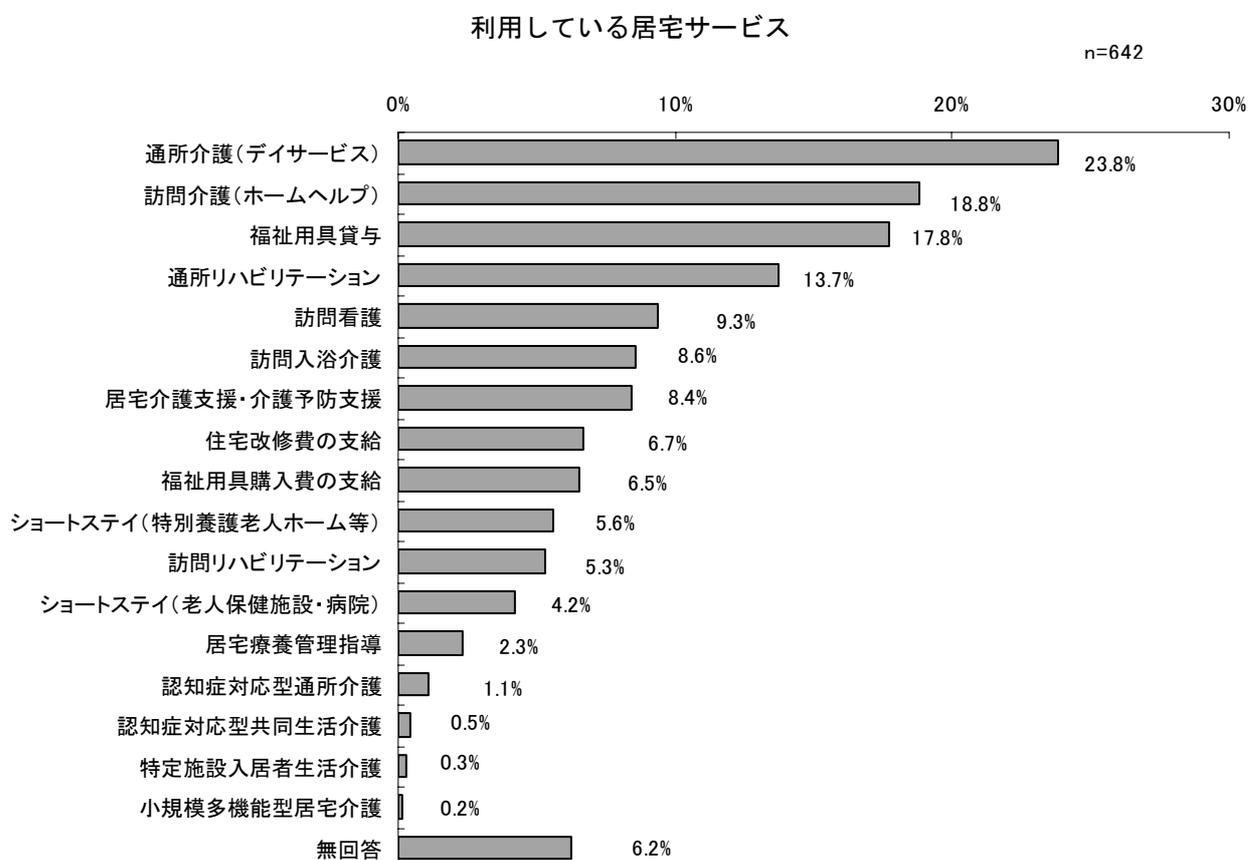


### 3 居宅サービスの満足度

問 24 現在利用している居宅サービスに○をつけ、さらに該当するそれぞれのサービスの「満足度」に1つ○をつけてください。（\*①から②に進み、②で「不満」に○をした場合は、さらに③のあてはまる理由すべてに○をつけてください。利用していないサービスについては、回答の必要はありません。）

#### ①利用している居宅サービス

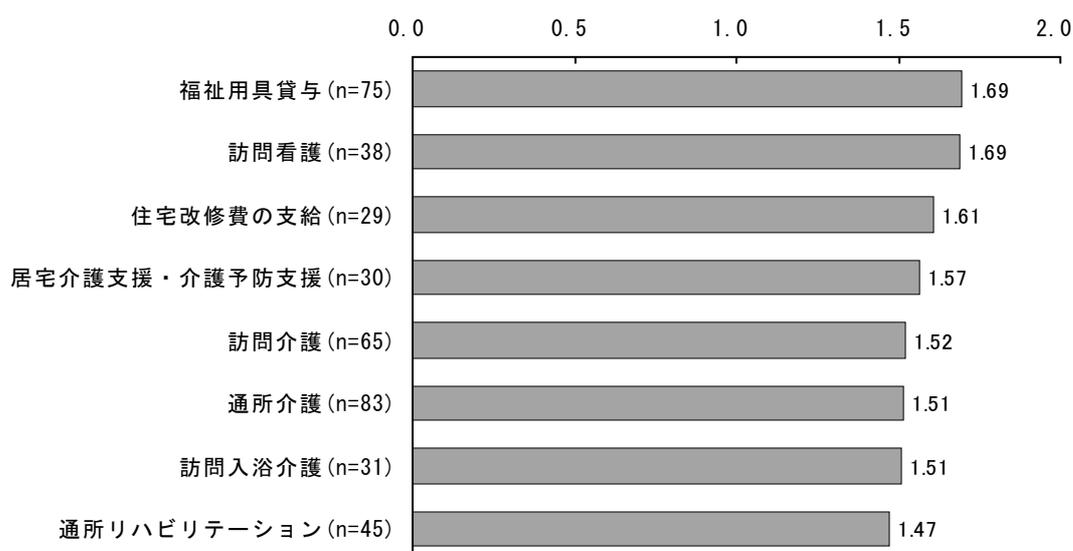
施設入所者を除いて最も利用されているサービスは、「通所介護（デイサービス）」の23.8%、第2位は「訪問介護（ホームヘルプ）」が18.8%となっています。次いで「福祉用具貸与」が17.8%、「通所リハビリテーション」が13.7%となっています。



## ②サービスの満足度（20件以上）

「満足」を＋1点、「普通」を0点、「不満」を－1点とした時の回答者の平均をみると、すべてのサービスでプラスとなり、不満のほうが上回るサービスはみられませんでした。最も満足度が高いのは福祉用具貸与で訪問看護、住宅改修費の支給、居宅介護支援・介護予防支援などが続いています。相対的に評価が低いサービスとしては、通所リハビリテーションがあげられます。

居宅サービスの満足度



### ③不満な理由

すべてのサービスの合計で最も多かったのが「希望する回数（量）が利用できないから」で10件、次いで「希望する曜日や時間帯に利用できないから」が8件、「事業者や担当者の対応が悪いから」が1件みられました。

サービス別にみると、「希望する回数（量）が利用できないから」は通所介護（3件）と通所リハビリテーション（3件）で、「希望する曜日や時間帯に利用できないから」は通所リハビリテーション（2件）とショートステイ（老人保健施設・病院）（2件）が目立っています。

#### 介護保険サービスに対する不満

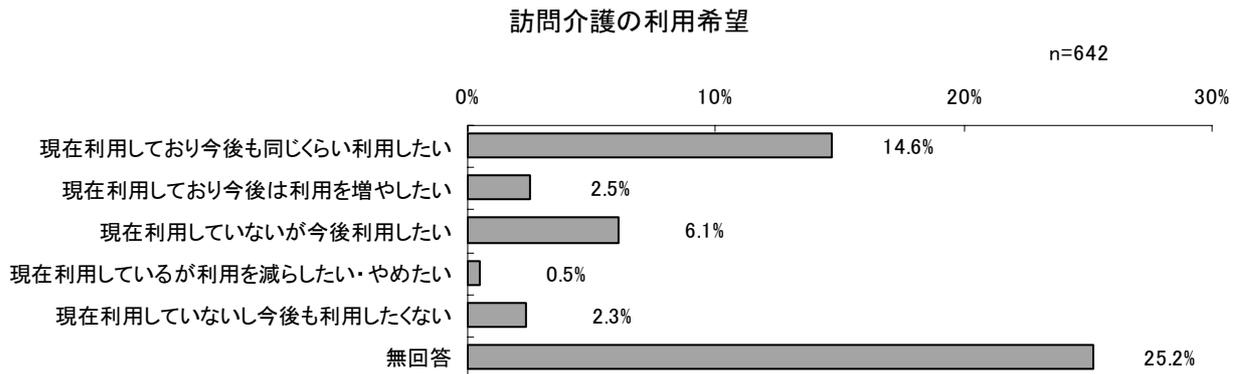
（単位：件）

	利用者数	ない（量）から利用できない	希望する回数	間帯に利用できない曜日や時間帯	事業者や担当者の対応が悪いから	契約と違う内容が	より高いから	利用料金（費用）	その他	無回答
訪問介護	121	0	1	1	0	0	0	1	0	
訪問入浴介護	55	0	0	0	0	0	0	1	1	
訪問看護	60	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問リハビリテーション	34	1	1	0	0	0	0	0	0	
居宅療養管理指導	15	0	0	0	0	0	0	0	0	
通所介護（デイサービス）	153	3	1	0	0	0	0	0	2	
通所リハビリテーション	88	3	2	0	0	0	0	0	0	
ショートステイ （老人保健施設・病院）	27	1	2	0	0	0	0	0	0	
ショートステイ （特別養護老人ホーム等）	36	1	1	0	0	0	0	1	0	
特定施設入居者生活介護 （ケアハウス・有料老人ホーム）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
福祉用具貸与	114	0	0	0	0	0	0	0	0	
福祉用具購入費の支給	42	0	0	0	0	0	0	1	0	
住宅改修費の支給	43	1	0	0	0	0	0	1	0	
居宅介護支援・介護予防支援 （ケアプランの作成）	54	0	0	0	0	0	0	0	0	
認知症対応型通所介護	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	-	10	8	1	0	0	0	5	3	

問 25 各サービスについて今後の利用意向をおききします。(それぞれ1つに○)

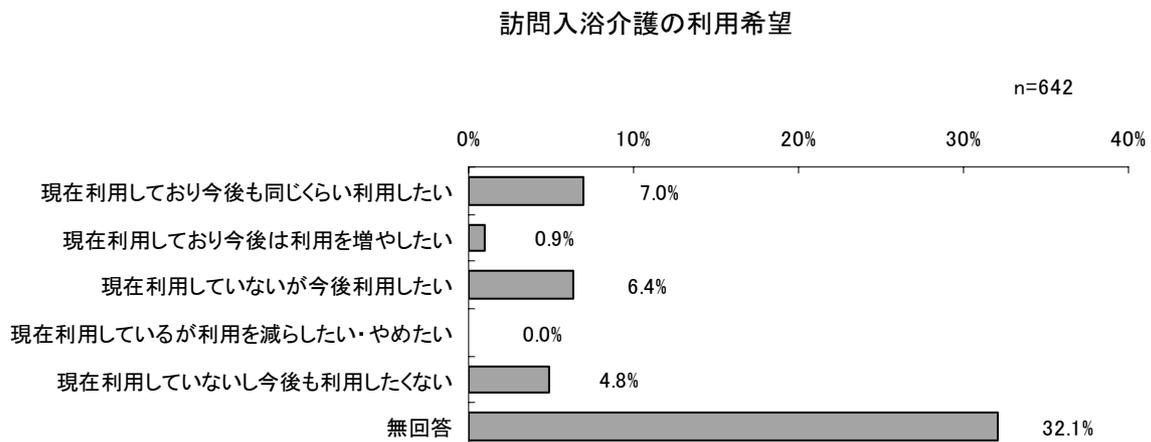
①訪問介護（ホームヘルプサービス）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が14.6%、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」が2.5%、「現在利用していないが今後利用したい」が6.1%と高い利用希望がみられます。



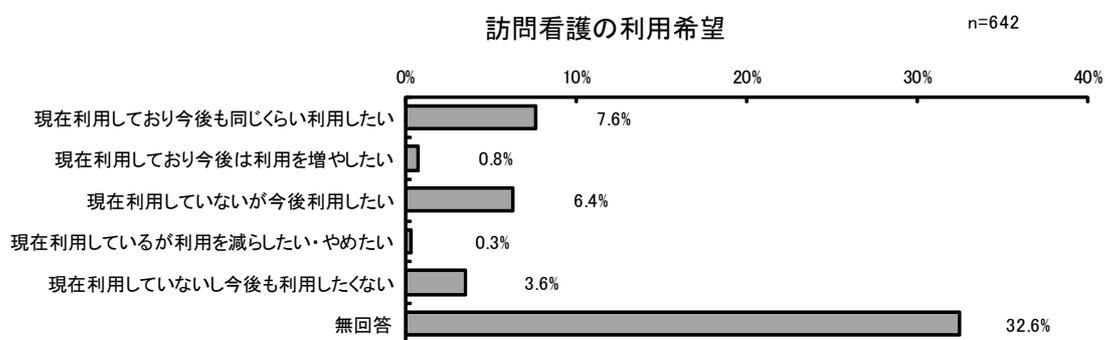
②訪問入浴介護

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が7.0%、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」が0.9%、「現在利用していないが今後利用したい」が6.4%となっています。



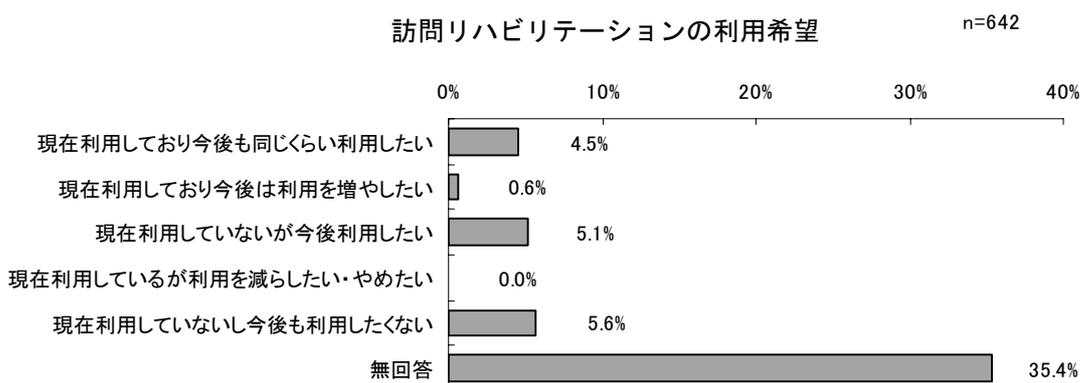
### ③訪問看護

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が7.6%、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」が0.8%、「現在利用していないが今後利用したい」が6.4%となっています。



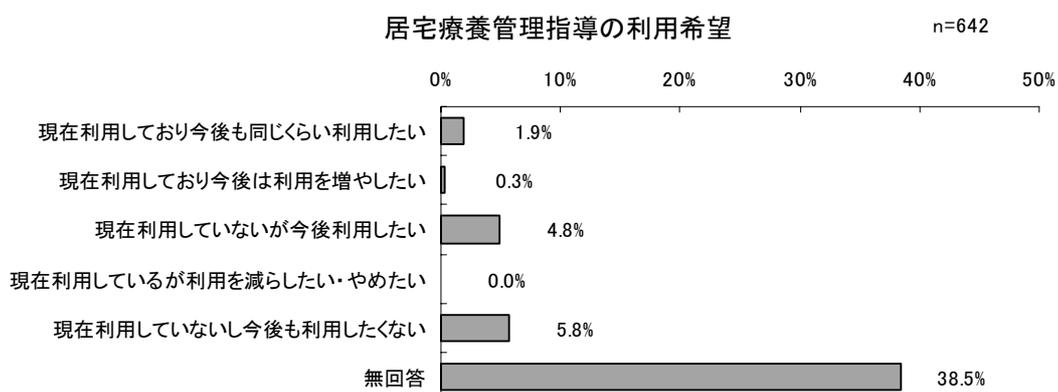
### ④訪問リハビリテーション

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は4.5%で、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」が0.6%、「現在利用していないが今後利用したい」が5.1%みられます。



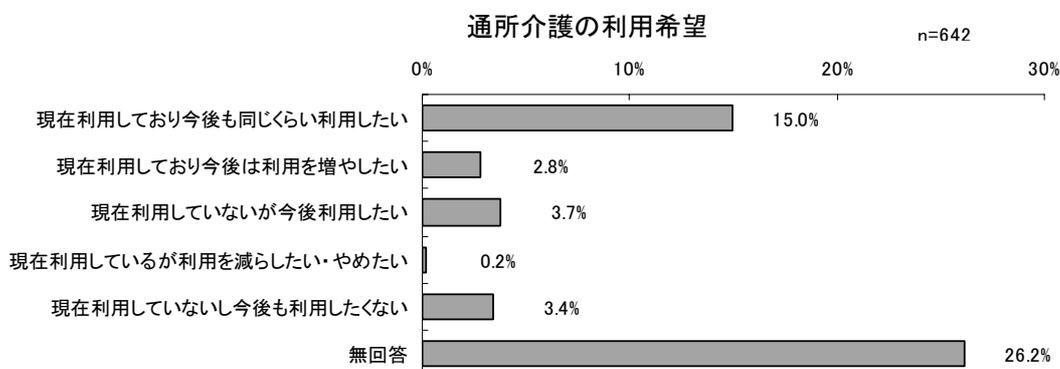
### ⑤居宅療養管理指導

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は1.9%、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」が0.3%、「現在利用していないが今後利用したい」が4.8%となっています。



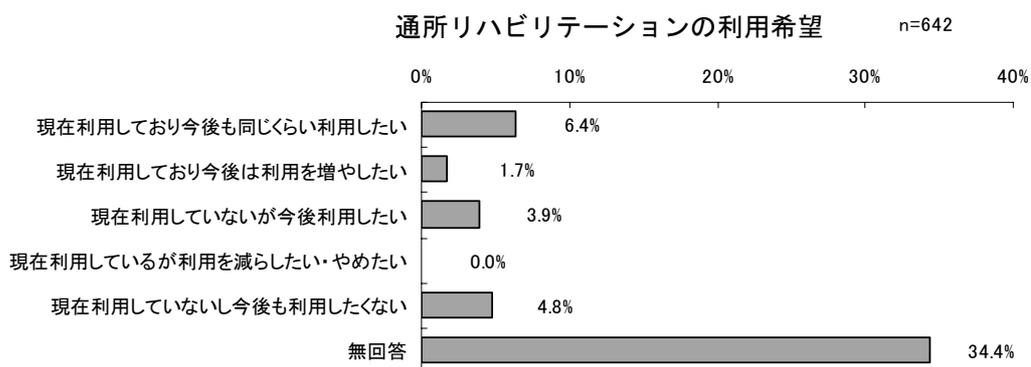
### ⑥通所介護（デイサービス）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が15.0%と高くなっていますが、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」は2.8%、「現在利用していないが今後利用したい」は3.7%と少数です。



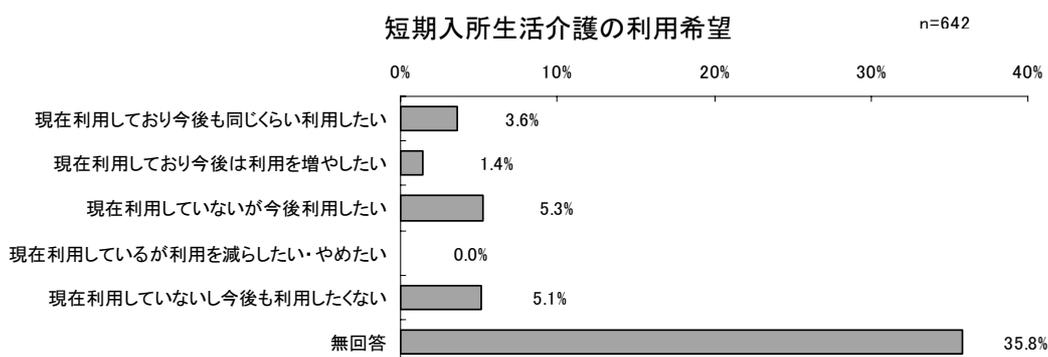
### ⑦通所リハビリテーション（デイケア）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は6.4%、「現在利用していないが今後利用したい」が3.9%です。



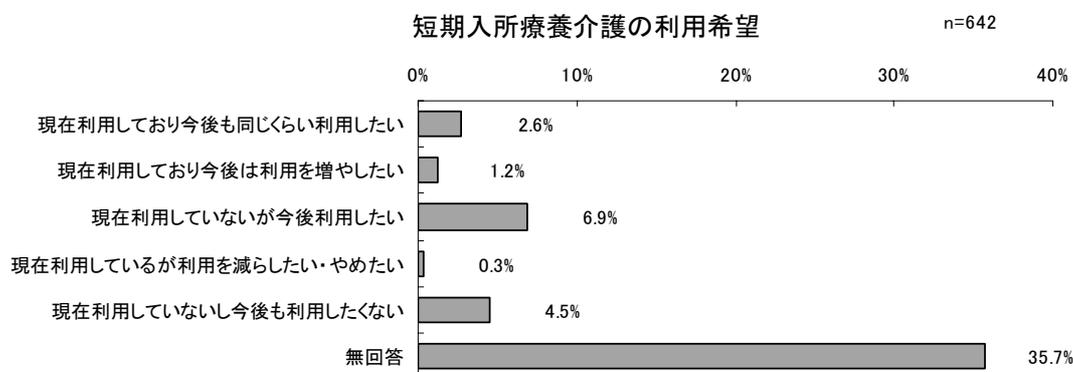
### ⑧ショートステイ（特別養護老人ホーム等）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が3.6%、「現在利用しており今後は利用を増やしたい」が1.4%、「現在利用していないが今後利用したい」が5.3%となっています。



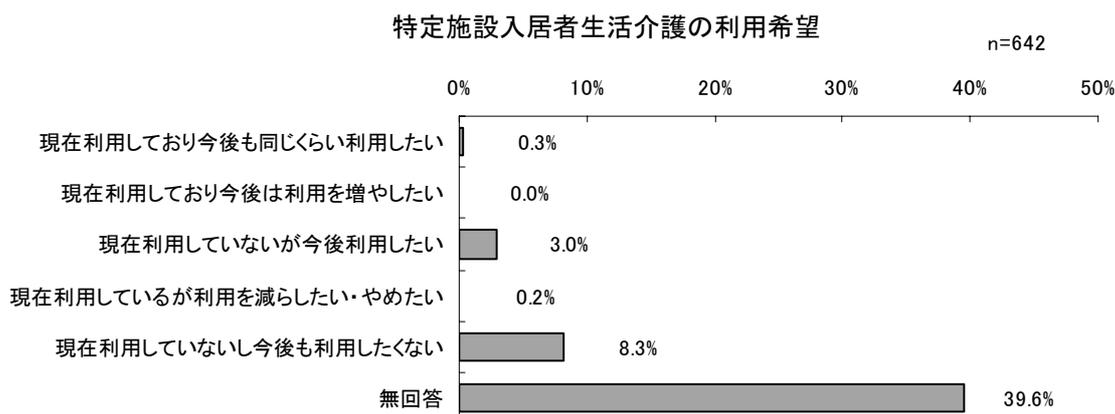
### ⑨ ショートステイ（老人保健施設・病院）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は 2.6%ですが、「現在利用していないが今後利用したい」が 6.9%と多くみられます。



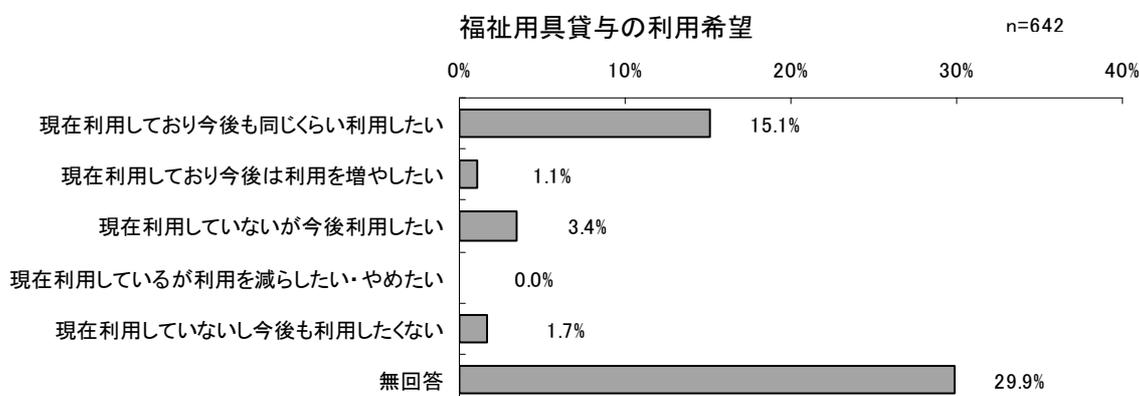
### ⑩ 特定施設入居者生活介護（ケアハウス・有料老人ホーム）

「現在利用していないが今後も同じくらい利用したい」が 0.3%みられます。「現在利用していないし今後も利用したくない」が 3.0%とやや多くなっています。



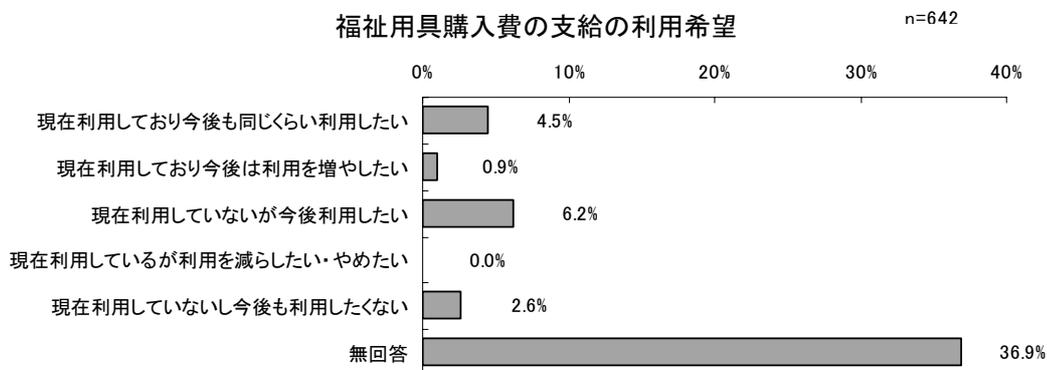
### ⑪ 福祉用具貸与

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が 15.1%と高い回答がみられます。「現在利用していないが今後利用したい」は 3.4%となっています。



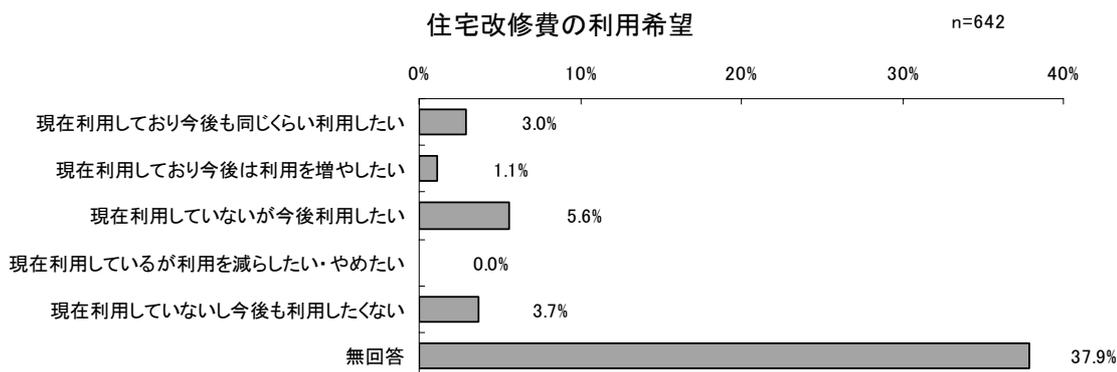
### ⑫福祉用具購入費の支給

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が 4.5%、「現在利用していないが今後利用したい」が 6.2%となっています。



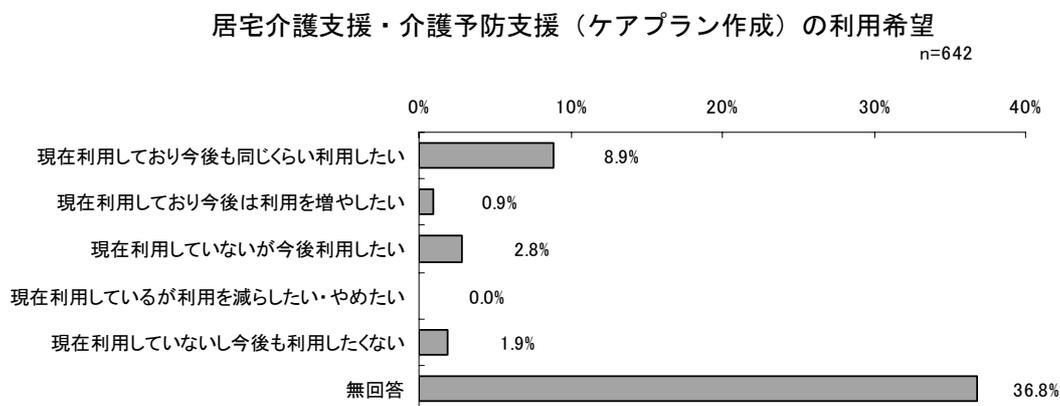
### ⑬住宅改修費の支給

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は 3.0%ですが、「現在利用していないが今後利用したい」が 5.6%みられます。



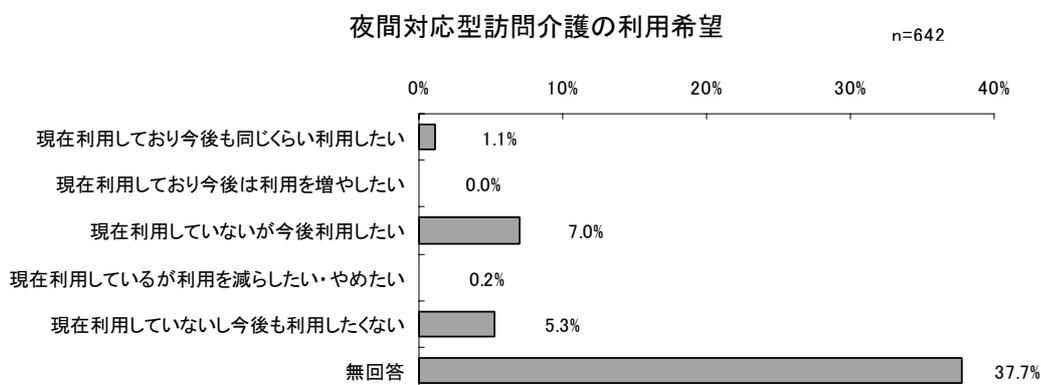
### ⑭居宅介護支援・介護予防支援（ケアプラン作成）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」が 8.9%と高く、「現在利用していないが今後利用したい」は 2.8%です。



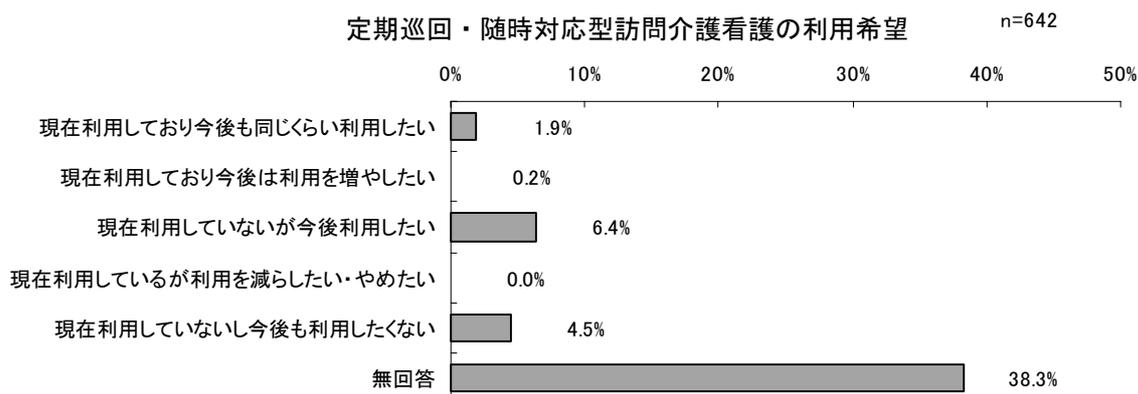
### ⑮夜間対応型訪問介護

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は1.1%とごくわずかですが、「現在利用していないが今後利用したい」は7.0%と、高い利用希望がみられます。



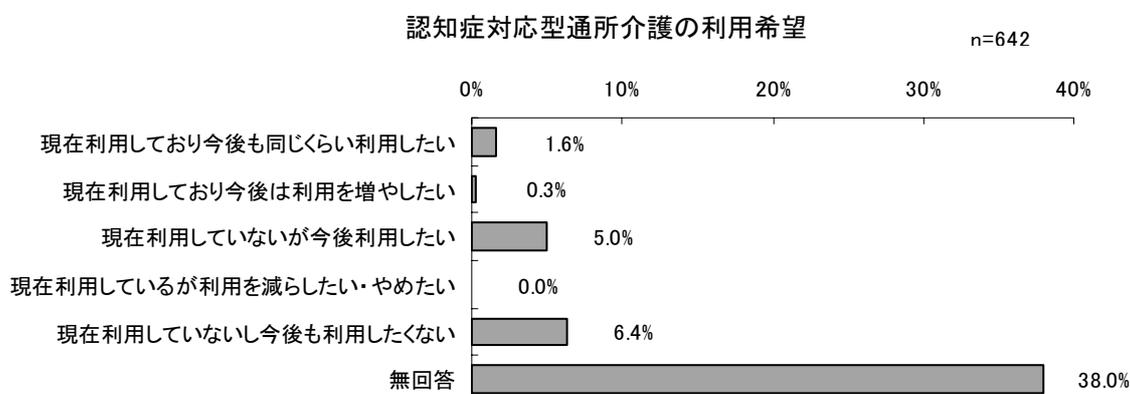
### ⑯定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は1.9%と少数ですが、「現在利用していないが今後利用したい」が6.4%みられます。



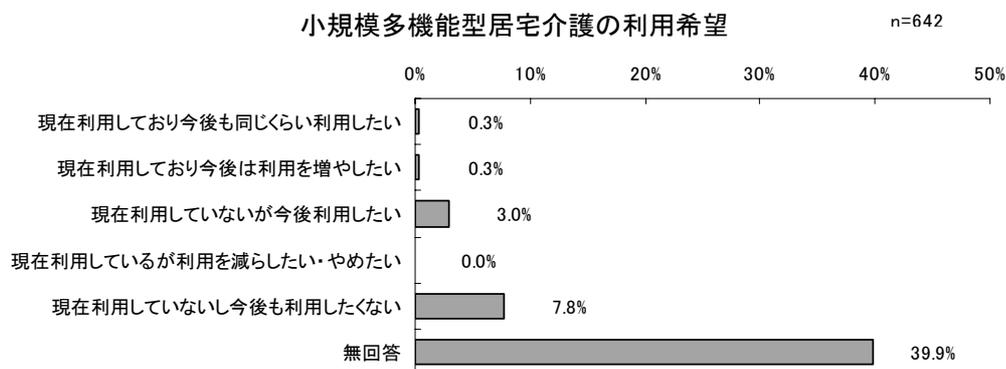
### ⑰認知症対応型通所介護

「現在利用しており今後も利用したい」が1.6%ですが、「現在利用していないが今後利用したい」が5.0%となっています。



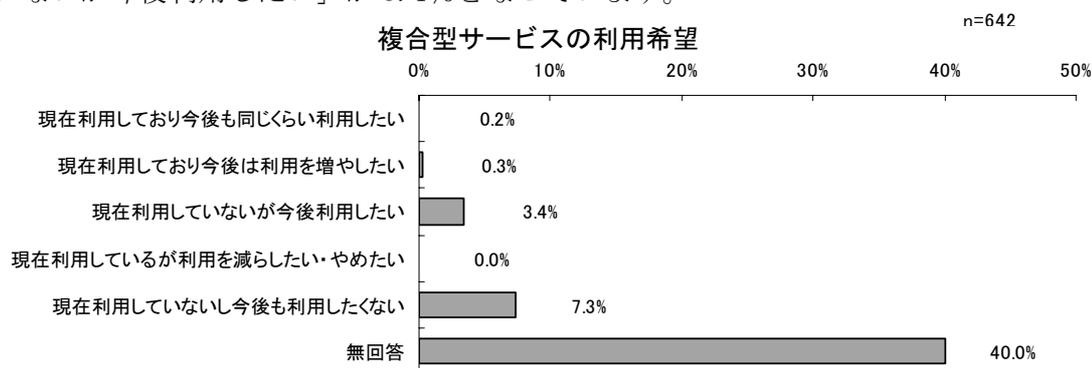
### ⑱小規模多機能型居宅介護

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は0.3%で「現在利用しており今後は利用を増やしたい」と同率となっており、利用者の満足度は高いと考えられます。「現在利用していないが今後利用したい」は3.0%となっています。「現在利用していないし今後も利用したくない」は7.8%と多くなっています。



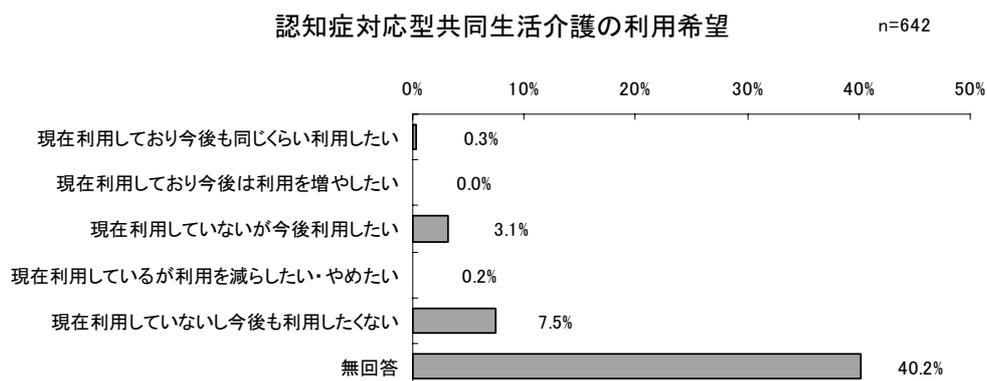
### ⑲複合型サービス（小規模多機能型居宅介護＋訪問看護）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は0.2%と少数です。「現在利用していないが今後利用したい」が3.4%となっています。



### ⑳認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は0.3%と少数です。「現在利用していないが今後利用したい」が3.1%となっています。

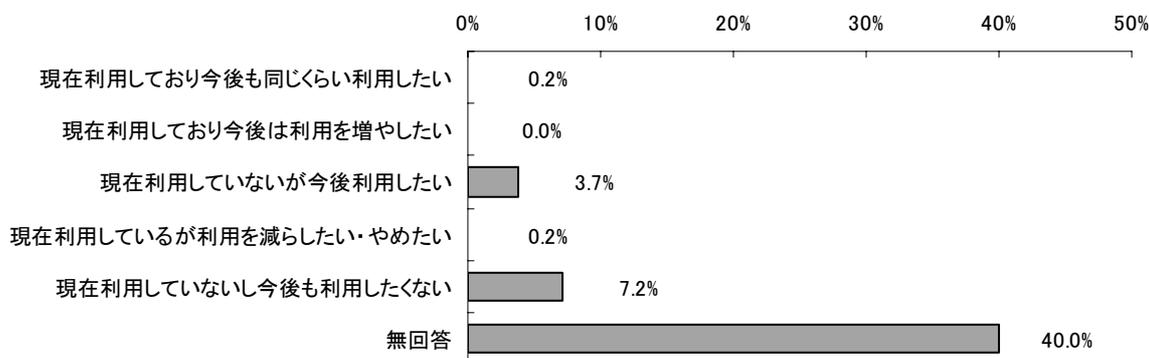


### ①地域密着型特定施設入居者生活介護

「現在利用しており今後も同じくらい利用したい」は 0.2%と少数です。「現在利用していないが今後利用したい」が 3.7%となっています。

地域密着型特定施設入居者生活介護

n=642

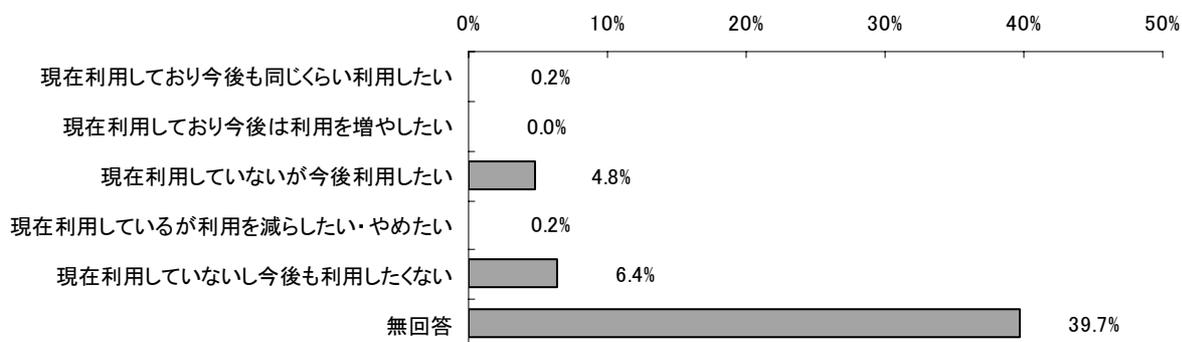


### ②地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

「現在利用しており今後も利用したい」は 0.2%と少数ですが、「現在利用していないが今後利用したい」が 4.8%となっています。

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の利用希望

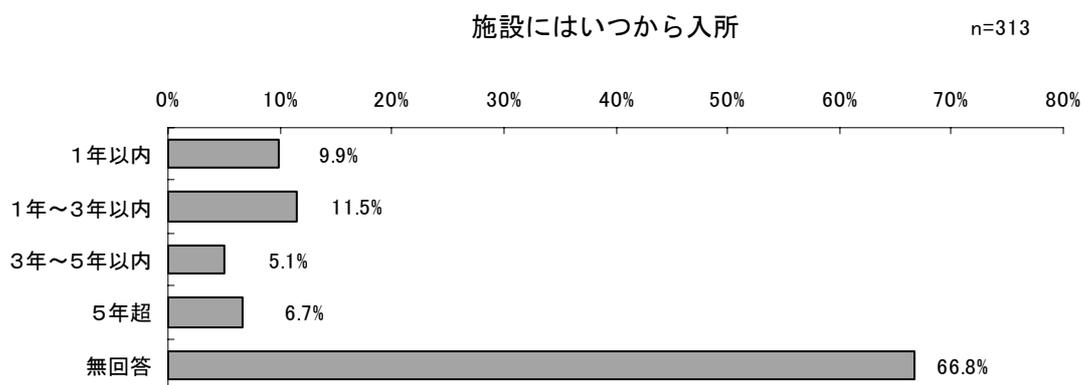
n=642



## 4 施設サービスの満足度

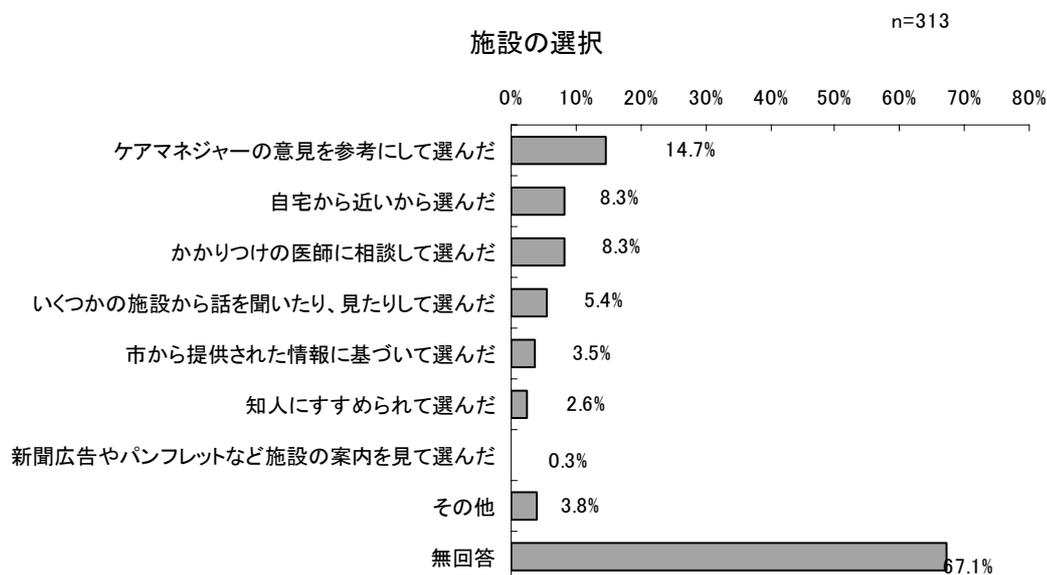
問 26 ご本人が、現在の施設に入所されてからの期間は、次のどれですか。（1つに○）

「1年以内」が9.9%、「1年～3年以内」が11.5%となっており、3年以内があわせて21.4%と2割となっています。これに対し「5年超」は6.7%、「3年～5年以内」は5.1%です。



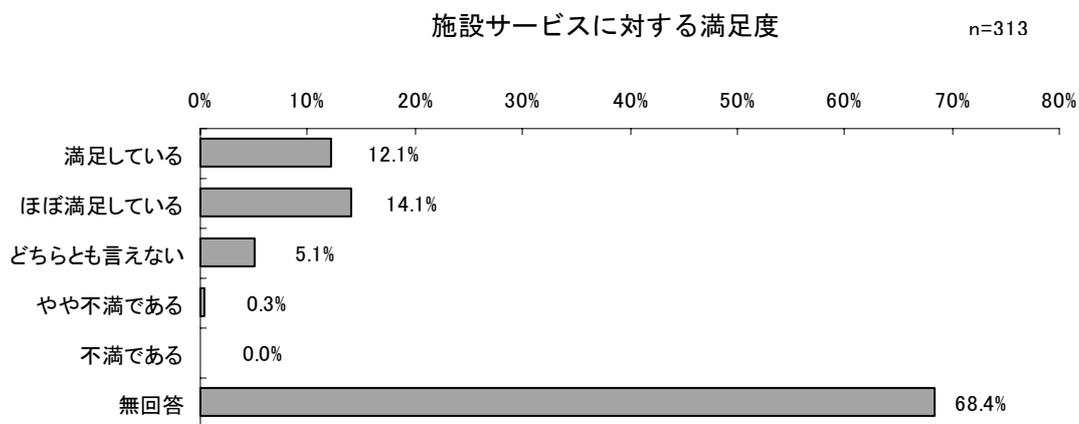
問 27 ご本人が現在入所している施設を選ぶ時に、どのようにして選びましたか。（2つまでに○）

「ケアマネジャー（介護支援専門員）の意見を参考にして選んだ」が14.7%で、「かかりつけの医師（医療機関）に相談して選んだ」と「自宅から近いから選んだ」が8.3%となっています。また、「いくつかの施設から話を聞いたり、見たりして選んだ」は5.4%です。

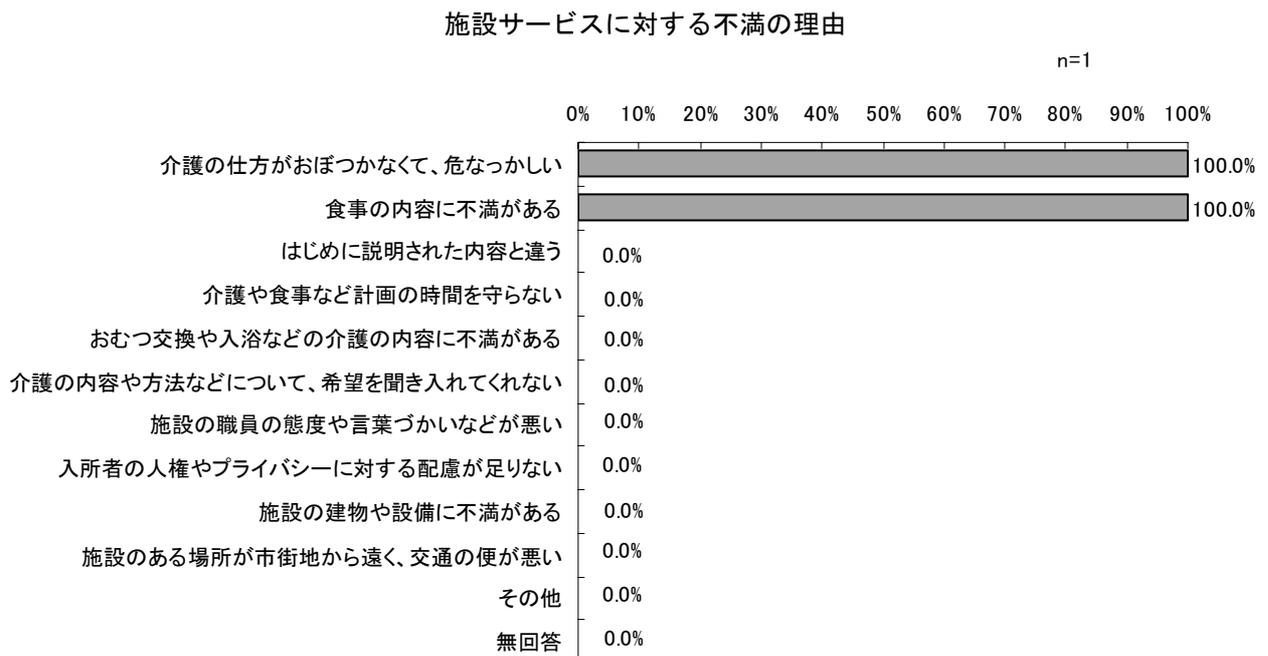


問 28 ご本人は現在入所している施設のサービスに満足していますか。(1つに○)  
 問 28-1 問 28 で「4 やや不満である」「5 不満である」と答えた方におき  
 きます。施設のサービスに不満な理由は何ですか。(3つまでに○)

「満足している」が 12.1%、「ほぼ満足している」が 14.1%をあわせると 26.2%で  
 4分の1が概ね満足している結果となっています。また、「どちらとも言えない」が5.1%、  
 「やや不満である」が 0.3%などとなっています。

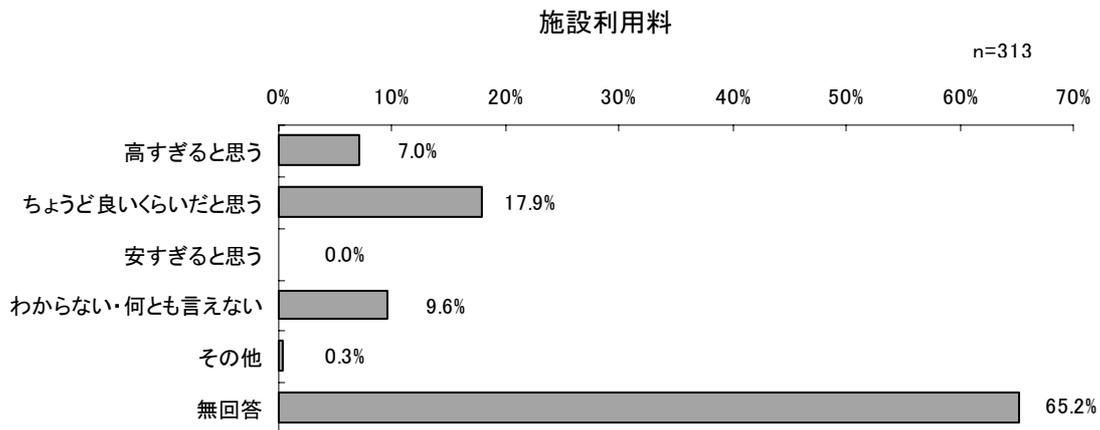


「やや不満である」「不満である」と回答した人 1 人の不満の理由は、「介護の仕方が  
 おぼつかなくて、危なっかしい」、「食事の内容に不満がある（メニューや食事の温かさ  
 など）」となっています。



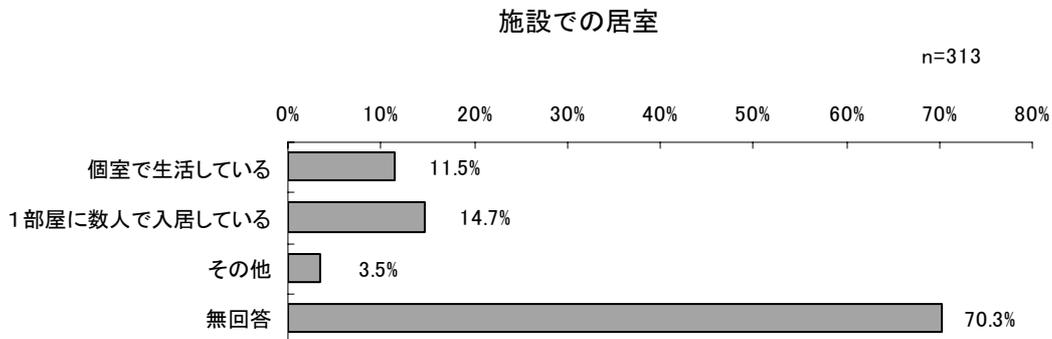
問 29 現在の施設の利用料についてどう感じていますか。(1つに○)

利用料は「ちょうど良いくらいだと思う」が17.9%と2割弱で最も多くみられます。これに対し、「高すぎると思う」が7.0%、「安すぎると思う」は0.0%です。「わからない・何とも言えない」は9.6%です。



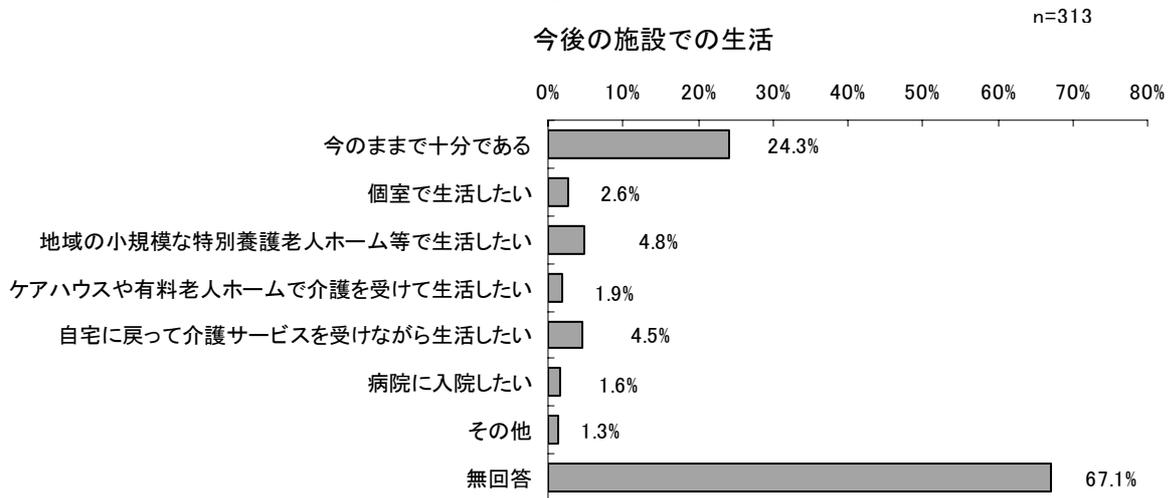
問 30 現在、どのような施設の居室で生活していますか。(1つに○)

「1部屋に数人で入居している」が14.7%、「個室で生活している」は11.5%となっています。



問 31 今後、どのような施設で生活したいと思いますか。(3つまでに○)

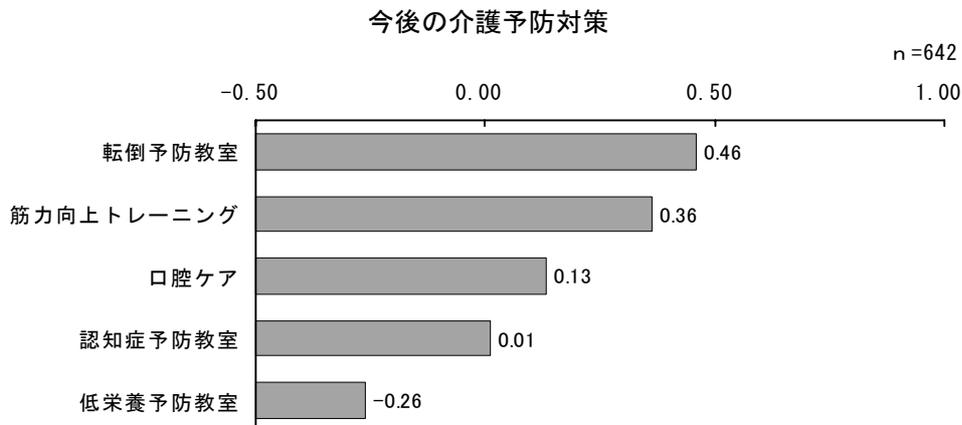
「今のままで十分である」と感じている人が 24.3%とほぼ4分の1であり、他の選択肢はすべて1割未満となっています。



## 5 今後の介護や福祉の制度のあり方

問 32 あなたは、今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスについて、利用を希望しますか。(それぞれ「利用したい」「利用したくない」「わからない」から選んで1つに○をつけてください。)

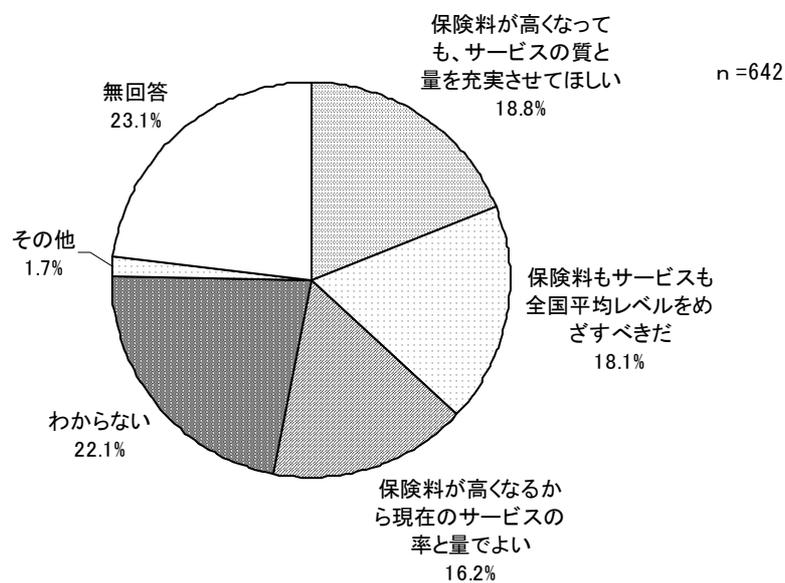
「利用したい」を+1点、「利用したくない」を-1点とした場合の平均点をみると、6項目のうち低栄養予防教室を除いて5項目がプラスとなっています。このうち最も利用希望が多いのが、転倒予防教室、次いで筋力向上トレーニングとなっています。



問 33 今後、介護保険の保険料が、平成 27 年度に改定される予定となっています。介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1 つに○)

「保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ」が 18.1%、「保険料が高くなるから、現在のサービスの質と量だけでよい」が 16.2%、「保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい」は 18.8%となっており、大きな差はみられません。

今後の介護保険料

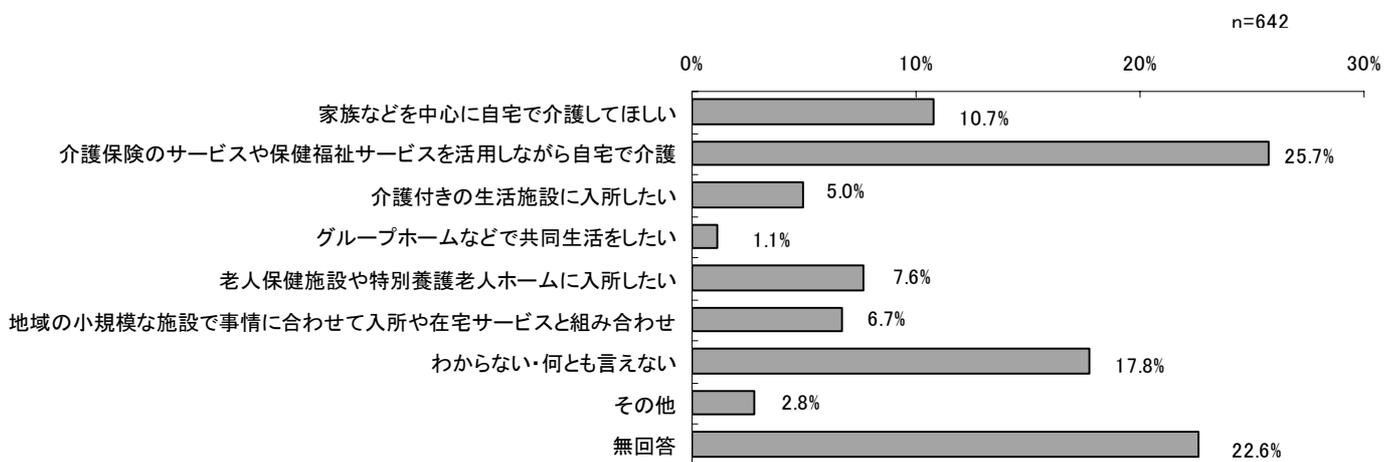


問 34 今の状態が続いた場合、今後の生活の中で、どのような介護を希望しますか。  
(1つに○)

「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が25.7%と最も多く、「家族などを中心に自宅で介護してほしい」が10.7%と自宅を希望する人があわせて36.4%となっています。

施設では、「老人保健施設（老健）や特別養護老人ホーム（特養）に入所したい」が7.6%、「地域の小規模な施設を、事情に合わせて入所や、在宅サービスと組み合わせて利用したい」が6.7%と、ほぼ同率となっています。また、「介護付きの生活施設（ケアハウスなど）に入所したい」は5.0%です。

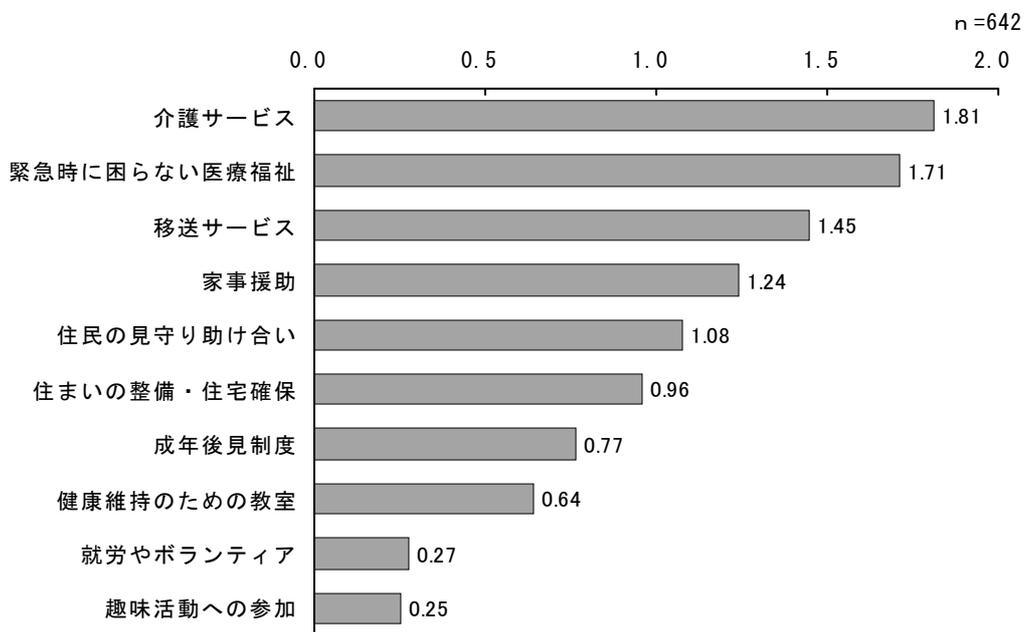
今後の希望する介護



問 35 以下の高齢者施策は、どの程度重要だと考えますか。(それぞれ「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」「重要でない」から1つ選んで○をつけてください。)

「とても重要」を+2点「ある程度重要」を+1点「あまり重要でない」を-1点「重要でない」を-2点としたときの平均得点をみると、すべての間でプラスとなっています。最も希望が多いのは「安心して受けられる介護サービス」で、次いで「緊急時などにも困らない医療・福祉サービス」となっています。

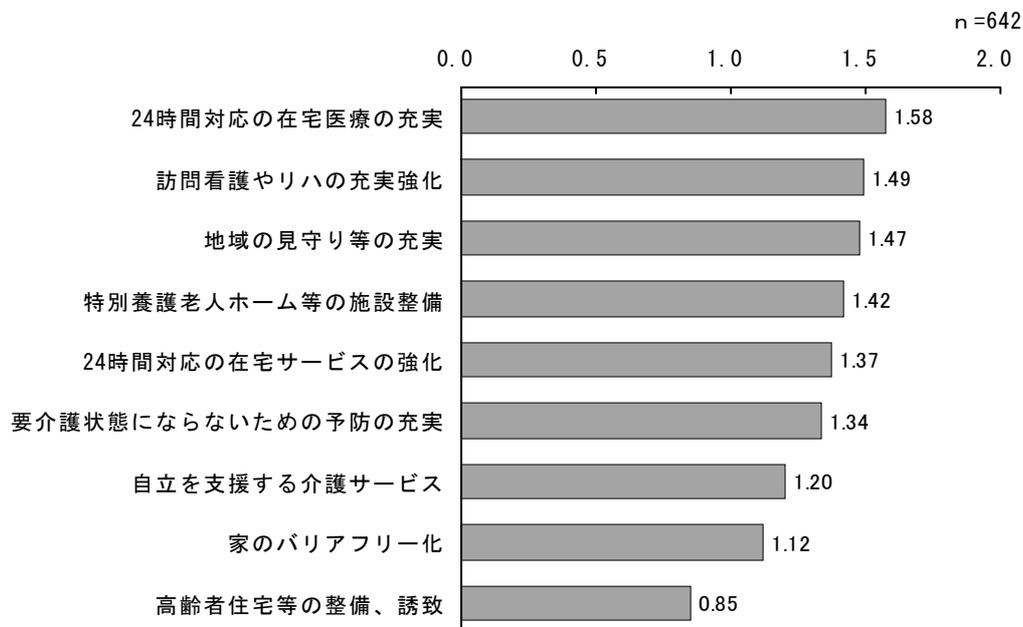
今後の高齢者施策



問 36 【在宅で介護している家族の方におききします。】国においては、日常生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと思いますか。①から⑨の各問について、「重要度」の形でお答えください。（それぞれ1つに〇）

「大変重要」を+2点、「まあまあ重要」を+1点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点としたときの平均点をみると、「24時間対応の在宅医療の充実」が最も高く、「訪問看護やリハビリテーションの充実強化」が続いています。次いで「地域の見守り等の充実」、「特別養護老人ホーム等の施設整備」などが続いています。

認定者家族の今後の日常生活圏域におけるケアシステム



## 第5章

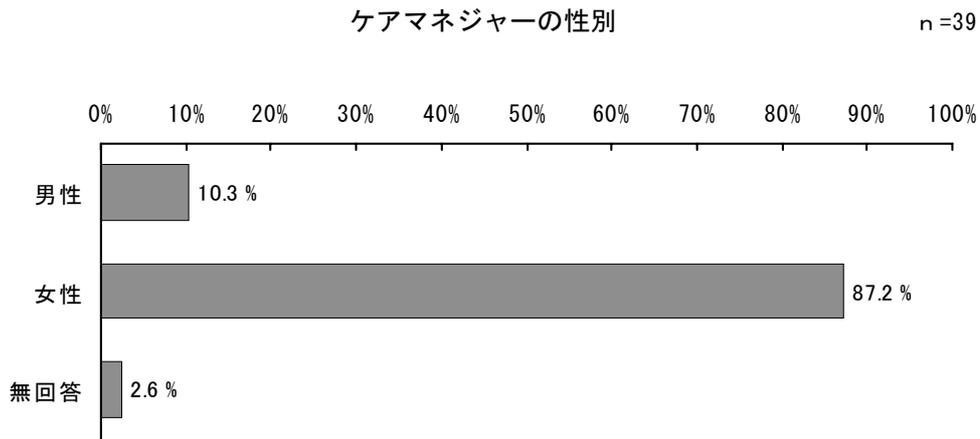
### ケアマネジャー調査



## 1 回答者の属性

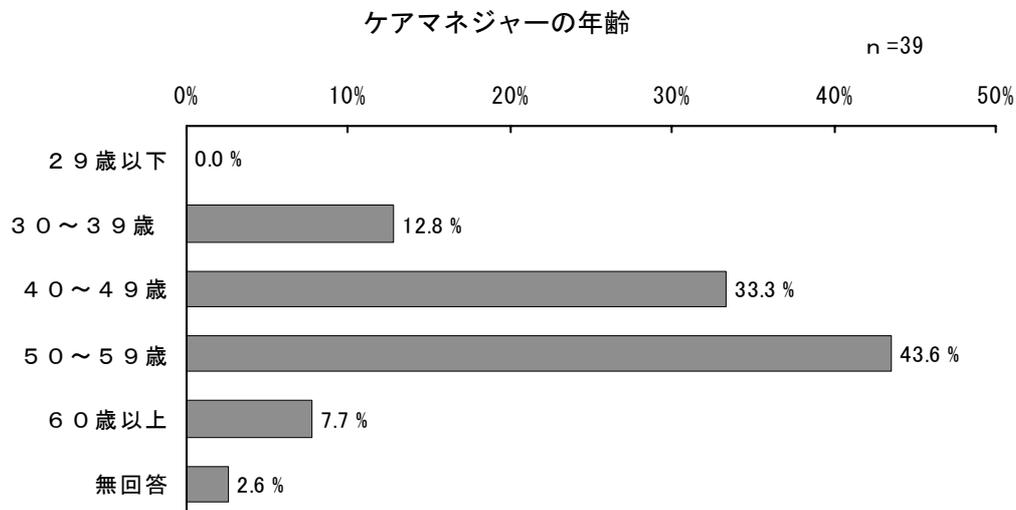
問1 性別をお答えください。(1つに○)

ケアマネジャーの性別は、「男性」が10.3%、「女性」が87.2%となっています。



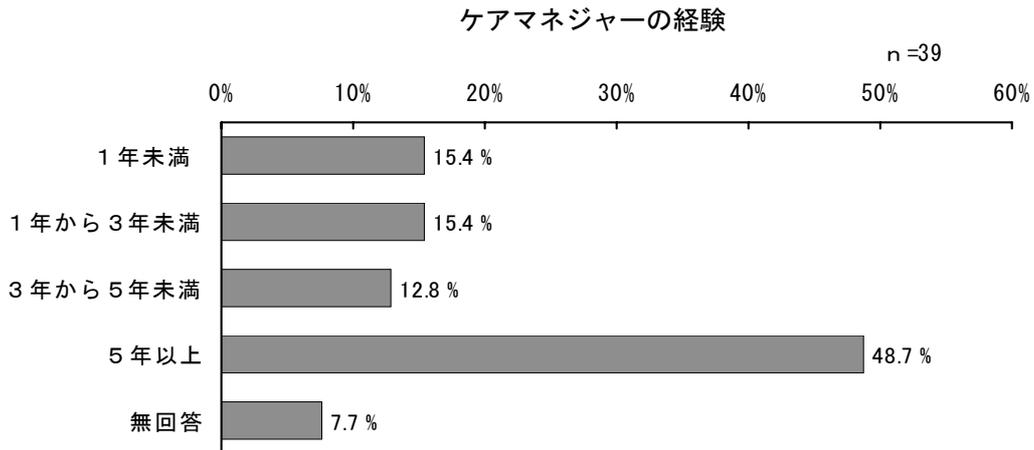
問2 現在の年齢をお答えください。(1つに○)

ケアマネジャーの年齢は、「50～59歳」が43.6%と最も多くなっています。「40～49歳」が33.3%、「30～39歳」が12.8%、「60歳以上」が7.7%となっており、「29歳以下」はゼロでした。



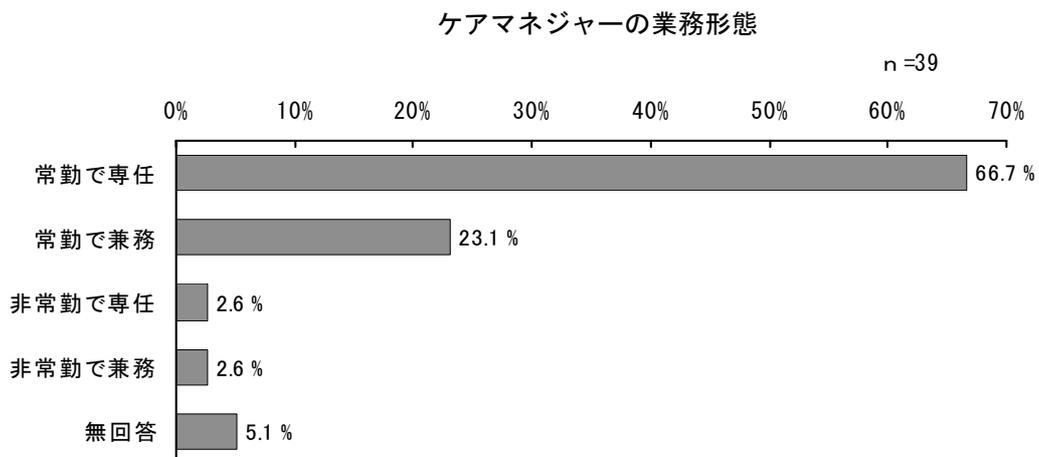
問3 介護保険のケアプランを立てる等の経験はどれくらいですか。(1つに○)

ケアプランの経験は「5年以上」が48.7%と約5割を占め最も多くなっています。「1年未満」「1年から3年未満」が15.4%、「3年から5年未満」が12.8%となっています。



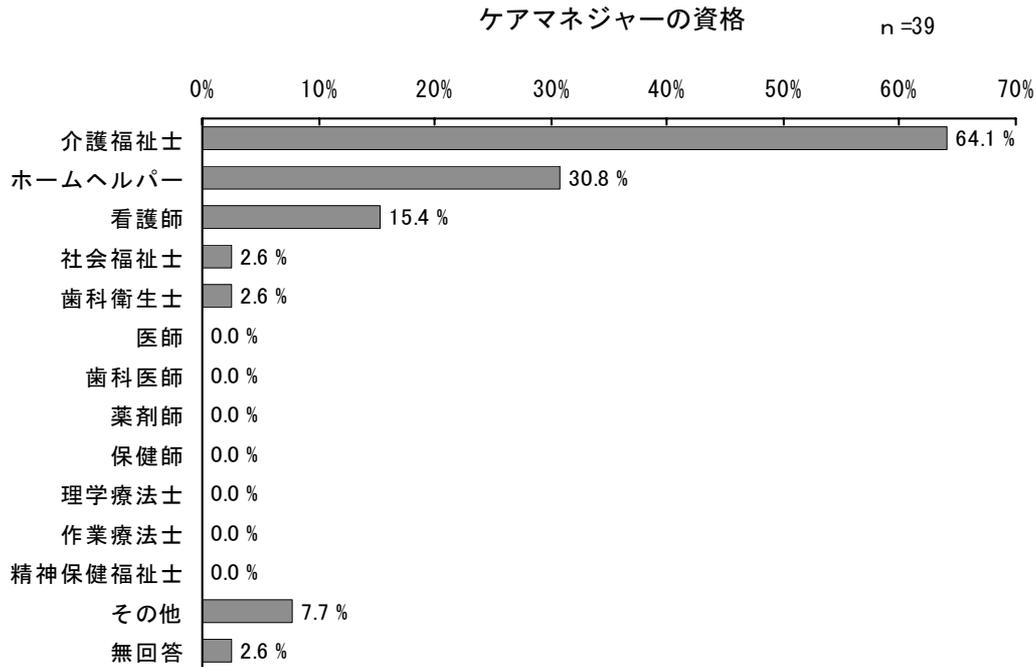
問4 業務形態は次のどれにあたりますか。(1つに○)

「常勤で専任」が66.7%と3分の2となっています。また、「常勤で兼務」が23.1%、「非常勤」は選任・兼務ともに2.6%となっています。



問5 何の資格をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

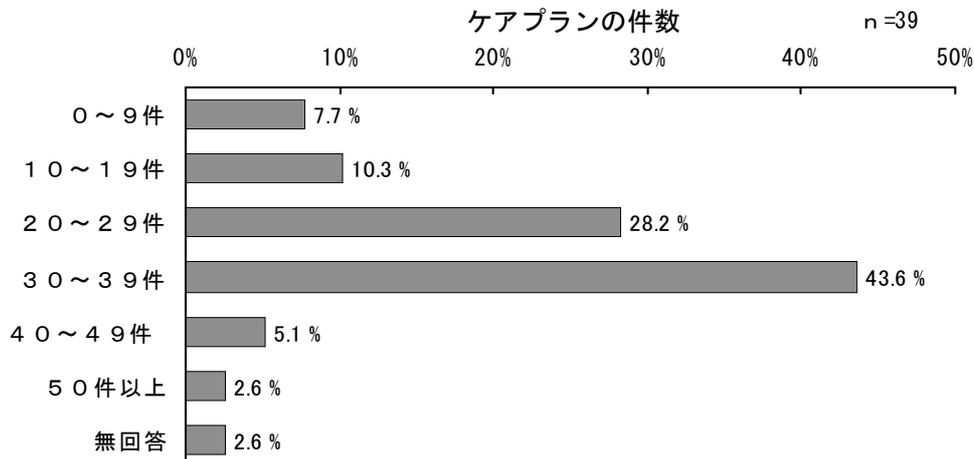
ケアマネジャーの持っている介護支援専門員以外の資格は、「介護福祉士」が64.1%、「ホームヘルパー」が30.8%、「看護師」が15.4%、「社会福祉士」「歯科衛生士」が2.6%となっています。



## 2 ケアマネジャーの業務

問6 市外を含め月平均のケアプラン作成数はどのくらいですか。(1つに○)

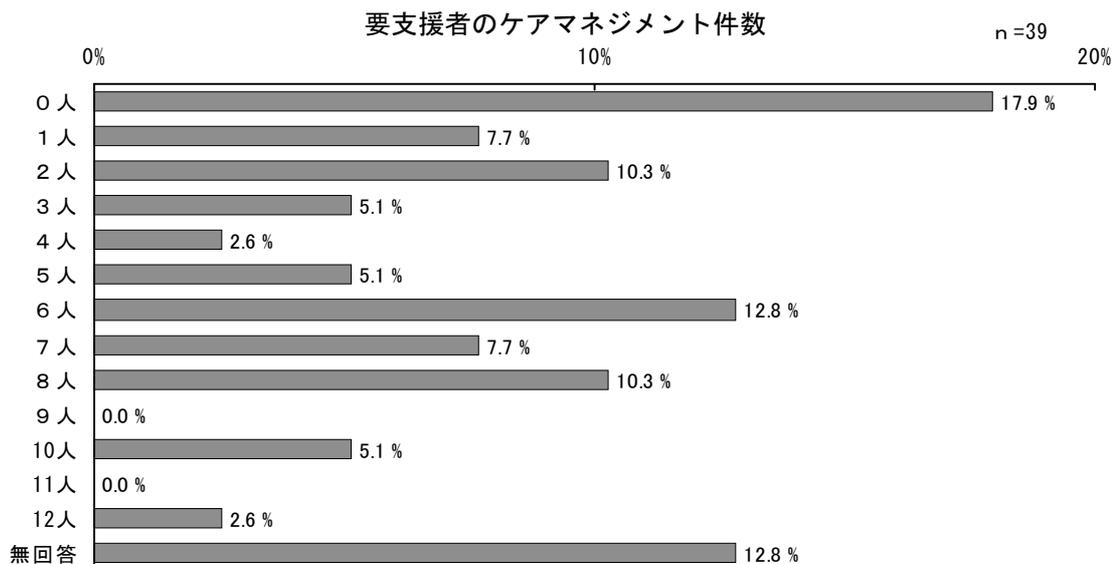
「30～39件」が43.6%、「20～29件」が28.2%、「10～19件」が10.3%、「0～9件」が7.7%となっています。



問7 鴨川市で何人の要支援・要介護者のケアマネジメントを担当していますか。  
(平成26年1月1日現在の実数を記入)

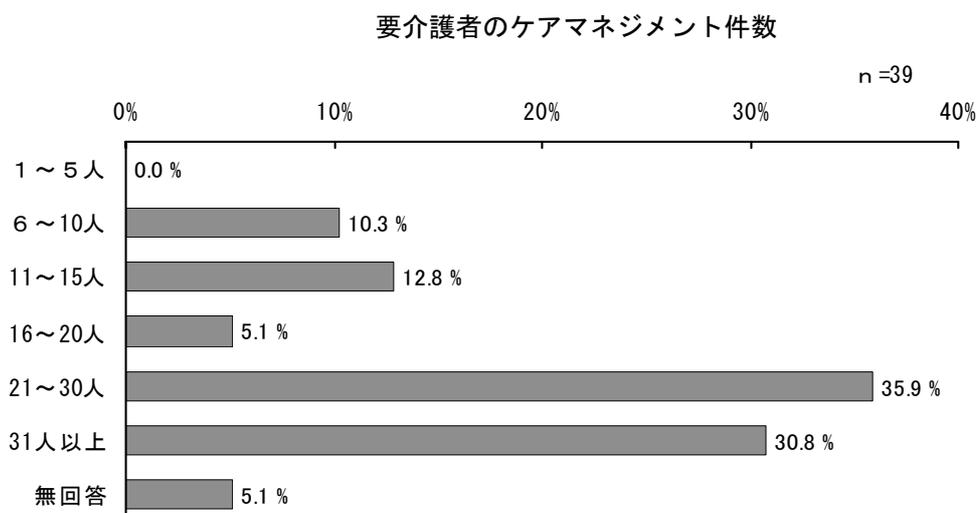
①予 防

回答者の最低は0人、最大は12人で、平均は3.7人となっています。0人を除く最も多い層は6人となっています。



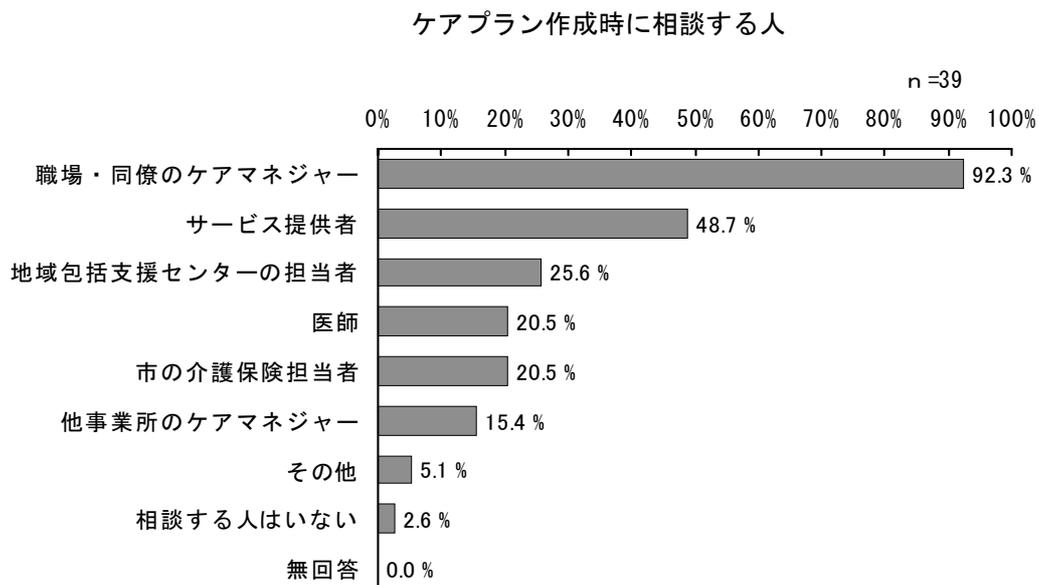
②介 護

回答者の最低は7人、最大は44人で、平均は人となっています。最も多い層は21～30人です。



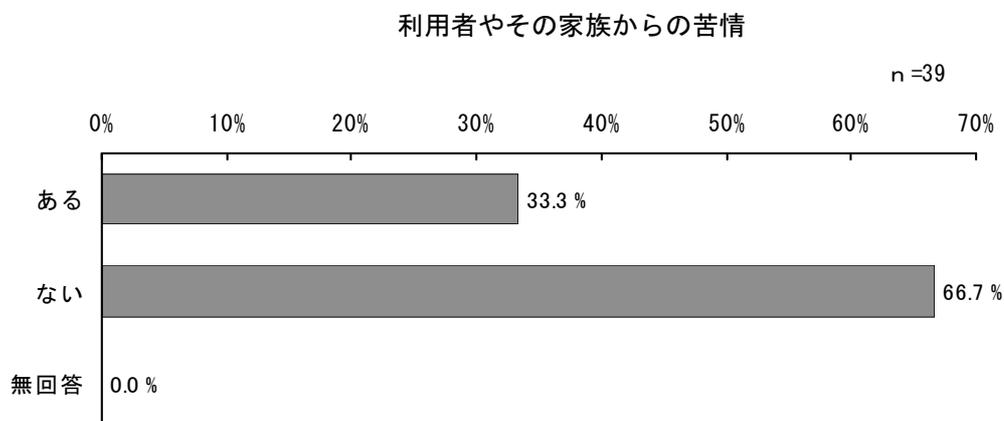
問8 日頃、ケアプランを作成する時に相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

「職場・同僚のケアマネジャー」が92.3%と大多数となっています。「サービス提供者」が48.7%で続いています。また「地域包括支援センターの担当者」が25.6%、「医師」と「市の介護保険担当者」とが20.5%となっています。



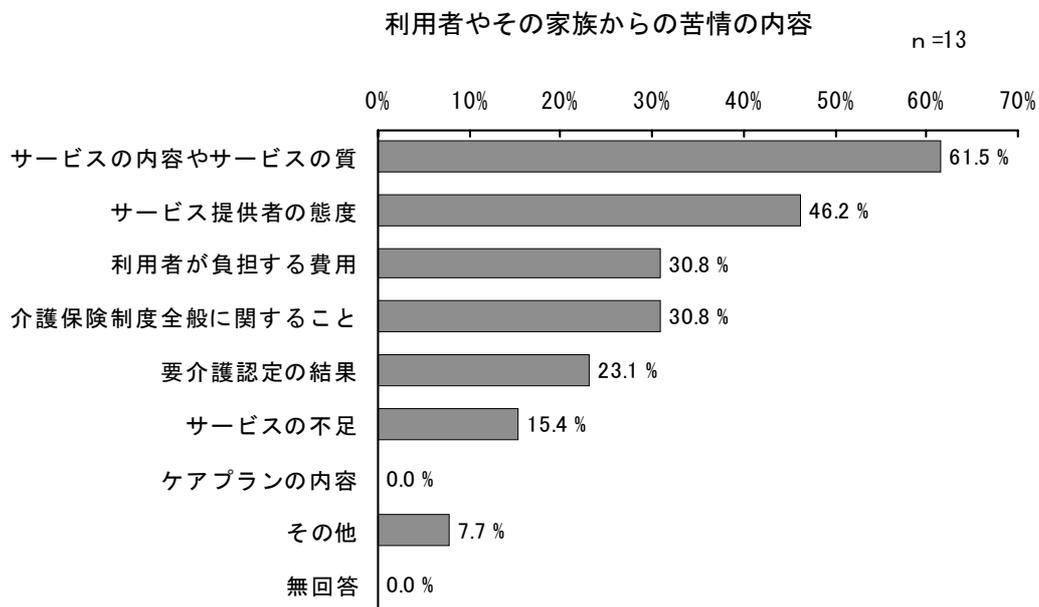
問9 利用者やその家族からの苦情はありますか。(1に○)

「ない」が66.7%3分の2となっています。また「ある」が33.3%となっています。



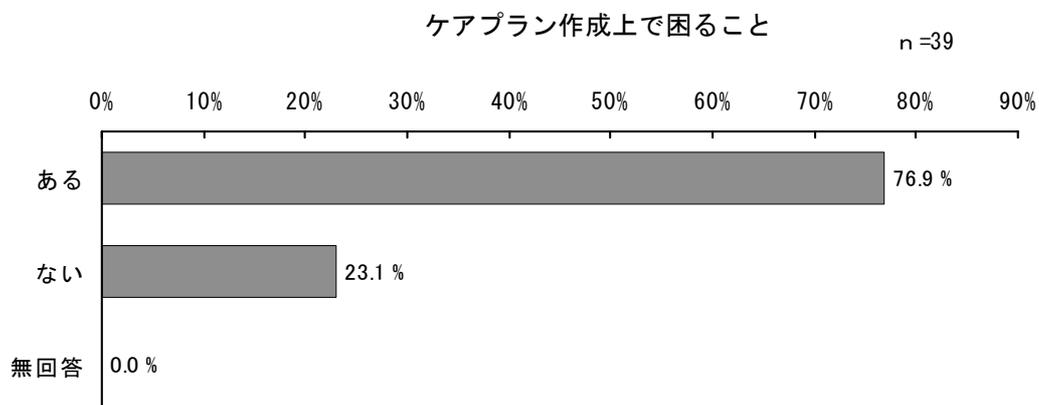
問10 問9で「1 ある」と答えた方にお聞きします。どのような内容でしたか。  
(あてはまるものすべてに○)

苦情が「ある」と回答した13件の苦情の内容は「サービスの内容やサービスの質」が61.5%、「サービス提供者の態度」が46.2%、「利用者が負担する費用」と「介護保険制度全般に関すること」が30.8%、「要介護認定の結果」が23.1%、「サービスの不足」が15.4%などとなっています。



問11 ケアプランを作成する上で困ることはありますか。(1つに○)

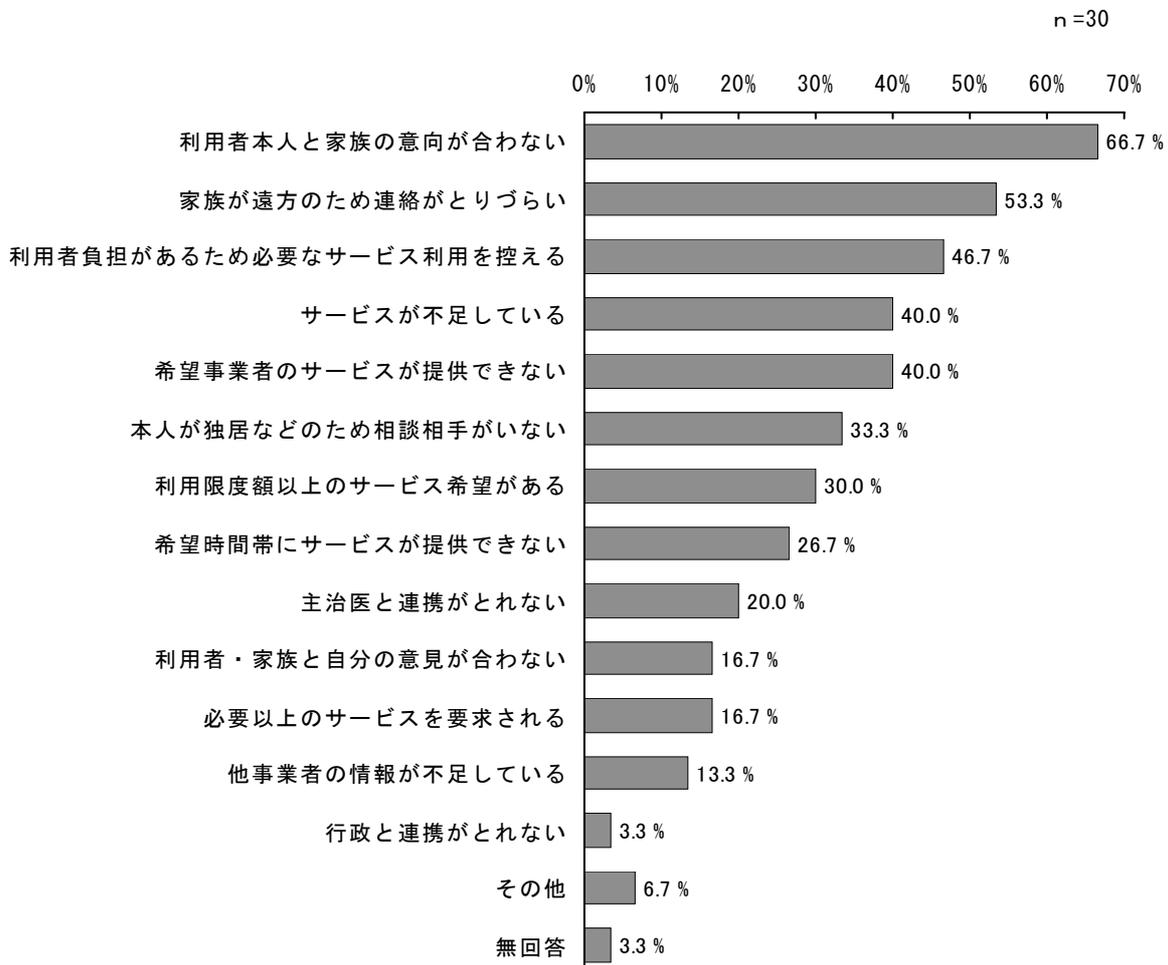
「ある」が76.9%と4分の3を超えています。「ない」は23.1%となっています。



問12 問11で「1 ある」と答えた方にお聞きします。ケアプラン作成上困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

ケアプラン作成上で困ることが「ある」と回答した30人についてその内容を聞いたところ、「利用者本人と家族の意向が合わない」が最も多く66.7%、「家族が遠方のため連絡がとりづらい」が53.3%、「利用者負担があるため必要なサービス利用を控える」が46.7%「サービスが不足している」「希望事業者のサービスが提供できない」がそれぞれ40.0%となっています。

ケアプラン作成上で困ることの原因

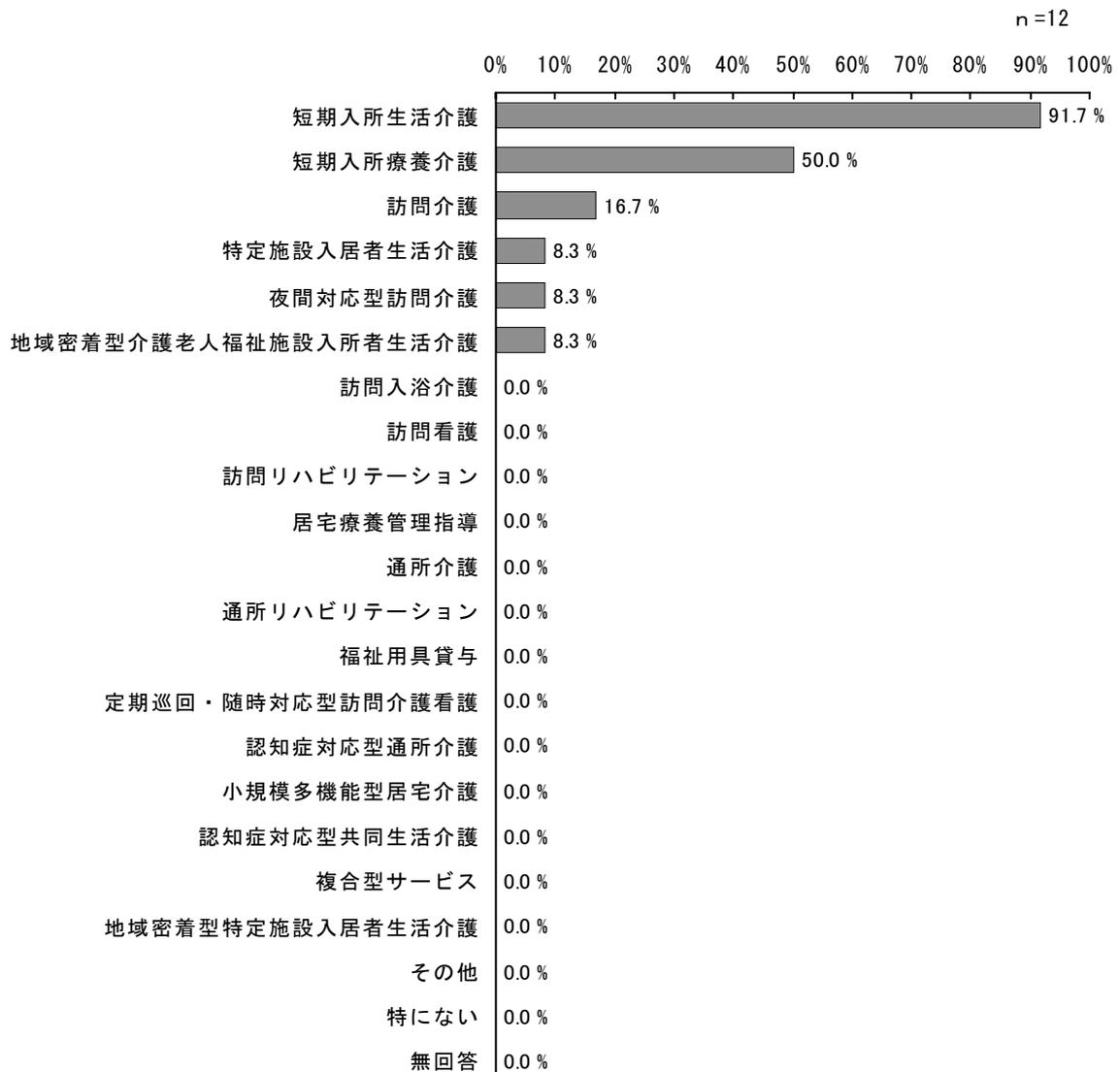


問 13 問 12 で「1 サービスが不足している」と答えた方にお聞きします。ケアプランの作成にあたり、利用者が要望しているにも関わらず不足しているサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「短期入所生活介護」が 91.7%、「短期入所療養介護」が 50.0%とショートステイの不足が最大の課題となっています。

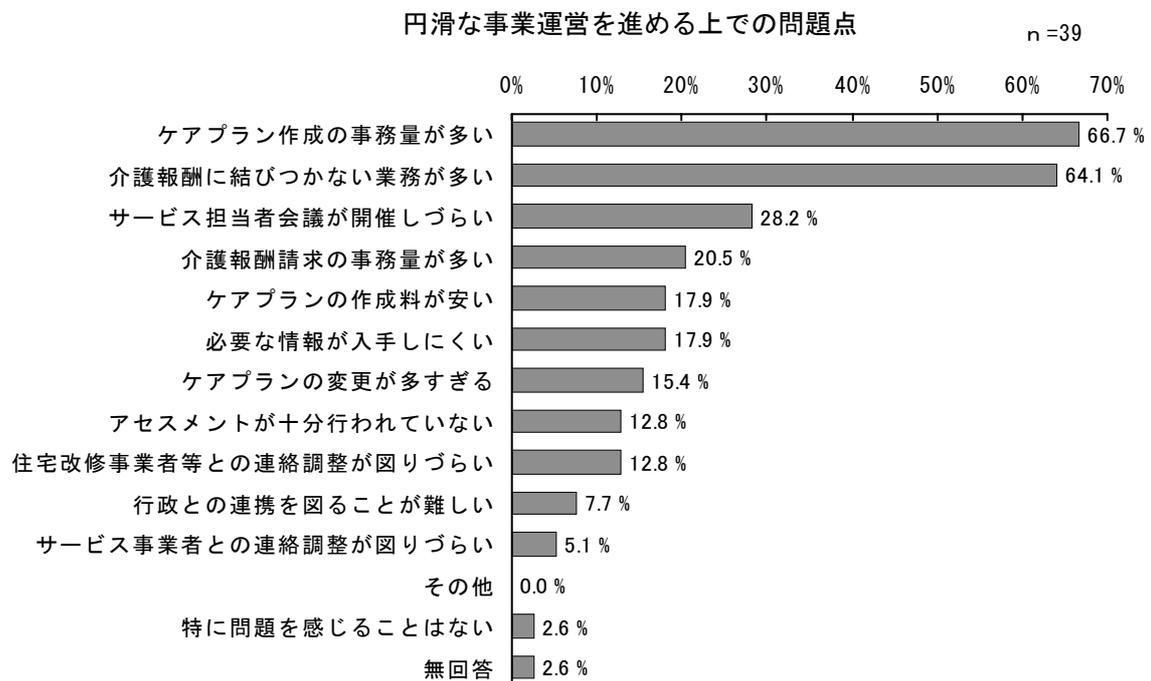
第 3 位は「訪問介護」で 16.7%です。また、「特定施設入居者生活介護」「夜間対応型訪問介護」「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」がそれぞれ 8.3%みられます。

ケアプラン作成上不足しているサービス



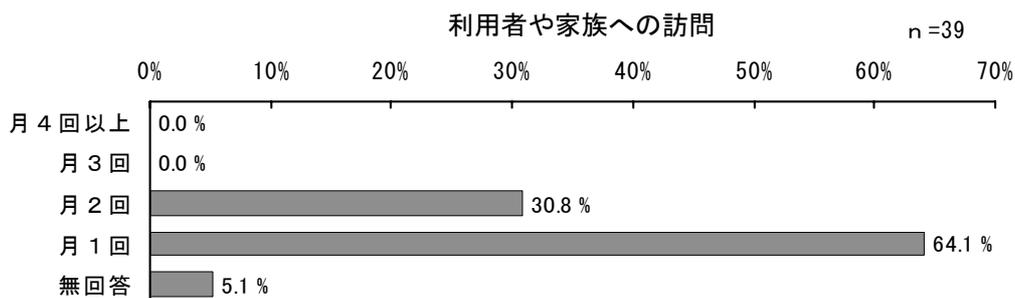
問 14 円滑な事業運営を進めていく上での問題点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアプラン作成の事務量が多い」が66.7%、「介護報酬に結びつかない業務が多い」が64.1%と3分の2を占め、比較的多くなっています。「サービス担当者会議が開催しづらい」が28.2%、「介護報酬請求の事務量が多い」が20.5%となっています。また、「特に問題を感じることはない」は2.6%と少数です。



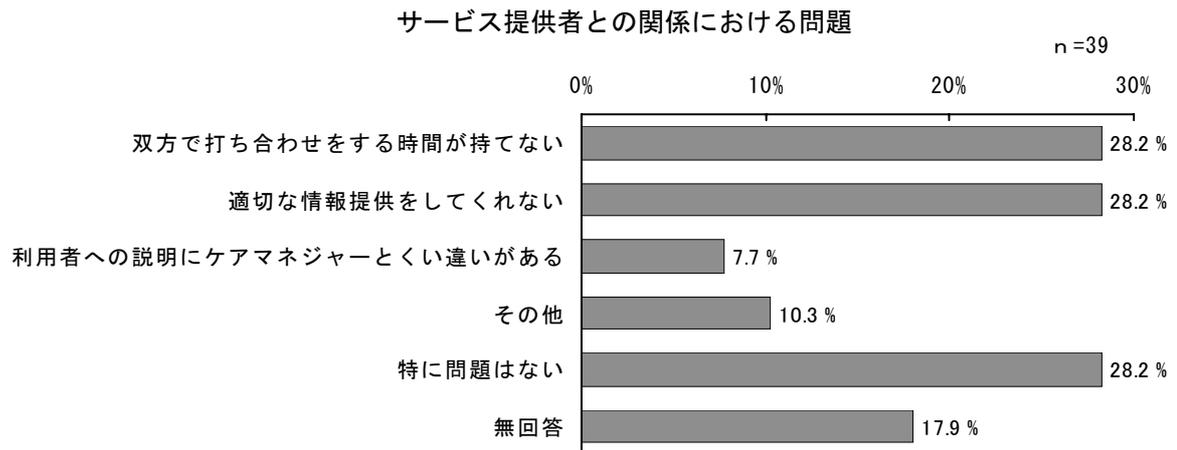
問 15 利用者や家族へは月平均どのくらいの頻度で訪問していますか。(1つに○)

「月1回」が64.1%、「月2回」が30.8%となっています。「月3回」「月4回以上」はゼロとなっています。



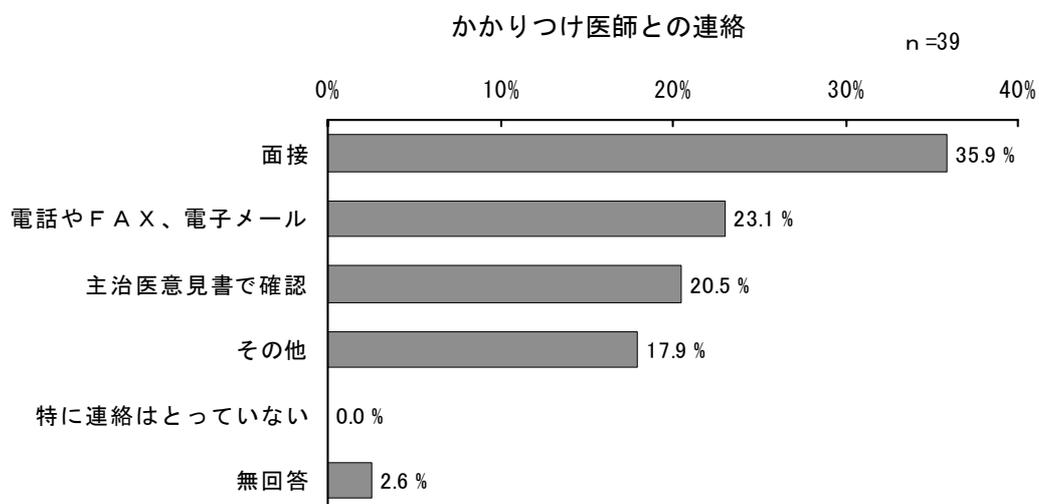
問 16 サービス提供者との関係において問題があると感じることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「双方で打ち合わせをする時間が持てない」「適切な情報提供をしてくれない」「特に問題はない」がそれぞれ 28.2%となっています。



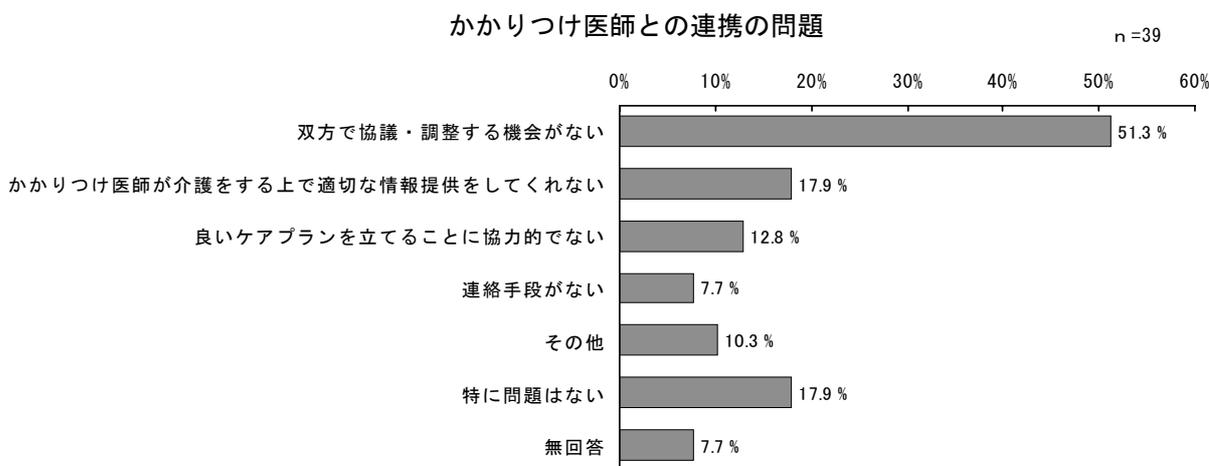
問 17 医療系サービスの提供を検討する際に、かかりつけ医師とはどのように連絡をとっていますか。(最もよく使う連絡方法 1つに○)

「面接」が 35.9%、「電話やFAX、電子メール」が 23.1%、「主治医意見書で確認」が 20.5%となっており、これら 3つの方法が中心となっています。「特に連絡はとっていない」はゼロです。



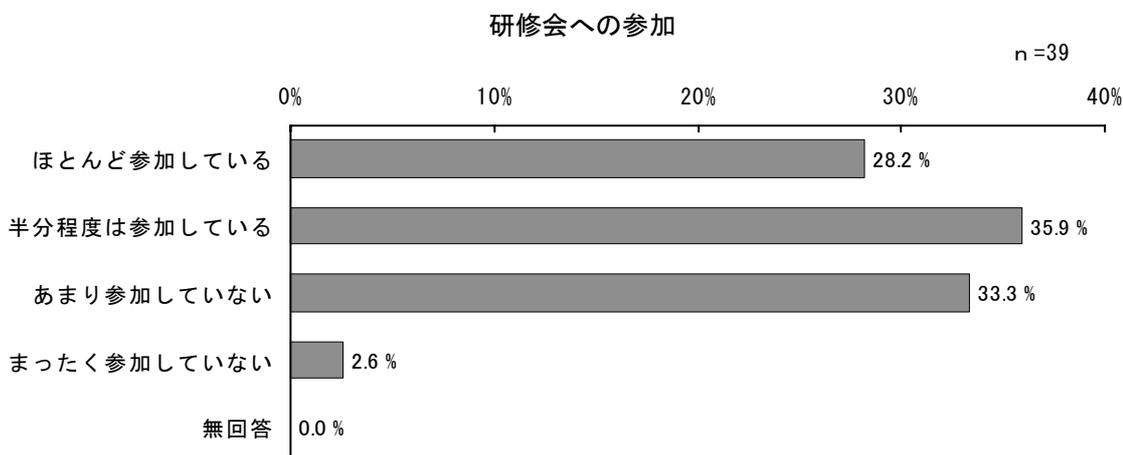
問 18 かかりつけ医師との連携で、問題点を感じることはありませんか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「双方で協議・調整する機会がない」が 51.3%と半数を超え、最も多くなっています。また、「かかりつけ医師が介護をする上で適切な情報提供をしてくれない」が 17.9%、「良いケアプランを立てることに協力的でない」が 12.8%、「連絡手段がない」が 7.7%となっています。「特に問題はない」は 17.9%となっています。



問 19 千葉県やケアマネジャー協会、鴨川市等で実施するケアマネジャー向け研修会に、どの程度参加していますか。(1つに○)

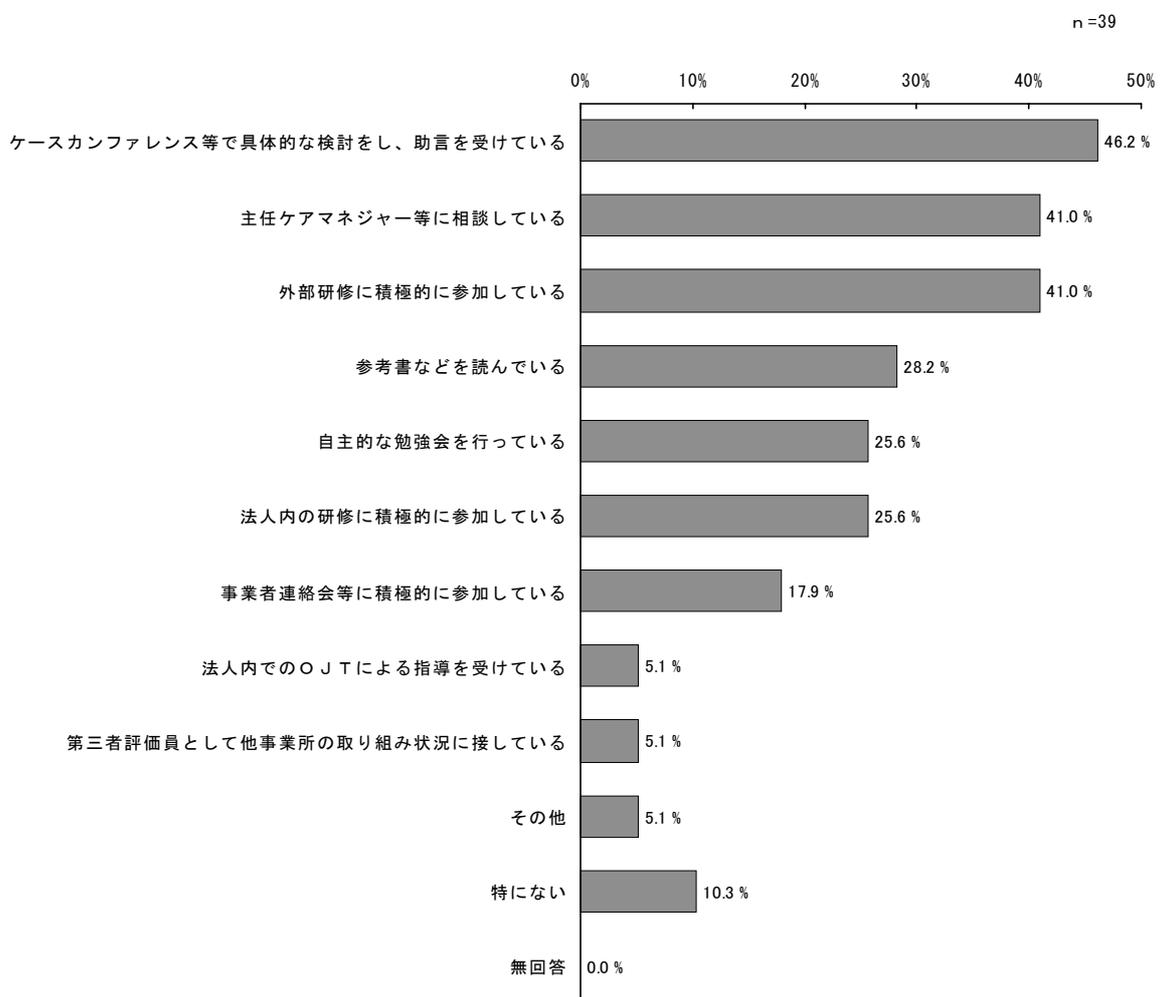
「半分程度は参加している」が 35.9%、「あまり参加していない」が 33.3%、「ほとんど参加している」が 28.2%となっています。「ほとんど参加している」「半分程度は参加している」を合わせると3分の1弱となります。



問 20 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている」が 46.2%と最も多くなっています。また、「主任ケアマネジャー等に相談している」「外部研修に積極的に参加している」がともに 41.0%、「参考書などを読んでいる」が 28.2%となっています。

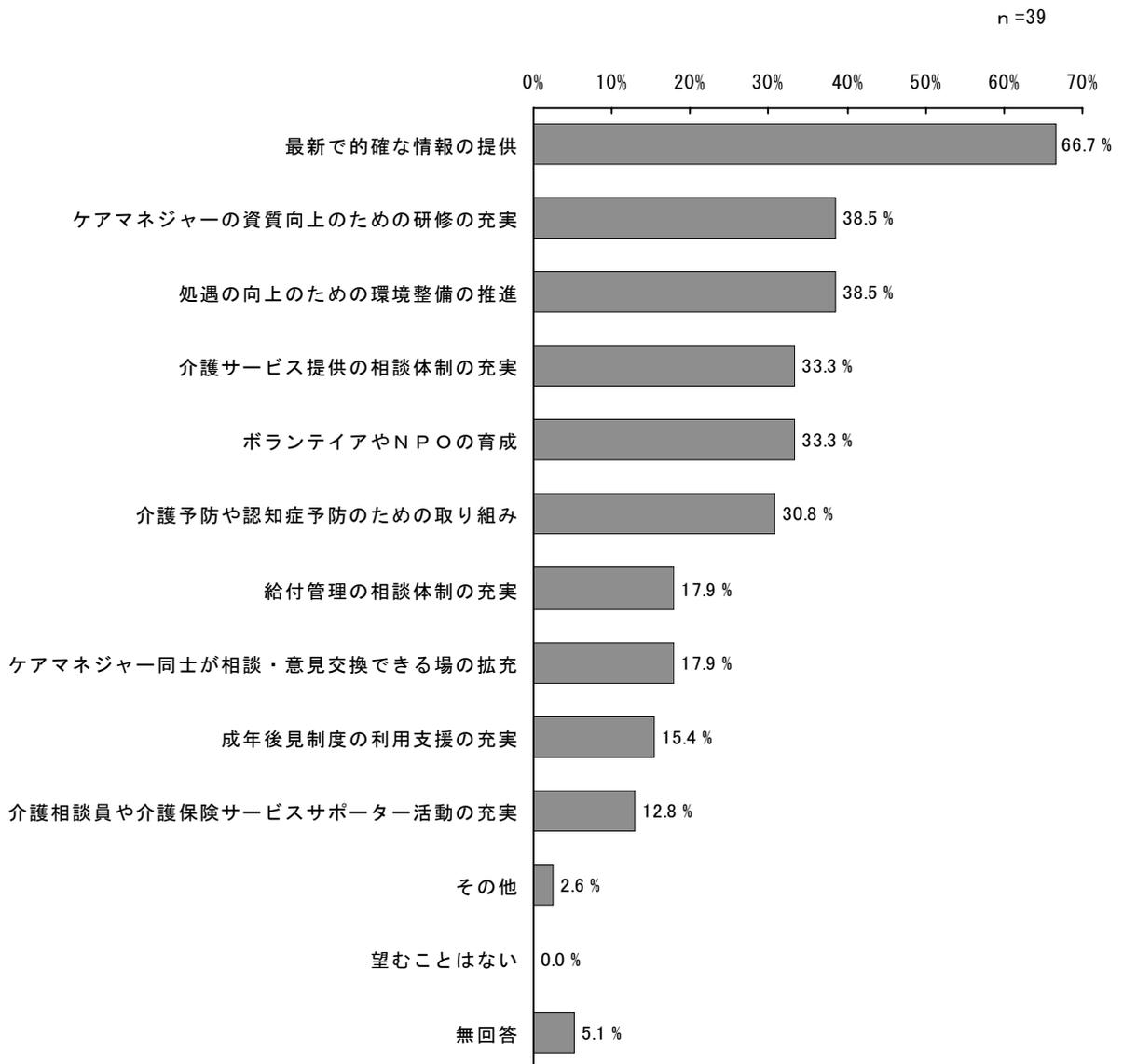
レベルアップのための取り組み



問 21 ケアマネジャーとして行政に望むことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「最新で的確な情報の提供」が66.7%と3分の2を占めています。「ケアマネジャーの資質向上のための環境整備の推進」「処遇の向上のための環境整備の推進」がともに38.5%、「介護サービス提供の相談体制の充実」と「ボランティアやNPOの育成」がそれぞれ33.3%です。

ケアマネジャーとして行政に望むこと





## 第6章

### 介護保険事業所調査

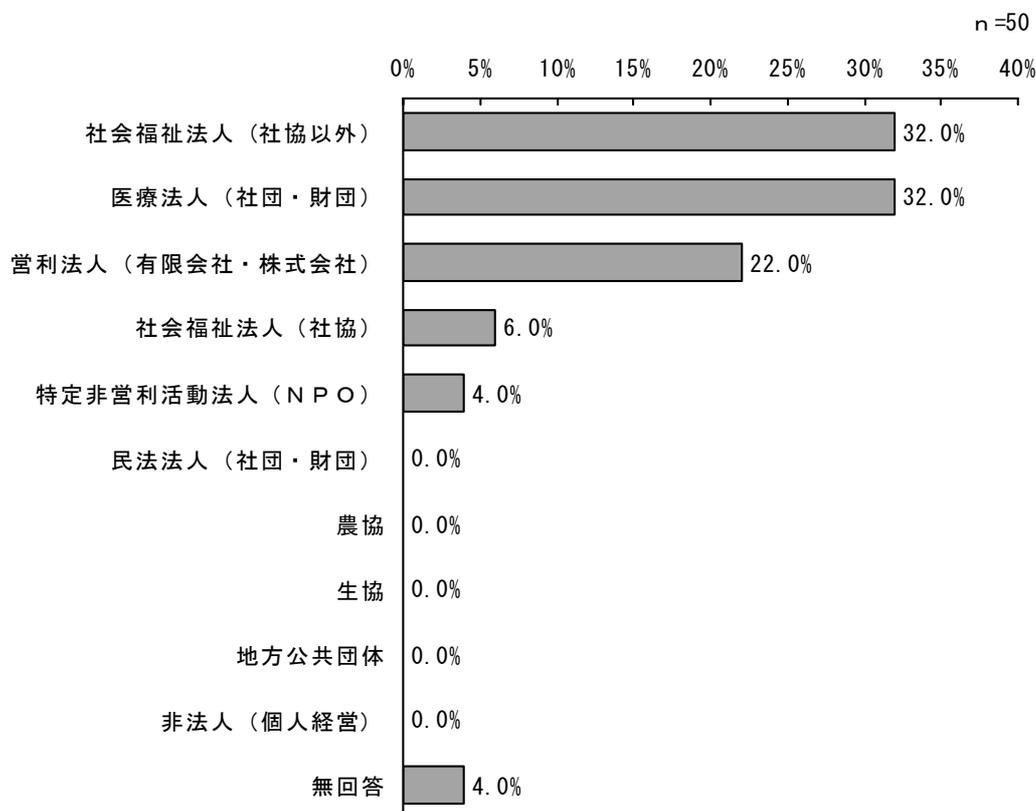


## 1 事業所の状況

問1 平成26年1月1日現在の貴事業所についてお答えください。

「社会福祉法人（社協以外）」「医療法人（社団・財団）」がともに32.0%、「営利法人（有限会社・株式会社）」が22.0%となっており、これらが中心となっています。また、「社会福祉法人（社協）」が6.0%、「特定非営利活動法人（NPO）」が4.0%となっています。

介護保険事業所の法人種別

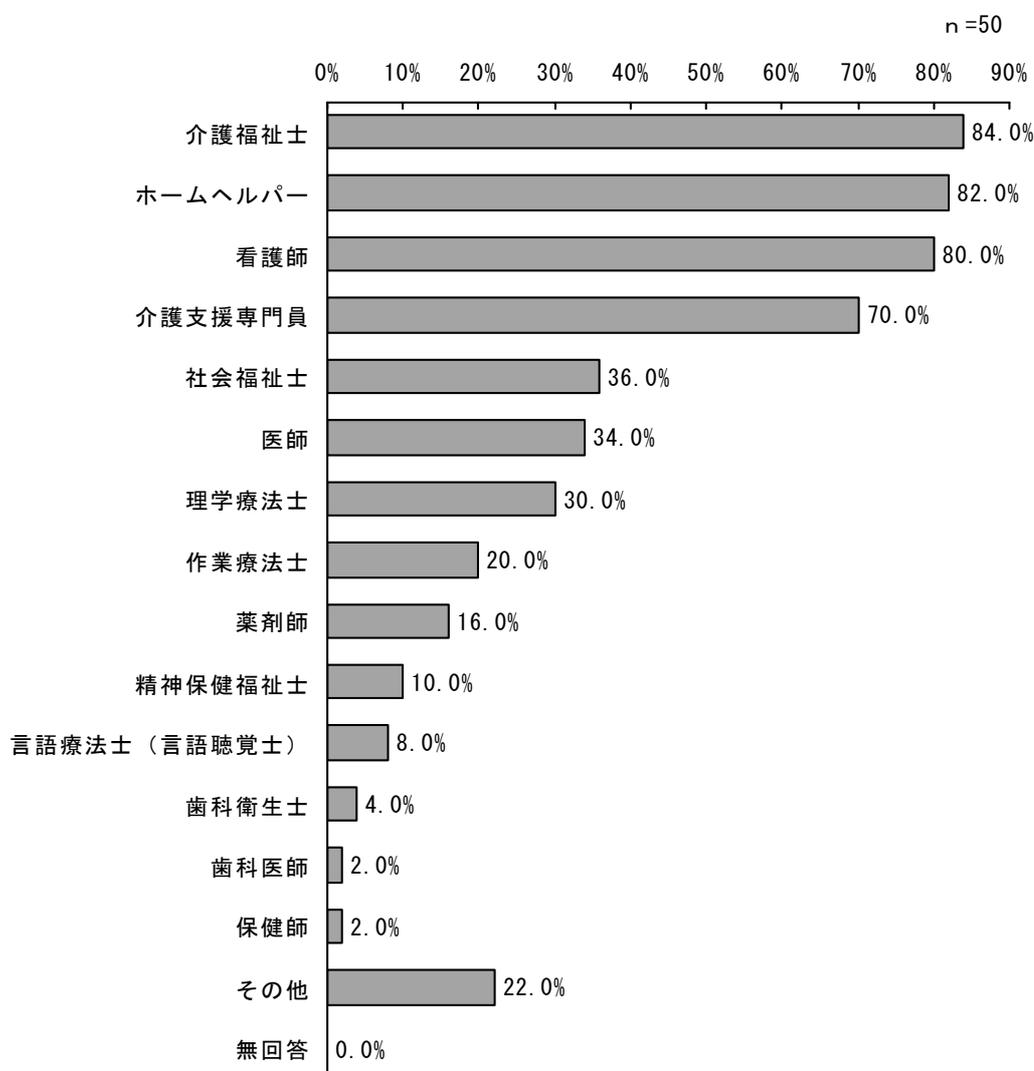


問2 貴事業所において、どのような資格者が従事していますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護福祉士」が最も多く 84.0%、「ホームヘルパー」が 82.0%、「看護師」が 80.0%、「介護支援専門員」が 70.0%で、これらの専門職が中心となっています。

また、「社会福祉士」が 36.0%、「医師」が 34.0%、「理学療法士」が 30.0%、「作業療法士」が 20.0%みられます。

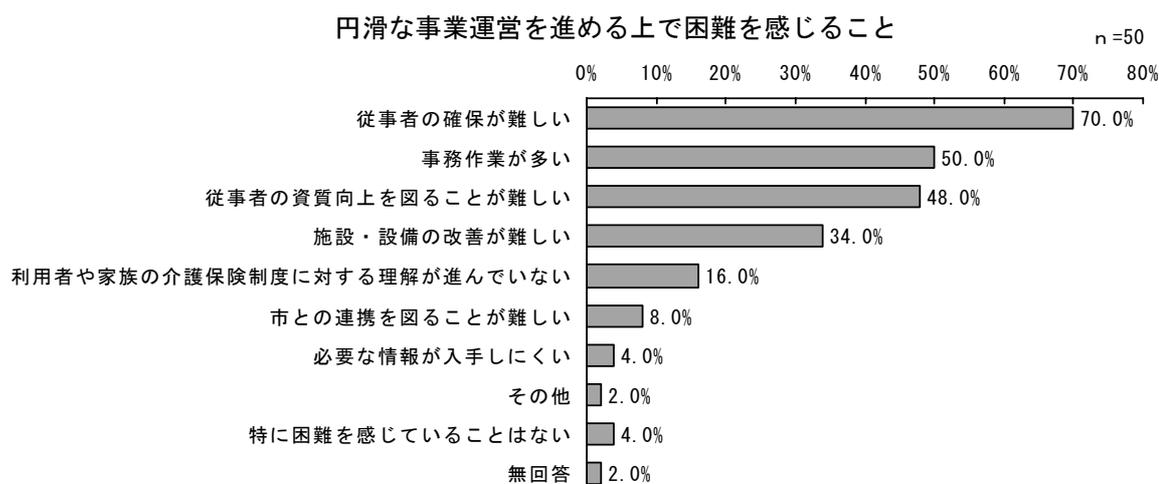
介護保険事業所の従事者の資格



問3 貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、現在、困難を感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

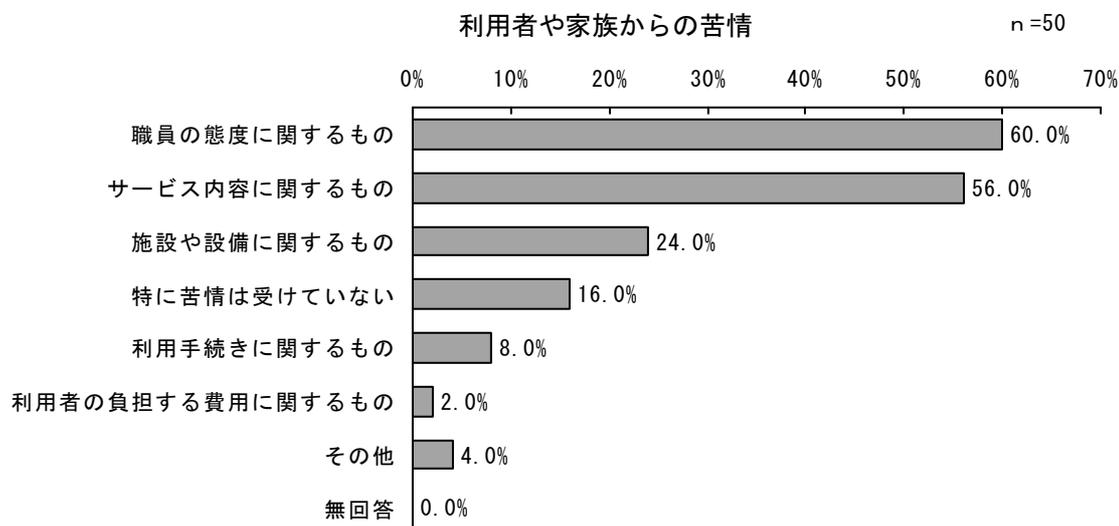
「従事者の確保が難しい」が70.0%と最も多くみられます。「事務作業が多い」が50.0%、「従事者の資質向上を図ることが難しい」が48.0%「施設・設備の改善が難しい」が34.0%となっており、上位は事務や人材、施設の課題があげられています。

また、「利用者や家族の介護保険制度に対する理解が進んでいない」が16.0%でした。



問4 これまで利用者や家族から苦情を受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「職員の態度に関するもの」が60.0%と最も多く、「サービス内容に関するもの」が56.0%、「施設や設備に関するもの」が24.0%で続いています。「特に苦情は受けていない」は16.0%です。



## 2 事業所で実施している事業

問5 貴事業所が実施している介護保険事業（サービス）の状況や今後の意向を、それぞれの項目についてお答えください。あてはまるものすべてについて番号に○をつけ、今後の意向については予定年月も記入してください。

市内ではほとんどの事業が実施中となっておりますが、「夜間対応型訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「地域密着型特定施設入居者生活介護」「複合型サービス」などが実施されていません。

「拡大予定」は「通所リハビリテーション」「居宅介護支援」「介護療養型医療施設」の3件、新規予定（検討中）は、「地域密着型特定施設入居者生活介護」の1件となっております。一方で、「縮小・撤退予定」の事業は「介護老人福祉施設」に1件ありました。

事業所での実施事業

(単位：件)

サービス種類	実施中	現状維持	拡大予定	縮小・ 撤退予定	新規予定 (検討中)
1 訪問介護	12	13	0	0	0
2 訪問入浴介護	2	1	0	0	0
3 訪問看護	5	6	0	0	0
4 訪問リハビリテーション	5	6	0	0	0
5 居宅療養管理指導	1	2	0	0	0
6 通所介護	22	23	0	0	0
7 通所リハビリテーション	11	11	1	0	0
8 短期入所生活介護	17	18	0	0	0
9 短期入所療養介護	10	11	0	0	0
10 特定施設入居者生活介護	3	4	0	0	0
11 福祉用具貸与	4	5	0	0	0
12 福祉用具購入費	4	5	0	0	0
13 住宅改修費	3	4	0	0	0
14 夜間対応型訪問介護	0	1	0	0	0
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1	0	0	0
16 認知症対応型通所介護	2	3	0	0	0
17 小規模多機能型居宅介護	1	2	0	0	0
18 認知症対応型共同生活介護	6	7	0	0	0
19 複合型サービス	0	1	0	0	0
20 地域密着型特定施設入居者生活 介護	0	1	0	0	0
21 地域密着型介護老人福祉施設入 所者生活介護	1	2	0	0	1
22 居宅介護支援	24	25	1	0	0
23 介護老人福祉施設	14	14	0	1	0
24 介護老人保健施設	7	8	0	0	0
25 介護療養型医療施設	3	4	1	0	

問6 介護療養型医療施設を運営している事業所にお伺いします。施設について、今後どのように展開する予定ですか。(ひとつに○)(運営していない場合は問7へ)

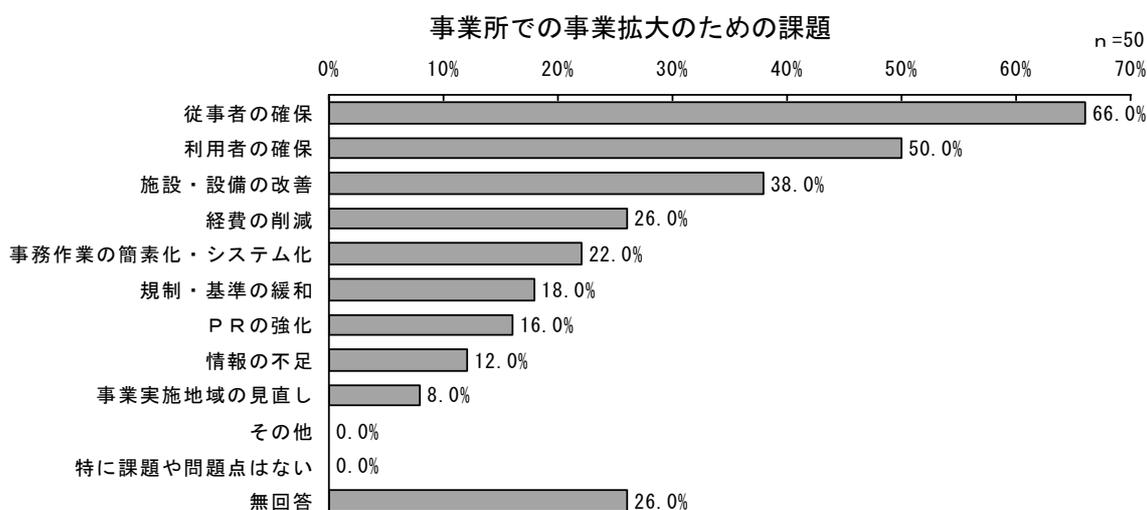
問6-1 問6で他の施設へ転換を希望する事業所(1~6を選択)にお伺いします。転換の時期はいつ頃をお考えですか。(ひとつに○)

回答があったのは5件、「医療療養病床へ転換」が1件、「未定・検討中」が3件、「無回答」が1件となっています。

また、転換時期については、1件の事業所が「平成28年3月までに」と回答しています。

問7 貴事業所が事業の拡大を考える場合の課題や問題点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

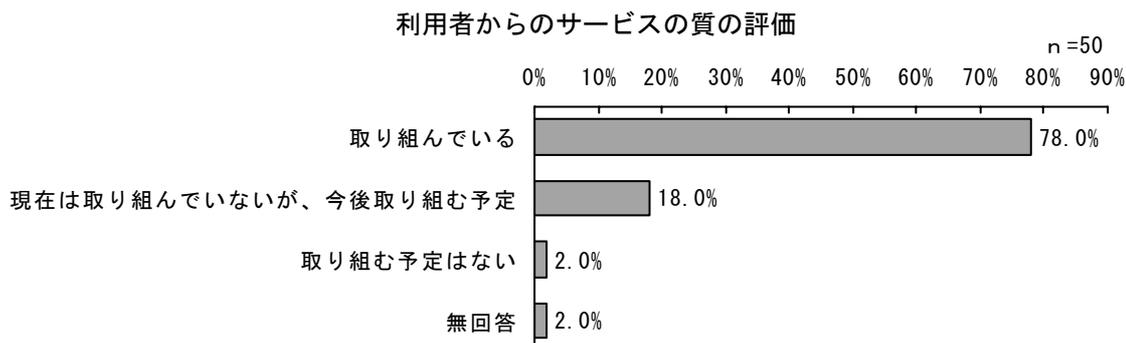
「従事者の確保」が66.0%、「利用者の確保」が50.0%、「施設・設備の改善」が38.0%、で上位となっています。「経費の削減」が26.0%、「事務作業の簡素化・システム化」が22.0%、「規制・基準の緩和」が18.0%です。また、「特に課題や問題点はない」はゼロとなっています。



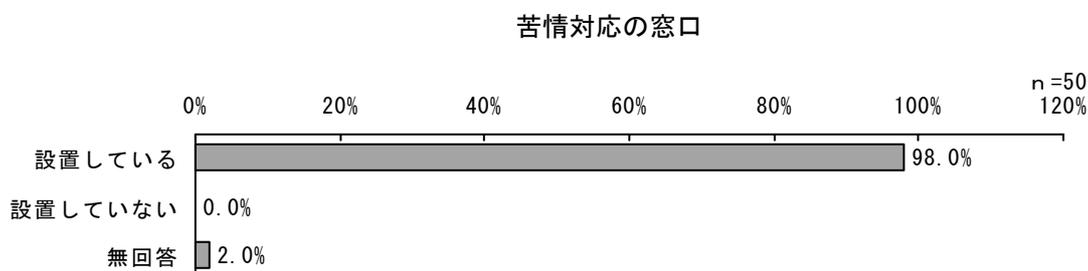
問8 貴事業所は、サービスの質の確保や向上に関して、どのようにお考えですか。次の①から⑫までの各問にお答えください。(問ごとに1つずつに○)

①利用者の満足度や利用者からのサービスの質の評価に取り組んでいますか。

「取り組んでいる」が78.0%、「現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定」が18.0%となっています。また、「取り組む予定はない」は2.0%となっています。

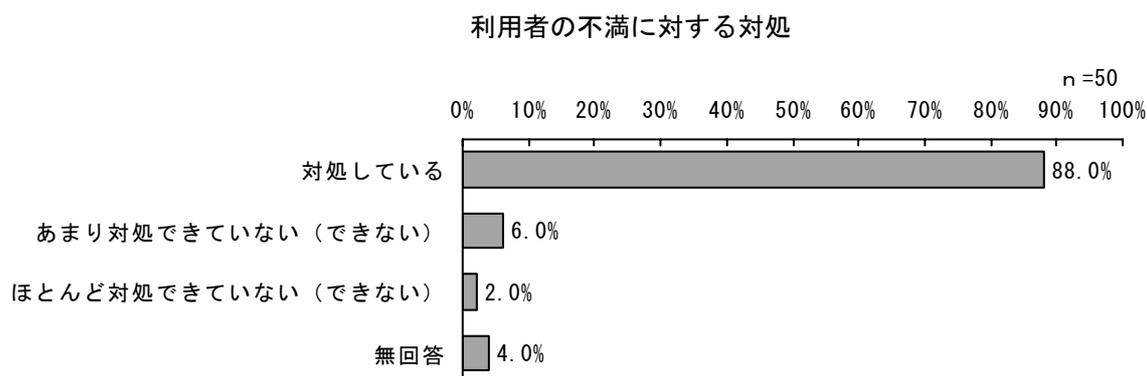


- ②サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を設置していますか。  
 回答したすべての事業所が「責任者や窓口を設置している」と回答しています。



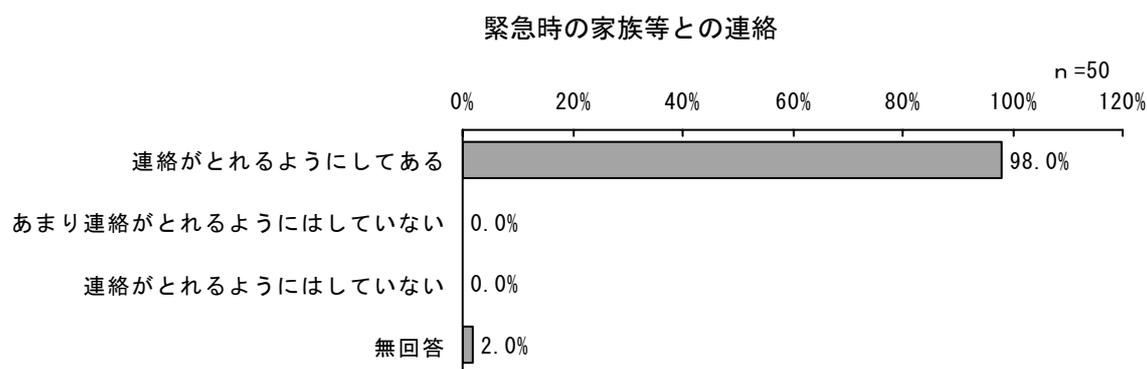
- ③サービスについての利用者や家族の不満や要望について、十分な対応を行っていますか。

「対応している」が88.0%と最も多くなっています。「あまり対応できていない（できない）」は6.0%です。「ほとんど対応できていない（できない）」も2.0%あります。



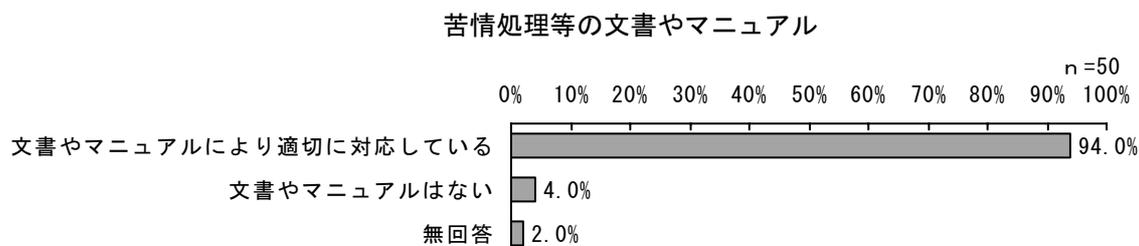
- ④利用者の事故など緊急な場合に家族等に連絡がとれる体制となっていますか。

「連絡がとれるようにしてある」が98.0%と大多数となっています。



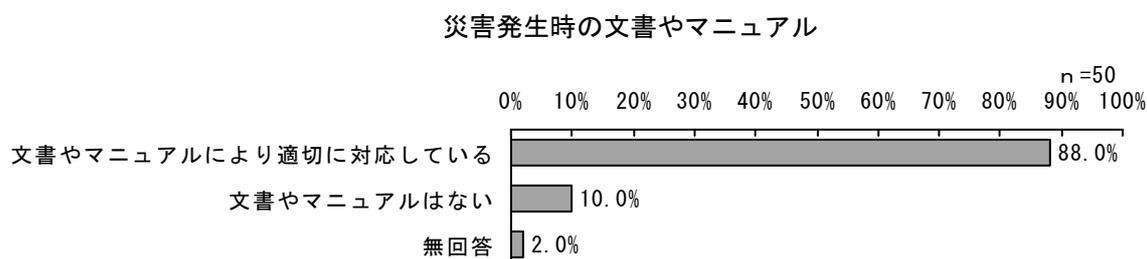
⑤事業所運営にあたり、苦情に対する手続きや事故対応などについて、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

「文書やマニュアルにより適切に対応している」が94.0%と大多数となっています。「文書やマニュアルはない」は4.0%です。



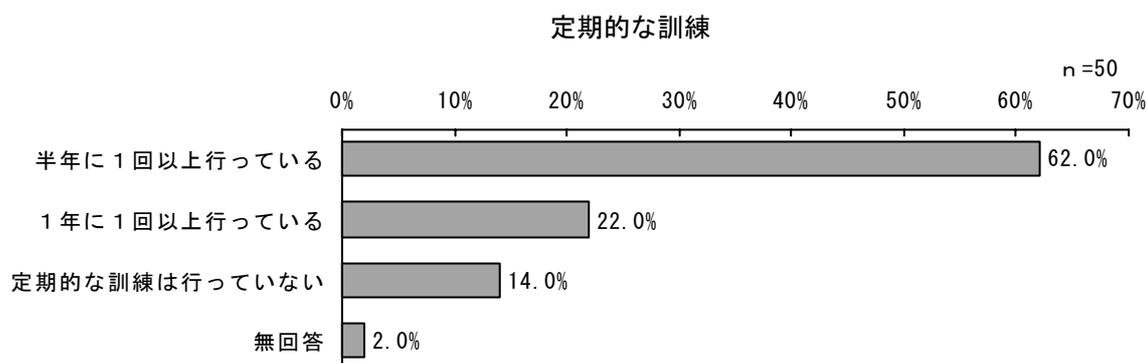
⑥災害発生時の対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。

「文書やマニュアルにより適切に対応している」が88.0%と最も多くなっていますが、「文書やマニュアルはない」も10.0%みられます。



⑦定期的な訓練（避難訓練等）を行っていますか。

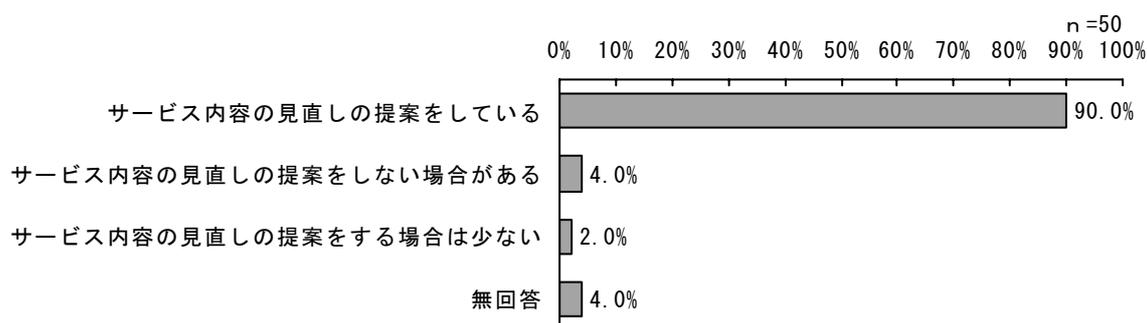
「半年に1回以上行っている」が62.0%、「1年に1回以上行っている」が22.0%であれば、合わせて84.0%に達しています。これに対し「定期的な訓練は行っていない」は14.0%です。



⑧サービスが提供された後に、(利用者の状況変化に応じて)サービス内容の見直しについて、利用者や家族に何らかの提案(ケアマネジャーへの相談を含みます)を行いますか。

「サービス内容の見直しの提案をしている」が90.0%と大多数となっています。「サービス内容の見直しの提案をしない場合がある」が4.0%、「サービス内容の見直しの提案をする場合は少ない」は2.0%と少数です。

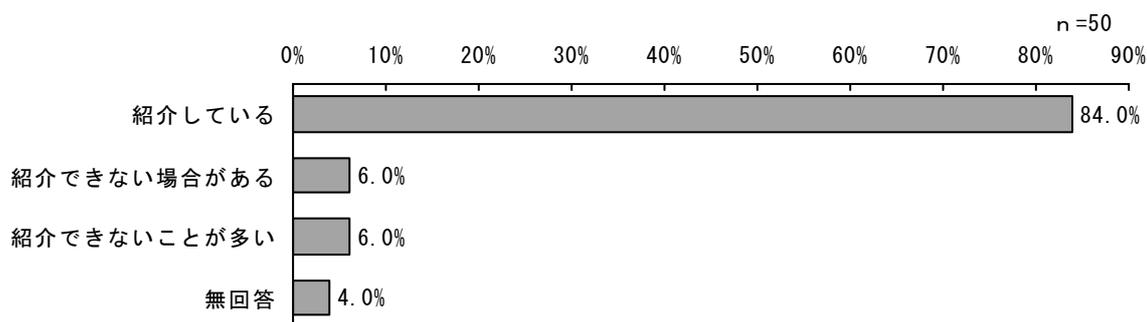
サービス内容の見直しについての提案



⑨利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業者が提供する以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介していますか。

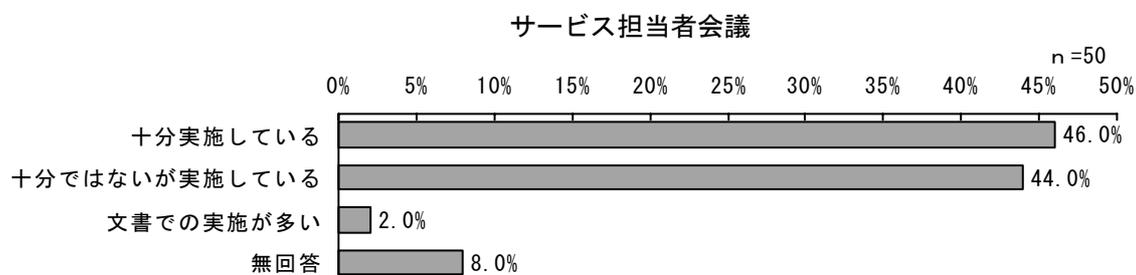
「紹介している」が84.0%で大多数です。「紹介できない場合がある」「紹介できないことが多い」もそれぞれ6.0%あります。

他の事業所の紹介



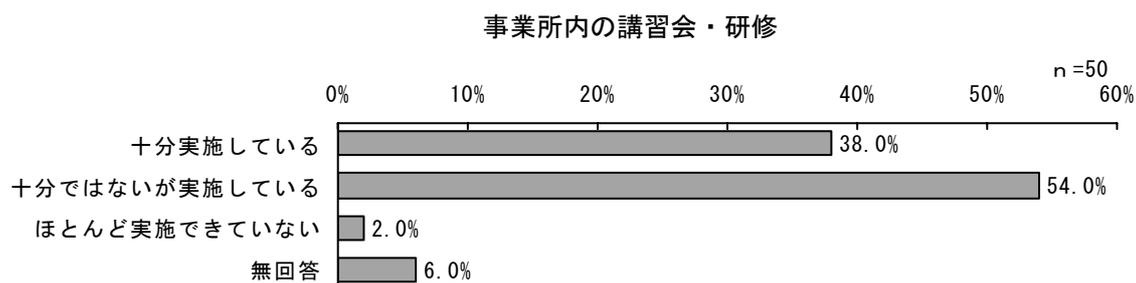
⑩サービス担当者会議について、十分実施できていますか。

「実施している」が46.0%、「十分ではないが実施している」が44.0%となっており、大多数の事業所で実施されています。「文書での実施が多い」は2.0%です。



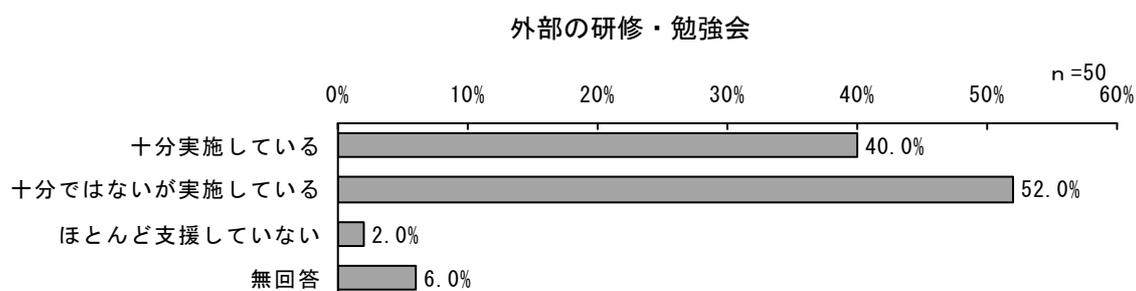
⑪事業者内での講習会・研修について、十分実施できていますか。

「実施している」が38.0%、「十分ではないが実施している」が54.0%となっており、大多数の事業所で実施されています。「ほとんど実施できていない」は2.0%です。



⑫外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるように支援していますか。

「十分支援している」が40.0%、「十分ではないが支援している」が52.0%となっており、大多数の事業所で支援を行っています。「ほとんど支援していない」は2.0%です。



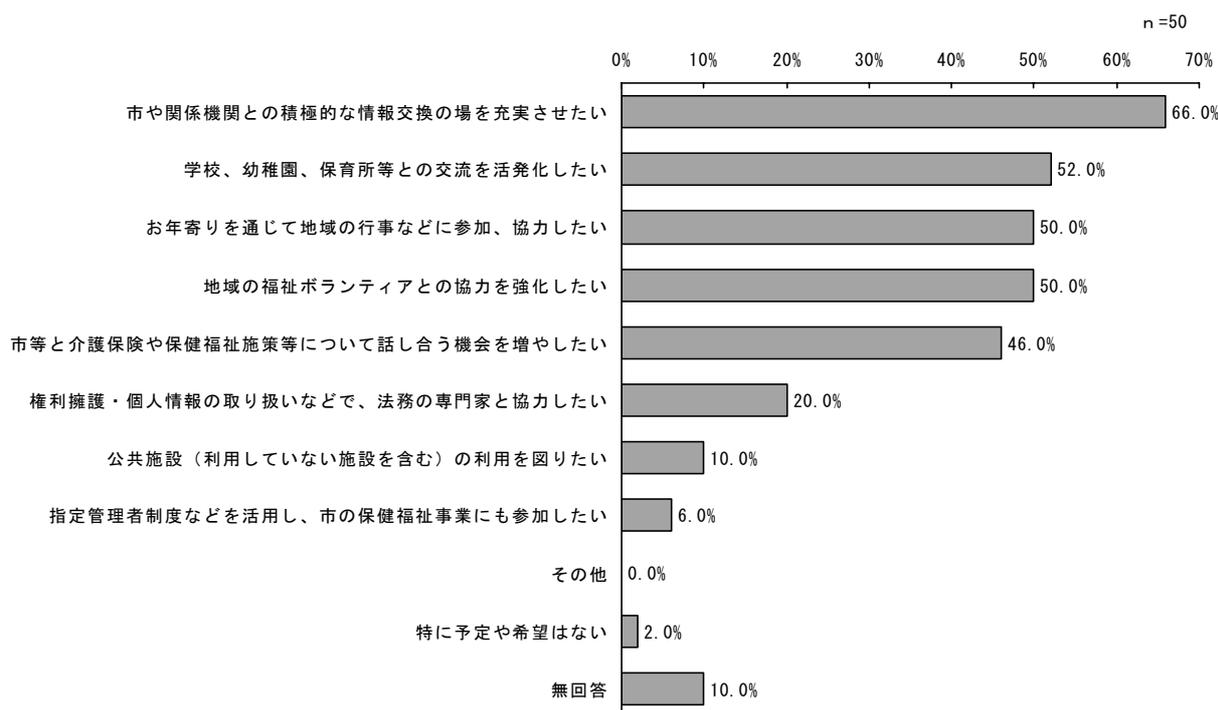
問9 貴事業所において、今後、市や住民等とどのような関係を持っていきたいと  
 思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい」が66.0%と高い回答がみられます。また、「学校、幼稚園、保育所等との交流を活発化したい」が52.0%、「お年寄りを通じて地域の行事などに参加、協力したい」と「地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい」がともに50.0%と50%台を占めています。

「市等と介護保険や保健福祉施策等について話し合う機会を増やしたい」が46.0%、「権利擁護・個人情報の取り扱いなどで、法務の専門家と協力したい」は20.0%、「公共施設（利用していない施設を含む）の利用を図りたい」は10.0%、「指定管理者制度などを活用し、市の保健福祉事業にも参加したい」は6.0%です。

「特に予定や希望はない」は2.0%と少数です。

市や住民との関わり



## 第7章

### 前回調査との比較



## 1 一般高齢者調査

### (1) 生活習慣

前回、第5期介護保険事業計画策定時の調査（平成23年3月）と比較すると、この3年間で、「定期的な運動 週3日以上している」が微増した以外は、すべての項目で低下しており、特に「お酒アルコール 飲まない」の割合は5.7ポイント減となっています。

一般高齢者の生活習慣の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
たばこ 吸わない	69.4%	73.1%	69.9%	-3.2%
お酒アルコール 飲まない	60.0%	59.7%	54.0%	-5.7%
規則的な食事 している	60.0%	64.6%	60.0%	-4.6%
1日の味噌汁 3杯以上	4.7%	3.7%	2.6%	-1.1%
定期的な運動 週3日以上している	28.7%	30.7%	31.3%	0.6%
睡眠 よく眠れている	43.7%	44.4%	44.3%	-0.1%

### (2) 健康について知りたいこと

前回調査と比べると、健康についての関心が全般的に低下しています。特に「望ましい食生活について」が3.4ポイント、「健康診断の内容や受け方について」が2.5ポイント低下しています。一方で、「認知症（痴呆）の予防について」の割合は若干上がり、前回と引き続き、関心の高さを窺えます。

一般高齢者の健康について知りたいことの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
がんや高血圧にならないための工夫	42.2%	39.6%	38.5%	-1.1%
望ましい食生活について	28.1%	27.9%	24.5%	-3.4%
運動の方法について	16.1%	15.9%	14.9%	-1.0%
健康診断の内容や受け方について	12.2%	11.7%	9.2%	-2.5%
ねたきりの予防について	25.4%	22.1%	21.6%	-0.5%
歯の健康について	6.1%	9.1%	8.2%	-0.9%
認知症（痴呆）の予防について	33.4%	44.3%	45.0%	0.7%

### (3) 近隣の医療機関について感じていること

前回調査に比べて、全般的にあまり変化は見られません。「待ち時間が長い」が1.4ポイント上がっていますが、「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が1.9ポイント、「通うのが不便である」が-1.5ポイント低下しやや改善しています。

一般高齢者の近隣の医療機関について感じていることの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	65.8%	69.0%	67.1%	-1.9%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	45.8%	50.2%	51.2%	1.0%
自分にあう医療機関がない	2.3%	1.3%	2.0%	0.7%
医療機関に関する情報が少なく困る	3.0%	1.3%	1.6%	0.3%
待ち時間が長い	24.2%	27.1%	28.5%	1.4%
通うのが不便である	10.1%	8.2%	6.7%	-1.5%
医療機関内での移動に困っている	1.6%	1.9%	1.0%	-0.9%

### (4) 老後の生活で心配なこと

前回調査と比べて、ほとんどの項目で割合が低下しています。特に「家計に関すること」が3.1ポイント低下している一方、「特に悩みはない」の割合も3.0ポイント低下しています。

一般高齢者の老後の生活で心配なことの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
自分や家族の健康に関すること	58.2%	61.3%	60.2%	-1.1%
人付き合いに関すること	8.0%	7.4%	7.3%	-0.1%
家計に関すること	20.7%	24.0%	20.9%	-3.1%
家族のこと	22.7%	26.2%	24.7%	-1.5%
家や財産のこと	6.3%	7.9%	8.0%	0.1%
仕事のこと	5.3%	6.5%	5.4%	-1.1%
特に悩みはない	20.9%	18.3%	15.3%	-3.0%

## (5) 地域活動への参加

「参加している」人についてみると、前回調査に比べ、すべての項目で上昇しており、全体として参加が進んでいます。特に「ボランティア活動」が2.7ポイント増となっています。

一般高齢者の地域活動への参加の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
集会所での交流	27.8%	30.3%	32.5%	2.2%
軽スポーツ	6.3%	9.8%	11.6%	1.8%
ものづくりの場	3.3%	5.2%	6.2%	1.0%
ボランティア活動	7.3%	10.7%	13.4%	2.7%
公民館活動	12.5%	12.9%	13.6%	0.7%

## (6) 利用したい介護予防対策

前回調査に比べ、「口腔ケア」が4.7ポイント、「筋力向上トレーニング」が4.0ポイント上がっており、1次予防の意識が高まっていることを窺わせます。

一般高齢者の利用したい介護予防対策の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
筋力向上トレーニング	31.2%	33.1%	37.1%	4.0%
認知症・痴呆予防教室	29.4%	34.4%	35.6%	1.2%
低栄養予防教室	24.1%	24.7%	25.5%	0.8%
口腔ケア	19.5%	18.0%	22.7%	4.7%
転倒予防教室	33.1%	38.5%	38.1%	-0.4%

## (7) 重要だと思う高齢者施策

「とても重要」と「ある程度重要」の合計で重要と考える人の変化をみると、前回調査に比べて、全体的に上昇しており、高齢者施策に対する関心が高まっています。「成年後見制度の利用促進」が8.2ポイント増加しており、「経験を生かして就労やボランティアができるしくみ」「健康維持のための教室」「通院や買い物等の移送サービス」「気軽に受けられる日常生活の援助」がそれぞれ約7.0ポイント上がっています。特に健康維持やボランティア活動など、自助・共助の意識が高いことがわかります。

一般高齢者の利用したい介護予防対策の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
安心して受けられる介護サービス	74.9%	79.5%	83.1%	3.6%
気軽に受けられる日常生活の援助	63.0%	63.1%	70.0%	6.9%
健康維持のための教室	50.2%	52.2%	59.3%	7.1%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	69.5%	73.9%	77.6%	3.7%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	43.8%	43.2%	48.5%	5.3%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	46.3%	42.2%	49.5%	7.3%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	61.0%	65.4%	68.3%	2.9%
通院や買い物等の移送サービス	58.9%	68.4%	75.5%	7.1%
住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	49.9%	51.3%	57.0%	5.7%
成年後見制度の利用促進	48.3%	47.3%	55.5%	8.2%

## 2 若年層

### (1) 生活習慣

若年層では、前回調査に比べて、「定期的な運動 週3日以上している」が2.6ポイント上昇しています。また、「たばこ 吸わない」割合が1.6ポイント上昇する一方で、「お酒アルコール 飲まない」が3.0ポイント低下しています。

若年層の生活習慣の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
たばこ 吸わない	65.1%	61.7%	63.3%	1.6%
お酒アルコール 飲まない	45.6%	42.4%	39.4%	-3.0%
規則的な食事 している	53.7%	50.6%	49.2%	-1.4%
1日の味噌汁 3杯以上	3.4%	2.0%	1.4%	-0.6%
定期的な運動 週3日以上している	17.4%	18.5%	21.1%	2.6%
睡眠 よく眠れている	41.5%	33.0%	33.9%	0.9%

### (2) 健康について知りたいこと

前回調査と比べて、「歯の健康について」が4.3ポイント、「運動の方法について」が4.2ポイント上昇し、予防に対する意識が高まっています。一方で「健康診断の内容や受け方について」が2.5ポイント、「がんや高血圧にならないための工夫」が2.0%低下しています。

若年層の健康について知りたいことの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
がんや高血圧にならないための工夫	44.9%	44.0%	42.0%	-2.0%
望ましい食生活について	28.5%	33.8%	32.1%	-1.7%
運動の方法について	18.4%	20.7%	24.9%	4.2%
健康診断の内容や受け方について	10.9%	12.7%	10.2%	-2.5%
ねたきりの予防について	14.5%	14.5%	15.9%	1.4%
歯の健康について	11.7%	11.6%	15.9%	4.3%
認知症（痴呆）の予防について	27.5%	36.9%	35.5%	-1.4%

### (3) 近隣の医療機関について感じていること

「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」の意識が3.1ポイント低下し、「自分にあう医療機関がない」が2.4%上昇しています。一方で、「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が1.4ポイント上昇と、いざという時の信頼の高さは変わっていません。

若年層の近隣の医療機関について感じることの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	44.0%	54.3%	51.2%	-3.1%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	57.2%	62.9%	64.3%	1.4%
自分にあう医療機関がない	5.3%	4.4%	6.8%	2.4%
医療機関に関する情報が少なく困る	6.3%	4.2%	3.0%	-1.2%
待ち時間が長い	38.3%	39.6%	40.2%	0.6%
通うのが不便である	6.0%	6.6%	5.0%	-1.6%
医療機関内での移動に困っている	2.1%	1.5%	1.2%	-0.3%

### (4) 老後の生活で心配なこと

前回調査と比べると、「家や財産のこと」が4.7ポイント、「家族のこと」が3.0ポイント上昇しています。また他の項目も微増している一方、「特に悩みはない」が5.9ポイントと大幅に低下しています。

若年層の老後の生活で心配なことの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
自分や家族の健康に関すること	66.1%	67.3%	69.1%	1.8%
人付き合いに関すること	10.8%	12.5%	13.3%	0.8%
家計に関すること	46.2%	45.0%	46.0%	1.0%
家族のこと	26.8%	31.9%	34.9%	3.0%
家や財産のこと	11.6%	16.0%	20.7%	4.7%
仕事のこと	19.1%	16.7%	18.5%	1.8%
特に悩みはない	8.6%	7.7%	1.8%	-5.9%

## (5) 地域活動への参加

前回調査と比べると、「ボランティア活動」の割合が3.9ポイント低下しており、「集会所での交流」が3.3ポイント、「軽スポーツ」が2.2ポイント上昇しています。

若年層の地域活動への参加の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
集会所での交流	21.1%	20.0%	23.3%	3.3%
軽スポーツ	8.7%	10.5%	12.7%	2.2%
ものづくりの場	2.6%	3.1%	3.2%	0.1%
ボランティア活動	7.4%	14.9%	11.0%	-3.9%
公民館活動	5.6%	6.8%	5.2%	-1.6%

## (6) 利用したい介護予防対策

前回調査と比べ、「認知症・痴呆予防教室」「低栄養予防教室」が微減した以外は大幅に上昇しており、特に「筋力向上トレーニング」が7.0ポイント、「口腔ケア」が5.5ポイント上昇と、高齢者一般と同じく高い関心が見られます。

若年層の利用したい介護予防対策の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
筋力向上トレーニング	48.8%	49.4%	56.4%	7.0%
認知症・痴呆予防教室	47.9%	51.9%	51.0%	-0.9%
低栄養予防教室	37.9%	36.3%	35.5%	-0.8%
口腔ケア	30.5%	30.6%	36.1%	5.5%
転倒予防教室	42.0%	46.2%	49.2%	3.0%

## (7) 重要だと思う高齢者施策

「とても重要」と「ある程度重要」の合計で重要と考える人の変化をみると、前回調査に比べて、全体的に低下しており、高齢者施策の若年層への周知が望まれます。特に「健康維持のための教室」が3.6ポイント、「気軽に受けられる日常生活の援助」が2.7ポイント、「通院や買い物等の移送サービス」が2.1ポイント低下しています。

若年層の今後の高齢者施策の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
安心して受けられる介護サービス	90.9%	94.5%	94.0%	-0.5%
気軽に受けられる日常生活の援助	75.1%	89.4%	86.7%	-2.7%
健康維持のための教室	69.6%	74.9%	71.3%	-3.6%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	90.2%	92.5%	90.8%	-1.7%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	63.5%	66.2%	65.1%	-1.1%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	75.8%	73.6%	73.7%	0.1%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	84.0%	85.0%	83.3%	-1.7%
通院や買い物等の移送サービス	81.6%	91.9%	89.8%	-2.1%
住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	75.6%	78.9%	78.7%	-0.2%
成年後見制度の利用促進	79.0%	77.8%	78.3%	0.5%

### 3 要支援・要介護認定者

#### (1) 近隣の医療機関について感じていること

前回と比べて、「健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心」が9.2ポイント、「緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心」が6.8ポイントと大幅に低下し、医療機関に対する信頼が弱まっています。一方、「通うのが不便である」が7.0ポイント、「待ち時間が長い」が4.8ポイント、「医療機関内での移動に困っている」が2.0ポイントと低下しており、医療機関の使用しやすさは向上しています。

認定者の近隣の医療機関について感じることの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心	72.6%	71.2%	62.0%	-9.2%
緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心	57.5%	49.2%	42.4%	-6.8%
自分にあう医療機関がない	2.8%	1.0%	0.9%	-0.1%
医療機関に関する情報が少なく困る	2.8%	1.4%	1.2%	-0.2%
待ち時間が長い	27.2%	25.7%	20.9%	-4.8%
通うのが不便である	16.2%	15.4%	8.4%	-7.0%
医療機関内での移動に困っている	6.0%	5.0%	3.0%	-2.0%

#### (2) 医療機関への移動方法

医療機関への移動方法は、傾向としては前回調査とほぼ変わりませんが、「家族に送ってもらう」が2.8ポイント低下しています。

認定者の老後の生活で心配なことの変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
バス・電車で行く	5.0%	5.8%	5.5%	-0.3%
タクシーで行く（介護タクシーを含む）	22.7%	25.2%	24.8%	-0.4%
家族に送ってもらう	54.9%	54.0%	51.2%	-2.8%
自分で車を運転して行く	2.2%	2.6%	3.4%	0.8%
自転車で行く	0.4%	1.5%	0.9%	-0.6%
歩いて行く	4.1%	5.1%	5.6%	0.5%

### (3) 利用したい介護予防対策

前回調査と比べると、「転倒予防教室」が2.0ポイント、「認知症・痴呆予防教室」が1.8ポイント上昇しています。一般高齢者とは異なり、認定者の現在の状況に即した実践的な予防を求めていることが窺えます。

認定者の利用したい介護予防対策の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
筋力向上トレーニング	22.0%	26.6%	26.9%	0.3%
認知症・痴呆予防教室	15.7%	14.9%	16.7%	1.8%
低栄養予防教室	11.3%	9.9%	10.4%	0.5%
口腔ケア	18.5%	17.9%	18.5%	0.6%
転倒予防教室	28.6%	28.4%	30.4%	2.0%

### (4) 重要だと思う高齢者施策

「とても重要」と「ある程度重要」の合計で重要と考える人の変化をみると、高齢者一般と同じく全体的に上昇しています。特に「住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援」が12.8ポイントと大幅に上昇しており、「通院や買い物等の移送サービス」が8.2ポイント、「気軽に受けられる日常生活の援助」が8.0ポイント上昇と、快適な日常生活を送る上での支援が求められています。

認定者の利用したい介護予防対策の変化

	前々回調査	前回調査	今回調査	前回との差
安心して受けられる介護サービス	69.2%	71.9%	75.4%	3.5%
気軽に受けられる日常生活の援助	55.2%	53.1%	61.1%	8.0%
健康維持のための教室	40.7%	39.4%	45.6%	6.2%
緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	60.0%	61.8%	66.5%	4.7%
身近な地域で趣味活動に参加できるしくみ	33.0%	31.6%	36.6%	5.0%
経験を生かして就労やボランティアができるしくみ	32.3%	28.5%	38.0%	9.5%
高齢者を地域で支える住民の助け合い活動	48.6%	49.3%	54.8%	5.5%
通院や買い物等の移送サービス	51.7%	57.8%	66.0%	8.2%
住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	44.0%	46.3%	59.1%	12.8%
成年後見制度の利用促進	42.8%	43.1%	46.6%	3.5%

## 第 8 章

### 自由意見



各調査における自由回答の件数は以下のとおりです。回答は、明らかな間違いや個人情報については修正していますが、ほぼ原文で記載しています。

#### 自由回答件数

一般高齢者調査	171件
若年層調査	57件
要支援・要介護認定者調査	91件
ケアマネジャー調査	22件
介護保険事業所調査	5件

## 1 一般高齢者調査

- 有料でもいいので本人が希望した場合、緊急通報システムを設置してもらいたい。1人で生活していると普段健康でも昼は自分で何とかできて夜中などは人に迷惑をかけるわけにもいれないので、そういうシステムがあるのであればつけたいと思います。(男 65～69歳)
- 毎日お寒い中、ありがとうございます。うまく書けませんが一生懸命書きました。これから何かとお世話になると思っています。(男 65～69歳)
- 私はちょっと立ち寄った所で(パーマ屋さん等)話をするとこんなに笑ったのは久しぶりとかこんなに色々な話をしたのも久しぶりとかよく言われます。私のほうがこんな年でと驚きます。仕事等を離れて家にいる人達には自由気ままに集まれる、その中で地元のニュースや色々な情報も伝えられるシステム又、元気な方の知恵や体も借りられる…多くの人が利用できるそんな所が必要といつも思っています。(男 65～69歳)
- 字が小さくて読みにくい。内容が多すぎてわかりにくい。(男 65～69歳)
- 高齢者の1人として、貯金や年金は少なくなり老後として不安が。さらに病気を持っている。消費税は上がりこの先は？助けて。(男 65～69歳)
- できるだけお世話にならないように頑張りたいです。利用させていただく時が来た時にはお願い致します。(男 65～69歳)
- 高齢の為、介護保険の支援を受けることに致しました。家族と話し合った結果一番いい方法だと思ひ、今お世話になっております。ありがとうございます。(男 65～69歳)
- まだ健康で先のことがわからないのでそんな答えになりました。実感がないので。希望としては健康でも長生きはしたくない。人に迷惑かけず(なるべく)に終わりたい。(男 65～69歳)
- 移動手段としてバスも重要ですが、バス停まで1時間以上歩かないといけない方々も多くいます。その人達の面倒をみてやってほしい。(男 65～69歳)
- 総合病院の予約制度は大事ですが、予約料を取るのはおかしい。患者と医療機関がスムーズにやるのはいいのですが、どこの病院でも取りません。千葉県内で予約料を取ってる医療機関があったら教えてほしいです。(男 65～69歳)
- 私はある時「？支援？」という方を見かけました。大勢の中でとんでもない考えをとくとくと大きな声で話してました(皆集まって嬉しかったのかも)。素晴らしい方がおられる中、残念に思いました。机上の仕事ではありません。人選をしっかりと指導にあたって下さい。(男 65～69歳)
- 鴨川市はとにかく介護保険料が高すぎると思う。年金の手取りが少なくなる。(男 65～69歳)
- この調査には年齢から言えばこのような質問になろうかと思いますが、私は今元気で毎日バイクや車に乗っては仕事をしています。いざれお世話になるかと思いますが、そうならないように努めたいと思います。(男 65～69歳)
- 鴨川市が超高齢化社会になることは以前からわかっていた事。地域ごとのニーズや実態に適した介護システムや福祉人材の確保に取り組んでいただきたい。高齢者が安心して暮らせる町作りをしていただきたい。(男 65～69歳)
- 仕事を趣味のような気持ちでしています。体はいたって健康です。病院には10年以上かかったことはありません。(男 65～69歳)

- 問21、21-1、22、22-1の設問がおかしいと思う。(女65~69歳)
- 介護産業となっている今、ヘルパーさんが仕事後ありがとうございますと言って帰るのが不思議！日本人の心のピンポン、甘えがあるのでは？税金（どんどんつり上げて）いくらあってもこの先足りないでしょう。もし私が公に頼る時は最悪の時と決めています。(女65~69歳)
- とってもこまかな調査ごろうさまです。80才近くになるのであれもこれもと考えていますが、不安が増してきます。なるべく自分でやるよう努力しますが、物忘れは進みます。人に迷惑をかける前にどこかに入所したら…と考えています。近所の老夫婦が亡くなり家がそのままです。鍵は借りてあるので月に数回開けますが、先のことを思うと…。子供はいますがそれぞれ家庭を持っています。難しい問題です。住民みんなが助け合って楽しく1日1日を過ごしたいと思います。(女65~69歳)
- 7年前、心臓手術を行い5年前大動脈乖離発生、人工血管を挿入(移植)されているが、今のところ通常の農作業や日常の健康に支障がないが、数年後は生体弁の再移植や健康に重大な不安が予想される。70代後半の自分に介護が必要になった時、健康相談を是非利用したい。(女65~69歳)
- 介護保険を安くしてほしい。(女65~69歳)
- 先日、一人暮らしの方が動けなくなり何もしないで2、3日いたと聞きびっくりしました。そんな時、誰か声かけに行っていたらと思うと…。電話をする事も食事をする事もできなかったそうです。(女65~69歳)
- 各種施設に入らなければならない状況になった時、その費用が高額で家族全体の困窮を招く。(女65~69歳)
- 勉強不足で回答できませんで申し訳ありません。(女65~69歳)
- 高齢者と若い人が住みやすい場所にしてほしいと思います。(女65~69歳)
- 現在健康に関して心配な事はありませんが、今後どのような状態(10年後位)になってしまうのか…という心配はあります。(女65~69歳)
- 老人が安心していられるよう色々な費用をもっと安くしてほしい。(女65~69歳)
- 市民の体力向上と健康管理を含め、温泉やトレーニングマシン他健康と筋力向上を目的とした施設の建設を望む。(女65~69歳)
- 自分自身に当てはめて考えてみた場合、まだ数年先の事と思いますが確実に老いは近づいてくる訳で他人事とは考えられず、何かこの年でこのような内容のアンケートが送られてくるには実感がない。又、この時代はこのようなサービスが受けられるとは支払っている介護保険料のおかげである訳で、昔の高齢の方々を思うとなぜもっと早くバブルの時期に考えてストックするなど出来なかったのか…などさみしく思った。(女65~69歳)
- 介護等の問題は多岐に渡るので、手を広げすぎても大変となります。(女65~69歳)
- 高齢者が多くなる今後、誰もが安心して暮らせる地域になるようにしていけたらいいかなと思います。(女65~69歳)
- ちょっと見当違いかもしれませんが…。高齢者の知的好奇心、趣味などを支援する意味でもっと図書館を使いやすくしてほしい。例えば貸し出し(予約して)、返却など公的機関や郵便局などに返却ポストを設置しておく。週1回ぐらい電話やネットで予約していた本を配送(高くなければ手数料をお支払いしてもいい)して下さるなど、どうでしょうか。図書館が遠いと気になる本があっても「ま、いいか」となってしまうので。ご参考まで。(女65~69歳)
- アンケートの質問が多すぎて、途中でいやになりました。どの年代に重きをおいてアンケートを作成しているのか不明ですが、65才~85才に同じアンケートを出すのではなく、5才ごととか質問を変えていったらどうなのでしょう。高齢者といっても65才と85才又は70才では体力的な中が相当あると思います。(女65~69歳)
- わからないことが多かったので、記入していないところがあります。すみませんがご理解下さい。(女65~69歳)
- 後期高齢者医療制度の保険料が高くなってきて、生活に困っている。介護保険の利用者は、個人の介護料をもっと負担すべきだ。(女65~69歳)
- 今は元気ですが先のことはわかりませんので、その時はお世話になるでしょうね。(女65~69歳)
- それぞれの人が安心して一生を終えるように、その都度希望を聞いてピンコロリンと逝きたい。(女65~69歳)
- 70才以下に聞く事は高齢者扱いしすぎではないでしょうか。70才以下であれば仕事現役

- (農業等)で、このアンケートはまだ必要を感じない。(女 65～69 歳)
- 年配者が住みやすい市にしてほしい。若い人が結婚しやすくできるようにお願いします。(女 65～69 歳)
  - 年金を高くして下さい。(女 65～69 歳)
  - 高齢少子化の鴨川市は色々大変だと思いますが、今後とも住みよい暮らしやすい市となり、年を重ねても元気な人が多い市となりますよう、よろしくお願い致します。(女 65～69 歳)
  - 一人暮らしです(子供いない)。身体の具合が悪くなったらすぐに入居できるホームがあるのかしら、今から申し込んだほうがいいのかしら…などいつも考えています。(女 65～69 歳)
  - 老後を安心して暮らせる市であるよう期待しています。経済的不安が大きいです。(男 70～74 歳)
  - 介護や重症化しないように予防のための取り組みが不足している。予防第一。これを一番に活動する(市も個人も)。食材やカロリー、運動、ぼけないための指針や実例集等が必要。(男 70～74 歳)
  - わずかな年金と多額の保険料を取られ、真綿で首をしめられるようです。(男 70～74 歳)
  - 介護する又は必要とする状況にならないと実感できない。(男 70～74 歳)
  - アンケート結果の公表(男 70～74 歳)
  - 特別養護老人ホームの新設及び増設。▼市民税の軽減(年金受給者)(男 70～74 歳)
  - 今は健康なので利用することはないが、介護はいずれお世話になると思います。安心できる対応が望ましいと思います。(男 70～74 歳)
  - 現在の世の中は秘密主義が横行してしまっていて、孫の小学校でさえも名簿に住所が記載してないような状態です。そういう風潮のせいか行政も「困ったら相談に来て下さい」というやり方ですが、もう少し一人暮らしの方とか高齢者の家庭とかをできれば2～3ヵ月に1回でもいいので訪問し相談にのってくださるような福祉行政のありかたを望みます。(男 70～74 歳)
  - 調査だけにとどまらないで、できることから実現してほしい(アンケートで多かったものについて)(男 70～74 歳)
  - こんなアンケート、老人にはわかりません。(男 70～74 歳)
  - この調査は私達にとってどの位の効果があるのでしょうか？(男 70～74 歳)
  - 皆様のお世話にならないように気をつけたいと思います。これから先もよろしくお願いします。(男 70～74 歳)
  - 母宛に届きましたが、記入するのは困難なので私(72才)が代わりに記入しましたが、記入する項目が多い気がします。(男 70～74 歳)
  - 正直現実には自分の働きに生活がかかっているんで、健康には一番気をつけていることと美しい花作りが生きがいのすべてです。いつかはくる時のことは今は考えたくないです。(男 70～74 歳)
  - 誰でも通る道なので、日常生活の中で色々と考え、自ら有効的に人生を生きていきたいと思えます。(男 70～74 歳)
  - 今、地域で空き家が増えてきています。雑草等が目につくようになりました。まだ高齢化社会が続くと思われます。一人暮らしになった時、生活が難しくなった時、地域でどう支え合うのか考えてみたいと思います。(男 70～74 歳)
  - 1人暮らしの父の介護をしていた時、仕事(母子家庭の為)と家事と介護、とても辛く苦しかった時がありました。その時、介護者の介護をしてくれる場所があったら良いなあと思いました。(男 70～74 歳)
  - 路線バス(長狭線)の本数を増やし料金に高齢者割引制度等を行えば、利用者も増え高齢者が自動車を運転することも少なくなると思う。少なくとも私は自分で運転することはやめたいと思っています。終末期を含めて生活ができなくなった時に、年金で入所できる施設(日用品代も含め、誰もが利用でき清潔で親切な介護をしてくれる)が利用できると嬉しい。(男 70～74 歳)
  - 私の場合、家族が三世代で生活していますので安心していられます。(男 70～74 歳)
  - 急にここにきて、ぼけたような気がします。(男 70～74 歳)
  - 介護はまだ受けてないのでよくわかりませんが、低所得者用の施設が多くあると良いと思います。(女 70～74 歳)
  - 健康で毎日過ごせたらと思っています。(女 70～74 歳)
  - 内容はわからない点が多いと思います。(女 70～74 歳)
  - 私は江見地区の住人ですが、公の役についている方が長きに渡って新旧の交代がありません。

任期を設けて70才を過ぎた方は退職してもらう方法を市のほうで作ったらどうですか？本人からの辞職を待っているのは次に出来る人の任期を失う事になります。又、長の固定の考えで見過ごされる方が出ていると思います。(女70~74歳)

- 介護を利用しなかった場合に、わずかでも還付があれば嬉しいと思う。(女70~74歳)
- 在宅医療、介護制度の強化。支援を税の面や手当を増やし、障害者や生活保護制度を減らしその分を介護の重要性を認知すべきである。例えば、在宅介護、医療手当制度を生活保護並にすべきだ。1級は10万~3万(5級)にする。生活保護制度は減らすべき。施設に入れる人は一部の人のみなので。(女70~74歳)
- 市民の中にはなるべく他人の世話にならないようにと頑張っている人がいます。反面、些細な事でも福祉に頼る人もいます。福祉の充実も結構ですが、依存度の強い人のみの福祉にならないようお願いします。(女70~74歳)
- 今現在、息子夫婦は元気に老人を見てくれています。だけど息子達もだんだんと年を重ねていく先は今の幸せが不安です。年金は毎年減らされ介護費は少しずつでも多く取られてる。この先介護サービス施設を望んで入れるのか心配です。(女70~74歳)
- 奥側の舗装をしてほしい。現在はだいぶ傷んできていてつまづく危険性がある。(女70~74歳)
- 高齢者福祉サービスを充実させてほしい。その為の人材確保、利用施設の整備、拡充、住民全員が安心して生活できる健康な街づくりをお願いしたい。(女70~74歳)
- サービスも重要なのですが、このまま介護保険料が上がり続けるのは考えさせられます。介護を受けなくてすむように頑張ります。(女70~74歳)
- いつもお世話になっております。どうぞよろしくお願い致します。(女70~74歳)
- いつも高齢者に対し温かいご支援、ありがとうございます。(女70~74歳)
- 高齢者福祉、介護保険制度などは今まで全く関心がなく過ぎて参りましたが、自分がその年になり無関心ではいられなくなりました。高齢化対策は自分のことまた妻のこと。先行きの子供のことを考えると行政の担当者に任せておくという今までの考えを改め、一人一人が責任ある行動をとることだと今、気がつきました。(女70~74歳)
- 交通の便がありませんので、駅まで25分位かかります。なので、急の時には近所の方もタクシーを使わなくてはなりませんのでとても不便です。コミュニティバスも通っていません。陸の孤島のような感じです。外出もあまりできません。(女70~74歳)
- 太海行きのバスがないのが困ります。(女70~74歳)
- いつまで生きるのかわからないので、お金が心配です。(女70~74歳)
- 今は自分で何でもできますので、このまま介護を受けなくても一生自分で何でもできるよう、頑張ります。(女70~74歳)
- カタカナ語や専門用語が多く、理解するのに若者に聞くのが心苦しい。例：ホームヘルプ、ショートステイなど。(女70~74歳)
- これから介護が必要になった時に、希望する老人ホーム施設等に入所できるようになると良いです。(女70~74歳)
- 自分が自分で自分の事ができなくなった時、家族にあまり迷惑をかけたくないので希望の施設に入れるようにしたい。(女70~74歳)
- 色々なサービスがあるのに知らない人はいっぱいいる。いかに認知してもらうかがこれからの市の課題だ。年寄りはその制度を理解するのもむずかしい。その人に合った制度をすすめて頂けるように、介護する人の知識の向上にも力を入れてほしい。宝の持ちぐされにならないように。(女70~74歳)
- 今まで一度も訪問に来たことがありません。(女70~74歳)
- なにはともあれ認知症にならない工夫、努力をすることにオランダでは若い人にも指導をしていたり学習する機会があることを先にテレビで見ました。認知症、介護についてはオランダが発祥とか。先進地の良い所を導入して、今のシステムではどうも納得がいきません。どうしたら良いか…みんなで考える必要があると思います。アンケートをすらすらと処理できる時はいいけど、その先が心配になります。よいアンケートだったと思います。担当者に感謝致します。ご苦労様です。(女70~74歳)
- 問36⑤にも書きましたが、無年金者・無収入者や低所得者への負担の軽減を行うことを強く希望します。(女70~74歳)
- 現在は特に困ったこともないので、高齢者施策について考えもなく身体が不自由になってみたいとわからない。(女70~74歳)

- 高齢者がこれからどう生きるかの相談と聞く人それぞれの高齢者の相談、難しい。(男 75～79 歳)
- 私は高齢者で一人暮らしです。将来の事を考えると心配です。特に孤独死です。そこでもうお願いですが、一人暮らしを掌握し孤独死等を防止する対策を考えてもらいたい。東京のある区ではトイレにセンサーを取り付け2日以上センサーが作動しない時は状況を調べるようになっていいる。鴨川でもぜひそのような良い対策を考えてもらいたい。(男 75～79 歳)
- 通院に必要な足の確保。(男 75～79 歳)
- 国民年金で入所できる介護施設があるのでしょうか。▼月に一度利用できるホテルの風呂を利用したい。(無料券) (男 75～79 歳)
- 鴨川市は他県に比べ税金が高い。多少はやむを得ないが有効利用を考え、公平に無償貸与の必要性の有無について方策を考えて下さい。公報のアナウンスの電波が届かない所がある。現在住んでいる所は全く届かず困るので、全域に届くように。緊急時は困ると思う。(男 75～79 歳)
- すべてにおいてやって頂くので、自分では散歩に行ったりテレビを見たり楽しく過ごしております。(男 75～79 歳)
- 民生委員の積極的な活動が地域的にみられないのが残念である。名誉職的な考えをもっているのか、自分の担当地域の実態の把握にも努めず、家庭訪問等は皆無である。何よりも率先して活動してもらい、福祉や介護の基本的な地域資料の収集に努めると共に実践的な行動を促したい。(男 75～79 歳)
- 健康維持のための教室(公民館活動)を増やしてほしい。定員数が少ないため、参加できない事が多いのが残念。(男 75～79 歳)
- 独居老人を経験した折、体調不良で常に不安を抱えていましたがご近所や友人に助けられ無事に乗り切りました。家族が家から通勤するようになり、体調もほぼ良好となった今思うことは家族が単身赴任しなくとも通勤できる場所に働く場所があることが、高齢者にとって最も重要であると思う昨今です。高齢者の福祉政策充実と共に若者の働く場所の多様化を望みます。(男 75～79 歳)
- 自分も高齢者です。聞かれていることが自分に重なってどっちの立場になるか悩みました。なるべく自立で生活し、人の世話にならないよう努めたいと思います。(男 75～79 歳)
- 年金問題に関してこれ以上少なくなることになるとう生活が苦しくなるので、なんとか解決してほしい。(女 75～79 歳)
- 国民年金は交際費、食事代までは足りません。もっと増額してもらいたい。(女 75～79 歳)
- 設問が多くて、考えの統一がよくできなかった。(女 75～79 歳)
- 今現在は一人で動いているのでピンとこない事がございます。これくらいしか答えできません。(女 75～79 歳)
- 痴呆症対策としてテレビなどを見ていると、脳を活性化するために趣味(手芸など)や皆で歌を歌うとか楽しいことをやるとよいと思います(すでに実施していると思いますが)。体力の低下防止「継続は力なり」というように毎日(?)目標を決めてウォーキングがよいと思います。ベッド生活の人でも室内で歩く等の努力が必要だと思います。(女 75～79 歳)
- 市のバスを利用して旅行など度々行ったほうがよいと思います。無料でなくてもいいです。ボケ防止はこれが1番だと思います。外の町を見学すると言う事など頭も使いますので、興味を持つということが大事。(女 75～79 歳)
- 組、組織のない地域に住んでいる為か行政サービスや高齢者を対象とした内容が伝わってこない。民生委員も誰だか不明。情報の共有化が一番大事なのは。介護経験のある方を福祉・介護計画の策定委員の中に入れ参考にしてほしい。介護している方に介護経験者の話を聞ける機会を設けては。医療費削減の意味からも予防に力を入れるべき。(女 75～79 歳)
- 民生委員の協力も得て、介護支援等は本当に必要な人に手が届くように無駄な支出がないようにしましょう。(女 75～79 歳)
- 安易に意見は書けない。世の中、人の為にならない高齢者には手当は必要なし。延命作戦も考えもの…自身は高額な医療費は使用しません。(女 75～79 歳)
- 筋力向上トレーニング教室を市で大至急開いてもらいたいと思います。(マシン付き) 病院にかかる人が少なければ、保険料も安くなります。(女 75～79 歳)
- 鴨川市の病院は他県に比べ充実しているのととても安心です。自分で身の回りの事ができる年齢の時はいいのですが、年齢を重ねてくると人のお世話にならなければいけないのととても今回のアンケートは身近に感じました。高齢化社会を迎え、限らず自分の事として考えなくては

いけない事だという事を実感しました。財政が厳しい中で充実させる事は困難を極めることだと思いますが、今回のアンケートを実践して住みよい鴨川市にしてほしいと思います。(女 75～79 歳)

- 今のところ健康で介護保険を利用したことがないのでいろんなことがわからない。ヘルパーの資格を持ってるので多少の知識はあります。(女 75～79 歳)
- 健康推進課の仕事ではないが、市の公民館活動について〇〇教室などがありますが毎年同じメンバーで続けているというのは公平ではないと思う。クラブとしてはいいと思いますが…。色々な高齢者施設がこんなにあるとは思いませんでした。頑張ってくれているんだなあ～と感謝しています。ありがとうございます。(女 75～79 歳)
- 自宅まで市の公報が聞こえないため、対策をお願いする。外灯が少なすぎる。水道がないので暮らしが大変だ。不法投棄が多い(女 75～79 歳)
- H24. 7市川市より東江見の里山の一軒家に移住。周囲200～300メートルに居住者はいない。数軒ある別荘は全部空き家状態。隣組もなければ回覧板もない。老人クラブがあるのかないのかほとんど知らない。気楽と言ってもよいが、人との関わりはほぼない状態。月に1回自動車を運転して東京の病院まで通院。市の情報も動きもまったく知らない。月初めにくる「かもがわ」とかいうパンフレットを拾い読みする程度。もっと広報活動に力を入れるとよいと思う。(女 75～79 歳)
- 現在運行中の市内巡回バスの件ですが、あまり利用者が少ないように思います。もっと小型バスで市が主になり、老人が2人位でも買い物に行けるようなシステムにできないのですか。今は60才～70才位の人で自動車の運転ができる人がいるのではないのですか。料金の問題で営業車でなければだめですか？色々な問題があると思いますが、もう少し検討する必要もあるのではないのでしょうか。(女 75～79 歳)
- 一割負担のできない人、又は家柄上見苦しい姿をさらす事のできない介護者は、自宅で家族にも等級を応ずるような一割給付をできるような法改正もあってもよいのでは？色々な設問がありましたが、介護給付年齢に達した者には何かの方法で説明があってもいいのではないか。インフルエンザ予防接種等の住民負担金が鴨川市の医療機関が高額で、又それぞれの病院によって負担金が違うのもおかしい。例えば茂原市は1000円、東北地方では300円のところもある。(女 75～79 歳)
- 介護と医療、両方受けられる公共の施設があったら良いと思う。(女 75～79 歳)
- 高齢だからといって過保護は不要です。福祉に頼る人を増やすだけです。生活保護に見られるように、若い人でも仕事をしないで生活保護に頼る人がたくさんいます。これでは日本沈没です。(女 75～79 歳)
- 我が家の女性は看護師で(全員)アドバイスを受けています。嫁達も看護師です。今は年金生活です。現在、パソコン教室に通っています。(女 75～79 歳)
- 今のところは自分でできますが、主人が精神的なことで入院していて退院がいつになるのか？義父が99才でデイサービスに週1回行っていますが、とても元気です。なによりですが、先が見えないのが不安です。(女 75～79 歳)
- 防災無線等で早朝にラジオ体操を流せませんか？場所や人数に限らず、どこでも体をほぐせたらと常に考えています。(女 75～79 歳)
- 各地域の公共施設を利用し、高齢者が軽スポーツをできるように体育指導員や退職教員(体育)を有償ボランティアを登録制とし、できるだけ介護保険を利用しての筋トレをできるだけ少なくできたら良いと思います。利用者も相応の負担(施設利用料)をしても良いのでは？(男 80～84 歳)
- 鴨川市は3万5千人位なのに、なんで市議や議員が20人もいるのだ。そんなにいなければやっつけていけないなんて、市議は皆アホなのか。市民をばかにしているのか。市民の血税をなんだと思っているのか。市長はなんとかしなさい。(10人で良い)(男 80～84 歳)
- 質問が多すぎて疲れました。(男 80～84 歳)
- 私達が現在生きてきた過程においてこのよう世相状況が急速に迫って来たのは一体なんなのか？政治家は抜本的に考え直す必要があると思います。私共が思うに直感的にこれは農村人口を滅亡に追い込んだ結果ですね。核家族がすべて地域を破壊し、農民達は大企業の犠牲になり米作では生活が成り立たず若者は都会に逃げて行ったのです。これらを根本から改善せずしてなんの手段も無駄となるでしょう。政治の空転を私は全く不可思議と思うのです。まだまだ沢山ありますが、第一義として以上の事柄でしょう。以上、申し上げます。(男 80～84 歳)

- タクシー券を（24枚）増やしてほしい。（男 80～84 歳）
- 今は自分である程度できているのでこの先からだ不自由になった時に自分が考えると思います。妻がいるので、なんでも妻にしてもらっているので今は体が元気で健康であればいいと思います。この先、病気や介護などいろいろな人に面倒をみてもらう時が来るので、その時はみなさんよろしく願います。（男 80～84 歳）
- 施設もサービスも充実するにこした事はないが経済がともなうか？利用と負担の割合は？お世話にならぬよう、自己管理をしたい。できれば…。（男 80～84 歳）
- 高齢者の仲間になったばかりなので、考えがつかない。齢を重ねたら違った答えになるかも…。（男 80～84 歳）
- 高齢者の体力作りの為の屋外での遊具を作ってください。朝のラジオ体操の指導者がほしい。歩道の整備。途中で途切れつながないので、歩くのに不安です。（男 80～84 歳）
- 本人はボリュームが多すぎて回答する意志なし。妻が若くて老眼でないので、読み上げて返事を聞きながらアンケートに答えた。家族の援助がないと記入できない老人が多い鴨川市でこのアンケートは盛り沢山ですね！（男 80～84 歳）
- 情報も医療も充実してます。長寿社会になってただ心配なのは認知症対策です。治療薬、予防薬の開発スピードが遅く生活習慣病よりこちらのほうが重問題だと思います。（女 80～84 歳）
- 気休めみではないでしょうね。（女 80～84 歳）
- 今は家族に囲まれ幸せな生活を送っています。せっぱ詰まって経験をしていませんので、深刻に考えておりません。いつかは困る時が来ると思います。その節はお願い致します。（女 80～84 歳）
- 今の自分の年令で介護等は身近に考えもつかなく、また親達の面倒（高齢時の）経験もなくアンケートの中での勉強不足が思い知らされたことと、○印は付けた所が完全とはいかなかったなあと…思わざるをえない。（女 80～84 歳）
- 鴨川市住基の民生委員はもう十年以上もやっていて何もしていないのに他の人に譲ろうとしないのはおかしいです。市の任期は何年なのでしょう。他の人に替えるよう進めるのも市の仕事の一つと考えます。部落の人でも不満に思っているのですが、どこに言っていけばわからないので市の人もよく見て替えるようにして下さい。その人は熱心に民生委員の仕事をやっているれば不平を言う人もいないのでしょうか、何もしないのは問題です。（女 80～84 歳）
- 自動車道（県道）の中の歩行者道がなくて、散歩もできにくい。道のライトと歩道を歩きやすくしてほしいです。高齢者もですが、鴨川市は40代～60代の人達をもっと働きやすい方向を考えてあげるべきだと思います。それによって若い人達が増えていって良い街になるのではないのでしょうか？（女 80～84 歳）
- 鴨川市内に住居を持ち住んでいる人達の中には、他県地域から転居した人々が相当数あると思いますがこの人達は墓地及び所管の寺院もない人達だろうと思います。この人達のために市で経営する霊園を設置すること、是非お願いしたい。（女 80～84 歳）
- 筋力トレーニングマシンやストレッチの出来るシステムがほしい（月3000円以下）。自分の体は自己管理して、できるだけ医療や保険を使わないようにする為。（女 80～84 歳）
- 市民のみんなが安心して送れるように協力出来ることは弱い力ではありますが、協力したいと思って暮らしております。（女 80～84 歳）
- 自分は81才で1人暮らしなので、緊急通報システムを設置してもらいたい。（女 80～84 歳）
- 母の介護をしてみて介護保険のありがたさをしみじみ感じました。これからも安心して受けられる介護保険であってほしいです。私の知人ですが、90才すぎ一人暮らしでまだ介護保険も使わず元気で頑張っている方がいます。私も寝たきりにならず周りの人に迷惑をかけず、できれば介護保険も使わず暮らせるよう、日々健康に気をつけ送っています。皆様に感謝です。（女 80～84 歳）
- 隣近所の日頃からの付き合いを密にして何かあったらすぐ気づく、助け合いを。皆で助け合う事が一番だと思います。（女 80～84 歳）
- 預金も少なく年金（国民）も少なく、自己責任ではありますが子供に頼らず生活するのは大変。認知症になる前に次の世にいけたら幸せと思う。これは私の愚痴です。最悪な時のこと。今は皆に幸せな家族の姿をみせてもらってその中の一員でともにほんわかしております。いずれ皆様にお世話をお願いする事になると思います。その節はよろしくお願い致します。（女 80～84 歳）
- 自分のことは自分で。後見人制度→安心して任せられない（事件が多い）（女 80～84 歳）

- 高齢化に伴い一人暮らしも増えてきます。年金で入れる老人施設の増設をお願いします。高齢者に対する施策やサービスについて市はわかりやすく市民に知らせてほしい。例えば福祉センターの相談窓口が、365日24時間対応ということも知らなかった。(男 85~89 歳)
- 夫婦 2 人の生活ですが私が車の運転が出来なくなり病院や買い物に行けなくなったら、生活が出来なくなるのが心配です。車がないと住めない所に住んでいます。大山地区の高台にいます。大山に来て 16 年になります。親戚なども東京にいるのですぐに間に合いません。(男 85~89 歳)
- このようなアンケート調査は本当にいい事だと思います。特に一人暮らしの人等は大変ありがたく思っておられる人や、その家族も喜んでいる事と思います。これからも高齢者の為の情報や公報などに掲載して頂ければ…と思います。(男 85~89 歳)
- わからない事ばかりで乱筆にて失礼致します。(女 85~89 歳)
- 特別養護老人ホームの新設拡充。(女 85~89 歳)
- 介護が必要となると金額が多額となる。負担が少なくなる事。(女 85~89 歳)
- 高齢者保健福祉事業。介護保険事業を将来にわたって永らく継続して充実させる為に負担と給付のバランスを考える必要がある。その解決の為に少子化の進行をここで確実に止める施策が必要であると思う。(女 85~89 歳)
- 公共機関(バスなど)の運行の整備をお願いしたい。国保病院の送迎バスを望みます。(男 90~94 歳)
- 今は歩いているのであまり考えない。でもその時が来たら 1 から 10 まで見てもらいたい。(男 90~94 歳)
- いざとなった時にどこに電話したらいいかわからない事がある。子供達もすぐ近くにいないので不安です。皆その時が来る。子供達の足手まといにならないように頑張ります。皆さんよろしくお願い致します。(女 90~94 歳)
- 現実の生活能力をどれだけ維持できるか、しようと努力するかが大切なのでしょう。それらへのサービスをどうするか。問題点は個別に存在するわけですから把握、分析、対応が多様になり難しい。ただ①自助②共助③公助のステップを原則として、精神的にも肉体的にもこの“その気になる力”を引き出すことを根底にしたい。(おきたい)“痒い所への手”は出し切れません。(性年齢不詳)
- 介護保険を受けないよう、自ら気をつける生活。(性年齢不詳)

## 2 若年層調査

- 上記質問は基本的に重要と感じるが、家族構成や貧富の差などにより、条件が当然変わってくるので、難しい問題だと思う。全てできればすばらしいが、財政に関わる事でもあるので、多少は我慢。サービスができない場合も仕方ないのではないかと。(男 40~44 歳)
- 生活保護の見直しをしたほうが良いと思う。(男 40~44 歳)
- サービスの説明が全くない！聞きに行かなきゃわからないことが多すぎる。実際に初めて聞いたことがたくさんあった。一つの本等にして配るべき。地域全体で高齢者を助けるには、若い世代にも関心を持ってもらうように工夫するべき。(男 40~44 歳)
- 高齢者もいいが、若い人の就職場所や就職して生活をしている子供を持つ家庭についても力を入れて考えていいのではないかと。鴨川は就職先がない為、若い人が増えない事が問題と思う。(女 40~44 歳)
- 近所の姑が精神病でたびたび問題を起すので、将来的にはどこか預けられるところはないか考えているが、費用やいろいろ心配である。同居は無理かと考えています。(女 40~44 歳)
- 介護サービスの向上はいいことだと思うが、税金がすごく高くなってしまふのは困る。(女 40~44 歳)
- 高齢者こそ生活に便利な都会に住むべきだと TV で見ました。スーパーに遠かったり山奥だったり、住み慣れた家を離れるのは辛いかもしれないが自立した子供が鴨川にいない老夫婦など、病院やスーパー、電車、バス、公民館等利用できる施設の近くに老人ホームがあって入居できるといいと思う。離れて暮らす子供たちも安心だと思う。(女 40~44 歳)
- 週に半日だけでも高齢者にタクシーでも良いので利用させてほしい。重くて持てない牛乳、宅配だけでなくスーパーで目で見たい物を買ってもらい、病院へ薬を取りに行く、カインズ

- などで日用品を買うなど、バスが通っていない地域のサポートをしてほしい。(女 40~44 歳)
- 少子高齢化で若者への負担が多くなり、税金が上がっていくのが不安です。(男 45~49 歳)
  - 病気になるい・介護を必要としないように予防に口腔内、歯の健康維持が大切だと思います。40才からの健康診断に歯科検診を入れたらよいと考えます。(女 45~49 歳)
  - 40代という事で介護についてあまり考えたことがなかった事に気づいた(知らない事が多い)。これから父母の介護にも携わらなくてはならないと思うので、もう少し色々な事が詳しく知りたいと思った。(女 45~49 歳)
  - 本来介護もナイチンゲール精神に準ずる心がまえが必要ではないか？仕事が無い当市において、アルバイトやパートのように収入の為にヘルパーをしていて、介護を時間から時間までのワークととらえているヘルパーを多く見かける。老人が商品のようにあつかわれている姿を見るにつけ、介護ビジネスに疑問を感じる。高齢者施策も重要だが、それを支える世代と増やす施策を先ずのぞむ。それがお見合いパーティじゃなげかわしい。都市計画を見直し、10年後20年後の鴨川を！(男 50~54 歳)
  - まだわからないが、生活費の工面が最大の心配事です。(男 50~54 歳)
  - 知人から聞いた話ですが、12月の暮れにある病院で、高齢者の方が車椅子で整形外科の受付まで来たのですが、福祉サービスの様な人はそこでさっと帰ってしまったようで、その高齢者は困っていたようで、知人が中まで連れていったそうです。そぶいう話を聞くと不安になります。(男 50~54 歳)
  - 高齢者は社会全体で支える対象から、高齢者も社会を支える存在に変えるための施策が大切だと思う。一日でも長く健康で現役で活躍できるように何が必要か考えてほしい。健康な時間が長ければ福祉(介護)サービスの料は少なくとも充分だと思うし、それが実現できれば保険料も高くないと思います。(男 50~54 歳)
  - これからの高齢化社会には、地域支援(共助)が重要。その役割は社会福祉協議会が担っていくべきと考える。(男 50~54 歳)
  - 私の親も80代。高齢者をかかえている人は仕事を辞めたり、施設へ入れても月15万くらいかかるらしいし、自分の老後も考えとかなければならないし。子供も自分の事で精一杯だろうし、老後はみんなで助け合ってくらせる施設があるといいなと思います。(女 50~54 歳)
  - このアンケートで何が変わるのかよくわからない。重要だと思っても実際に十分な支援が受けられるのかもわからない。(女 50~54 歳)
  - 介護保険の範囲を広げすぎると安易に利用する人が増えて、費用がかかりすぎ、破綻してしまう恐れがある。介護度の軽い人は少し負担を多くするなどして、本当に必要な人に必要な保健介護サービスがいきわたるように工夫が必要だ。健康維持のための教室や、介護を受けないためのリハビリも大切だが、継続できる運動の普及も大切と思う。(女 50~54 歳)
  - 一人暮らしや高齢夫婦世帯の把握と定期的な声かけ、見守り等を充実していくことが大切だと思います。鴨川市に在住する高齢者とその家族が安心して過ごせる事を願います。又、介護サービスを受けたい時の手順等がわかるように各家庭にパンフレット等配布いただけると有難いです。(女 50~54 歳)
  - 高齢者施策について知らない事がたくさんあったが、今回のこのアンケートによって知る事ができてよかった。私だけかもしれないが、もっと周知する様広報鴨川などにのせると良いと思う。(女 50~54 歳)
  - 施設スタッフの態度が良くなかったりするのを見るにつけ、高い料金を支払ってそのような場所で人生を終えるのは悲しい。可能な限り自宅で生活できるようにするための準備として、勉強会などに参加していきたい。自立できているうちからの用意が必要と思う。(女 50~54 歳)
  - 高齢者とはいえ今はとても元気な方もいるので、身体を動かし仕事ができる場所が増えればいいなと思うし、生きがいが見つかるようなものがあれば元気に過ごすことも出来るのでは？(女 50~54 歳)
  - 原則親の面倒は家族が介護すべき。その様な人が居ない人は別として、なんでも簡単に行政が面倒みるのはどうかと思う。税金で親をみてもらい、自分達は都会で無関心…(男 55~59 歳)
  - 人はみんな死にます。死に方というかいい死に方ができるような、そんな所に鴨川市がなっていければとそう思います。(男 55~59 歳)
  - 三浦雄一郎さんなど、高齢でも日々の食事、運動などの鍛錬によってメタボ体質を改善し、エベレスト登頂を達成した方などのお話を直接聞く、あるいはそのビデオを見るなどの場を作ってみてはどうかと考えます。(男 55~59 歳)
  - 介護職に就いている人たちの労働条件や、待遇面の改善。子供を産み育てることができる社会

- 的條件整備。とにかく表層的な対処ではなく、社会状況の根本を改善しなければどうにもならないのでは？（男 55～59 歳）
- すぐやる課がほしい。いつ介護が必要となってもすぐ福祉をうけられるように手続きを簡単にスピーディにしてもらいたい。（女 55～59 歳）
  - 現在高齢になっている市民にも良くわかるように現在行われている支援について伝えていただきたい。（女 55～59 歳）
  - 高齢者の方々が集まって話し合いや悩みを発散できるようないいの場所ができればいいと考えています。（50 代主婦）（女 55～59 歳）
  - 周り近所との会話。無関心にならないよう願う。（女 55～59 歳）
  - 認知症にならない限り自分で責任をもって行動すべき。私は医者に行かず死ぬときは寿命だと思っている。（男 60～64 歳）
  - すばらしいサービスや施設ができて、それを知り（知ったり）利用するのに移動する（したりする）手段がままならないのが、地方の老人の一番の問題と考える。この世界（分野）でも利用する人（しやすい人）と利用しない人（しにくい人）の二極分化が進んでいるのではないか？その対策はいかに？（男 60～64 歳）
  - 人間も生き物であり死亡するのは自然の摂理である。どうせ死ぬ者の為に、必要以上に予算を使う事は若者等への税負担を重くし、また他の事業予算へも影響を与える。むしろ、安らかに死を迎える事が出来る環境やサービスが大事ではないか。（男 60～64 歳）
  - 現在の所、健康的な為、あまり関心がないが、その時に直面しなければわからないのが本音です。（男 60～64 歳）
  - 訪問看護はすべて医療保険にすべきだと思います。（男 60～64 歳）
  - 今年 64 才。年金生活者には現健康保険料は高すぎる！（男 60～64 歳）
  - 誰もが年金で入れる施設があるといい。（男 60～64 歳）
  - 大山地区にバス等の公共交通機関がないので、至急対策をとってもらいたい。（男 60～64 歳）
  - 施設利用は家族の希望する日がすべて可能に入室できると良いと思う。今は、点数制のようだが、すべてにおいて割安でショートとかいろいろな施設が利用できるようにしてほしい。（女 60～64 歳）
  - 高齢になると買い物は、近くにコンビニなどが有ると良いですね。（女 60～64 歳）
  - 一人で自由に活動出来ないの、消極的意見です。（女 60～64 歳）
  - 今後高齢者サービスを必要になる年代にさしかかり、現在のサービスのイメージが高齢者をひとくくりの中で捉えているように思う。地域の生活者の中で（様々な年代が暮らす）展開されることで、相互理解も得られるのではと思います。世代間の現状理解が必要かと思えます。（女 60～64 歳）
  - すべて予算（経費）とのかねあいなので、まずは景気を良くして欲しい。（女 60～64 歳）
  - 介護保険の人たちがいつでも自由に出入りでき、利用できる空間があるといいと思う。何もなくても、自由に会話が楽しめるような…（女 60～64 歳）
  - 住民の幸せを願い、この様な皆様の取り組み、努力が反映されますよう、そして今後の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。（女 60～64 歳）
  - 時間を費やしてアンケートを書きました。意見を無駄にすることなく市政にいかして頂きたいと存じます。（女 60～64 歳）
  - 四世代の家族と同居し、食事と一緒にその担い手である私は、毎日フル稼働しています。自分が倒れて迷惑をかけない様に願い注意し、疲れた時は休む心がけています。最後まで動けることを念じています。（女 60～64 歳）
  - 子供達に子供がないので、子供達の老後と死後が心配です。（女 60～64 歳）
  - 高齢者・障害者等支援施策、大事な事のひとつです。弱者に手厚く！の思いを一人一人がしっかり持てる事が大事です。市の予算が厳しい状況下でお金をかけるべきことと、知恵を働かせて補えることのみきわめがしっかりもてる事が大切ではないでしょうか。地域に「サロン」ができ喜ばしいと思う反面、大型テレビやカラオケ設備を設ける事ははたして必要だったのかとも思えます。お金をかけた大がかりなかけや仕組みが大事でしょうか？高齢者が集まる「場」があればそれだけでよいとも思えます。皆で顔を見て世間話をしたり、編み物をしたり etc. 女 60～64 歳
  - 健康維持のための教室等より自分で選べるように、鴨川市内に住民が気軽に安く利用できる施設を作り、プランを練ってくれる人が常について、個々に利用しやすい運動できる場が欲しい。他の市町村には既にあるのでみてきてほしいです。（女 60～64 歳）

- 介護する人される人が、お互いストレスがたまらない様に生活できるよう、すべての人が支えあって生きていく事が大切だと思う。(女 60～64 歳)
- 問 2 8 の⑨で緊急通報システムの設置ですが、私の父も 1 人暮らしのため設置して頂きましたが、家の居間で倒れて亡くなりました。ボタンを押すことが出来なかったと思います。ボタンを身に付けていれば良かったのでしょうか？押す事の出来ない場合もあると思います。(女 60～64 歳)
- 在宅介護が出来ない人の為の養護老人施設が少なすぎる。(女 60～64 歳)
- 私自身高齢となり、まさに老々介護と言われるようになりました。在宅での介護ですが医療サービス等を使って何とかやっております。市も母子共高齢になっている事は把握していると思います。相談事も申請も出向かなければならないのが無理という場合の方策はないのでしょうか。(女 60～64 歳)
- 介護保険料について。結論から言うと介護保険を利用しない人の負担金を 1 割からもっと値上げしたほうが良いと思います。何故なら利用する人としらない人では極端だと思います。まわりの人を見ていると利用者はどちらかという知識人、利用するには目いっぱい使う、この負担額を増やすとこれ位のことなら家でやれるというものができてくると思います。本当に必要な人で暮らしに困っている人は、少し負担してあげたらいいと思います。そうすれば介護保険料を値上げせずにやっていけるのではないのでしょうか。介護サービス業者がからむのでむずかしい問 (女 60～64 歳)
- 高齢者自身が受けたいサービスを全て受けられるようになると良いなと思います。(女年齢不詳)

### 3 要支援・要介護認定者調査

- 私は 6 0 才女です。一人暮らしで結婚はしませんでした。誰にも迷惑を掛けず死ねたらを思っています。自分が選んだ事です。元気に生きて行けたらと思います。制度も知らない事ばかり、ケアマネジャーは教えてくれません。近くにいる近所のおばさんが教えてくれてケアマネさんにきくと言うことで色々な方に話を聞いて教えてくれて助かる時が多くあります。もっと早くこんな制度が合ったのだと思います。人は皆年老いていきます長生きしたくないです。(女 40～64 歳)
- 制度の変更の為今まで受けていたサービスが受けられなくなったりしてとてもとまどっています。被害時の対応はどうしたらよいか (高齢者・障害等) 悩みです。(男 65～69 歳)
- 今後とも宜しくお願いします。(男 65～69 歳)
- 各、病院等の対応が遅い (先生・看護師・事務) (男 65～69 歳)
- 特別養護老人ホームへの入所は 2 0 0 人待ちといわれます。入所希望者の事情は分かりませんが高齢者の年下の弟妹 (認知症) の介護をしていく事は、例えば夜もゆっくり眠れない昼間も外出出来ないでは精神的・肉体的に疲労がかさみます。家庭環境・事情に応じた施設への入所順番など考慮して頂きたい (男 65～69 歳)
- 介護する側にたった精神的なケア、介護の仕方などを指導して欲しい。色んな講習、実技教室、機具の扱い紹介など色々な情報、自分でも情報を得たり工夫をしているが・・・専門のかたの話や実技指導がほしい。現在も勿論やっているのですが、身近な所で気軽に参加出来るように多くの人に周知出来るような方法で計画して欲しい。(女 65～69 歳)
- 訪問介護の 2 4 時間体制。重度障害者の手助け介護。障害者の入所の問題、老人ホームへの常時入所願い (女 65～69 歳)
- 独身の兄が施設入院しています。毎月施設の方から入院費の請求書送られてきますが保健の項の点 (数) について分からない。また自費の項で毎月の金額より 19,730 円多くなった物があったが、説明無しでびっくりし施設先に問い合わせた。良い施設と思い選んだが料金のことに關しては詳しい説明でなくても一言書き添えて欲しい。ふれあいセンターのスタッフの方々の態度の良さにいつも救われています。父母もお世話になりました。鴨川市の職員の方達に感謝しています。(男 70～74 歳)
- ・介護している家族がいつでも気軽に話し合えるサロンのな場所を作って欲しい。車イスで安心して利用できる施設が少ない (男 70～74 歳)
- 要介護 1 で車イスを利用しています。妻が介護してくれるので他に頼ったことはありません

(男 70～74 歳)

- 世話をしている私の意見として今はお金さえあれば施設などでお世話になることが出来お金も必要と言うのが当然のようになっていますがかつての時期こういったこういった充実した物が無かった頃高齢者の介護をひとりでやっていました。とても大変だったことを覚えています。今はこういう施設を頼る方も多い事も身近で感じます。有難いことだと思います。これからも充実した施設が増えて欲しい (男 70～74 歳)
- 高齢者に対する思いやりと充実した福祉社会に期待します。(女 70～74 歳)
- 家族の手で介護するには重すぎる患者を引き受けてくれる施設、病院が少なすぎる。病人のレベルに応じた施設が何処にあるか内容費用等の情報を市民に伝える広報をして欲しい。(女 70～74 歳)
- 色々と助けて頂き有難うございます。(女 70～74 歳)
- 歩行出来ない為外出出来ずに少々残念ですが、自分が医師の指示でリハビリ中でも外出出来るよう努力してます。(女 70～74 歳)
- 介護を受けている人の自体的な程度にもよると思いますが、何かしら出来る(完全でなくても)程度の人には積極的に何かをやらしてもらいたい様な指導をして本人の生き甲斐を増大させる様な事を考えて実行してもらいたい、ただ介護のみではダメだと思います。(男 75～79 歳)
- 介護している家族の話し合う憩いの場が重要だと思います。(男 75～79 歳)
- 医療保険で入院したため介護保険は使えない由、他の病院からは両方使えるからと聞いてきました。両方はダメと言うことでしょうか？病院側では介護保険に変えても支払金額は変わらないとのことでした。何方に伺っても理解が出来ません。(男 75～79 歳)
- 介護保険制度が大変助けられていると思います。今後は少子化の時代になっていくので、この制度を充実して欲しい。(男 75～79 歳)
- 高額介護サービス費の至急日、月末を 25 日頃にして頂きたい。(男 75～79 歳)
- 年を重ねる毎に将来に不安を感じる要になりました。もし病気になり即入院することになったらと思うと心配です。国民年金でも入所できるような施設があればと心から願います。(男 75～79 歳)
- グループホームに入居しているのですが、どの欄で答えるのか迷ってしまいました。記名式でも良いので分かりやすいアンケートにして欲しいです。(女 75～79 歳)
- 家、土地などを自分の死後、市の物とする代わりに月々数万円のお金を市から貰えるという制度を TV で見たことがあります。そう言うものがあると、一人暮らしのお年寄りなどの生活が安定するのではないかと思う。(女 75～79 歳)
- めぐみの里など入居したくても入れない状況なので何とかして欲しい。(女 75～79 歳)
- 成年後見制度の見直し認知症までは行かないが手が不自由で寝たきりの為、銀行やその他の手続きをするのに苦労します。委任状を書くのも難しい場合本当に苦労します。市役所、郵便局などでも本人ではないと出来ないことが沢山ある。(女 75～79 歳)
- 今まで一生懸命働いてきた人達を大切にしたい。(男 80～84 歳)
- 老介護をしている者の行動範囲も狭くなり時間を自分の事に使う事も減少するので近い距離の場所で気軽に集えて時には保健指導を受けられる等の機関が欲しい。簡素な者で結構です。住宅で介護している家族です。(男 80～84 歳)
- サービスを利用するにもお金がかかる。高齢になる程収入は減るのに介護・医療としゅっぴが増えるばかり。(男 80～84 歳)
- 介護保険料を上げて欲しい。介護職員の質を上げて欲しい。預かってもらっているから言いにくい事もある。(男 80～84 歳)
- ユートピアデマンドバス(車イス可)を利用し今日もユートピアへ既に大勢の利用者が来ていた。室内には色々のリハビリ用具疲れたら軽食を取りながらチャットリング、カラオケが出来る。天気の良い日は屋外に出ると季節の花が咲きどこかの幼稚園児が先生と遠足に来ている。又車イスや杖を利用して散歩を指定する老人もいる。遙か眼下には鴨川市街、青い太平洋の水平線が見える<夢> (男 80～84 歳)
- 我が家はまさしく「老々介護」の典型。24 時間接触していると精神的・肉体的に疲れてしまい「心のゆとり」が無くなります。週 3 日デイサービスを利用するようになりました。国の方針は予想できますが。私は 20 年前市の世話を受け在宅で義母を見ましたが大変です。でも自分が若かった。(家族の協力があつたからやれたのでしょうか) 家庭によって千差万別ですが私は「在宅介護」の限界を体験しました。本人の意志を尊重し施設入所し家族と精神的つながりを保ち日々送りたいまた、送らせたい。(男 80～84 歳)

- ボランティアの訪問があるので本当に有難いです。安心しています。(女 80～84 歳)
- 病になってしまい(国民)年金では何も思うようには出来ません。(女 80～84 歳)
- 家族が在宅で介護する場合は補助金が出るのですか?何かしらの補助金が出ないと家族が介護をしなくなる。業者頼みでなく家族の場合も有料にすべきではないか?家族で出ない場合は業者に頼むなど有効では?(女 80～84 歳)
- 担当して頂いたケアマネジャーさんに大変良くして頂き感謝しています。(女 80～84 歳)
- インフルエンザ予防接種の個別郵送お知らせもなく、年度を超えての移入者には健診のお知らせもなく、こんな地域は初めてです。(女 80～84 歳)
- 街灯が少なく冬は日暮れが早くて道路が暗いです。街灯を多くして頂けないでしょうか?(女 80～84 歳)
- 今のところは大丈夫だと思っても、物忘れや認知症にならないように今後の生活に気を付けて頑張っていきたいと思えます。(女 80～84 歳)
- 今の所健康に暮らしていますが、大きいガラス戸が6枚くらいありますので半年に一回でもガラス吹きしてもらいたい(女 80～84 歳)
- 自宅より遠い施設に入所しているかもっと自宅に近い老人保健施設か特養に入所したい。近くの施設に入れないのがおかしい。同市内の施設に入りたい(女 80～84 歳)
- 鴨川市で暮らす高齢者は家族が遠方で働き生活している一人暮らしの環境が多いと思えます。この状態は今後増えていくと思えます。制度や法律に固執することなく地域の実情にあった福祉行政を実施して頂きたいと思えます。医療が充実しており温暖な気候であり住み安い所だと思います。高齢者にとってはとてもよい環境だと思います。他市からも注目される行政を期待しています(女 80～84 歳)
- 私は84才(太海地区)に住んでいますが、ひにひに通り無くゴーストタウン化しています。買い物に不自由さを感じています。鴨川また、街内にあるすわーの1店でもこの地域に移して頂ければ私たち老人はもとより子供達も家の外に出てくるのではないかと考えております。(女 80～84 歳)
- 義理母が10年近く入所しました、今はとても経済的に無理です。私が働いていたので良かったけど年金ではやっていけません。子供がいますが学費とローンでギリギリです。自分は自分で生きるのが大変です。老人になりたくない、何とか頑張りたい。(男 85～89 歳)
- 在宅医療を介護施設(ショート)にお世話になっております。、私が87才で介護5の認定を受けておりますので出来るだけ自分で出来ることは自分ですよう心がけていますが、力のいる事もだんだん出来なくなって皆様にご迷惑をおかけしています。お心遣い頂きましたことお礼申し上げます。(男 85～89 歳)
- まだまだこれから先のことは分からないが、子供達の足手まといにはなりたくない。(何か良い方法はありますか?)それには自分たちで体調を良くしてがんばります(男 85～89 歳)
- ・施設が増えてもよい・ただ一日を預かるだけではなく利用者を生かす前向きにする方法などを手助けするサービスなど・利用者が前向きになるように工夫をすること。(男 85～89 歳)
- いつもお世話になって有難く思っています。(女 85～89 歳)
- 認知症の知識がほとんど無く(家族)困り事は沢山あるが、教員に知り合いが多い田舎ではなかなか気軽に相談できない。鴨川市の組織では無く県の方から定期的に専門家を向出して下さい。色んなセミナーやイベントに参加したくても職員が地元の方ばかりだと申し込む事すらためらってしまう。本人のプライバシーだけでなく家族のプライバシーや経済状況を多数の知り合い(職員)に把握されてしまうのが辛い。(女 85～89 歳)
- 入院中に認定されたと思えますので、家では良く分からないので宜しくお願い致します。(女 85～89 歳)
- アンケートを進めるに辺り用語の説明が必要だと思う。(女 85～89 歳)
- 独居老人です。週に1回位は家に声をかけて欲しいです。近所も老人ばかりです。友人も一人亡くなりだんだん近づいて来るのですがもう少し頑張りたい。82才になり、老人は役に立たないが宜しく願います。(女 85～89 歳)
- 入院中、自宅で介護と決めた日から退院の日に向けた指導が始まり間近になると健康は推進課の方が要支援認定の審査請求の為に来て下さり自宅でも病院と同じ位の感じで介護することが出来ました。その後も市の方には事務手続きでお世話になり居宅介護支援で病院のスタッフの方々にお世話になっております。関わって下さる皆様に感謝申し上げます。今後も現在のサービスが受けられる様切に希望します。(女 85～89 歳)
- 車イスでも気軽に出来たらと思えます。買い物等、近所の人達の会話など。(女 85～89 歳)

- 介護サービスを受けながら何とか家庭で介護が出来ます。この制度が始まってから利用させて頂いていますが、このサービスを利用出来たからこそと思っています。保険料の負担など様々な問題はありますが今後も利用させて頂きたいと思います。(女 85～89 歳)
- 高齢者が増加する中消費税をあげて対応するという政府の方針であるが財源が本来の目的に使用されるか疑問です。税金は下がり負担は増加、サービスは低下と言うことにならないか心配です(女 85～89 歳)
- ・本人がデイサービスに行っている時は本人の薬を取りに行く事が出来ない・本人が病院から退院をする時と見てもらった病院が入院できないため・出来る病院へと移動の時 介護タクシーの保健がきかない為払わなくてはならない。また、介護している方には前より不便な事が増えたことが不満です(介護5の人がいくら退院になったとはいえ普通の車に乗れるわけがない)。(女 85～89 歳)
- 現在自分の身の回りの全て努力しておりますが、この先働けぬようになりますと家族から介護市テク打差えう方にお世話にならなければと考えが重くなる。(女 85～89 歳)
- お世話をおかけしております、宜しくお願ひ致します。(性不詳 85～89 歳)
- 介護サービスは本当に必要とする人の為。(男 90～94 歳)
- 現在、国保病院の訪問看護を受けています。夜中の緊急時にも応じて頂いています。対応して下さっている方のことやヘルパーさん達のご苦勞を考えるともう少し手当を増やして苦勞に向くいることの出来る金額を支給して欲しいです。利用する側の負担をもう少し増やすことも仕方ないと考えます。(男 90～94 歳)
- アンケート調査質問に専門用語が多すぎる高齢者に意味が伝わる言葉でお願いします。(男 90～94 歳)
- 自分ながら最近になって軽い車イスを利用する様にしてみて(杖)より安定していて気持ちがお楽になりました(一日を楽しく過ごさせて頂いています)。(女 90～94 歳)
- 現在64才の嫁である私が姑の必要ものや精神的な相談などの引き受けをしています。姑は介護施設に入居することが出来てスタッフの皆様も親切にして下さるので大変満足です。月々の軽費は20万弱であらう。亡くなった舅の遺族年金などで何とか賄っているが、やはり家計費には厳しいです。嫁である私世代には月々これだけの費用は払えませんが自力で筋力強化等の予防策をしたいと思いますが、その様な目的の為の施設を低料金で気軽に楽しむ事が出来れば嬉しいです。(女 90～94 歳)
- 病院に入院しある程度の日報で退院させられるが津銀いりハビリ等で入院させて貰える病院がない。一人暮らしなので施設を利用したいが入所待ちで入所は出来ない。病院でリハビリを続ける事が出来ると良いが。(女 90～94 歳)
- 何処の施設の介護師、ケアマネジャーがとても親切に対応してくれる。ただ、緊急な状況を見て頂きたい時、施設にすぐ預かって貰えないのが困ります。なるべく家族で見る事と思っはいるのですが難しい。(女 90～94 歳)
- 私は義母の介護を15年やってきましたが、ひどい痴果になってから12年は本当の居悲惨でした。色々な情報やお助け機関が無ければ老人をいじめる家族も多いと思います。老人はぼけるもの。家族の忍耐には限界があると言うことをあらかじめ分かった上で受けられるサービスが誰に対してもスタンダードになるように市民が誇りを失わずに生きていける市政を望みます。(女 90～94 歳)
- 鴨川市が合併になってからは年間行事や個別配布されていた色々なお祝金や物等が減ったり約立つ物からあまり必要性のないと考えられる物になったように思えます。又、地域の福祉の方々も全く居ないような気がする。この様に思っているがこのアンケートで後日再度アンケートをとったりもっと話を聞きたいと言われても受け付けられません。(女 90～94 歳)
- 問7で回答した「骨折・店頭」は病院で座されたイスごと転倒により生じたもの。その為に一気に介護度が上がりました。周りの人達を訪ねた所思いの外病院での高齢者の転倒等の事故が多い事を知りました。病気を治す為に入院した病気で新たな傷病をおうのです。介護保険と医療保険は違うので難しい問題ではありますが高齢者対策は介護の方面からだけではなく要介護になるリスクの軽減について考えることも大切だと痛感しています。(女 90～94 歳)
- 病院に入院しているので分かりません。(女 90～94 歳)
- よく分からないところがありますが、指導をお願いします。(男 95 歳以上)
- 介護施設不足です。希望しても待機期間が長すぎます。(男 95 歳以上)
- ヘルパーの給料を上げて欲しい。生活出来ないので転職を考えている人が多いと聞くので。(女 95 歳以上)

- ショートとデイを利用していますがこの頃利用先が混んできてしまっているなど、ショートが以前よりも短くなり、また本人も以前より悪くなってきて昨夜も12時半頃寒い中をタゴ飯をくれなど言い（別棟）しているのも寝れず。年寄りが増えて施設が足らなくなっている為だろうと思います。（女95歳以上）
- 今回の調査は、92才の母宛に来たのですが認知症（重症）で、病院に入院の為、介護保険では無く医療費対象者である為質問に答える所が無く返送致します。質問を読み終えての感想は後手の印象があるということです。おそらくこの回答を書いているのは、同居の介護に当たっている息子、あるいは嫁、娘であり今後介護を受ける予備軍です。この年齢層（60～65才）の健康確保が急務だと思います。60才以上無料のスポーツジムや体育館での指導、シニア体育祭、シニア地区対抗運動会など、今までのゲートボールよりおしゃれで行きやすい「スポーツの参加」を広めて頂きたいです。「間32は60才以上で既に必要と思う」現在はようやく入院出来た母の介護から離れることが出来ましたが、長い介護生活で時らが疲れ病気になるました。介護提供者の健康にも充分手をさしのべて頂くようお願い致します。私の現在の病気が回復しましたら自分の健康増進にまず取り組むつもりです。（性年齢不詳）

#### 4 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査

- ①介護保険の制度改正について、ケアマネジャーの立場としてご意見があればお聞かせください。
  - 制度が改正されるたび現場や利用者に混乱があります。中期的、長期的に利用しやすい改正をお願いします。
  - 介護保険サービスの充実と介護保険を利用しないですむ期間を延ばすシステムも必要シニアの力を。
  - とにかく事務費が多すぎる。その割には収入とは結びつかず、ケアプラン以外の仕事が多い。手当も（ケアマネ）なくあまりよい環境ではないと考えている。制度改正にあたり事務量を少なくしその分現場に行ける時間が取れるようにして欲しい。医療看護に関わるケアマネとしては適切な訪問看護・居宅管理指導ケアプランにきちんと入れて欲しい。
  - ケアマネ業務は事務作業が多い為利用者の状況把握をする余裕が無くなっている。
  - 訪問介護と通所介護だけ介護給付から外す理由が理解できない。通所介護も通所リハビリも同じ通所系サービスであり事業所によっては通所リハビリ施設より熱心にリハビリを行っている、通所介護もある。同様に保門介護も事業所により様々でケアマネに任されたプランは今後同くなっていくのでしょうか。これ以上困難にして欲しくない。
  - ・国の政策等左右されながら、周りの様子を見ながらの市政ではなく地域の現状をしっかりと見極め、鴨川独自の高齢者対策をして頂きたい。その為には現場の超えに常に耳を傾けて頂き机上の空論ではない市政を。
  - 利用者の経済的負担を出来るだけ押さえ多くの選択枠の中から、質のよいサービスを選ぶことが出来るとよいと考えます。
  - サービスを必要としている人が希望の（必要な）サービスを使えず必要の無いと思われる人が家族の意向でサービスを使っている。支援の人はどこまで支援をすればいいのか・疑問に思う。
  - 今後もケアプラン作成料を利用者負担させないで欲しい。
  - 介護予防を今後そうするのか？介護保険枠で行うどころか検討して欲しい、また続けるならどの様に扱うかも検討して欲しい。
- ②ケアマネジャーの業務を遂行するにあたって市に期待することや要望したいことなどがあればお聞かせください。
  - 日頃の相談や連携に感謝しております。相談センターの業務体制が人数等もう少し配慮頂けると助かります（会議等多く留守もあるため）。
  - 移送サービスの充実、シニアの就労支援、鴨川コミュニティーカフェ。
  - 市への提出書類や申請の方法、また特例給付などの申請などにとまどう事が多くあります。介護支援専門員向けに提出マニュアルなどがあれば間違える事なく提供出来ると思います。介護保険に限らずほかの制度と併用する場合など適用出来る制度の理解に乏しくそのたび確認しなければいけないことも多いので件数などで勉強する機会を持たせて頂ければ幸いです

- ケアマネの質が人によって差があり、個人個人の質が平均的にアップするように検討して頂きたい。ケアマネへの不満があるが我慢している人も居ると思う。ケアマネはいつでも利用者中心で変更出来ることをPRして欲しい。
- 早い時期に時期改正について市として考えを周知して欲しい。
- 業務隊行にあたりスキルアップの他面も行政による監視は続けて頂きケアマネ全体のそこ上げ図って頂きたい。指導する立場としては介護保険制度や各業務内容を深く理解する為にも最新情報などをおりませ研修を実施して欲しい。
- 予防（様支援）の利用者の計画書作成などもう少し委託先に任せて頂けると業務がしやすくなると思う。
- 鴨川市に住みたいと主終える市になるよう。児童、お年寄りが、もっと住みたい市となるよう業務が分かり安く理解できるようにして欲しい。
- ・介護認定審査会資料に他市のように特記事項の部分を添付して欲しい ・外出の意欲があるにもかかわらず、車の運転が出来ず公共の交通機関のアクセスが悪く年金生活のため交通にお金をかけられないという高齢者の声を多く聞きます。交通機関の利便性向上を望みます。
- 予防プランから担当者の意向に合わず何回も手直しをしている。その辺りで無駄を省く方法はないのか？半年に一回のプランの見直しは必要か？介護予防が出来ているか疑問に思う。
- 介護保険の最新情報を知りたい。
- 診断書の統一（サービス利用者時の）・事業所の質向上の為研究会など。

## 5 介護保険事業所調査

- 介護保険とは関連しませんが小児の在宅療養も整備が必要かと思います。高齢者と共に障害児へのソーシャルサポートについても考えていきたいです。行政が要です。
- 問8の①については、制度的には行っていないが、家族懇談会等で随時行っている。
- いつもお世話になります。
- 高齢者の移動方法、手段が限られていく中で。今後規制緩和を行っていただき、もっと動きやすくなれば良いと考えます。
- 消費税増税に対する、介護報酬の見直しを期待したい。

調査票





日常生活	選択肢
⑥ 食事は自分で食べられますか	1 できる 2 一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる 3 できない
⑦ 自分で入浴ができますか	1 できる 2 一部介助（人に支えてもらう）があればできる 3 できない
⑧ 自分で洗面や歯磨きができますか	1 できる 2 一部介助があればできる 3 できない
⑨ 就寝時に、何らかの介助を受けますか	1 受けない 2 一部介助があればできる 3 全面的な介助が必要
⑩ 自分で食事の用意をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
⑪ 日用品の買い物をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
⑫ バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
⑬ 預貯金の出し入れをしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問8 週に1回以上は外出していますか。（1つに○）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問9 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つに○）

1 はい	2 いいえ
------	-------

問10 外出の頻度はどのくらいですか。（○はそれぞれ1つずつ）

目的	1 ほぼ毎日	2 週4、5日	3 週2、3日	4 週1日	5 週1日未満
① 買い物	1	2	3	4	5
② 散歩	1	2	3	4	5
③ 通院通所	1	2	3	4	5
④ 趣味等	1	2	3	4	5

問11 「外出を控えて」おられる方のみお答えください。外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 病気	2 障害（脳卒中の後遺症など）
3 足腰などの痛み	4 トイレの心配（失禁など）
5 耳の障害（聞こえの問題など）	6 目の障害
7 外での楽しみがない	8 経済的に出られない
9 交通手段がないため	
10 その他（ ）	

問12 外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 徒歩	2 自転車
3 バイク	4 自動車（自分で運転）
5 自動車（人に乗せてもらう）	6 電車
7 路線バス	8 病院や施設のバス
9 電動カート・車いす	10 タクシー
11 その他（ ）	

問13 毎日の買い物をどのようにしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 徒歩や自転車近所の商店で買い物
2 ご用聞きや電話で配達してもらう
3 訪問販売や移動販売の店を利用
4 近所の人に自動車に乗せてもらって買い物
5 自動車で郊外の大型量販店へ
6 通信販売・テレビショッピングを利用する
7 家族や知人に買い物をさせてもらう
8 その他（ ）

## 住まいについて

問14 住まいの状況についておたずねします。①から④までの各問についてお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

住まい	選択肢
① お住まいは一戸建て、または共同住宅のどちらですか	1 一戸建て 2 共同住宅
② お住まいは、次のどれにあたりますか	1 持家 2 民間賃貸住宅 3 公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅） 4 貸間 5 その他（ ）
③ お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか	1 はい 2 いいえ
④ ②で2～4と回答された方（賃貸の方）におたずねします。家賃はいくらくらいですか	1 3万円未満 2 3万円～4万円未満 3 4万円～5万円未満 4 5万円～7万円未満 5 7万円以上

## 健康の状況や意識等について

問15 あなたは現在、「健康」だと思いますか。（1つに○）

1 そう思う	2 ややそう思う
3 あまり思わない	4 まったく思わない

問16 普段健康の維持・増進に気をつけていますか。（1つに○）

1 気をつけている → 問16-1へ	2 気をつけていない → 問17へ
--------------------	-------------------

問16-1 問16で「1 気をつけている」と答えた方におききます。何に気をつけていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 健康診断などの定期的な受診
2 休養や睡眠
3 規則正しい生活
4 栄養のバランスのとれた食事
5 酒やタバコ
6 歯のケア
7 定期的な運動
8 その他（ ）

問17 あなたの生活習慣についておたずねします。

（①～⑥のそれぞれについて、1つに○）

① たばこ	→	1 吸わない	2 吸っていたがやめた	3 吸う（1日10本未満）	4 吸う（1日10本以上）
② お酒・アルコール	→	1 飲まない	2 時々飲む	3 毎日飲む（1～2合）	4 毎日飲む（3合以上）
③ 規則的な食事	→	1 している	2 ある程度	3 していない	
④ 一日の味噌汁	→	1 ほとんど飲まない	2 1～2杯	3 3杯以上	
⑤ 定期的な運動	→	1 週3日以上している	2 週2日以下だがしている	3 ほとんどしていない	
⑥ 睡眠	→	1 よく眠れている	2 まあまあ眠れている	3 眠れない	

問 18 現在、自分の歯は何本ありますか。〈さし歯は含む。入れ歯は除く。〉(1つに○)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 なし    | 2 10本未満 |
| 3 20本未満 | 4 20本以上 |

問 19 歯や歯ぐきに関する事で気になる症状はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 歯に水などがしみる    | 2 歯がずきずき痛む      |
| 3 歯がぐらぐらする     | 4 歯ぐきから出血する     |
| 5 歯に食べ物がつまりやすい | 6 物がよくかめない      |
| 7 口臭が気になる      | 8 義歯(入れ歯等)が合わない |
| 9 その他( )       | 10 症状は特にない      |

問 20 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに○)

- |       |          |
|-------|----------|
| 1 受けた | 2 受けていない |
|-------|----------|

問 21 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに○)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 大変感じる → 問21-1へ | 2 少し感じる → 問21-1へ |
| 3 あまり感じない → 問22へ | 4 全く感じない → 問22へ  |

問 21-1 問21で「1 大変感じる」「2 少し感じる」と答えた方におきまします。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1 睡眠や休養        | 2 テレビや読書    |
| 3 家族の団らん       | 4 友人、知人との交流 |
| 5 旅行           | 6 買い物       |
| 7 食事           | 8 趣味        |
| 9 スポーツや体を動かすこと | 10 その他( )   |
| 11 特にはない       |             |

問 25 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 がんや高血圧にならないための工夫について |
| 2 望ましい食生活について          |
| 3 運動の方法について            |
| 4 健康診断の内容や受け方について      |
| 5 ねたきりの予防について          |
| 6 歯の健康について             |
| 7 認知症の予防について           |
| 8 その他( )               |

問 26 老後の生活でどのようなことが不安ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1 自分や家族の健康に関する事 | 2 入付き合いに関する事 |
| 3 家計に関する事       | 4 家族のこと      |
| 5 家や財産のこと       | 6 仕事のこと      |
| 7 住まいのこと        | 8 その他( )     |
| 9 特に不安や悩みはない    |              |

問 27 生活の備えとしていくらかの預貯金額(銀行・郵便局等の口座の預貯金や手元で管理されている現金等を合わせた金額)がありますか。(1つに○)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 100万円未満          | 2 100万~200万円未満     |
| 3 200万~300万円未満     | 4 300万~500万円未満     |
| 5 500万~1,000万円未満   | 6 1,000万~2,000万円未満 |
| 7 2,000万~3,000万円未満 | 8 3,000万~5,000万円未満 |
| 9 5,000万円以上        | 10 預貯金はほとんどない      |
| 11 不明              |                    |

問 22 現在、病気がけがで医療機関にかかっていますか。〈往診、訪問診療を含む。〉(1つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 かかっている → 問22-1へ | 2 かかっていない → 問23へ |
|-------------------|------------------|

問 22-1 問22で「1 かかっている」と答えた方におきまします。現在、治療中の病気すべてに○をつけてください。

- |              |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| 1 高血圧症       | 2 心臓病     | 3 糖尿病     |
| 4 脂質異常(高脂血症) | 5 呼吸器疾患   | 6 胃腸疾患    |
| 7 肝疾患        | 8 腎疾患     | 9 眼疾患     |
| 10 耳鼻科疾患     | 11 皮膚疾患   | 12 骨粗しょう症 |
| 13 泌尿器科疾患    | 14 整形外科疾患 | 15 脳血管疾患  |
| 16 悪性新生物(がん) | 17 痛風     | 18 精神疾患   |
| 19 歯周疾患      | 20 その他( ) |           |

問 23 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心 |
| 2 緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心      |
| 3 自分に合う医療機関がない                |
| 4 医療機関に関する情報が少なく困る            |
| 5 待ち時間が長い                     |
| 6 通うのが不便である                   |
| 7 医療機関内での移動に困っている             |
| 8 その他( )                      |

問 24 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 テレビ・ラジオ          | 2 新聞記事・本        |
| 3 医師や医療関係者         | 4 市の広報紙         |
| 5 市の職員(保健師・管理栄養士等) | 6 健康福祉センター(保健所) |
| 7 インターネット          | 8 その他( )        |

## 社会参加等について

問 28 社会参加について、おたずねします。①から⑩までの各問についてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

社会参加について	はい	いいえ
① 年金などの書類が書けますか	1	2
② 新聞を読んでいますか	1	2
③ 本や雑誌を読んでいますか	1	2
④ 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
⑤ 友人の家を訪ねていますか	1	2
⑥ 家族や友人の相談にのっていますか	1	2
⑦ 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか	1	2
⑧ 病人を見舞うことができますか	1	2
⑨ 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2
⑩ ボランティア活動をしていますか	1	2

問 29 どのような地域活動に参加していますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                       |
|-----------------------|
| 1 祭り・行事               |
| 2 自治会・町内会             |
| 3 サークル・自主グループ(住民グループ) |
| 4 老人クラブ               |
| 5 その他( )              |

問 30 以下のような地域活動に参加していますか。それぞれ「参加している」「今後参加したい」「参加したくない」「わからない」から1つ選んで番号に○をつけてください。

	参加している	今後参加したい	参加したくない	わからない
集会所などでの交流				
① 仲間同士でお茶を飲んだり、話をしたりする場	1	2	3	4
軽スポーツ				
② 球技、ウォーキングなど運動を楽しむ場	1	2	3	4

③ <b>ものづくりの場</b> 農産物の加工や工芸などを行う場	1	2	3	4
④ ボランティア活動	1	2	3	4
⑤ 公民館活動	1	2	3	4

問 31 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1 家族との団らん (団らん:一緒に食事をしたり、会話をしたりすること)	
2 趣味、スポーツ、運動	3 公民館での学習、講座
4 ボランティア活動	5 近隣、友人とのつきあい
6 地域活動	7 信仰
8 ペットとのふれあい	9 若い人との交流
10 仕事	
11 その他 ( )	
12 特にない	

問 32 (ご家族等と同居しておられる方のみお答えください。) 平日の家族等との団らんの時間がどれぐらいありますか。(1つに○)

1 30分未満	2 30分～1時間未満
3 1～2時間未満	4 2時間以上
5 まったくない	

問 33 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みを誰(どこ)に相談していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 同居の家族	2 別居の子ども、親族など
3 友人、隣近所の人	4 医療機関の医師や看護師
5 市の保健師・管理栄養士	6 福祉総合相談センター
7 ボランティアグループ	8 民生委員・児童委員
9 市役所の窓口	10 社会福祉協議会の窓口
11 その他 ( )	12 相談相手はいない

## 介護保険について

問 34 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていましたか。(知っていたものすべての番号に○をつけてください。)

1 在宅でホームヘルパーや訪問看護、リハビリなどを受けるサービス
2 デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス
3 地域の中で、体の状況などに合わせて入所したり通ったりして受けるサービス
4 認知症が進んできたときに受けるサービス
5 29人以下の小規模な入所施設サービス
6 特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所サービス
7 有料老人ホーム等の介護付きの施設で受けるサービス
8 福祉用具や住宅改修などの貸与・購入等のサービス
9 介護保険の利用方法を相談したり、健康で過ごすための助言を受けるサービス

問 35 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

1 家族などを中心に自宅で介護してほしい
2 介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい
3 介護付きの生活施設に入所したい
4 グループホーム(認知症高齢者が共同で生活する施設)などで共同で生活したい
5 地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせて利用したい
6 老人保健施設(老健)や特別養護老人ホーム(特養)に入所したい
7 病院・診療所などに入院(入所)したい
8 わからない・何とも言えない
9 その他 ( )

問 36 今後、平成 27 年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

1 保険料が高くなって、サービスの質と量を充実させてほしい
2 保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ
3 保険料もサービスも全国平均レベルをめぐすべきだ
4 わからない
5 その他 ( )

## 今後の高齢者施策について

問 37 次に挙げる保健福祉サービスについて、ご存知かどうか、また利用の状況や意向をおききます。各問、「知っていましたか」の1または2、「利用状況・意向」の1～4の該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	知っていましたか(1つに○)		利用状況・意向(1つに○)				
	知っていた	知らなかった	に利用している	現在または過去に利用したい	困るようにならない	利用したくない	わからない
① 健康手帳	1	2	1	2	3	4	
② 総合検診やがん検診など 健康診査(集団・施設)、胃がん検診など	1	2	1	2	3	4	
③ 健康相談・栄養相談	1	2	1	2	3	4	
④ 健康教室 健康出前講座	1	2	1	2	3	4	
⑤ 健康教室 「おいしい健康教室」・「長生き健康教室」・「しらかば会」など	1	2	1	2	3	4	
⑥ 訪問指導 保健師、管理栄養士が家庭を訪問し、対象者の健康管理や家族へのアドバイスをを行う	1	2	1	2	3	4	
⑦ はり・きゅう・マッサージ施術利用券の交付	1	2	1	2	3	4	
⑧ 予防接種 高齢者等インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌	1	2	1	2	3	4	
⑨ 緊急通報システムの設置 一人暮らしで急病や発作が心配な高齢者等が、ボタンを押すだけで受信センターに通報されるシステム	1	2	1	2	3	4	
⑩ ひまわり配食サービス 食事の調理が困難な高齢者に栄養バランスに配慮した夕食を届け、安否確認を行う	1	2	1	2	3	4	

	知っていましたか(1つに○)		利用状況・意向(1つに○)				
	知っている	知らなかった	利用している	現在又は過去に利用したい	困るようにならない	利用したくない	わからない
⑪ 介護予防デイサービス デイサービスセンター等で一日過ごし、入浴、食事、日常動作訓練を通じて要介護状態になることを予防	1	2	1	2	3	4	
⑫ 生活支援ホームヘルプサービス 在宅で日常生活に支障のある方にホームヘルパーを派遣し、買い物、居室清掃等の家事援助を行う	1	2	1	2	3	4	
⑬ 生活支援ショートステイ 在宅の高齢者が要介護状態になることを予防し、生活習慣改善のため一時的に施設(特別養護老人ホーム等)入所	1	2	1	2	3	4	
⑭ 家族介護教室 介護方法や介護予防等の知識、技術習得	1	2	1	2	3	4	
⑮ 家族介護支援交流事業 「在宅介護者のつどい」在宅高齢者を介護している家族の心身のリフレッシュを図るための介護者相互の交流会	1	2	1	2	3	4	
⑯ 認知症家族介護支援事業 認知症高齢者を介護する家族同士の意見交換会や、認知症についての講習会を開催し、介護者の精神的な負担の軽減及び介護の知識や技術の向上を図る	1	2	1	2	3	4	
⑰ 介護用品の支給 紙おむつや尿取りパットの支給	1	2	1	2	3	4	
⑱ 福祉総合相談センター 無料の24時間相談窓口(訪問・相談、福祉サービスや介護用品の紹介、介護保険の説明手続き代行、生活支援サービスの紹介等)	1	2	1	2	3	4	





## 住まいについて

問7 住まいの状況についておたずねします。①から⑦までの各問についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

住まい	選択肢
① お住まいは一戸建て、または共同住宅のどちらですか	1 一戸建て      2 共同住宅
② お住まいは、次のどれにあたりますか	1 持家      2 民間賃貸住宅 3 公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅） 4 貸間      5 その他（      ）
③ お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか	1 はい      2 いいえ
④ <u>②で2～4と回答された方（賃貸の方）におかがいします。家賃はいくらくらいですか</u>	1 3万円未満      2 3万円～4万円未満 3 4万円～5万円未満      4 5万円～7万円未満 5 7万円以上
⑤ 老後の生活を送る上で、住まいをどのようにしたいと思えますか	1 今住んでいる家に引き続き生活する 2 段差をなくすなど、現在の家を改修して生活する 3 公営の賃貸住宅で生活する 4 民間の賃貸住宅で生活する 5 ケアハウス・有料老人ホームなど介護付きの住宅で生活する
⑥ <u>⑤で3～5と回答された方におうかがいします。家賃はいくらくらい支払えると思えますか</u>	1 3万円未満      2 3万円～4万円未満 3 4万円～5万円未満      4 5万円～7万円未満 5 7万円以上
⑦ あなたは、老後を過ごすためには一戸建てと共同住宅ではどちらのほうが生活しやすいと思えますか	1 一戸建て 2 共同住宅 3 どちらも言えない

問10 あなたの生活習慣についておたずねします。(①～⑥のそれぞれについて、1つに〇)

① たばこ	→	1 吸わない	2 吸っていたがやめた	3 吸う（1日10本未満）	4 吸う（1日10本以上）
② お酒・アルコール	→	1 飲まない	2 時々飲む	3 毎日飲む（1～2合）	4 毎日飲む（3合以上）
③ 規則的な食事	→	1 している	2 ある程度	3 していない	
④ 一日の味噌汁	→	1 ほとんど飲まない	2 1～2杯	3 3杯以上	
⑤ 定期的な運動	→	1 週3日以上している	2 週2日以下だがしている	3 ほとんどしていない	
⑥ 睡眠	→	1 よく眠れている	2 まあまあ眠れている	3 眠れない	

問11 現在、自分の歯は何本ありますか。(さし歯は含む。入れ歯は除く。)(1つに〇)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 なし    | 2 10本未満 |
| 3 20本未満 | 4 20本以上 |

問12 歯や歯ぐきに関することで気になる症状はありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 歯に水などがしみる    | 2 歯がずきずき痛む      |
| 3 歯がぐらぐらする     | 4 歯ぐきから出血する     |
| 5 歯に食べ物がつまりやすい | 6 物がよくかめない      |
| 7 口臭が気になる      | 8 義歯（入れ歯等）が合わない |
| 9 その他（      ）  | 10 症状は特にない      |

問13 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに〇)

- |       |          |
|-------|----------|
| 1 受けた | 2 受けていない |
|-------|----------|

## 健康の状況や意識等について

問8 あなたは現在、「健康」だと思いますか。(1つに〇)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 そう思う    | 2 ややそう思う   |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問9 普段、健康の維持・増進に気をつけていますか。(1つに〇)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 気をつけている → 問9-1へ | 2 気をつけていない → 問10へ |
|-------------------|-------------------|

問9-1 問9で「1 気をつけている」と答えた方におききます。何に気をつけていますか。(あてはまる番号すべてに〇)

- |                 |
|-----------------|
| 1 健康診断などの定期的な受診 |
| 2 休養や睡眠         |
| 3 規則正しい生活       |
| 4 栄養のバランスのとれた食事 |
| 5 酒やタバコ         |
| 6 歯のケア          |
| 7 定期的な運動        |
| 8 その他（      ）   |

問14 普段の生活でストレスを感じますか。(1つに〇)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 大変感じる → 問14-1へ | 2 少し感じる → 問14-1へ |
| 3 あまり感じない → 問15へ | 4 全く感じない → 問15へ  |

問14-1 問14で「1 大変感じる」「2 少し感じる」と答えた方におききます。ストレスを解消したり、心の健康を維持したりするために実行していることがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| 1 睡眠や休養                        | 2 テレビや読書       |
| 3 家族の団らん（一緒に食事をしたり、会話をしたりすること） |                |
| 4 友人、知人との交流                    |                |
| 5 旅行                           | 6 買い物          |
| 7 食事                           | 8 趣味           |
| 9 スポーツや体を動かすこと                 | 10 その他（      ） |
| 11 特にはない                       |                |

問15 現在、病気やけがで医療機関にかかっていますか。(往診、訪問診療を含む。)(1つに〇)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 かかっている → 問15-1へ | 2 かかっていない → 問16へ |
|-------------------|------------------|

問15-1 問15で「1 かかっている」と答えた方におききます。現在、治療中の病気すべてに〇をつけてください。

- |              |                |           |
|--------------|----------------|-----------|
| 1 高血圧症       | 2 心臓病          | 3 糖尿病     |
| 4 脂質異常（高脂血症） | 5 呼吸器系疾患       | 6 胃腸疾患    |
| 7 肝疾患        | 8 腎疾患          | 9 眼疾患     |
| 10 耳鼻科疾患     | 11 皮膚疾患        | 12 骨粗しょう症 |
| 13 泌尿器科疾患    | 14 整形外科疾患      | 15 脳血管疾患  |
| 16 悪性新生物（がん） | 17 痛風          | 18 精神疾患   |
| 19 歯周疾患      | 20 その他（      ） |           |

問 16 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 健康状態の相談や診察をしてもらう医療機関があるので安心 |
| 2 緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心      |
| 3 自分に合う医療機関がない                |
| 4 医療機関に関する情報が少なく困る            |
| 5 待ち時間が長い                     |
| 6 通うのが不便である                   |
| 7 医療機関内での移動に困っている             |
| 8 その他 ( )                     |

問 17 健康維持や健康づくりなどに関する情報はどこから得ていますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 テレビ・ラジオ          | 2 新聞記事・本        |
| 3 医師や医療関係者         | 4 市の広報紙         |
| 5 市の職員(保健師・管理栄養士等) | 6 健康福祉センター(保健所) |
| 7 インターネット          | 8 その他 ( )       |

問 18 健康について主に知りたいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 がんや高血圧にならないための工夫について |
| 2 望ましい食生活について          |
| 3 運動の方法について            |
| 4 健康診断の内容や受け方について      |
| 5 ねたきりの予防について          |
| 6 歯の健康について             |
| 7 認知症の予防について           |
| 8 その他 ( )              |

問 19 老後の生活でどのようなことが不安ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 自分や家族の健康に関すること | 2 人付き合いに関すること |
| 3 家計に関すること       | 4 家族のこと       |
| 5 家や財産のこと        | 6 仕事のこと       |
| 7 住まいのこと         | 8 その他 ( )     |
| 9 特に不安や悩みはない     |               |

問 20 あなたは、健康や福祉についての不安や悩みを誰(どこ)に相談していますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 同居の家族       | 2 別居の子ども、親族など |
| 3 友人、隣近所の人    | 4 医療機関の医師や看護師 |
| 5 市の保健師・管理栄養士 | 6 福祉総合相談センター  |
| 7 ボランティアグループ  | 8 民生委員・児童委員   |
| 9 市役所の窓口      | 10 社会福祉協議会の窓口 |
| 11 その他 ( )    | 12 相談相手はいない   |

問 21 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 仕事         | 2 家族の団らん      |
| 3 趣味、スポーツ、運動 | 4 公民館での学習、講座  |
| 5 ボランティア活動   | 6 近隣、友人とのつきあい |
| 7 地域活動       | 8 信仰          |
| 9 ペットとのふれあい  | 10 若い人との交流    |
| 11 その他 ( )   | 12 特になし       |

問 22 (ご家族等と同居しておられる方のみお答えください。) 平日の家族等との団らんの時間がどれくらいありますか。(1つに○)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 30分未満   | 2 30分～1時間未満 |
| 3 1～2時間未満 | 4 2時間以上     |
| 5 まったくない  |             |

## 社会参加について

問 23 社会参加について、おたずねします。①から⑨までの各問についてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

社会参加について	はい	いいえ
① 新聞を読んでいますか	1	2
② 本や雑誌を読んでいますか	1	2
③ 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
④ 友人の家を訪ねていますか	1	2
⑤ 家族や友人の相談にのっていますか	1	2
⑥ 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか	1	2
⑦ 病人を見舞うことができますか	1	2
⑧ 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2
⑨ ボランティア活動をしていますか	1	2

問 24 以下のような地域活動に参加していますか。それぞれ「参加している」「今後参加したい」「参加したくない」「わからない」から1つ選んで番号に○をつけてください。

	参加している	今後参加したい	参加したくない	わからない
<b>集会所などでの交流</b>				
① 仲間同士でお茶を飲んだり、話をしたりする場	1	2	3	4
<b>軽スポーツ</b>				
② 球技、ウォーキングなど運動を楽しむ場	1	2	3	4
<b>ものづくりの場</b>				
③ 農産物の加工や工芸などを行う場	1	2	3	4
<b>ボランティア活動</b>				
④ ボランティア活動	1	2	3	4
<b>公民館活動</b>				
⑤ 公民館活動	1	2	3	4
<b>その他</b>				
⑥ その他 ( )	1	2	3	4

## 介護保険について

問 25 介護保険で次のようなサービスが受けられることを知っていましたか。  
(知っていたものすべての番号に○をつけてください。)

- |  |
|--|
| 1 在宅でホームヘルパーや訪問看護、リハビリなどを受けるサービス       |
| 2 デイサービスなど施設へ出かけて受けるサービス               |
| 3 地域の中で、体の状況などに合わせ入所したり通ったりして受けるサービス   |
| 4 認知症が進んできたときに受けるサービス                  |
| 5 夜間の訪問によるホームヘルプサービス                   |
| 6 29人以下の小規模な入所施設サービス                   |
| 7 特別養護老人ホーム(特養)や老人保健施設(老健)などの入所サービス    |
| 8 老人ホーム等の介護付きの施設で受けるサービス               |
| 9 福祉用具や住宅改修などの貸与・購入等のサービス              |
| 10 介護保険の利用方法を相談したり、健康で過ごすための助言を受けるサービス |

問 26 今後、もしご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つに○)

- |  |
|--|
| 1 家族などを中心に自宅で介護してほしい                                     |
| 2 介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい                    |
| 3 介護付きの生活施設に入所したい  |
| 4 グループホーム(認知症高齢者が共同で生活する施設)などで共同で生活したい                   |
| 5 地域の小規模な施設で、家族の生活や農繁期など季節や事情に合わせて入所し、在宅サービスと組み合わせて利用したい |
| 6 老人保健施設や特別養護老人ホームに入所したい                                 |
| 7 病院・診療所などに入院(入所)したい                                     |
| 8 わからない・何とも言えない  |
| 9 その他 ( )  |

問 27 今後、平成27年度に介護保険料が改定される予定となっていますが、介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 保険料が高くなって、サービスの質と量を充実させてほしい |
| 2 保険料が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべきだ  |
| 3 保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ     |
| 4 わからない                       |
| 5 その他 ( )                     |

## 今後の高齢者施策について

問 28 次に挙げる保健福祉サービスについて、ご存知かどうか、また利用の状況や意向をおききします。各問、「知っていましたか」の1または2、「利用状況・意向」の1～4の該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	知っていましたか(1つに○)		利用状況・意向(1つに○)			
	知っている	知らなかった	現在または過去に利用している	困るようにならない	利用したくない	わからない
① 健康手帳	1	2	1	2	3	4
② 特定健康診査やがん検診など 特定健診(集団・施設)、胃がん検診など	1	2	1	2	3	4
③ 健康相談・栄養相談	1	2	1	2	3	4
④ 健康教室 健康出前講座	1	2	1	2	3	4
⑤ 健康教室 「おいしい健康教室」・「長生き健康教室」など	1	2	1	2	3	4
⑥ 訪問指導 保健師、管理栄養士が家庭を訪問し、対象者の健康管理や家族へのアドバイスをを行う	1	2	1	2	3	4
⑦ はり・きゅう・マッサージ施術利用券の交付	1	2	1	2	3	4
⑧ 予防接種 高齢者等インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌	1	2	1	2	3	4
⑨ 緊急通報システムの設置 一人暮らしで急病や発作が心配な高齢者宅が、ボタンを押すだけで受信センターに連絡されるシステム	1	2	1	2	3	4
⑩ 日常生活用具の給付・貸与 一人暮らしの高齢者等に日常生活用具(火災警報機、自動消火器)を給付	1	2	1	2	3	4

	知っていましたか(1つに○)		利用状況・意向(1つに○)			
	知っている	知らなかった	現在又は過去に利用している	困るようにならない	利用したくない	わからない
⑪ 介護予防デイサービス デイサービスセンター等で一日過ごし、入浴、食事、日常動作訓練を通じて要介護状態になることを予防	1	2	1	2	3	4
⑫ 生活支援ホームヘルプサービス 在宅で日常生活に支障のある方にホームヘルパーを派遣し、買い物、居室清掃等の家事援助を行う	1	2	1	2	3	4
⑬ 生活支援ショートステイ 在宅の高齢者が要介護状態になることを予防し、生活習慣改善のため一時的に施設(特別養護老人ホーム等)入所	1	2	1	2	3	4
⑭ 家族介護教室 介護方法や介護予防等の知識、技術習得	1	2	1	2	3	4
⑮ 家族介護支援交流事業 「在宅介護者のつどい」在宅高齢者を介護している家族の心身のリフレッシュを図るための介護者相互の交流会	1	2	1	2	3	4
⑯ 認知症家族介護支援事業 認知症高齢者を介護する家族同士の意見交換会や、認知症についての講習会を開催し、介護者の精神的な負担の軽減及び介護の知識や技術の向上を図る	1	2	1	2	3	4
⑰ 介護用品の支給 紙おむつや尿取りパットの支給	1	2	1	2	3	4
⑱ 福祉総合相談センター 無料の24時間相談窓口(訪問・相談、福祉サービスや介護用品の紹介、介護保険の説明手続き代行、生活支援サービスの紹介等)	1	2	1	2	3	4

問 29 国においては、日常生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 24時間対応の在宅医療の充実
2 訪問看護やリハビリテーションの充実強化
3 特別養護老人ホーム等の施設整備
4 24時間対応の在宅サービスの強化
5 介護状態にならないための予防の充実
6 自立を支援する介護サービスの実施
7 一人暮らしや高齢夫婦世帯などへの地域の見守り等の充実
8 持ち家のバリアフリー化の推進
9 高齢者住宅等の整備、誘致
10 身近な総合相談窓口
11 その他( )

問 30 今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスについて、利用したいと思いませんか。(それぞれ「利用したい」「利用したくない」「わからない」から選んで1つに○をつけてください。)

サービスの種類	利用したい	利用したくない	わからない
① 筋力向上トレーニング 転倒や骨折を防ぐために行うトレーニングマシンなどでの筋力トレーニング	1	2	3
② 認知症予防教室 認知症を予防するために行うパソコン・園芸・料理などの教室	1	2	3
③ 低栄養予防教室 高齢者料理教室など	1	2	3
④ 口腔ケア 歯ブラシ、義歯の手入れの指導	1	2	3
⑤ 転倒予防教室 転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室	1	2	3

問 31 以下の高齢者施策は、どの程度重要と考えますか。(それぞれ「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」「重要でない」から1つを選んでください。)

高齢者施策	とても重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
① 安心して受けられる介護サービス	1	2	3	4
② 気軽に受けられる掃除、洗濯、買い物、調理等の日常生活の援助(家事援助など)	1	2	3	4
③ 通院介助等の移送サービス	1	2	3	4
④ 健康維持のための教室	1	2	3	4
⑤ 緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	1	2	3	4
⑥ 身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ	1	2	3	4
⑦ 経験をいかして就労やボランティアができるしくみ	1	2	3	4
⑧ 高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動	1	2	3	4
⑨ 住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	1	2	3	4
⑩ 身近な総合相談の窓口	1	2	3	4
⑪ 成年後見制度の利用支援	1	2	3	4

※ 「成年後見制度」は、判断能力の不十分な成年者(認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等)について、契約の締結などを本人に代わって行う代理人など、本人を援助する人を選任したり、本人が誤った判断に基づいて契約を締結した場合にそれを取り消すことができるようにするなど、これらの方を保護し、支援する制度です。

○上記以外の高齢者施策で重要と思うものや、その他ご意見等ございましたら、自由にご記入ください。


ご協力ありがとうございました。

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定  
に向けたアンケート調査

平素より保健福祉行政に対しまして格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、鴨川市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第6期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。

このアンケート調査は、そのために、介護保険の認定を受けられた方に、生活状況や福祉ニーズなどをお聞かせいただきたく実施するものです。

調査は無記名式であり、皆様からのお答えは全てコンピューターにより統計的に処理し、新計画策定以外の目的に使用することは決してございません。細かな内容までお聞きしている部分もありますが、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

鴨川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- この調査票は、原則として「あて名」のご本人がお答えください。  
**ただし、「あて名」の方が答えることが難しい場合には、ご家族やお世話をされている方が回答をお手伝いされるか、ご本人の立場に立って代わりにお答えください。**  
( \*鉛筆またはボールペンで記入してください。 )

- 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問により1つだけ選んでいただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)選んでいただくものがあります。また、「その他」とお答えの方は、後の( )内にその内容を具体的にお書きください。

内容を具体的に記述してください

例) ①

例) その他 ( )

- 答えたくないことや、わからないことは、無理に答えなくても構いません。**
- ご記入いただきました調査票は、**同封の専用返信用封筒に入れて、平成 26 年 1 月 20 日(月) までに、郵便ポストに投函してください。**

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。  
<連絡先>：鴨川市総合保健福祉会館(ふれあいセンター)内  
鴨川市 健康推進課 介護保険係 TEL：04-7093-7111

※途中の質問から回答せず、**最初から順番に回答**してください。ただし、介護サービスの利用場所(「居宅」・「施設」の別)、介護サービスの利用状況(利用の有無)、選択した回答の違いによって次に答える質問が順番を飛び越える箇所がありますので、設問の後にある誘導に従って進んでください。

年齢や性別等について

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 田原地区  | 2 東条地区  | 3 西条地区  |
| 4 鴨川地区  | 5 大山地区  | 6 吉尾地区  |
| 7 主基地区  | 8 江見地区  | 9 曾呂地区  |
| 10 太海地区 | 11 小湊地区 | 12 天津地区 |

問2 平成 26 年 1 月 1 日現在の年齢をお答えください。(1つに○)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 40～64歳 | 2 65～69歳 | 3 70～74歳 |
| 4 75～79歳 | 5 80～84歳 | 6 85～89歳 |
| 7 90～94歳 | 8 95歳以上  |          |

問3 性別をお答えください。(1つに○)

- |     |     |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問4 家族構成をお答えください。(1つに○)

- |               |
|---------------|
| 1 一人暮らし       |
| 2 家族などと同居     |
| 3 その他(施設入居など) |

■アンケートの対象の方が不在等で調査ができない場合は、その理由を次から1つ選んで○をつけてください。

《回答ができない場合の理由》

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 1 転出のため | 2 死亡のため | 3 その他 ( ) |
|---------|---------|-----------|

※なお、この設問にご回答された場合は、以下の質問に答える必要はありません。  
このまま同封の返信用封筒に入れ、ポストへ投函してください。  
(それ以外の方は「問1」へお進みください。)

問5 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

(ご家族などと同居されている方のみ) また、同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

人暮らし

- |            |
|------------|
| 1 配偶者      |
| 2 息子・娘     |
| 3 息子・娘の配偶者 |
| 4 孫        |
| 5 兄弟・姉妹    |
| 6 その他 ( )  |

問6 平成 26 年 1 月 1 日現在の要介護度は、次のどれですか。(1つに○)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 要支援 1 | 2 要支援 2 | 3 要介護 1 |
| 4 要介護 2 | 5 要介護 3 | 6 要介護 4 |
| 7 要介護 5 |         |         |

※現在、要介護度の変更申請を行っている等の理由で、要介護度が確定していない場合は、最近の要介護認定で認定された要介護度でお答えください。

問7 介護が必要になった原因は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 脳血管疾患(脳出血、脳梗塞等) | 2 心臓病             |
| 3 悪性新生物(がん)       | 4 呼吸器系疾患(肺気腫、肺炎等) |
| 5 関節疾患(リウマチ等)     | 6 認知症             |
| 7 パーキンソン病         | 8 糖尿病             |
| 9 視覚、聴覚障害         | 10 骨折・転倒          |
| 11 脊髄損傷           | 12 体力の低下          |
| 13 その他 ( )        | 14 不明             |

問8 現在、どの施設に入所していますか。(1つに○)

- |   |          |
|---|----------|
| 1 施設には入所していない                                       | → (問9へ)  |
| 2 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)                              | → (問26へ) |
| 3 介護老人保健施設 (老人保健施設)                                 | → (問26へ) |
| 4 介護療養型医療施設 (病院・診療所)                                | → (問26へ) |
| 5 特定施設入居者生活介護施設 (ケアハウス・有料老人ホーム)                     | → (問9へ)  |
| 6 認知症対応型共同生活介護施設 (グループホーム)                          | → (問9へ)  |
| 7 介護専用型特定施設 (29人以下のケアハウス・有料老人ホーム)                   | → (問9へ)  |
| 8 地域密着型介護老人福祉施設 (29人以下の特別養護老人ホーム)                   | → (問9へ)  |
| 9 介護保険対象外施設 (養護老人ホーム・ケアハウス・<br>有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅) | → (問9へ)  |

問9 近隣の医療機関について、どのように感じていますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 健康状態の相談や診察をしてもらい医療機関があるので安心 |
| 2 緊急時に対応してくれる医療機関があるので安心      |
| 3 自分に合う医療機関がない                |
| 4 医療機関に関する情報が少なく困る            |
| 5 待ち時間が長い                     |
| 6 通うのが不便である                   |
| 7 医療機関内での移動に困っている             |
| 8 その他 ( )                     |

問10 あなたは医療機関に、どのような交通手段で通っていますか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 バス・電車で行く             |
| 2 タクシーで行く (*介護タクシーを含む) |
| 3 家族に送ってもらう            |
| 4 自分で車を運転して行く          |
| 5 自転車で行く               |
| 6 歩いて行く                |
| 7 その他 ( )              |

問15 日常生活全般を通して何か不安を感じていますか。(1つに○)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1 感じている     | → 問15-1へ |
| 2 どちらとも言えない | → 問16へ   |
| 3 感じていない    | → 問16へ   |

問15-1 問15で「1 感じている」と答えた方におきます。  
どのようなことに不安を感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 健康のこと                  |
| 2 物忘れすること                |
| 3 頼れる人がいないこと             |
| 4 生活するための収入や生活費のこと       |
| 5 土地・家屋等の財産管理のこと         |
| 6 日常的な金銭管理のこと            |
| 7 災害等に巻き込まれること           |
| 8 住まいのこと                 |
| 9 社会保障のしくみ (年金・医療保険) のこと |
| 10 自炊できなくなること            |
| 11 通院できなくなること            |
| 12 買い物に行けなくなること          |
| 13 その他 ( )               |

問16 現在の心の支えや楽しみは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |   |               |
|---|---------------|
| 1 家族との団らん<br>(団らん：一緒に食事をしたり、会話をしたりすること) |               |
| 2 趣味、スポーツ、運動                            | 3 公民館での学習、講座  |
| 4 ボランティア活動                              | 5 近隣、友人とのつきあい |
| 6 地域活動                                  | 7 信仰          |
| 8 ペットとのふれあい                             | 9 若い人との交流     |
| 10 仕事                                   |               |
| 11 その他 ( )                              |               |
| 12 特になし                                 |               |

問11 この1年間に歯科医院で健診や治療を受けましたか。(1つに○)

- |       |          |
|-------|----------|
| 1 受けた | 2 受けていない |
|-------|----------|

問12 ご家庭で主に介護をされている方はどなたですか。(1つに○)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 配偶者     | 2 娘・息子        |
| 3 嫁・婿     | 4 兄弟・姉妹       |
| 5 その他の親族  | 6 介護サービス提供事業者 |
| 7 その他 ( ) |               |

問13 ご家庭で主に介護をされている方の年代は、次のどれですか。(1つに○)

- |         |        |         |
|---------|--------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代  |
| 4 40歳代  | 5 50歳代 | 6 60歳代  |
| 7 70歳代  | 8 80歳代 | 9 90歳以上 |

問14 ご家庭で主に介護をされている方の健康状態はいかがですか。(1つに○)

- |                |
|----------------|
| 1 健康           |
| 2 持病はあるがおおむね健康 |
| 3 病気がち         |

## 居宅サービスの利用状況について

問17 現在、居宅サービスを利用していますか。(1つに○)

- |                         |          |
|-------------------------|----------|
| 1 利用している                | → 問18へ   |
| 2 以前は利用していたが、現在は利用していない | → 問17-1へ |
| 3 まだ利用したことはない           | → 問17-1へ |

問17-1 問17で「2」または「3」と答えた方におきます。居宅サービスを現在利用していない主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 家族の介護だけで十分であり、サービスを利用する必要がないから |
| 2 自分が希望する居宅サービスを受けられそうもないから      |
| 3 施設サービスを希望しており、施設が空くのを待っているから   |
| 4 現在病院などに入院しているから                |
| 5 サービスの利用方法がわからなかったから            |
| 6 居宅サービスを利用したいが自己負担が高いから         |
| 7 以前にサービスを利用したが、満足できる内容ではなかったから  |
| 8 現在は介護を必要とする状態にないから             |
| 9 その他 ( )                        |

◎《居宅サービスを利用していない方は、次は→14ページの問26(施設サービスについての質問)へ進んでください。施設サービスも利用していない(入所していない)方は、問32へ。》

問18 「最初に居宅サービスを受けるようになったとき」と「現在」を比べて、サービス利用の際に負担する金額は変わりましたか。(1つに○)

- |             |
|-------------|
| 1 最初よりも下がった |
| 2 最初よりも上がった |
| 3 変わらない     |

問19 「最初に居宅サービスを受けるようになったとき」と「現在」を比べて、利用するサービスの種類や量は変わりましたか。(1つに○)

- |            |
|------------|
| 1 最初よりも増えた |
| 2 最初よりも減った |
| 3 変わらない    |

問 20 ケアマネジャー（ケアプラン作成事業者）に対して希望や意見を伝えることができますか。（1つに○）

- 1 気軽にこちらの希望や意見に応じてくれる
- 2 どちらかというと希望や意見に応じてくれる
- 3 あまり希望や意見に応じてくれない
- 4 ほとんど希望や意見に応じてくれない

問 21 希望どおりのケアプランができていますか。（1つに○）

- 1 希望どおりのケアプランができています
- 2 ほぼ希望する内容に沿ったケアプランができています
- 3 あまり希望どおりにならなかった
- 4 希望していた内容とは違うものとなった
- 5 その他（ ）

問 22 サービスの利用にあたって「利用限度額」が決められていますが、現在、どの程度利用されていますか。（1つに○）

- 1 利用限度額いっぱいまでサービスを利用している → 問 23へ
- 2 利用限度額を超えて（自己負担により）サービスを利用している → 問 23へ
- 3 利用限度額まではサービスを利用していない → 問 22-1へ

※「利用限度額」とは、1か月に1割負担で利用できるサービスの限度額です。

問 22-1 問 22 で「3 利用限度額まではサービスを利用していない」と答えた方におききます。利用限度額までサービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- 1 利用者負担が大きいため
- 2 現在利用しているサービスで十分だから
- 3 希望する曜日や時間帯に利用できないから
- 4 その他（ ）

問 23 介護サービスを受けて良かったと思うことは何ですか。（3つまでに○）

- 1 家族に対する気兼ねが減った
- 2 家族が楽になった
- 3 外出の機会が増えた
- 4 人と話す機会が増えた
- 5 自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた
- 6 体調が良くなった
- 7 良かったと思うことは特にない
- 8 その他（ ）

### 居宅サービスの満足度について

問 24 現在利用している居宅サービスに○をつけ、さらに該当するそれぞれのサービスの「満足度」に1つ○をつけてください。（\*①から②に進み、②で「不満」に○をした場合は、さらに③のあてはまる理由すべてに○をつけてください。利用していないサービスについては、回答の必要はありません。）

①利用している 居宅サービスに○をつける	②サービスの満足度			③不満な理由					
	満足	普通	不満 (右の「理由」に○をつける)	③不満な理由					
				利用できない回数(量)が	希望する曜日や時間帯	が悪いから	事業者や担当者の対応と違うから	サービスの内容が契約から	初思っていたより高い
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3	1	2	3	4	5	6
訪問入浴介護	1	2	3	1	2	3	4	5	6
訪問看護	1	2	3	1	2	3	4	5	6
訪問リハビリテーション	1	2	3	1	2	3	4	5	6
居宅療養管理指導	1	2	3	1	2	3	4	5	6
通所介護(デイサービス)	1	2	3	1	2	3	4	5	6

①利用している 居宅サービスに○をつける	②サービスの満足度			③不満な理由					
	満足	普通	不満 (右の「理由」に○をつける)	③不満な理由					
				利用できない回数(量)が	希望する曜日や時間帯	が悪いから	事業者や担当者の対応と違うから	サービスの内容が契約から	初思っていたより高い
通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	1	2	3	4	5	6
ショートステイ(特別養護老人ホーム等)	1	2	3	1	2	3	4	5	6
ショートステイ(老人保健施設・病院)	1	2	3	1	2	3	4	5	6
特定施設入居者生活介護(ケアハウス・有料老人ホーム)	1	2	3	1	2	3	4	5	6
福祉用具貸与	1	2	3	1	2	3	4	5	6
福祉用具購入費の支給	1	2	3	1	2	3	4	5	6
住宅改修費の支給	1	2	3	1	2	3	4	5	6
居宅介護支援・介護予防支援(ケアプラン作成)	1	2	3	1	2	3	4	5	6
認知症対応型通所介護	1	2	3	1	2	3	4	5	6
小規模多機能型居宅介護	1	2	3	1	2	3	4	5	6
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	3	1	2	3	4	5	6

※「③不満な理由」で「その他」に○をされた方はその具体的内容をお書きください。

不満なサービス： その理由：	不満なサービス： その理由：
-------------------	-------------------

問 25 各サービスについて今後の利用意向をおききます。（それぞれ1つに○）

	利用希望(1つに○)				
	現在利用しており今後も同じくらい利用したい	現在利用しており利用を増やしたい	現在利用していませんが今後利用したい	現在利用していませんが利用を減らしたい・やめたい	現在利用していませんが利用したい
① 訪問介護(ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5
② 訪問入浴介護	1	2	3	4	5
③ 訪問看護	1	2	3	4	5
④ 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
⑤ 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5
⑥ 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5
⑦ 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5
⑧ ショートステイ(特別養護老人ホーム等)	1	2	3	4	5
⑨ ショートステイ(老人保健施設・病院)	1	2	3	4	5
⑩ 特定施設入居者生活介護(ケアハウス・有料老人ホーム)	1	2	3	4	5
⑪ 福祉用具貸与	1	2	3	4	5
⑫ 福祉用具購入費の支給	1	2	3	4	5
⑬ 住宅改修費の支給	1	2	3	4	5
⑭ 居宅介護支援・介護予防支援(ケアプラン作成)	1	2	3	4	5
⑮ 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5
⑯ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5

	利用希望 (1つに○)				
	同じくらい利用したい	現在利用しており今後も利用を増やしたい	現在利用していないが今後利用したい	現在利用しているが利用を減らしたい・やめたい	現在利用してたくない
⑰ 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
⑱ 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
⑲ 複合型サービス (小規模多機能型居宅介護 + 訪問看護)	1	2	3	4	5
⑳ 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1	2	3	4	5
㉑ 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5
㉒ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2	3	4	5

※ 一問32へ

## 施設サービスの満足度について

※ 問26から問31までは、施設に入所している方だけが答えください。

問26 ご本人が、現在の施設に入所されてからの期間は、次のどれですか。(1つに○)

- 1 1年以内
- 2 1年～3年以内
- 3 3年～5年以内
- 4 5年超

問27 ご本人が現在入所している施設を選ぶ時に、どのようにして選びましたか。(2つまでに○)

- 1 自宅から近いから選んだ
- 2 市から提供された情報に基づいて選んだ
- 3 ケアマネジャー(介護支援専門員)の意見を参考にして選んだ
- 4 かかりつけの医師(医療機関)に相談して選んだ
- 5 知人にすすめられて選んだ
- 6 いくつかの施設から話を聞いたり、見たりして選んだ
- 7 新聞広告やパンフレットなど施設の案内を見て選んだ
- 8 その他 ( )

問28 ご本人は現在入所している施設のサービスに満足していますか。(1つに○)

- 1 満足している → 問29へ
- 2 ほぼ満足している → 問29へ
- 3 どちらとも言えない → 問29へ
- 4 やや不満である → 問28-1へ
- 5 不満である → 問28-1へ

問28-1 問28で「4 やや不満である」「5 不満である」と答えた方におきまします。施設サービスの不満な理由は何ですか。(3つまでに○)

- 1 はじめに説明された(契約した)内容と違う
- 2 介護や食事など計画の時間を守らない(遅れる、早く切り上げるなど)
- 3 おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある
- 4 介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい
- 5 介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない
- 6 施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い
- 7 入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない
- 8 食事の内容に不満がある(メニューや食事の温かさなど)
- 9 施設の建物や設備に不満がある(古い、狭い、使い勝手が悪いなど)
- 10 施設のある場所が市街地から遠く、交通の便が悪い
- 11 その他 ( )

問29 現在の施設の利用料についてどう感じていますか。(1つに○)

- 1 高すぎだと思う
- 2 ちょうど良いくらいだと思う
- 3 安すぎだと思う
- 4 わからない・何とも言えない
- 5 その他 ( )

問30 現在、どのような施設の居室で生活していますか。(1つに○)

- 1 個室で生活している
- 2 1部屋に数人で入居している
- 3 その他 ( )

問31 今後、どのような施設で生活したいと思いますか。(3つまでに○)

- 1 今のままで十分である
- 2 個室で生活したい
- 3 地域の小規模な特別養護老人ホーム(29人以下)等で生活したい
- 4 ケアハウスや有料老人ホームで介護を受けながら生活したい
- 5 自宅に戻って介護サービスを受けながら生活したい
- 6 病院に入院したい
- 7 その他 ( )

## 今後の介護や福祉の制度のあり方について

問32 あなたは、今後、次に挙げる介護予防のための保健福祉サービスについて、利用を希望しますか。(それぞれ「利用したい」「利用したくない」「わからない」から選んで1つに○をつけてください。)

サービスの種類	利用したい	利用したくない	わからない
筋力向上トレーニング ① 転倒や骨折を防ぐために行うトレーニングマシンなどでの筋力トレーニング	1	2	3
認知症予防教室 ② 認知症を予防するために行うパソコン・園芸・料理などの教室	1	2	3
低栄養予防教室 ③ 高齢者料理教室など	1	2	3
口腔ケア ④ 歯ブラシ、義歯の手入れの指導	1	2	3
転倒予防教室 ⑤ 転倒を予防するために行う、筋力、バランス、歩行能力を養う教室	1	2	3

問 33 今後、介護保険の保険料が、平成 27 年度に改定される予定となっています。介護保険のサービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1 保険料が高くなっても、サービスの質と量を充実させてほしい
- 2 保険料もサービスも全国平均レベルをめざすべきだ
- 3 保険料が高くなるから、現在のサービスの質と量だけでよい
- 4 わからない
- 5 その他 ( )

問 34 今の状態が続いた場合、今後の生活の中で、どのような介護を希望しますか。(1つに○)

- 1 家族などを中心に自宅で介護してほしい
- 2 介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい
- 3 介護付きの生活施設（ケアハウスなど）に入所したい
- 4 グループホーム（認知症高齢者が共同で生活する場所や施設）などで共同生活をしたい
- 5 老人保健施設（老健）や特別養護老人ホーム（特養）に入所したい
- 6 地域の小規模な施設を、事情に合わせて入所や、在宅サービスと組み合わせて利用したい
- 7 わからない・何とも言えない
- 8 その他 ( )

問 35 以下の高齢者施策は、どの程度重要だと考えますか。(それぞれ「とても重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」「重要でない」から1つ選んで○をつけてください。)

高齢者施策	とても重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
① 安心して受けられる介護サービス	1	2	3	4
② 気軽に受けられる掃除、洗濯、買い物、調理等の日常生活の援助（家事援助など）	1	2	3	4
③ 通院介助等の移送サービス	1	2	3	4
④ 健康維持のための教室	1	2	3	4
⑤ 緊急時などにも困らない医療・福祉サービス	1	2	3	4
⑥ 身近な地域でいろいろな趣味活動に参加できるしくみ	1	2	3	4
⑦ 経験をいかして就労やボランティアができるしくみ	1	2	3	4
⑧ 高齢者を地域で支える住民の見守り助け合い活動	1	2	3	4
⑨ 住みやすい住宅の整備推進や住宅確保支援	1	2	3	4
⑩ 成年後見制度の利用支援	1	2	3	4

※「成年後見制度」は、判断能力の不十分な成年人（認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等）について、契約の締結などを本人に代わって行う代理人など、本人を援助する人を選任したり、本人が誤った判断に基づいて契約を締結した場合に、それを取り消すことができるようにするなど、これらの方を保護し、支援する制度です。

○その他、上記以外の高齢者施策で重要と思うものがありましたら記入してください。

問 36 【在宅で介護している家族の方におきます。】国においては、日常生活圏域における総合的なケアシステムの充実を、今後の施策の中心として進めていく予定です。鴨川市として、次に挙げる対策のうちどの対策を優先すべきだと考えますか。①から⑨の各問について、「重要度」の形でお答えください。(それぞれ1つに○)

サービスの種類	大変重要	まあまあ重要	あまり重要でない	重要でない
① 24時間対応の在宅医療の充実	1	2	3	4
② 訪問看護やリハビリテーションの充実強化	1	2	3	4
③ 特別養護老人ホーム等の施設整備	1	2	3	4
④ 24時間対応の在宅サービスの強化	1	2	3	4
⑤ 要介護状態にならないための予防の充実	1	2	3	4
⑥ 自立を支援する介護サービスの実施	1	2	3	4
⑦ 一人暮らしや高齢夫婦世帯などへの地域の見守り等の充実	1	2	3	4
⑧ 持ち家のバリアフリー化の推進	1	2	3	4
⑨ 高齢者住宅等の整備、誘致	1	2	3	4

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました。

○その他、上記以外で重要と思うものがありましたら記入してください。

あなたの年齢や性別等についておうかがいします

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定  
に向けたアンケート調査

平素より、鴨川市の介護保険事業につきましてご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第6期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。

そこで、日頃ケアプランの作成を初めとして、介護保険制度の実施や高齢者支援に尽力をされているケアマネジャーの方々の業務状況等を把握して計画策定の基礎資料とするともに、今後の介護保険制度運営に反映させるため、アンケート調査を実施することになりました。

いただきましたお答えは全てコンピューターにより統計的に処理し、上記以外の目的には決して使用することはありませんので、お忙しいところ恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

鴨川市長 長谷川 孝夫

～ご記入にあたってのお願い～

- 調査は、平成 26 年 1 月 1 日現在でお答えください。  
(\*鉛筆またはボールペンで記入してください。)
- 質問には、1 つだけ回答していただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)回答していただくものがあります。
- 回答は、別に指示がある場合を除き、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
- 「その他」とお答えの方は、後の( ) 内にその内容を具体的に記入してください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の専用返信用封筒に入れて、平成 26 年 1 月 20 日(月) までに、郵便ポストに投函してください。

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。  
<連絡先>：鴨川市総合保健福祉会館(ふれあいセンター)内  
鴨川市 健康推進課 介護保険係 TEL：04-7093-7111

問 1 性別をお答えください。(1 つに○)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 2 現在の年齢をお答えください。(1 つに○)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 29歳以下  | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 |
| 4 50～59歳 | 5 60歳以上  |          |

問 3 介護保険のケアプランを立てる等の経験はどれくらいですか。(1 つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 1年未満     | 2 1年から3年未満 |
| 3 3年から5年未満 | 4 5年以上     |

問 4 業務形態は次のどれにあたりますか。(1 つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 常勤で専任  | 2 常勤で兼務  |
| 3 非常勤で専任 | 4 非常勤で兼務 |

問 5 何の資格をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 医師      | 2 歯科医師     |
| 3 薬剤師     | 4 保健師      |
| 5 看護師     | 6 介護福祉士    |
| 7 社会福祉士   | 8 ホームヘルパー  |
| 9 理学療法士   | 10 作業療法士   |
| 11 歯科衛生士  | 12 精神保健福祉士 |
| 13 その他( ) |            |

問 6 市外を含め月平均のケアプラン作成数はどのくらいですか。(1 つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 0～9件   | 2 10～19件 |
| 3 20～29件 | 4 30～39件 |
| 5 40～49件 | 6 50件以上  |

問 7 鴨川市で何人の要支援・要介護者のケアマネジメントを担当していますか。  
(平成 26 年 1 月 1 日現在の実数を記入)

予 防  人 介 護  人

問 8 日頃、ケアプランを作成する時に相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 職場・同僚のケアマネジャー  | 2 他事業所のケアマネジャー |
| 3 医師             | 4 サービス提供者      |
| 5 地域包括支援センターの担当者 | 6 市の介護保険担当者    |
| 7 その他( )         | 8 相談する人はいない    |

問 9 利用者やその家族からの苦情はありますか。(1 つに○)

- |               |
|---------------|
| 1 ある → 問 10 へ |
| 2 ない → 問 11 へ |

問 10 問 9 で「1 ある」と答えた方におききます。どのような内容でしたか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                  |
|------------------|
| 1 ケアプランの内容       |
| 2 サービスの不足        |
| 3 サービスの内容やサービスの質 |
| 4 サービス提供者の態度     |
| 5 利用者が負担する費用     |
| 6 要介護認定の結果       |
| 7 介護保険制度全般に関すること |
| 8 その他( )         |

問 11 (すべての方におききます。) ケアプランを作成する上で困ることはありますか。(1 つに○)

- |               |
|---------------|
| 1 ある → 問 12 へ |
| 2 ない → 問 14 へ |

問 12 問 11 で「1 ある」と答えた方におききます。ケアプラン作成上困ること  
は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 サービスが不足している (→ 問 13 へ)  |
| 2 希望事業者のサービスが提供できない       |
| 3 希望時間帯にサービスが提供できない       |
| 4 利用限度額以上のサービス希望がある       |
| 5 利用者負担があるため必要なサービス利用を控える |
| 6 利用者本人と家族の意向が合わない        |
| 7 利用者・家族と自分の意見が合わない       |
| 8 家族が遠方のため連絡がとりにくい        |
| 9 本人が独居などのため相談相手がない       |
| 10 他事業者の情報が不足している         |
| 11 主治医と連携がとれない            |
| 12 行政と連携がとれない             |
| 13 必要以上のサービスを要求される        |
| 14 その他( )                 |

※「1 サービスが不足している」に○をつけた方は問 13 へ、それ以外の方は問 14 へ進んでください。

問 13 問 12 で「1 サービスが不足している」と答えた方におききます。ケアプランの作成にあたり、利用者が要望しているにもかかわらず不足しているサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1 訪問介護                  | 2 訪問入浴介護       |
| 3 訪問看護                  | 4 訪問リハビリテーション  |
| 5 居宅療養管理指導              | 6 通所介護         |
| 7 通所リハビリテーション           | 8 短期入所生活介護     |
| 9 短期入所療養介護              | 10 特定施設入居者生活介護 |
| 11 福祉用具貸与               | 12 夜間対応型訪問介護   |
| 13 定期巡回・随時対応型訪問看護       |                |
| 14 認知症対応型通所介護           | 15 小規模多機能型居宅介護 |
| 16 認知症対応型共同生活介護         | 16 複合型サービス     |
| 17 地域密着型特定施設入居者生活介護     |                |
| 18 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |                |
| 19 その他 ( )              | 20 特になし        |

問 14 (すべての方におききます。)円滑な事業運営を進めていく上での問題点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 ケアプラン作成の事務量が多い        |
| 2 介護報酬請求の事務量が多い         |
| 3 介護報酬に結びつかない業務が多い      |
| 4 ケアプランの作成料が安い          |
| 5 ケアプランの変更が多すぎる         |
| 6 必要な情報が入手しにくい          |
| 7 アセスメントが十分行われていない      |
| 8 サービス担当者会議が開催しづらい      |
| 9 サービス事業者との連絡調整が図りづらい   |
| 10 住宅改修事業者等との連絡調整が図りづらい |
| 11 行政との連携を図ることが難しい      |
| 12 その他 ( )              |
| 13 特に問題を感じることはない        |

問 15 利用者や家族へは月平均どのくらいの頻度で訪問していますか。(1つに○)

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 1 月4回以上 | 2 月3回 | 3 月2回 |
| 4 月1回   |       |       |

問 16 サービス提供者との関係において問題があると感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 双方で打ち合わせをする時間が持たない      |
| 2 適切な情報提供をしてもらえない         |
| 3 利用者への説明にケアマネジャーとくい違いがある |
| 4 その他 ( )                 |
| 5 特に問題はない                 |

問 17 医療サービスの提供を検討する際に、かかりつけ医師とはどのように連絡をとっていますか。(最もよく使う連絡方法1つに○)

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 電話やFAX、電子メール | 2 面接      |
| 3 主治医意見書で確認    | 4 その他 ( ) |
| 5 特に連絡はとっていない  |           |

問 18 かかりつけ医師との連携で問題点を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 連絡手段がない                        |
| 2 かかりつけ医師が介護をする上で適切な情報提供をしてもらえない |
| 3 良いケアプランを立てることに協力的でない           |
| 4 双方で協議・調整する機会がない                |
| 5 その他 ( )                        |
| 6 特に問題はない                        |

問 19 千葉県やケアマネジャー協会、鴨川市等で実施するケアマネジャー向け研修会に、どの程度参加していますか。(1つに○)

- |               |
|---------------|
| 1 ほとんど参加している  |
| 2 半分程度は参加している |
| 3 あまり参加していない  |
| 4 まったく参加していない |

問 20 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 自主的な勉強会を行っている                 |
| 2 事業者連絡会等に積極的に参加している            |
| 3 ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている |
| 4 法人内でのOJTによる指導を受けている           |
| 5 主任ケアマネジャー等に相談している             |
| 6 法人内の研修に積極的に参加している             |
| 7 外部研修に積極的に参加している               |
| 8 参考書などを読んでいる                   |
| 9 第三者評価員として他事業所の取り組み状況に接している    |
| 10 その他 ( )                      |
| 11 特にない                         |

問 21 ケアマネジャーとして行政に望むことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 最新の確な情報の提供               |
| 2 給付管理の相談体制の充実             |
| 3 介護サービス提供の相談体制の充実         |
| 4 ケアマネジャーの資質向上のための研修の充実    |
| 5 処遇の向上のための環境整備の推進         |
| 6 介護相談員や介護保険サービスサポーター活動の充実 |
| 7 ボランティアやNPOの育成            |
| 8 介護予防や認知症予防のための取り組み       |
| 9 ケアマネジャー同士が相談・意見交換できる場の拡充 |
| 10 成年後見制度の利用支援の充実          |
| 11 その他 ( )                 |
| 12 望むことはない                 |

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください

○介護保険の制度改正について、ケアマネジャーの立場としてご意見があればお聞かせください。
○ケアマネジャーの業務を遂行するにあたって市に期待することや要望したいことなどがあればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

### 貴事業所の基本的なことについておうかがいします

問1 平成26年1月1日現在の貴事業所についてお答えください。

① 事業所名	
② 事業所番号	
③ 所在地	(都・道・府・県) (区・市・町・村)
④ 電話番号	- -
⑤ 記入者	氏名: 役職:
⑥ 事業の実施地域	
⑦ 法人種別	1 社会福祉法人(社協以外)    2 社会福祉法人(社協) 3 医療法人(社団・財団)    4 民法法人(社団・財団) 5 営利法人(有限会社・株式会社) 6 特定非営利活動法人(NPO) 7 農協    8 生協 9 地方公共団体    10 非法人(個人経営)

問2 貴事業所において、どのような資格者が従事していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 医師	2 歯科医師
3 薬剤師	4 保健師
5 看護師	6 介護福祉士
7 社会福祉士	8 ホームヘルパー
9 介護支援専門員	10 歯科衛生士
11 作業療法士	12 理学療法士
13 言語療法士(言語聴覚士)	14 精神保健福祉士
15 その他( )	

### 「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査

平素より、鴨川市の介護保険事業に対しましてご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、介護保険制度の今後の効果的な運営に努めるため、来年度に第6期の新しい「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を策定します。

そこで、介護保険のサービスを提供していただいている事業所の状況等を把握して計画策定の基礎資料とするとともに、今後の介護保険制度運営に反映させるため、介護保険サービス等に関するアンケート調査を実施することにいたしました。

いただきましたお答えは全てコンピューターにより統計的に処理し、上記以外の目的には決して使用することはありませんので、お忙しいところ恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年1月

鴨川市長 長谷川 孝夫

#### ～ご記入にあたってのお願い～

- 調査は、平成26年1月1日現在でお答えください。  
(※鉛筆またはボールペンで記入してください。)
- 質問には、1つだけ回答していただくものと、複数(「あてはまるものすべて」等)回答していただくものがあります。
- 回答は、別に指示がある場合を除き、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
- 「その他」とお答えの方は、後の( )内にその内容を具体的に記入してください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の専用返信用封筒に入れて、平成26年1月20日(月)までに、郵便ポストに投函してください。

◎記入方法などについてわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。  
 <連絡先>：鴨川市総合保健福祉会館(ふれあいセンター)内  
 鴨川市 健康推進課 介護保険係 TEL：04-7093-7111

### 貴事業所の事業運営についておうかがいします

問3 貴事業所が円滑な事業運営を進めていく上で、現在困難を感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 事務作業が多い
2 施設・設備の改善が難しい
3 必要な情報が入手しにくい
4 従事者の確保が難しい
5 従事者の資質向上を図ることが難しい
6 利用者や家族の介護保険制度に対する理解が進んでいない
7 市との連携を図ることが難しい
8 その他( )
9 特に困難を感じていることはない

問4 これまで、利用者や家族から苦情を受けたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 特に苦情は受けていない
2 サービス内容に関するもの
3 利用手続きに関するもの
4 職員への態度に関するもの
5 施設や設備に関するもの
6 利用者の負担する費用に関するもの
7 その他( )

### 貴事業所が実施している事業についておうかがいします

問5 貴事業所が実施している介護保険事業(サービス)の状況や今後の意向を、それぞれの項目についてお答えください。あてはまるものすべてについて番号に○をつけ、今後の意向については予定年月も記入してください。

サービス種類	実施中	現状維持	拡大予定	縮小・撤退予定	新規予定(検討中)
1 訪問介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
2 訪問入浴介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
3 訪問看護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
4 訪問リハビリテーション	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
5 居宅療養管理指導	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
6 通所介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
7 通所リハビリテーション	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
8 短期入所生活介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
9 短期入所療養介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
10 特定施設入居者生活介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
11 福祉用具貸与	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
12 福祉用具購入費	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
13 住宅改修費	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
14 夜間対応型訪問介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)

サービス種類	実施中	現状維持	拡大予定	縮小・撤退予定	新規予定(検討中)
16 認知症対応型通所介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
17 小規模多機能型居宅介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
18 認知症対応型共同生活介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
19 複合型サービス (小規模多機能型居宅介護 + 訪問看護)	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
20 地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
21 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
22 居宅介護支援(介護予防支援)	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
23 介護老人福祉施設	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
24 介護老人保健施設	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	5 (年 月予定)
25 介護療養型医療施設	1	2	3 (年 月予定)	4 (年 月予定)	

○介護保険事業(サービス)の拡大、縮小、新規等の予定で、今後の意向等があればご記入ください。

問6 介護療養型医療施設を運営している、またはしていた事業所におうかがいします。(運営していない場合は問7へ)

施設について、他種の事業に転換等しましたか。また、今後転換する予定はありますか。(1つに○)

- 1 医療療養病床へ転換する、または転換した
- 2 介護療養型老人保健施設へ転換する、または転換した
- 3 介護老人保健施設(従来型)へ転換する、または転換した
- 4 一般病棟へ転換する、または転換した
- 5 介護老人福祉施設へ転換する、または転換した
- 6 その他の施設へ転換する、または転換した
- 7 廃止する、または廃止した
- 8 未定・検討中

問6-1 問6で「1」～「6」を選択した事業所の中で、「今後他の施設への転換を希望している」ところにおうかがいします。転換の時期はいつ頃をお考えですか。(1つに○)

- 1 平成26年3月までに
- 2 平成27年3月までに
- 3 平成28年3月までに
- 4 平成28年4月以降に
- 5 未定・検討中

問7 貴事業所が事業の拡大を考える場合の課題や問題点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1 事務作業の簡素化・システム化 | 2 施設・設備の改善 |
| 3 情報の不足          | 4 従事者の確保   |
| 5 利用者の確保         | 6 規制・基準の緩和 |
| 7 事業実施地域の見直し     | 8 PRの強化    |
| 9 経費の削減          |            |
| 10 その他( )        |            |
| 11 特に課題や問題点はない   |            |

問8 貴事業所は、サービスの質の確保や向上に関して、どのようにお考えですか。次の①から⑫までの各問にお答えください。(問ごとに1つずつに○)

問	選択肢
① 利用者の満足度や利用者からのサービスの質の評価に取り組んでいますか。	1 取り組んでいる 2 現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定 3 取り組む予定はない
② サービスに苦情があった場合に対応を行う責任者や窓口を設置していますか。	1 設置している 2 設置していない
③ サービスについての利用者や家族の不満や要望について、十分な対応を行っていますか。	1 対応している 2 あまり対応できていない(できない) 3 ほとんど対応できていない(できない)
④ 利用者の事故など緊急の場合に家族等に連絡がとれる体制になっていますか。	1 連絡がとれるようにしてある 2 あまり連絡がとれるようにはしていない 3 連絡がとれるようにはしていない
⑤ 事業所運営にあたり、苦情に対する手続きや事故対応などについて、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。	1 文書やマニュアルにより適切に対応している 2 文書やマニュアルはない
⑥ 災害発生時の対応方法について、文書やマニュアル等で明確にし、適切に対応していますか。	1 文書やマニュアルにより適切に対応している 2 文書やマニュアルはない
⑦ 定期的な訓練(避難訓練等)を行っていますか。	1 半年に1回以上行っている 2 1年に1回以上行っている 3 定期的な訓練は行っていない
⑧ サービスが提供された後に、(利用者の状況変化に応じて)サービス内容の見直しについて、利用者や家族に何らかの提案(ケアマネジャーへの相談を含みます)を行いますか。	1 サービス内容の見直しの提案をしている 2 サービス内容の見直しの提案をしない場合がある 3 サービス内容の見直しの提案をする場合は少ない
⑨ 利用しているサービスとは別のサービスが必要になった場合、もしくは貴事業者が提供する以上のサービスを利用者や家族が必要とした場合、他の事業者を紹介していますか。	1 紹介している 2 紹介できない場合がある 3 紹介できないことが多い

問	選択肢
⑩ 「サービス担当者会議」について、十分実施できていますか。	1 十分実施している 2 十分ではないが実施している 3 文書での実施が多い
⑪ 事業者内での講習会・研修について、十分実施できていますか。	1 十分実施している 2 十分ではないが実施している 3 ほとんど実施できていない
⑫ 外部の研修や事例検討、勉強会について、職員が積極的に参加できるよう支援していますか。	1 十分支援している 2 十分ではないが支援している 3 ほとんど支援していない

問9 貴事業所において、今後、市や住民等どのような関係を持っていきたいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実させたい
- 2 市等と介護保険や保健福祉施策等について話し合う機会を増やしたい
- 3 お年寄りを通じて地域の行事などに参加、協力したい
- 4 学校、幼稚園、保育所等との交流を活発化したい
- 5 権利擁護・個人情報の取り扱いなどで、法務の専門家と協力したい
- 6 地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい
- 7 指定管理者制度などを活用し、市の保健福祉事業にも参加したい
- 8 公共施設(利用していない施設を含む)の利用を図りたい
- 9 その他( )
- 10 特に予定や希望はない

ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

## 鴨川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 策定のための調査結果報告書

発行日 平成 26 年 3 月

発 行 鴨川市 市民福祉部 健康推進課 介護保険係

住 所 〒296-0033 千葉県鴨川市八色 887-1

鴨川市総合保健福祉会館（ふれあいセンター）

電 話 04-7093-7111



